

令和7年度 長久手市
高齢者くらしのチェックリスト
認知症に関する意識調査
調査結果報告書

令和8年3月
長久手市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象・期間・方法等.....	1
3	配布・回収の結果.....	1
4	報告書の表記及び注意点について.....	2
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	3
	◇回答者.....	3
	◇性別.....	4
	◇年齢.....	4
	◇要介護認定区分.....	5
	◇小学校区.....	6
	◇日常生活圏域.....	7
	あなたのご家族や生活の状況についておたずねします。.....	8
	(1) 家族構成.....	8
	(2) 親族との関係.....	9
	(3) 介護・介助の必要性.....	10
	(4) 介護・介助が必要になった主な原因.....	11
	(5) 誰の介護・介助を受けているか.....	12
	(6) 経済状況.....	13
	(7) 住まい.....	14
	からだを動かすことについておたずねします。.....	15
	(1) 階段.....	15
	(2) 椅子からの立ち上がり.....	16
	(3) 歩行.....	17
	(4) 転倒.....	18
	(5) 転倒に対する不安.....	19
	(6) 外出頻度.....	20
	(7) 外出回数の変化.....	21
	(8) 外出控え.....	22
	(9) 外出を控えている理由.....	23
	(10) 移動手段.....	24
	食えることについておたずねします。.....	26
	(1) 身長・体重.....	26
	(2) BMI.....	27
	(3) 固いものの食べにくさ.....	28
	(4) お茶や汁物等でのむせ.....	29
	(5) 口の渇き.....	30
	(6) 歯磨き.....	31
	(7) 歯の数と入れ歯の状況.....	32
	(8) 入れ歯の手入れ.....	33
	(9) 噛み合わせ.....	34
	(10) 体重減少.....	35
	(11) 共食の機会.....	36
	毎日の生活についておたずねします。.....	37
	(1) 物忘れの自覚.....	37
	(2) 周りの人から物忘れといわれるか.....	38
	(3) 電話.....	39
	(4) 日付.....	40
	(5) 1人での外出.....	41
	(6) 買い物.....	42
	(7) 食事の用意.....	43
	(8) 請求書の支払い.....	44

(9) 預貯金の出し入れ.....	45
(10) 書類.....	46
(11) 新聞.....	47
(12) 読書.....	48
(13) 健康への関心.....	49
(14) 友人の家への訪問.....	50
(15) 家族や友人の相談.....	51
(16) 病人の見舞い.....	52
(17) 若い人との交流.....	53
(17) 趣味の有無.....	54
(18) 生きがいの有無.....	56
(19) 「短期集中予防サービス」の認知度.....	58
(20) 「短期集中予防サービス」の利用意向.....	59
地域での活動についておたずねします。	60
(1) 会・グループへの参加頻度.....	60
(2) 地域活動への参加者としての参加意向.....	61
(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向.....	63
就労についておたずねします。	65
(1) 就労状態.....	65
(2) 就労の引退時期.....	66
たすけあいについておたずねします。	67
(1) まわりの人の「たすけあい」について.....	67
(2) 家族、友人・知人以外の相談相手.....	68
(3) 友人と会う頻度.....	69
(4) 会った友人の人数.....	70
(5) 友人との関係.....	71
(6) 今後の生活や、いざというときの不安.....	72
健康についておたずねします。	74
(1) 健康状態.....	74
(2) 幸福度.....	75
(3) 直近1か月間で、気持ちが沈んだり、ゆううつな気持ちになったこと.....	76
(4) 直近1か月間で、物事に興味がわかなかつたり、心から楽しめないことがあったこと.....	77
(5) 生活の充実感.....	78
(6) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったこと.....	79
(7) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられること.....	80
(8) 自己肯定感.....	81
(9) 疲労感.....	82
(10) 飲酒習慣.....	83
(11) 喫煙習慣.....	84
(12) 治療中、または後遺症のある病気.....	85
認知症についておたずねします。	87
(1) 認知症は誰もがなり得ると思うか.....	87
(2) 認知症への理解.....	88
(3) 認知症になってもできることが多くあると思うか.....	89
(4) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか.....	90
(5) 認知症の人でも地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか.....	91
(6) 認知症の人が自分らしく暮らせると思うか.....	92
(7) 「新しい認知症観」の認知度.....	93
(8) 認知症の症状.....	94
(9) 認知症だと思った際の対応.....	95
(10) 認知症予防の取組への参加意向.....	96
(11) 認知症に関する相談窓口の認知度.....	97
(12) 認知症について知りたいこと.....	98
(13) 認知症になっても自宅で生活をするために必要なこと.....	99
(14) 認知症カフェの利用意向.....	100
(15) 認知症カフェの参加手段.....	101

Ⅲ 在宅介護実態調査..... 103

◇回答者（要介護認定者のみ）.....	103
◇性別（要介護認定者のみ）.....	104
◇年齢（要介護認定者のみ）.....	104
◇要介護認定区分（要介護認定者のみ）.....	105
◇小学校区（要介護認定者のみ）.....	106
◇日常生活圏域（要介護認定者のみ）.....	107

あなたのご家族や生活の状況についておたずねします。..... 108

（１）世帯類型（要介護認定者のみ）.....	108
（２）親族との関係（要介護認定者のみ）.....	109
（３）同居している親族（要介護認定者のみ）.....	111
（４）日中の状況（要介護認定者のみ）.....	113
（５）経済状況（要介護認定者のみ）.....	114
（６）住まい（要介護認定者のみ）.....	115

介護保険サービスについておたずねします。..... 116

（１）要介護認定を申請したきっかけ（要支援認定者、総合事業対象者のみ）.....	116
（２）介護保険サービスの利用状況.....	117
（３）改善してほしいサービス（要介護認定者のみ）.....	118
（４）介護保険サービスを利用していない理由.....	119
（５）施設等への入所・入居の検討状況（要介護認定者のみ）.....	120
（６）施設等への入所・入居を考えていない理由（要介護認定者のみ）.....	121
（７）入所・入居したい施設の種類の種類（要介護認定者のみ）.....	122
（８）入所・入居したい時期（検討中の人）（要介護認定者のみ）.....	123
（９）入所・入居を検討している理由（要介護認定者のみ）.....	124
（１０）入所・入居の申し込みをしている施設の種類の種類（要介護認定者のみ）.....	125
（１１）入所・入居の申し込みをしている施設の待機期間（要介護認定者のみ）.....	126
（１２）入所・入居したい時期（申し込みをしている人）（要介護認定者のみ）.....	127
（１３）入所・入居の申し込みをしている理由（要介護認定者のみ）.....	128
（１４）「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況.....	129
（１５）今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	130

将来の生活の希望についておたずねします。..... 131

（１）これからの介護（要介護認定者のみ）.....	131
（２）住み慣れた地域で暮らし続けるために最も充実すべきこと（要介護認定者のみ）.....	133
（３）今後の生活や、いざというときの不安.....	134

認知症についておたずねします。..... 136

（１）認知症は誰もがなり得ると思うか.....	136
（２）認知症への理解.....	137
（３）認知症になってもできることが多くあると思うか.....	138
（４）認知症の人の意思が尊重されていると思うか.....	139
（５）認知症の人でも地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか.....	140
（６）認知症の人が自分らしく暮らせると思うか.....	141
（７）「新しい認知症観」の認知度.....	142
（８）認知症について知りたいこと.....	143
（９）認知症になっても自宅で生活をするために必要なこと.....	144
（１０）認知症カフェの利用意向.....	145
（１１）認知症カフェの参加手段.....	146

健康についておたずねします。..... 148

（１）幸福度.....	148
（２）現在抱えている傷病（要介護認定者のみ）.....	149
（３）訪問診療.....	151
（４）家族や親族からの介護の頻度.....	152

ここからは、主な介護者の方（あて名の方を介護している方）についておたずねします。153

（１）主な介護者.....	153
（２）主な介護者の性別.....	154
（３）主な介護者の年齢.....	155
（４）主な介護者が行っている介護等.....	156

(5) 介護を理由とした離職（要介護認定者のみ）	157
(6) 主な介護者の勤務形態	158
(7) 働き方の調整（要介護認定者のみ）	159
(8) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援（要介護認定者のみ）	160
(9) 仕事と介護の両立継続	161
(10) 主な介護者が不安に感じる介護等	162
(11) 主な介護者が困った時の相談先	164
(12) 介護をするうえであれば良い支援	166
IV 認知症に関する意識調査	167
あなた自身についておたずねします。	167
(1) 性別	167
(2) 年齢	167
(3) 小学校区	168
(4) 職業	168
(5) 同居している家族の人数	169
(6) 高齢者との同居	169
認知症に対するイメージについておたずねします。	170
(1) 認知症は誰もがなり得ると思うか	170
(2) 認知症への理解	170
(3) 認知症になってもできることが多くあると思うか	171
(4) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか	171
(5) 認知症の人でも地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか	172
(6) 認知症の人が自分らしく暮らせると思うか	172
(7) 「新しい認知症観」の認知度	173
(8) 認知症の症状	173
(9) 受診の状況	174
(10) 若年性認知症の認知度	174
(11) 認知症に関する情報の入手手段	175
(12) 認知症に関する講演会やイベントへの参加経験	175
ご自身や家族が認知症になったときについておたずねします。	176
(1) 認知症になった時のことについて	176
(2) 認知症だと思った時の対応	176
(3) 認知症になっても自宅で生活をするために必要なこと	177
(4) 家族が認知症になった際の生活	178
(5) 認知症について知りたいこと	179
認知症の人やその家族を支える仕組みについておたずねします。	180
(1) 成年後見制度の認知度	180
(2) 近所の人や知人からの認知	180
(3) 地域住民の関わりの必要性	181
(4) 認知症の人が近所にいた場合の行動	182
(5) 認知症サポーターの認知度	183
(6) 認知症サポーター養成講座の受講意向	183
(7) 認知症にやさしいお店の認知度	184
(8) 認知症にやさしいお店の推進	184
(9) 重点を置くべき認知症施策	185

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第 10 期高齢者福祉・介護保険事業計画の策定にあたって、対象となる住民の健康状態や生活習慣、介護保険サービス、保健福祉サービスの利用状況やニーズ等を把握し、基礎資料とすることを目的とします。

また、第 10 期高齢者福祉・介護保険事業計画に包含する予定の（仮称）認知症施策推進基本計画の策定にあたって、一般市民が考える認知症についての意識を把握し、基礎資料とすることを目的とします。

2 調査対象・期間・方法等

本調査は、以下の通り実施しました。

	① 一般高齢者調査	② 要支援認定者及び 総合事業対象者調査	③ 要介護認定者調査	④ 認知症に関する 意識調査
調査対象者	75 歳以上の人 (要支援・要介護認定 者を除く)	要支援認定者 総合事業対象者	要介護認定者	18～64 歳一般市民
ベースとした国の 調査票	介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査及び 在宅介護実態調査	在宅介護実態調査	(独自調査のため無し)
抽出方法	全数			2,000 人を無作為抽出
調査票の配布・回収	郵送による配布・郵送による回収及びインターネット回答			郵送による配布・ インターネット回答
調査期間	令和 7 年 12 月 3 日～12 月 24 日			

3 配布・回収の結果

本調査の回収結果は、以下の通りです。

	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
① 一般高齢者調査	4,339 件	3,192 件	3,192 件	73.6%
② 要支援認定者及び 総合事業対象者調査	618 件	435 件	435 件	70.4%
③ 要介護認定者調査	963 件	519 件	385 件	40.0%
④ 認知症に関する 意識調査	2,000 件	382 件	382 件	19.1%

4 報告書の表記及び注意点について

1. 図表中のn（Number of Caseの略）は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
2. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
3. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
4. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している場合があります。
5. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「回答者」と表記し、その数を表しています。
6. 高齢者くらしのチェックリストは、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」をベースとして作成しているため、本報告書では「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「在宅介護実態調査」として回答結果を示しています。
7. ② 要支援認定者調査の設問について、① 一般高齢者調査や③ 要介護認定者調査の設問と重複するものがあるため、該当の設問については合算して集計しています。そのため、設問によってn数が異なる場合があります。
8. 令和5年度に実施した高齢者くらしのチェックリストの結果を「前回調査」としていません。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

◇回答者

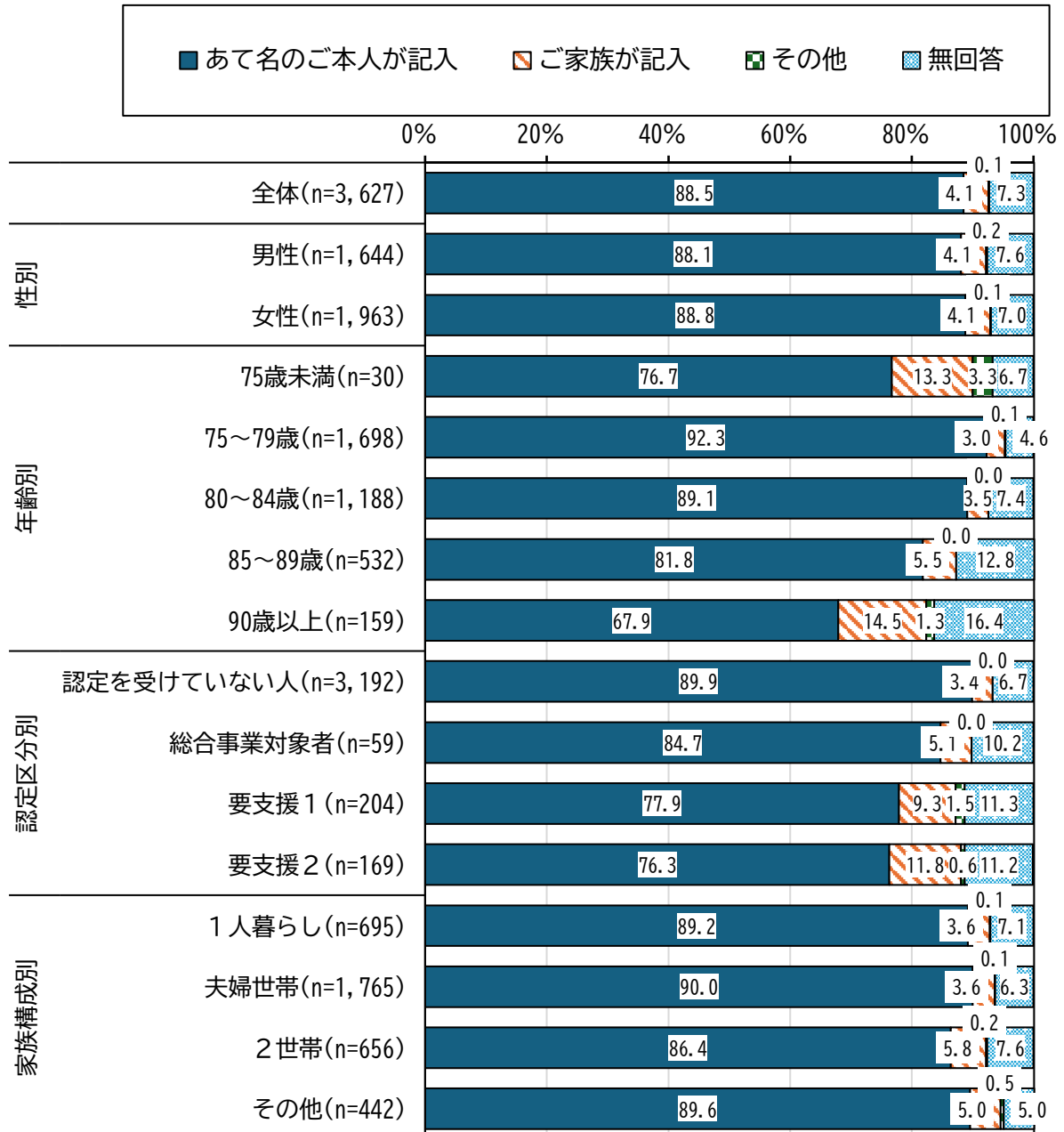
◆ 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つだけ）

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

アンケートの回答者は、「あて名のご本人が記入」が 88.5%、「ご家族が記入」が 4.1%となっています。

「あて名のご本人が記入」を年齢別にみると、90歳以上は 67.9%と他の年齢に比べて低くなっています。

また、認定区分別にみると、要支援 1 は、要支援 2 は 80%を下回っています。



【本人から見た続柄（抜粋）】

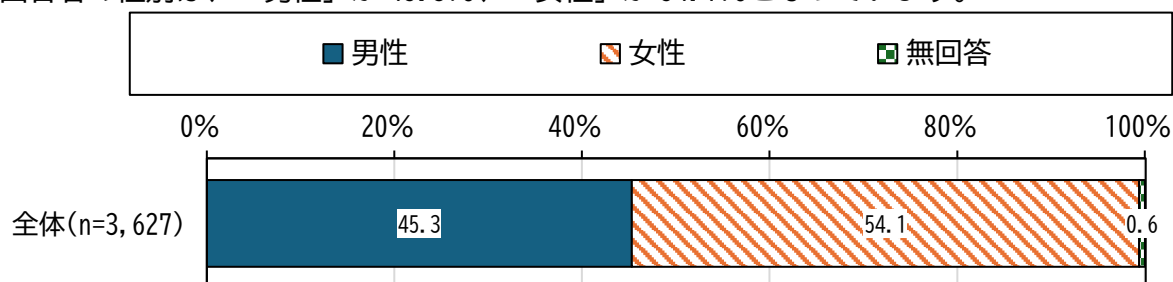
・妻 ・夫 ・子 ・子の妻 ・孫の妻 ・父 ・姪

【その他回答（抜粋）】

・本人と家族 ・訪問しているヘルパー記入（ご本人に聞きながら）

◇性別

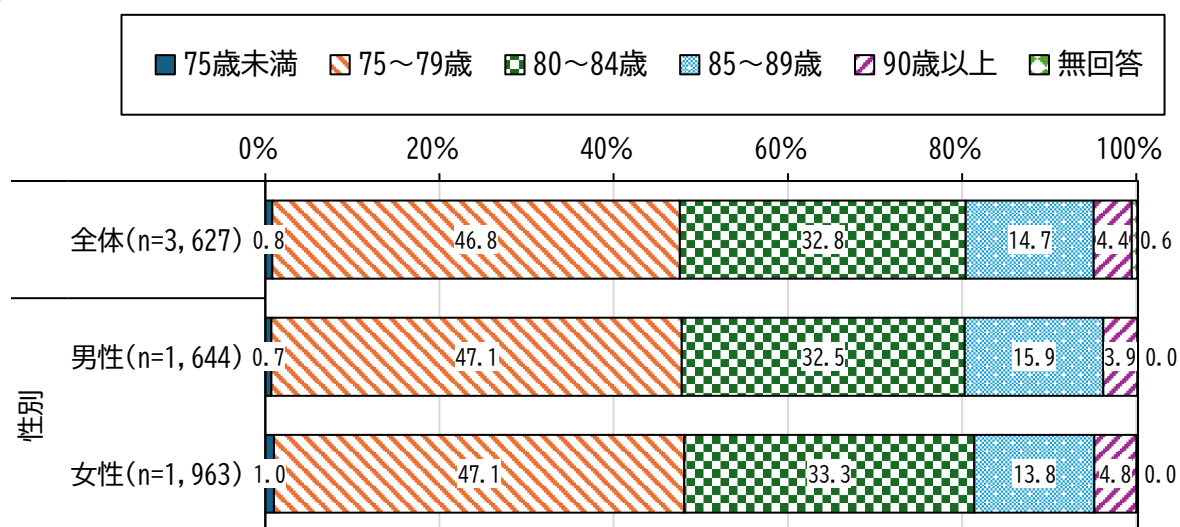
回答者の性別は、「男性」が45.3%、「女性」が54.1%となっています。



◇年齢

回答者の年齢は、「75～79歳」が46.8%と最も高く、次いで「80～84歳」が32.8%、「85～89歳」が14.7%などの順となっています。

また、「75歳未満」は総合事業対象者・要支援認定者に限られるため、0.8%にとどまっています。

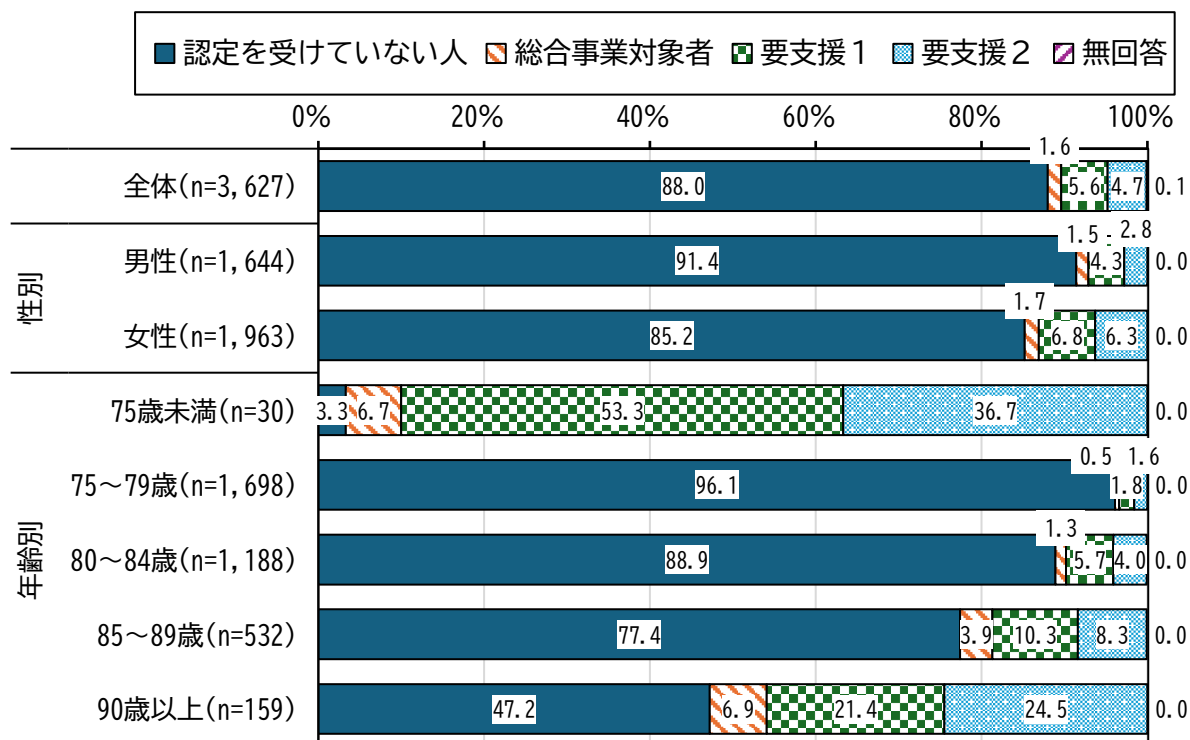


◇要介護認定区分

調査対象者の認定区分は、「認定を受けていない人」が88.0%、「総合事業対象者」が1.6%、「要支援1」が5.6%、「要支援2」が4.7%となっており、「要支援1」と「要支援2」を合計した＜要支援認定者＞が10.3%です。

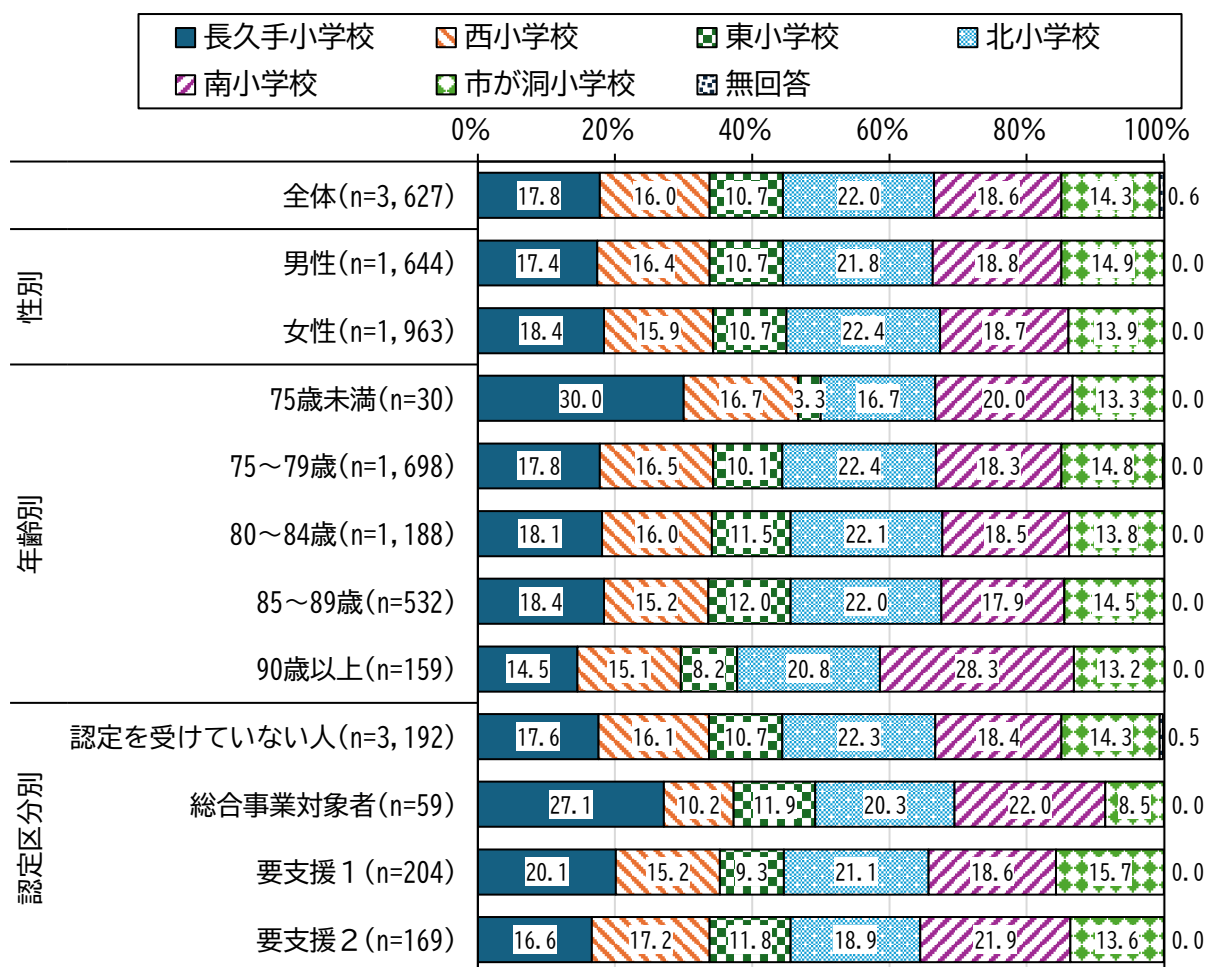
性別にみると、女性は男性に比べて「総合事業対象者」及び＜要支援認定者＞が高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「認定を受けていない人」は低下し、90歳以上になると47.2%まで低下します。



◇小学校区

小学校区は、「北小学校」が22.0%、「南小学校」が18.6%、「長久手小学校」が17.8%、「西小学校」が16.1%、「市が洞小学校」が14.3%、「東小学校」が10.7%の順となっています。

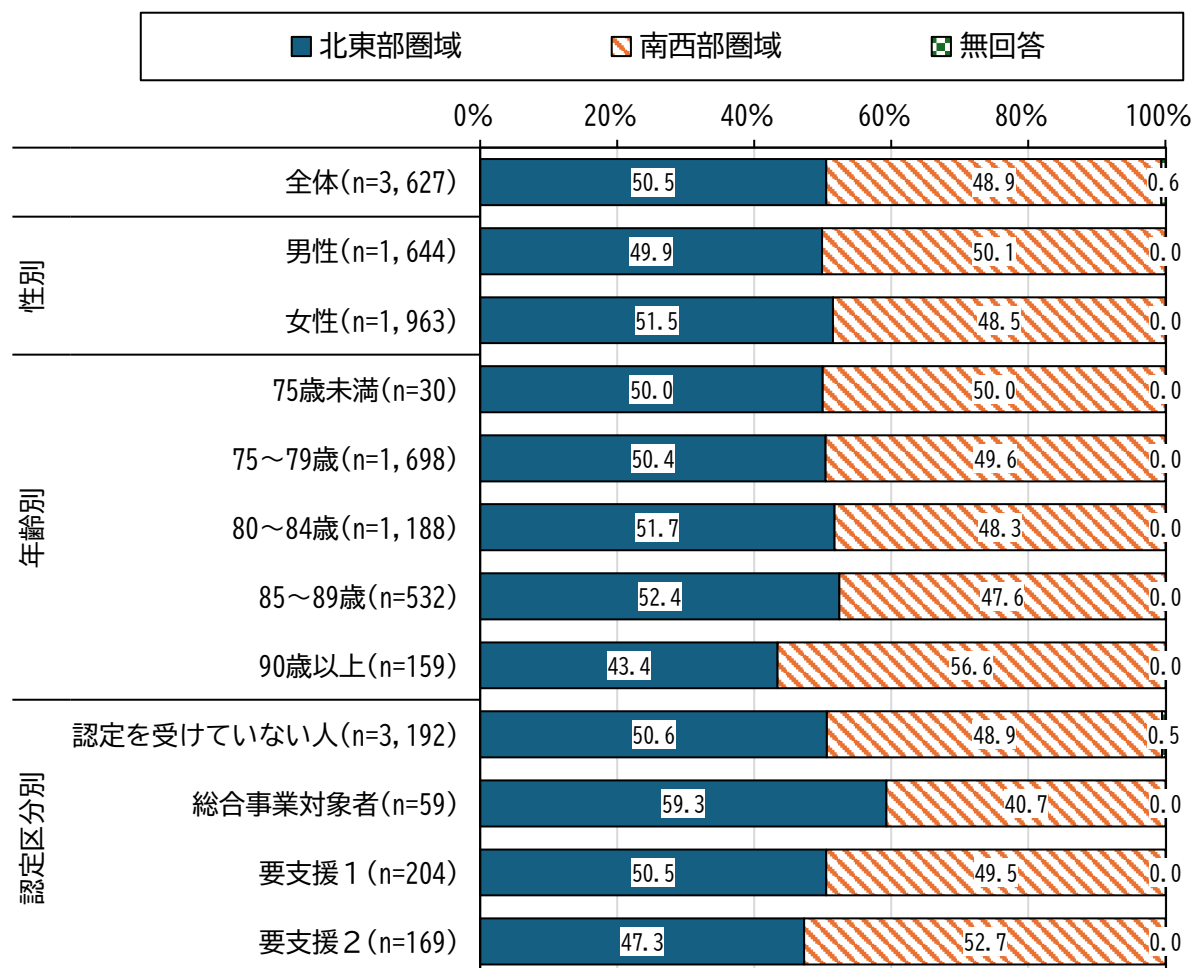


◇日常生活圏域

日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地理的条件・人口・交通事情やその他の社会的条件、施設の整備状況などを総合的に勘案し、地域の特性に応じて市町村内を区分するものです。

本市では、〈北東部圏域〉と〈南西部圏域〉の2圏域を日常生活圏域としています。

回答者の日常生活圏域は「北東部圏域」が50.5%、「南西部圏域」が48.9%となっています。認定区分別にみると、要支援1は「北東部圏域」、要支援2は「南西部圏域」がそれぞれ高くなっています。



○日常生活圏域の区分

区 分	北東部圏域	南西部圏域
小学校区	長久手小・東小・北小学校区	西小・南小・市が洞小学校区
地域包括支援センター	長久手市社会福祉協議会 地域包括支援センター	愛知たいようの杜 地域包括支援センター

あなたのご家族や生活の状況についておたずねします。

(1) 家族構成

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問1 家族構成を教えてください。(○は1つだけ)

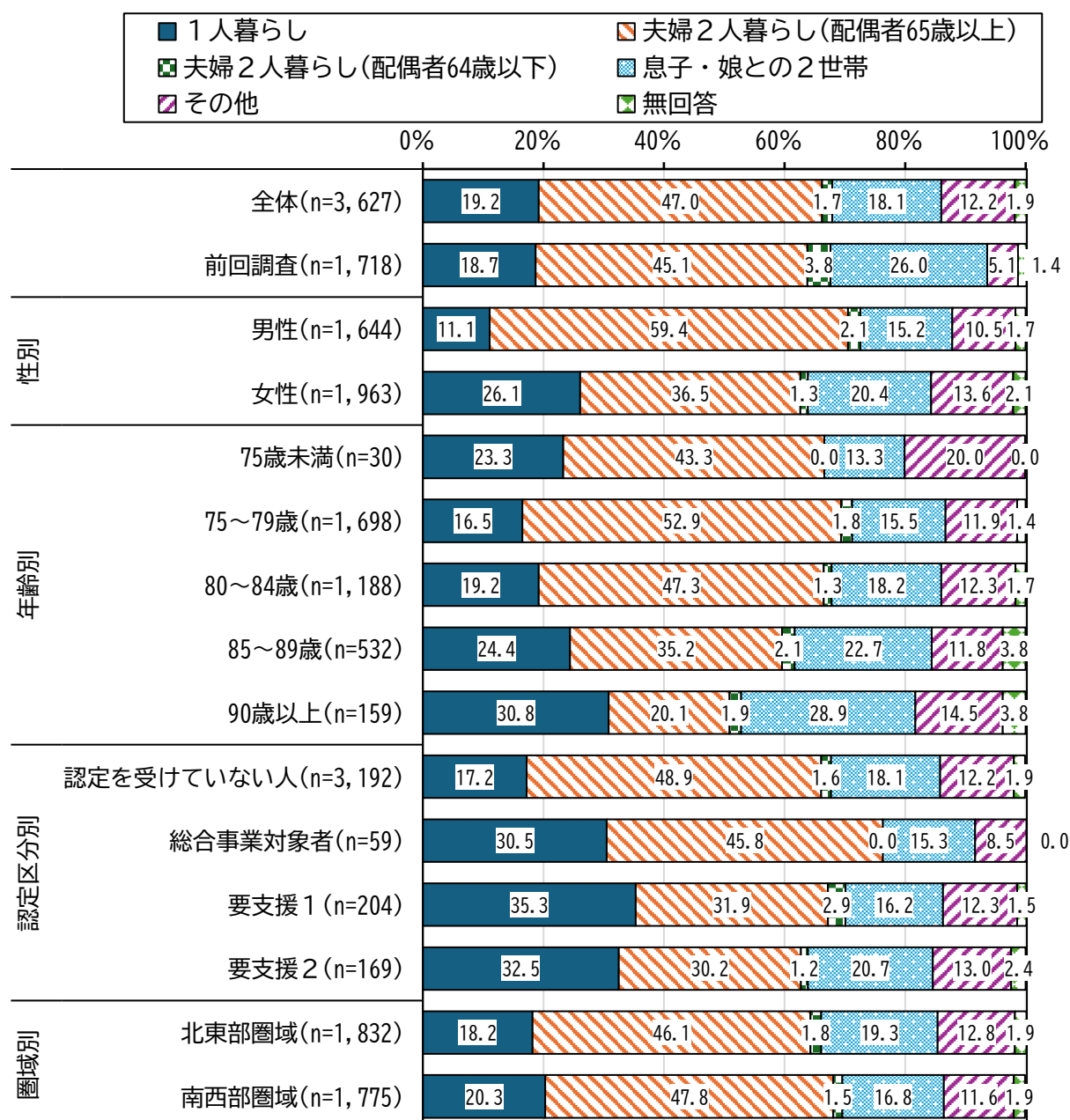
家族構成は「1人暮らし」が19.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が47.0%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が1.7%、「息子・娘との2世帯」が18.1%となっています。

前回調査と比較すると、「息子・娘との2世帯」が7.9ポイント減少しています。

性別にみると、女性は男性に比べて「1人暮らし」が高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「1人暮らし」が上昇し、90歳以上になると30.8%となっています。

認定区分別にみると、要支援1は「1人暮らし」が他に比べて高くなっています。



【その他回答(抜粋)】

- ・息子や娘と2人で暮らしている
- ・夫婦と子
- ・息子や娘と孫
- ・義弟と甥
- ・息子夫婦や娘夫婦

(2) 親族との関係

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

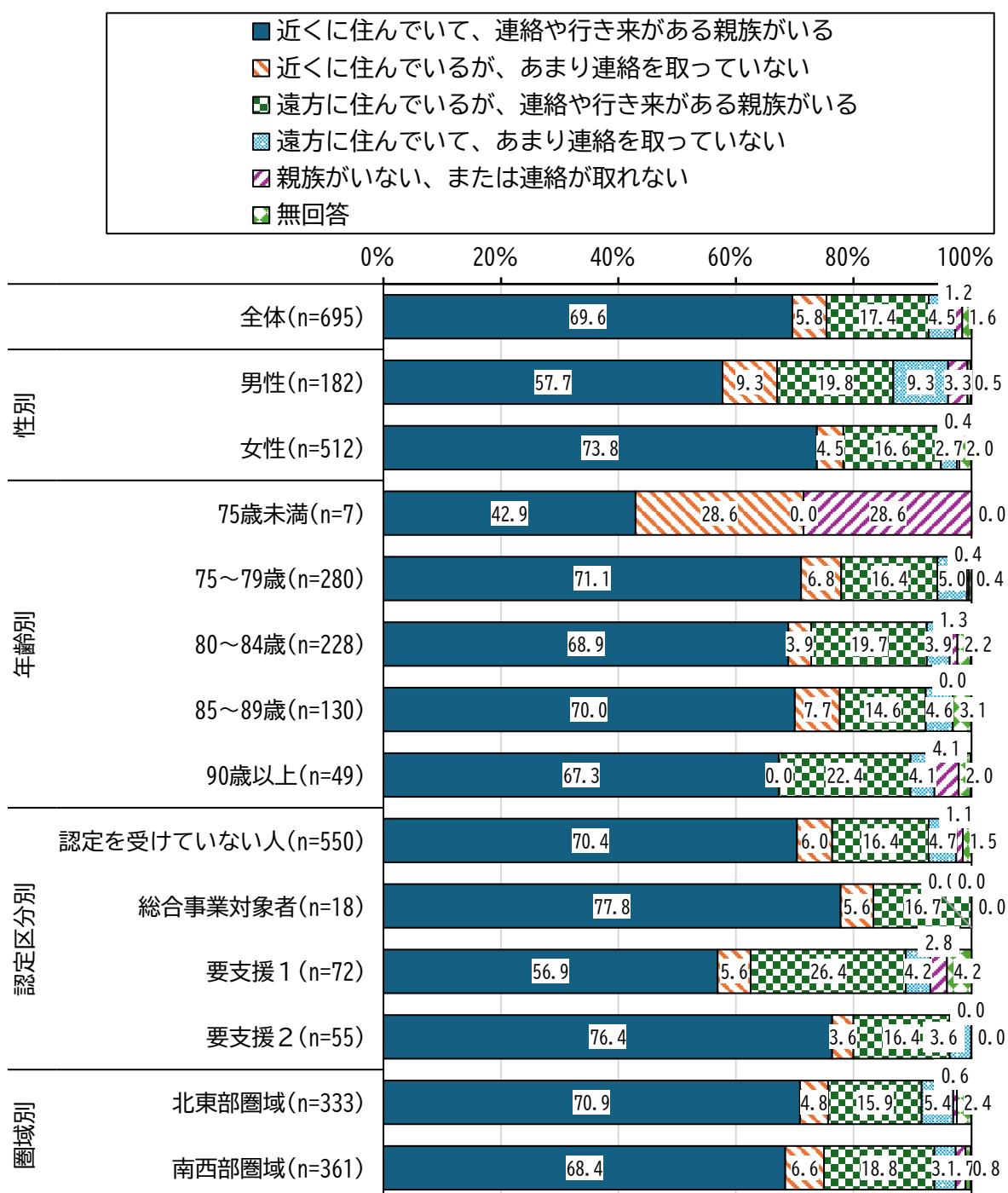
問1-1 <問1で「1.」または「2.」と答えた方におたずねします>

あなたのご親族（こども、兄弟姉妹など）との関係について、おたずねします。（○は1つだけ）

「1人暮らし」または「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と回答した人に、親族との関係について尋ねると、「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が69.6%と最も高く、次いで「遠方に住んでいるが、連絡や行き来がある親族がいる」が17.4%、「近くに住んでいるが、あまり連絡を取っていない」が5.8%、「遠方に住んでいて、あまり連絡を取っていない」が4.5%、「親族がいない、または連絡が取れない」が1.2%の順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が低くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が他に比べて低くなっています。



(3) 介護・介助の必要性

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

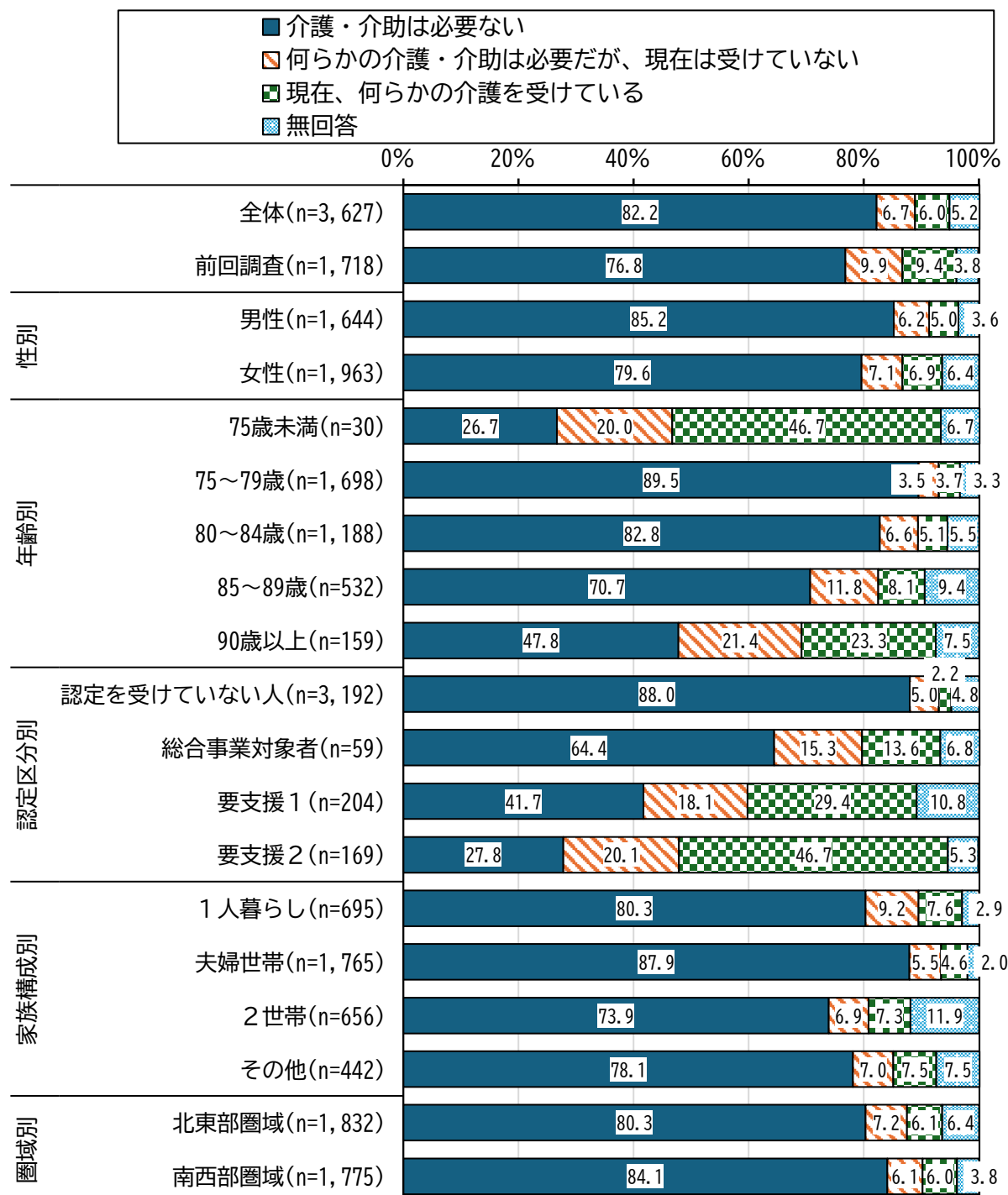
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つだけ)

普段の生活で介護・介助が必要かたずねたところ、「介護・介助は必要ない」が 82.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が 6.0%となっています。

前回調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が 5.4 ポイント増加しています。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合計した＜介護が必要＞が上昇し、90 歳以上になると 44.7%となっています。

認定区分別にみると、要支援2は＜介護が必要＞が 66.8%となっています。



(4) 介護・介助が必要になった主な原因

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問3 <問2で「2.」または「3.」と答えた方におたずねします>

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（○はいくつでも）

普段の生活で介護を必要としている人に、介護が必要になった主な原因をたずねたところ、「高齢による衰弱」が28.0%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が19.8%、「心臓病」が15.0%、「糖尿病」が11.5%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「パーキンソン病」、「視覚・聴覚障がい」が増加しています。

性別にみると、女性は男性に比べて「骨折・転倒」が16.0ポイント高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「骨折・転倒」が高くなっています。

		回答件数 (n)	(脳出血・脳梗塞等) 脳卒中	心臓病	がん (悪性新生物)	(呼吸器の病気 肺気腫・肺炎等)	(関節の病気 リウマチ等)	(アルツハイマー病等) 認知症	パーキンソン病	糖尿病
全体		460	10.0	15.0	5.2	6.3	6.7	5.2	2.8	11.5
前回調査		332	8.7	12.7	6.9	6.3	11.1	5.7	2.7	11.7
性別	男性	184	14.1	18.5	6.5	9.8	3.3	7.1	3.3	14.1
	女性	274	7.3	12.8	4.4	4.0	9.1	4.0	2.6	9.9
年齢別	75歳未満	20	30.0	5.0	0.0	0.0	15.0	0.0	10.0	15.0
	75～79歳	122	18.9	15.6	9.8	8.2	8.2	6.6	4.9	11.5
	80～84歳	139	5.8	17.3	3.6	6.5	9.4	3.6	0.7	10.8
	85～89歳	106	3.8	8.5	3.8	6.6	3.8	7.5	3.8	12.3
	90歳以上	71	7.0	22.5	4.2	4.2	1.4	4.2	0.0	11.3
認定 区分別	認定を受けていない人	231	9.1	14.3	5.6	6.1	5.2	8.2	1.7	10.4
	総合事業対象者	17	5.9	23.5	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8
	要支援1	97	11.3	14.4	4.1	6.2	7.2	3.1	8.2	17.5
	要支援2	113	11.5	15.9	3.5	6.2	10.6	1.8	0.9	8.8
		回答件数 (n)	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		460	2.4	8.3	19.8	9.3	28.0	15.9	1.3	11.3
前回調査		332	3.0	7.8	24.4	12.7	30.4	10.8	1.2	4.8
性別	男性	184	3.8	10.3	10.3	9.2	32.6	14.1	0.5	10.9
	女性	274	1.5	6.6	26.3	9.1	24.5	17.2	1.8	11.7
年齢別	75歳未満	20	5.0	0.0	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0	5.0
	75～79歳	122	2.5	7.4	21.3	9.0	18.9	16.4	1.6	9.8
	80～84歳	139	1.4	8.6	15.8	10.8	20.1	18.7	1.4	12.9
	85～89歳	106	3.8	7.5	20.8	8.5	40.6	11.3	1.9	13.2
	90歳以上	71	1.4	11.3	23.9	9.9	46.5	12.7	0.0	9.9
認定 区分別	認定を受けていない人	231	3.5	10.0	16.0	7.4	29.4	15.2	2.2	16.9
	総合事業対象者	17	5.9	17.6	17.6	11.8	29.4	5.9	0.0	5.9
	要支援1	97	1.0	2.1	22.7	8.2	23.7	14.4	1.0	6.2
	要支援2	113	0.9	8.0	25.7	13.3	27.4	20.4	0.0	5.3

【その他回答（抜粋）】

- ・突発性血小板紫斑症 ・変形性股関節症 ・全身性エリテマトーデス ・頸椎症性神経根症
- ・緑内障 ・イレウス ・肝疾患 ・統合失調症 ・狭心症 ・すべり症 ・脊柱管狭窄症
- ・海綿状血管腫 ・高血圧 ・変形性関節炎 ・難聴 ・クローン病 ・脊椎分離症
- ・進行性核上性マヒ ・てんかん ・右変形性肩関節症 ・頸椎損傷 ・交通事故

(5) 誰の介護・介助を受けているか

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問4 <問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方におたずねします>

主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

普段の生活で「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と答えた人に主な介護者をたずねたところ、「配偶者」が35.0%と最も高く、次いで「娘」が30.4%、「介護サービスのヘルパー」が25.8%、「息子」が25.3%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者」、「息子」、「娘」が増加しています。

性別により10ポイント以上の大きな差があるのは、男性が高い「配偶者」と、女性が高い「娘」となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「娘」が上昇し、90歳以上になると37.8%となっています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は「配偶者」が、総合事業対象者は「娘」が、要支援認定者は「介護サービスのヘルパー」が高くなっています。

		回答件数 (n)	配偶者	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無回 答
全体		217	35.0	25.3	30.4	8.3	2.3	1.8	25.8	8.3	6.5
前回調査		162	29.0	22.2	27.8	11.7	3.7	2.5	32.7	8.0	7.4
性別	男性	82	47.6	20.7	15.9	4.9	1.2	0.0	29.3	7.3	8.5
	女性	135	27.4	28.1	39.3	10.4	3.0	3.0	23.7	8.9	5.2
年齢別	75歳未満	14	50.0	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	35.7	7.1	7.1
	75～79歳	62	51.6	16.1	25.8	4.8	0.0	0.0	16.1	8.1	6.5
	80～84歳	61	31.1	24.6	32.8	6.6	3.3	0.0	31.1	8.2	9.8
	85～89歳	43	37.2	34.9	34.9	7.0	4.7	2.3	20.9	9.3	4.7
	90歳以上	37	5.4	32.4	37.8	21.6	2.7	5.4	35.1	8.1	2.7
認定 区分別	認定を受けていない人	70	51.4	32.9	32.9	4.3	2.9	1.4	4.3	8.6	4.3
	総合事業対象者	8	25.0	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5
	要支援1	60	31.7	21.7	20.0	10.0	1.7	1.7	28.3	8.3	10.0
	要支援2	79	24.1	22.8	34.2	10.1	2.5	2.5	41.8	8.9	5.1

【その他回答(抜粋)】

・姉 ・姪、甥 ・孫の妻 ・ケアマネジャー

(6) 経済状況

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つだけ)

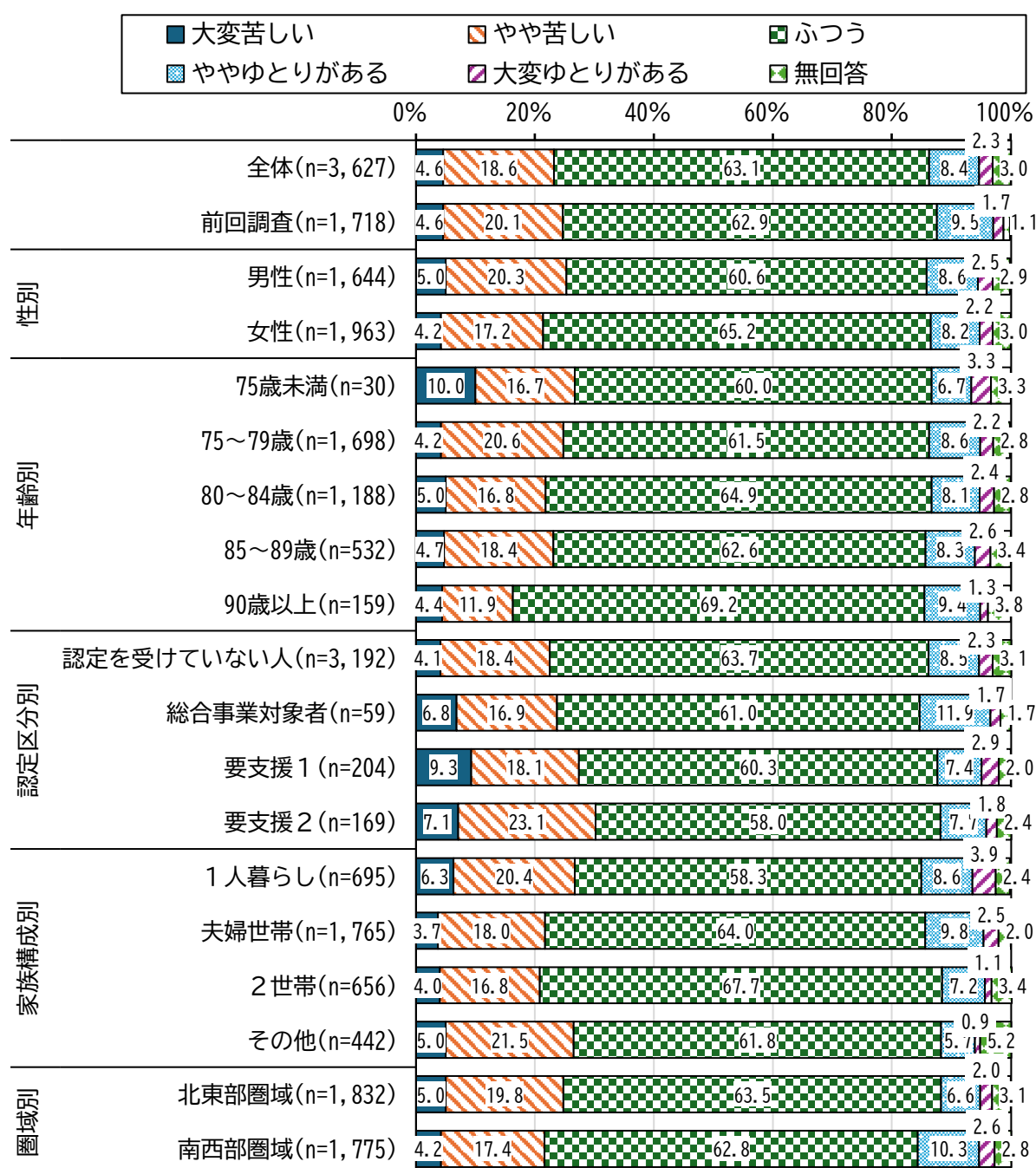
現在の経済状況をたずねたところ、「ふつう」が 63.1%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 18.6%などの順となっています。「やや苦しい」と「大変苦しい」(4.6%)の合計<苦しい>は 23.2%、「ややゆとりがある」(8.4%)と「大変ゆとりがある」(2.3%)の合計<ゆとりがある>は 10.7%です。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢別にみると、75～79歳で<苦しい>が 24.8%と、75歳以上の他の年齢に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい<苦しい>は上昇傾向にあり、要支援2は 30%以上を占めています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べ<苦しい>が 3.2ポイント高くなっています。



(7) 住まい

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

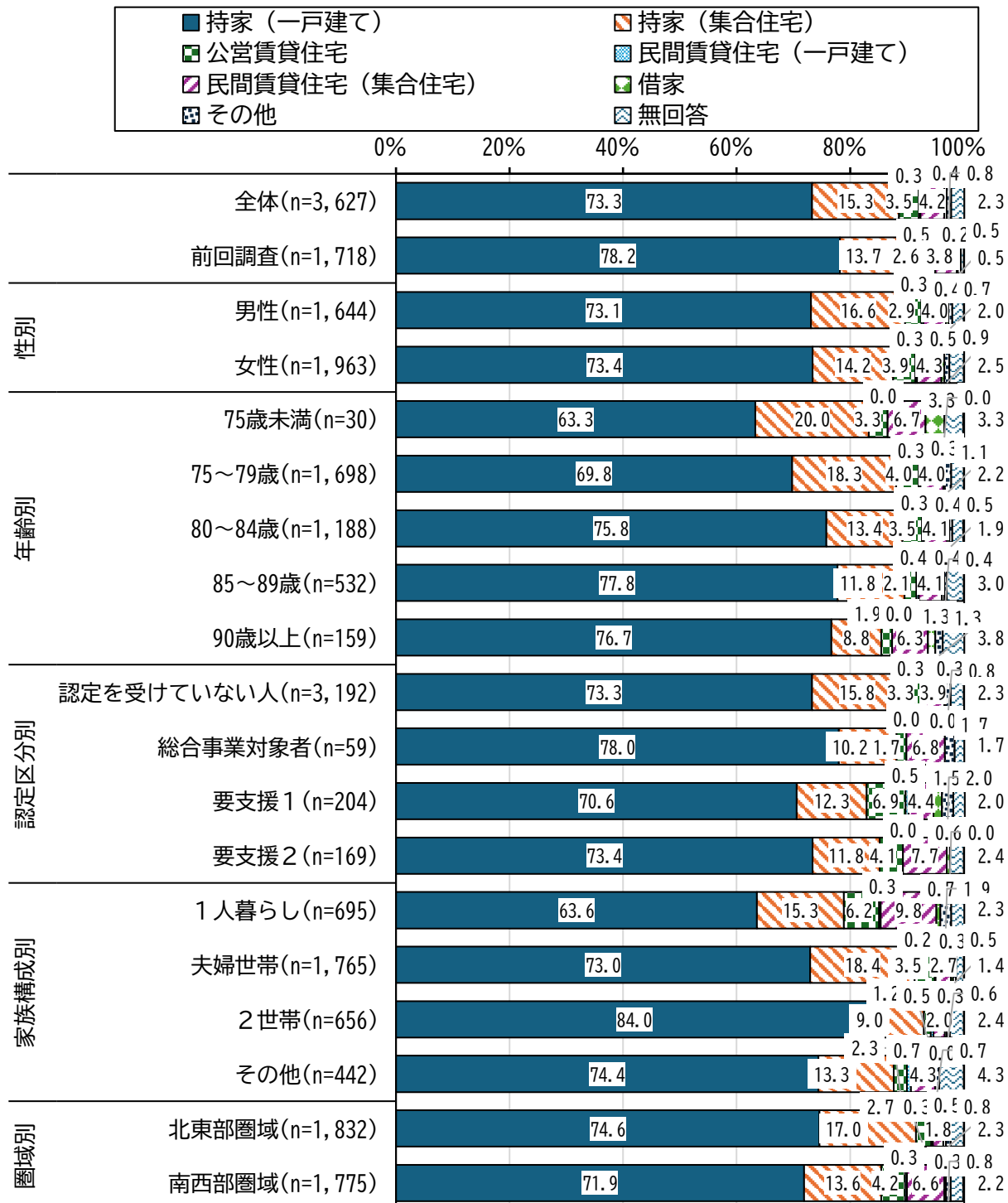
問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つだけ)

現在の住まいをたずねたところ、「持家（一戸建て）」が73.3%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が15.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が4.2%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「持家（一戸建て）」が4.9ポイント減少しています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は「持家（集合住宅）」、総合事業対象者は「持家（一戸建て）」が比較的高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らし世帯は「持家（一戸建て）」が他に比べて低く、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が高くなっています。



【その他回答（抜粋）】

・ ケアハウス ・ 会社の寮 ・ 子や親族の持ち家

からだを動かすことについておたずねします。

(1) 階段

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

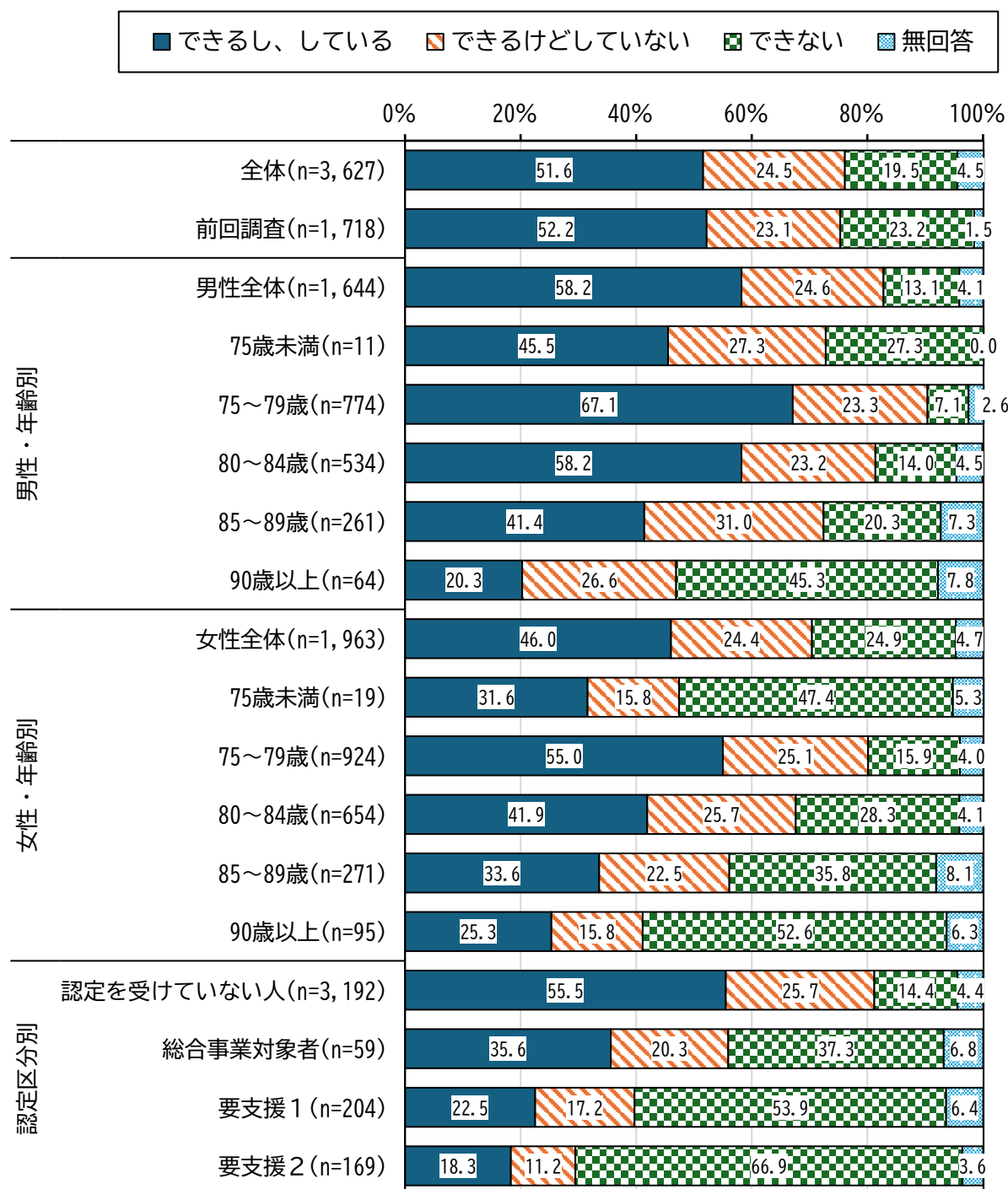
問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つだけ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が 51.6% となっています。

前回調査と比較すると、「できない」が 3.7 ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、女性は男性に比べて「できない」が 11.8 ポイント高くなっています。また、75 歳以上では「できない」は男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「できない」は上昇し、要支援2は 66.9% となっています。



(2) 椅子からの立ち上がり

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

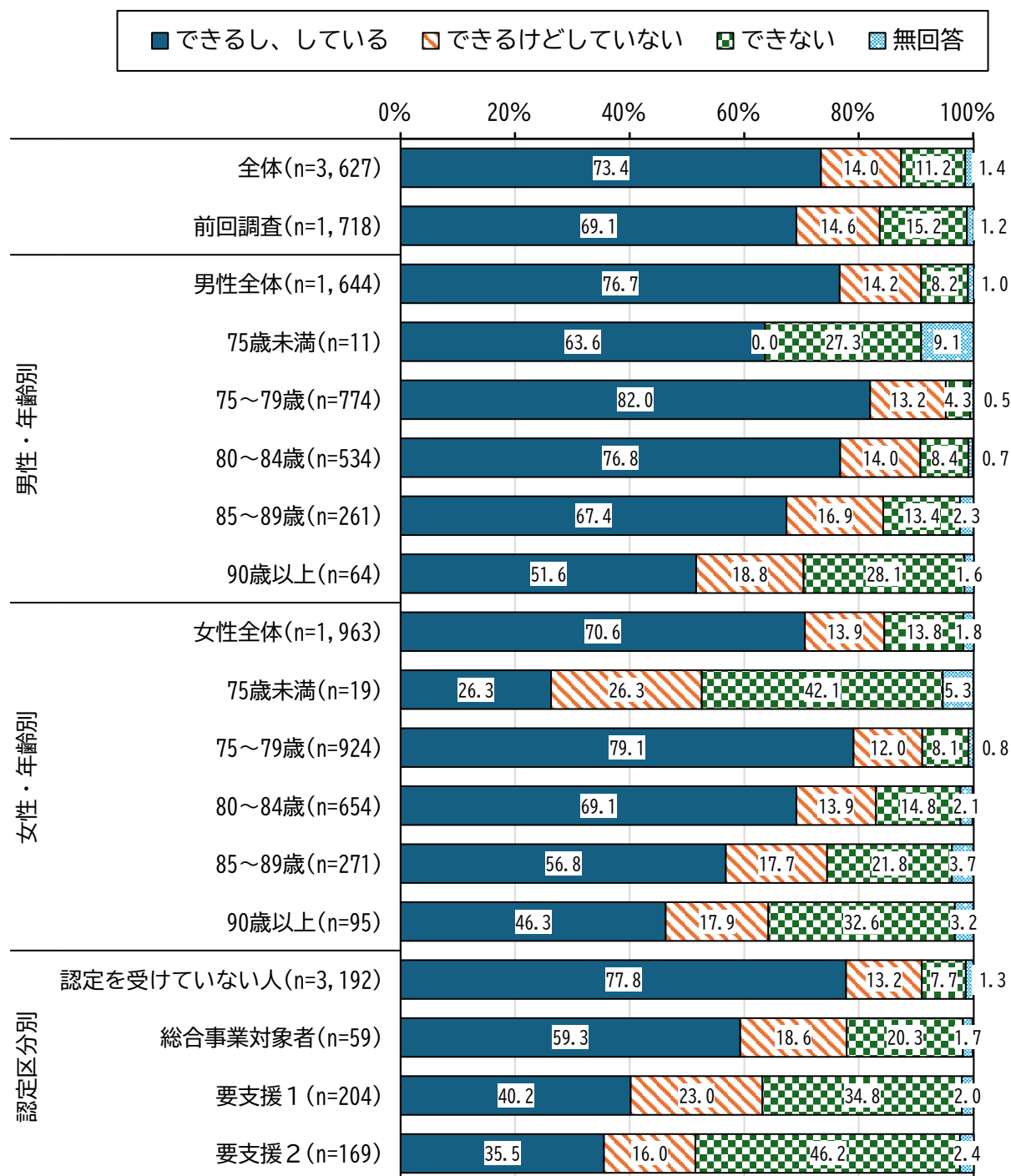
問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つだけ)

椅子から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が 73.4% となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が 4.3 ポイント増加しています。

性・年齢別にみると、女性は男性に比べて「できない」が 5.6 ポイント高くなっています。また、75 歳以上では「できない」は男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「できない」が上昇し、要支援2は 46.2% となっています。



(3) 歩行

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

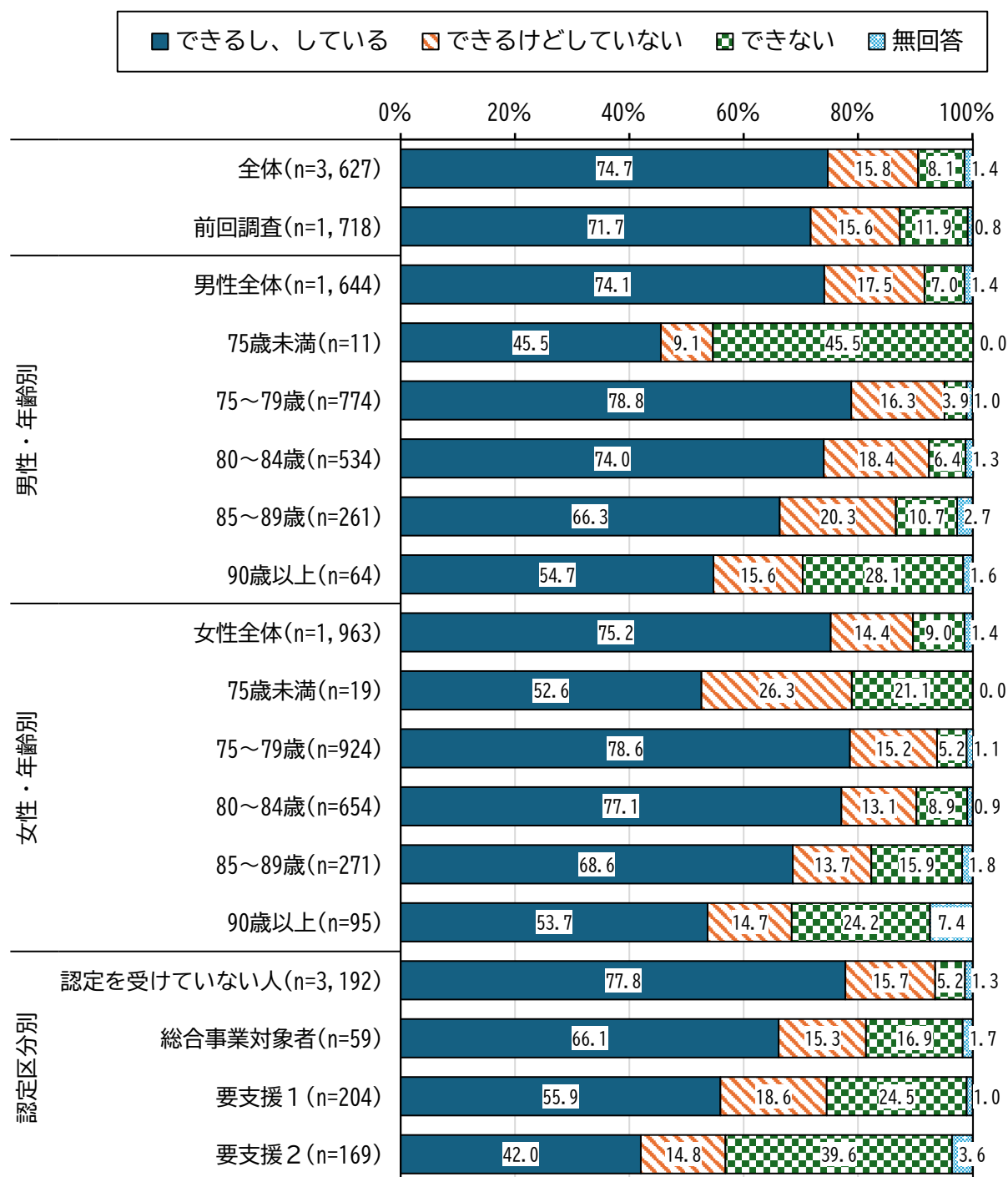
問9 15分位続けて歩いていますか。(○は1つだけ)

15分くらい続けて歩いているかについては、「できるし、している」が74.7%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が3.0ポイント増加しています。

性・年齢別にみると、女性は男性に比べて「できない」が2.0ポイント高くなっています。また、75歳以上では「できない」は男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「できない」が上昇し、要支援2は39.6%となっています。



(4) 転倒

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

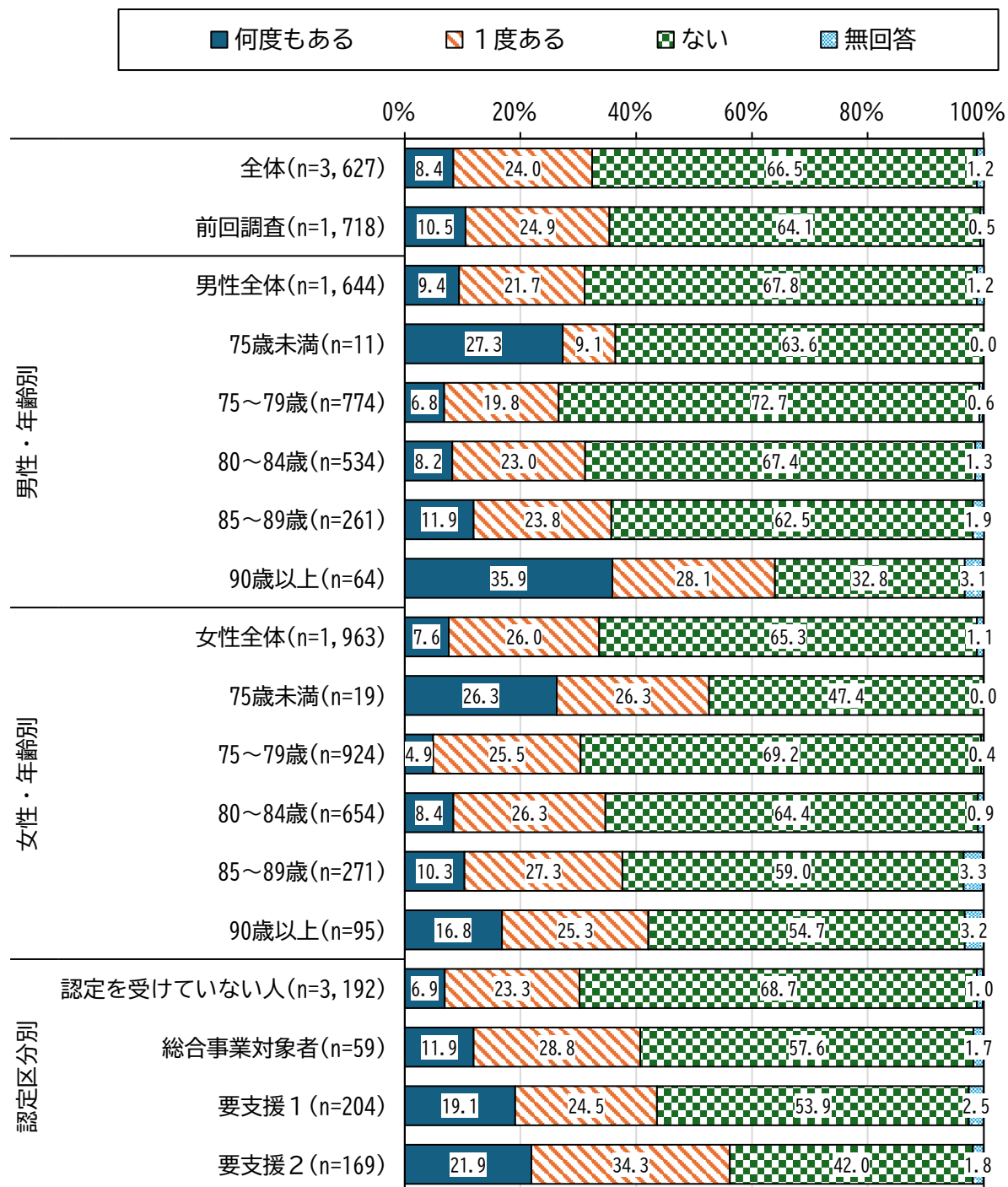
問 10 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(○は 1 つだけ)

過去 1 年間の転倒経験については、「何度もある」(8.4%)と「1 度ある」(24.0%)を合計した＜ある＞は 32.4%となっています。

前回調査と比較すると、＜ある＞が 3.0 ポイント減少しています。

＜ある＞を性・年齢別にみると、女性は男性に比べて 2.5 ポイント高くなっています。また、男女ともに 75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい上昇し、特に男性の 90 歳以上は 64.0%となっています。

認定区分別にみると、＜ある＞は重度化にしたがい上昇傾向にあり、要支援 2 は 56.2%となっています。



(5) 転倒に対する不安

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

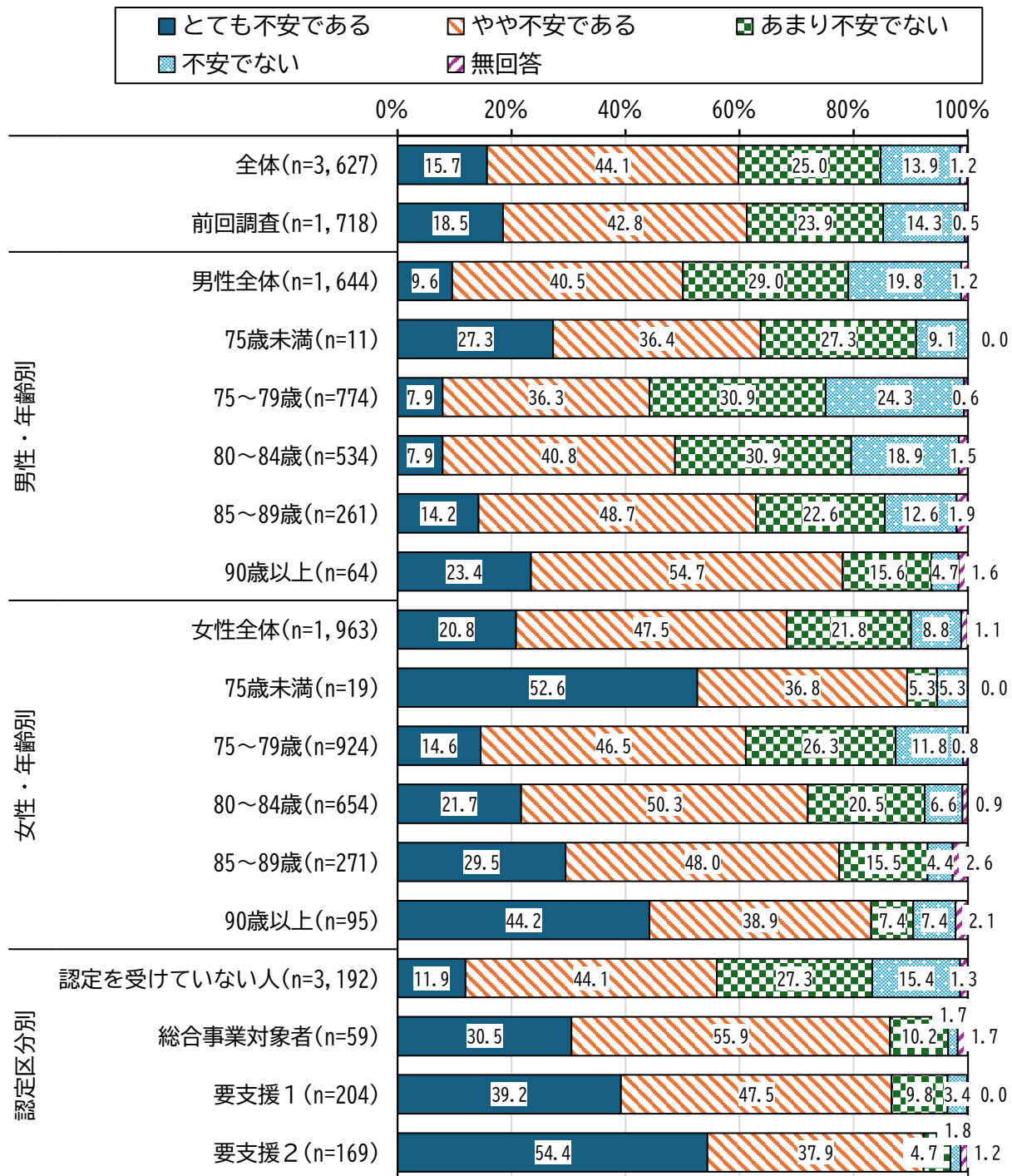
問 11 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つだけ)

転倒に対する不安については、「とても不安である」(15.7%)と「やや不安である」(44.1%)を合計した<不安>が59.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男女ともに75歳以上では年齢が高くなるにしたがい<不安>が上昇し、特に女性の90歳以上は83.1%となっています。

認定区分別にみると、<不安>は重度化にしたがい上昇傾向にあり、要支援2は92.3%となっています。



(6) 外出頻度

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 12 週に1回以上は外出していますか。(○は1つだけ)

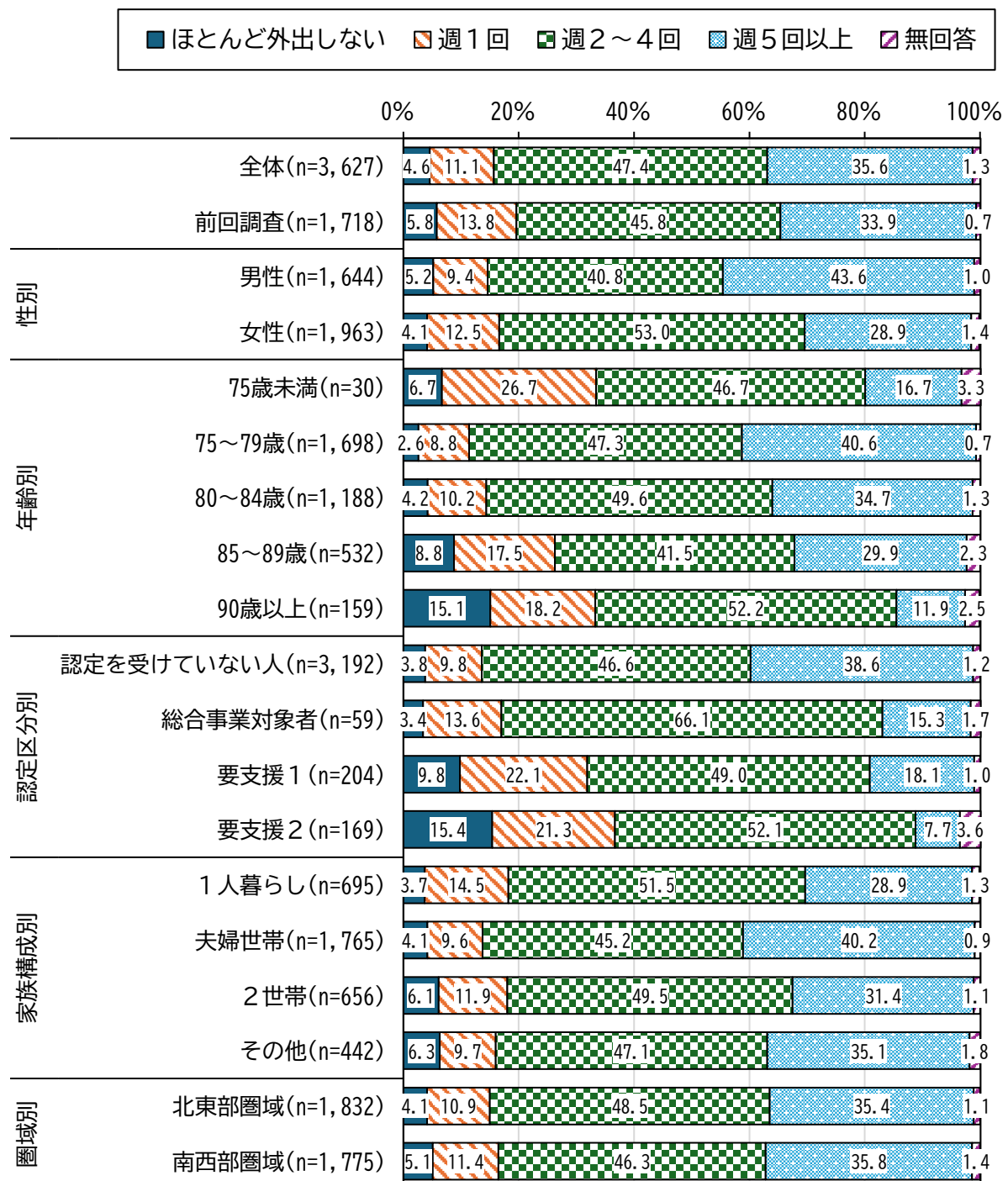
外出頻度をたずねたところ、「週2～4回」が47.4%と最も高く、次いで「週5回以上」が35.6%などの順となっています。その一方で、「ほとんど外出しない」が4.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性別にみると、女性は男性に比べ「週5回以上」が14.7ポイント低く、外出頻度が低くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「ほとんど外出しない」が上昇し、「週5回以上」が低下しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい外出頻度が低下しており、特に要支援2は「ほとんどしない」が15.4%となっています。



(7) 外出回数の変化

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)

外出回数が減っているかたずねたところ、「とても減っている」(3.9%)と「減っている」(24.0%)を合計した<減っている>は27.9%となっています。

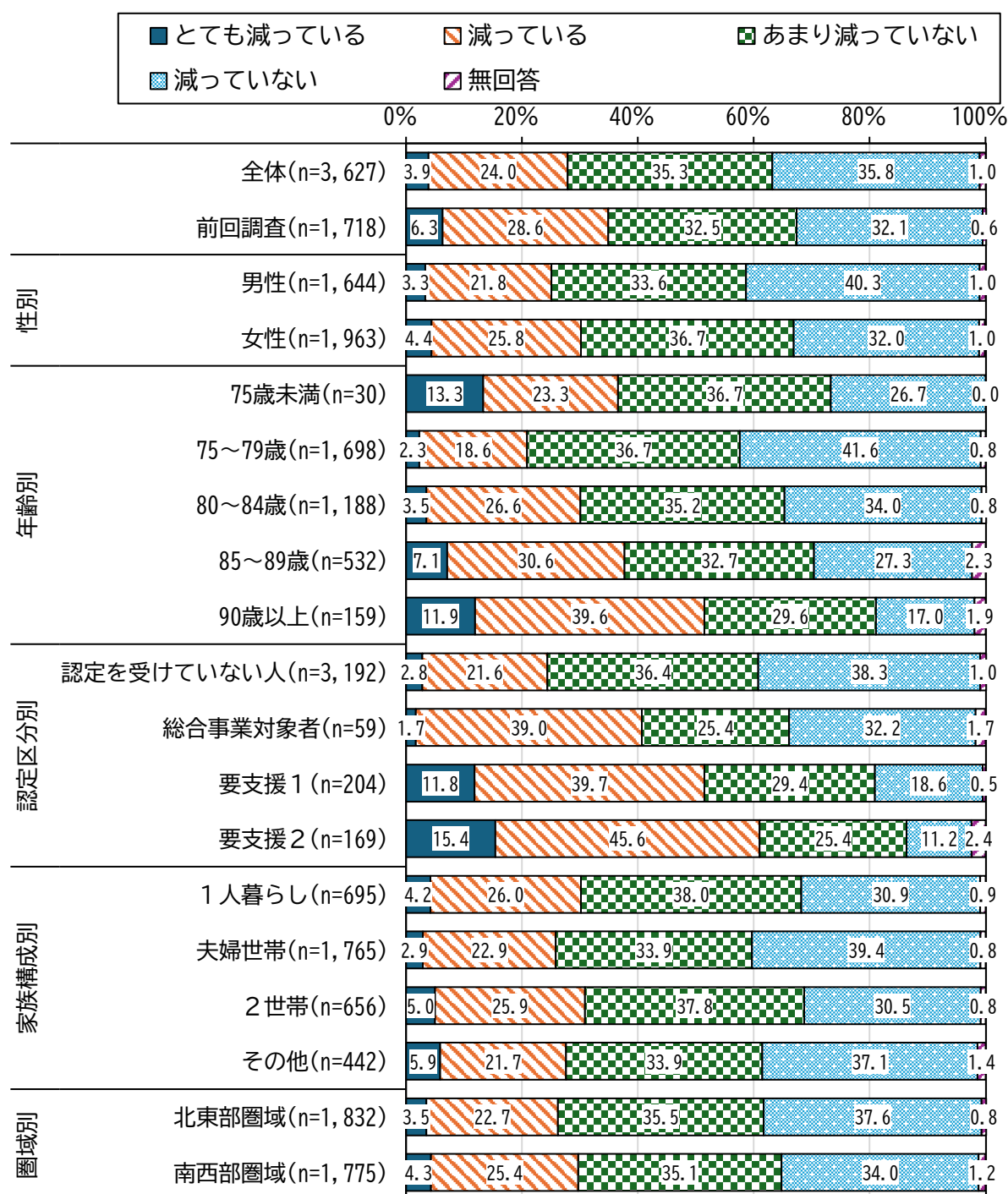
前回調査と比較すると、<減っている>が7.0ポイント減少しています。

<減っている>を性別にみると、女性は男性に比べ5.1ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい上昇し、90歳以上は51.5%となっています。

また、認定区分別にみると、総合事業対象者及び要支援認定者は認定を受けていない人に比べ高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦世帯は比較的低くなっています。



(8) 外出控え

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 14 外出を控えていますか。(○は1つだけ)

外出を控えている(「はい」)は19.7%となっています。

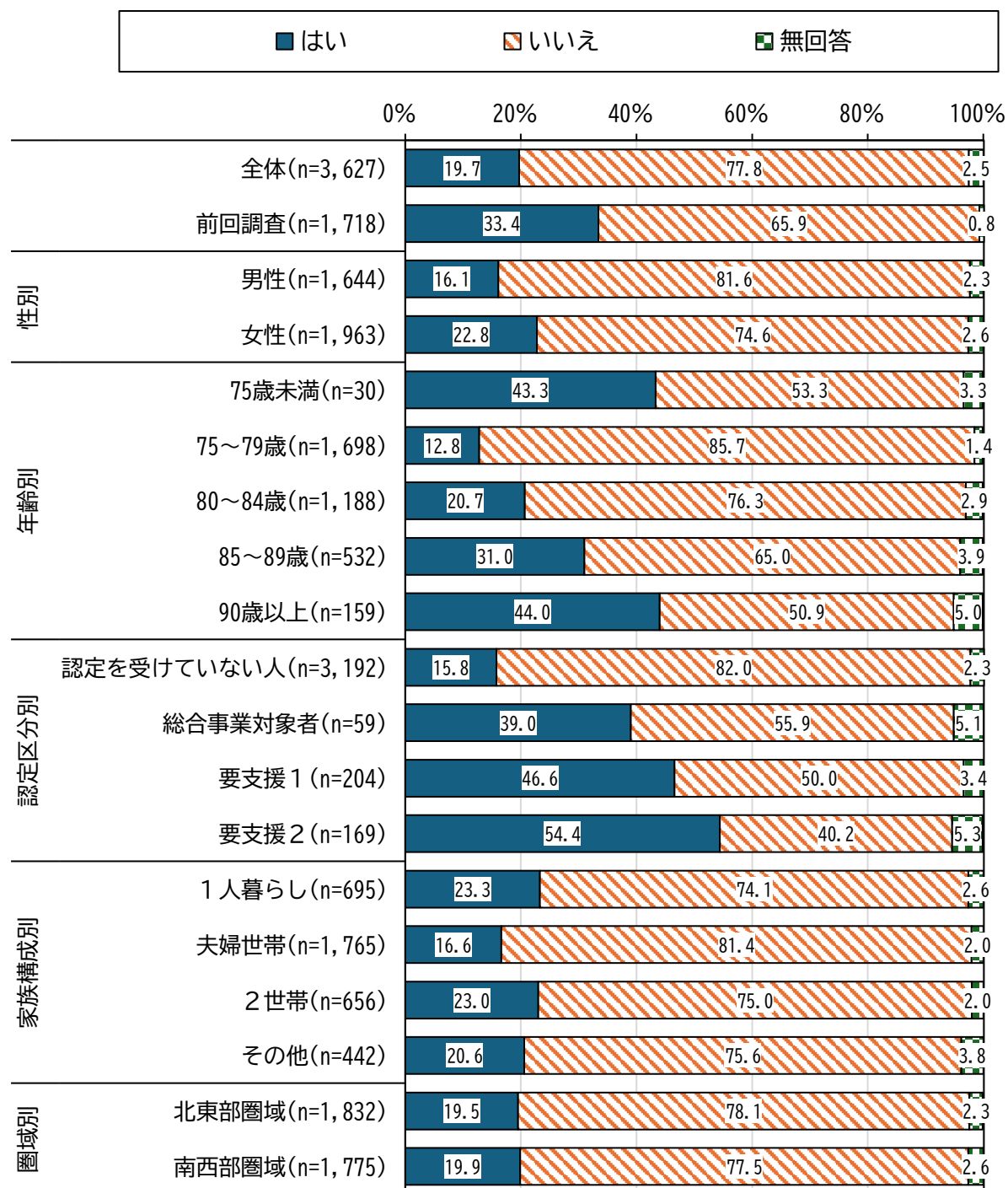
前回調査と比較すると、「はい」が13.7ポイント減少しています。

「はい」を性別にみると、女性は男性に比べて6.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい上昇し、90歳以上は44.0%となっています。

また、認定区分別にみると、重度化にしたがい上昇傾向にあり、要支援2は54.4%となっています。

家族構成別にみると、夫婦世帯は比較的低くなっています。



(9) 外出を控えている理由

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 15 <問 14 で「1. はい」と答えた方におたずねします>

外出を控えている理由は、次のどれですか。（○はいくつでも）

外出を控えている人にその理由をたずねたところ「足腰などの痛み」が 53.5%と最も高く、次いで「交通手段がない」（24.6%）、「トイレの心配（失禁など）」（18.4%）などの順となっています。

前回調査と比較すると、「足腰などの痛み」が 9.3 ポイント増加しています。

性別にみると、女性は男性に比べ「足腰などの痛み」が 16.2 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「交通手段がない」が上昇します。また、90 歳以上は「足腰などの痛み」が 65.7%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「足腰などの痛み」が上昇しています。

		回答件数 (n)	病気	(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	(聞こえの障害 耳の問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		716	14.7	4.1	53.5	18.4	9.6	7.3	16.1	7.1	24.6	13.3	2.0
前回調査		573	11.3	3.5	44.2	14.1	8.2	5.6	16.9	4.2	18.5	31.8	4.4
性別	男性	264	18.9	5.3	43.2	22.3	9.8	6.8	19.7	9.1	18.9	12.5	1.1
	女性	448	12.3	3.3	59.4	16.3	9.2	7.1	14.1	6.0	27.9	13.8	2.5
年齢別	75歳未満	13	30.8	38.5	53.8	23.1	0.0	0.0	23.1	0.0	30.8	7.7	0.0
	75～79歳	218	18.3	6.0	46.8	21.6	6.4	5.5	16.5	10.1	14.7	15.1	2.3
	80～84歳	246	12.6	1.2	53.3	15.0	8.5	7.7	20.7	6.5	26.4	11.0	2.0
	85～89歳	165	13.3	3.0	57.0	18.8	11.5	7.9	10.9	6.1	29.7	15.8	2.4
	90歳以上	70	11.4	4.3	65.7	20.0	18.6	8.6	10.0	4.3	35.7	11.4	0.0
認定区分別	認定を受けていない人	504	12.9	2.6	47.4	16.3	10.1	7.3	17.3	7.5	21.4	14.9	2.4
	総合事業対象者	23	8.7	0.0	52.2	26.1	8.7	13.0	8.7	8.7	34.8	8.7	4.3
	要支援1	95	18.9	11.6	67.4	21.1	7.4	6.3	15.8	9.5	35.8	6.3	1.1
	要支援2	92	21.7	5.4	72.8	26.1	9.8	5.4	12.0	2.2	27.2	13.0	0.0
家族構成別	1人暮らし	162	15.4	3.1	57.4	14.8	11.7	6.8	23.5	8.0	35.2	17.3	0.6
	夫婦世帯	293	16.0	5.5	47.8	22.9	8.9	5.8	11.9	6.5	18.8	13.7	2.0
	2世帯	151	13.2	3.3	58.3	18.5	11.9	10.6	16.6	6.0	27.8	7.9	1.3
	その他	91	13.2	2.2	56.0	8.8	5.5	6.6	14.3	8.8	18.7	15.4	4.4
圏域別	北東部圏域	358	13.4	5.0	49.7	17.9	10.1	5.9	14.2	8.4	23.5	14.5	2.8
	南西部圏域	354	16.1	3.1	57.1	19.2	8.8	8.2	18.1	5.9	25.7	12.1	1.1

【その他回答（抜粋）】

- ・感染予防 ・目的がない ・不要な外出は避けたい ・熱中症の心配 ・歩くと疲れる
- ・病気等による歩行困難 ・長時間歩けない ・一人では不安

(10) 移動手段

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 16 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

移動手段をたずねたところ、「徒歩」が 62.7%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が 51.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 28.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、自動車（自分で運転）」が 3.5 ポイント増加しています。

性別にみると、男性は女性に比べて「自動車（自分で運転）」が高く、「自動車（人に乗せてもらう）」が低くなっています。また、女性は男性に比べて「電車（リニモ含む）」、「路線バス」、「タクシー」などの公共交通機関の利用が高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「自動車（自分で運転）」は低くなるものの、90 歳以上においても 10.7%を占めています。また、公共交通機関をみると、年齢が高くなるにしたがい「電車（リニモ含む）」が低下しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「自動車（人に乗せてもらう）」、「病院や施設のバス」、「タクシー」が上昇します。また、認定を受けていない人、総合事業対象者は「徒歩」が、要支援 2 は「自動車（人に乗せてもらう）」が過半数を占めています。

家族構成別にみると、1 人暮らし及びその他の世帯は「路線バス」及び「タクシー」が比較的高くなっています。また、夫婦世帯は「自動車（自分で運転）」が 61.1%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「徒歩」及び「電車（リニモ含む）」が高くなっています。

		回答件数 (n)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車 (リニモ含む)	路線バス
全体		3,627	62.7	17.6	1.2	51.1	28.0	26.9	23.8
前回調査		1,718	62.1	16.9	0.8	47.6	29.7	24.2	24.2
性別	男性	1,644	63.9	20.1	2.0	69.9	15.8	25.8	19.0
	女性	1,963	61.6	15.2	0.6	35.5	38.3	27.8	27.9
年齢別	75歳未満	30	53.3	13.3	3.3	20.0	43.3	30.0	23.3
	75～79歳	1,687	66.0	19.0	1.3	63.8	25.6	29.7	22.3
	80～84歳	1,188	61.8	17.3	1.1	48.8	28.4	25.7	24.2
	85～89歳	532	58.1	14.5	1.5	29.9	29.7	23.7	28.8
	90歳以上	159	51.6	11.9	0.0	10.7	42.8	15.1	21.4
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	64.6	19.1	1.3	55.5	26.1	28.3	23.8
	総合事業対象者	59	71.2	15.3	3.4	35.6	32.2	25.4	22.0
	要支援1	204	48.0	6.9	0.0	19.6	36.3	18.1	27.5
	要支援2	169	41.4	2.4	0.0	12.4	50.9	11.2	20.7
家族 構成別	1人暮らし	695	65.0	17.4	1.3	39.4	19.3	28.2	32.7
	夫婦世帯	1,765	64.4	17.4	1.1	61.1	27.3	27.0	20.7
	2世帯	656	58.7	18.3	1.7	40.2	36.3	26.4	21.6
	その他	442	61.3	17.4	0.7	47.3	31.9	26.7	25.8
圏域別	北東部圏域	1,832	59.6	19.7	1.4	52.6	27.9	22.2	21.2
	南西部圏域	1,775	65.9	15.2	1.1	49.7	28.1	31.7	26.5
		回答件数 (n)	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		3,627	2.4	0.4	0.2	2.5	10.9	2.3	1.7
前回調査		1,718	2.3	0.3	0.7	3.8	15.3	1.5	1.5
性別	男性	1,644	1.6	0.1	0.4	0.9	8.2	1.4	1.8
	女性	1,963	3.1	0.6	0.2	3.9	13.2	3.1	1.7
年齢別	75歳未満	30	6.7	3.3	0.0	10.0	26.7	0.0	3.3
	75～79歳	1,687	1.3	0.2	0.1	0.6	5.6	1.9	1.5
	80～84歳	1,188	2.7	0.3	0.0	2.2	11.3	2.4	1.7
	85～89歳	532	4.7	0.9	0.6	5.8	23.5	2.6	2.6
	90歳以上	159	3.8	0.6	2.5	12.6	20.8	5.0	1.9
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	1.5	0.1	0.1	0.7	8.2	2.0	1.7
	総合事業対象者	59	5.1	0.0	0.0	0.0	23.7	1.7	0.0
	要支援1	204	7.4	1.0	2.0	15.2	25.5	3.4	3.4
	要支援2	169	12.4	4.7	0.6	23.1	40.2	7.1	1.8
家族 構成別	1人暮らし	695	4.3	0.7	0.4	4.9	18.3	2.4	1.7
	夫婦世帯	1,765	1.6	0.2	0.1	0.9	8.4	2.2	1.4
	2世帯	656	1.8	0.8	0.3	3.5	9.6	2.0	2.4
	その他	442	3.2	0.2	0.7	3.6	11.5	3.4	1.1
圏域別	北東部圏域	1,832	1.9	0.3	0.3	2.5	9.9	2.3	1.9
	南西部圏域	1,775	3.0	0.5	0.2	2.6	12.0	2.3	1.6

食えることについておたずねします。

(1) 身長・体重

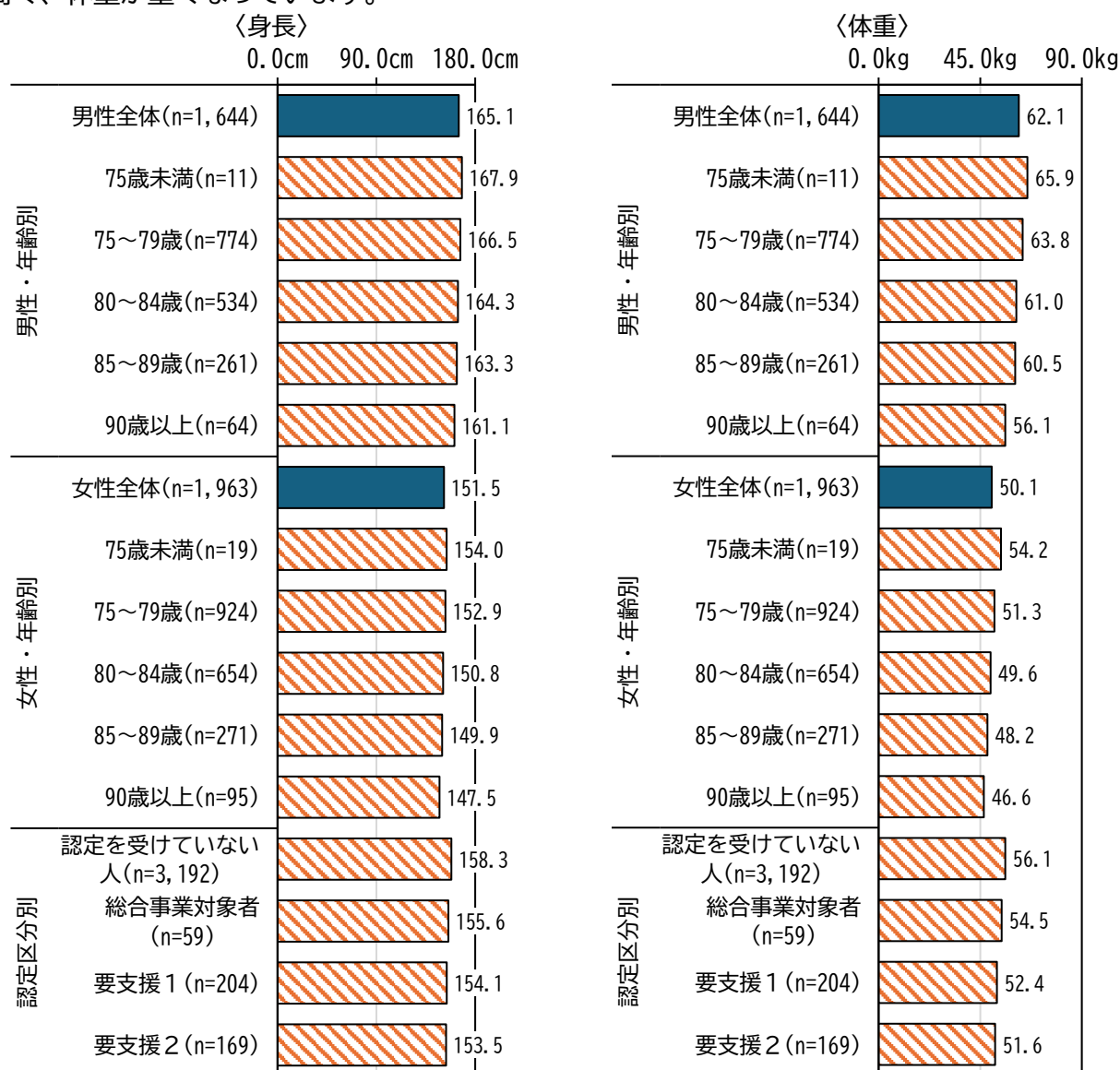
【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 17 身長と体重を教えてください。(数字を記入)

身長の平均は、男性が 165.1cm、女性が 151.5cm、体重の平均は、男性が 62.1kg、女性が 50.1kg です。

男女ともに年齢が高くなるにしたがい身長は低く、体重は軽くなる傾向にあります。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は総合事業対象者及び要支援認定者に比べ身長が高く、体重が重くなっています。



(2) BMI

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 17 身長と体重を教えてください。(数字を記入)

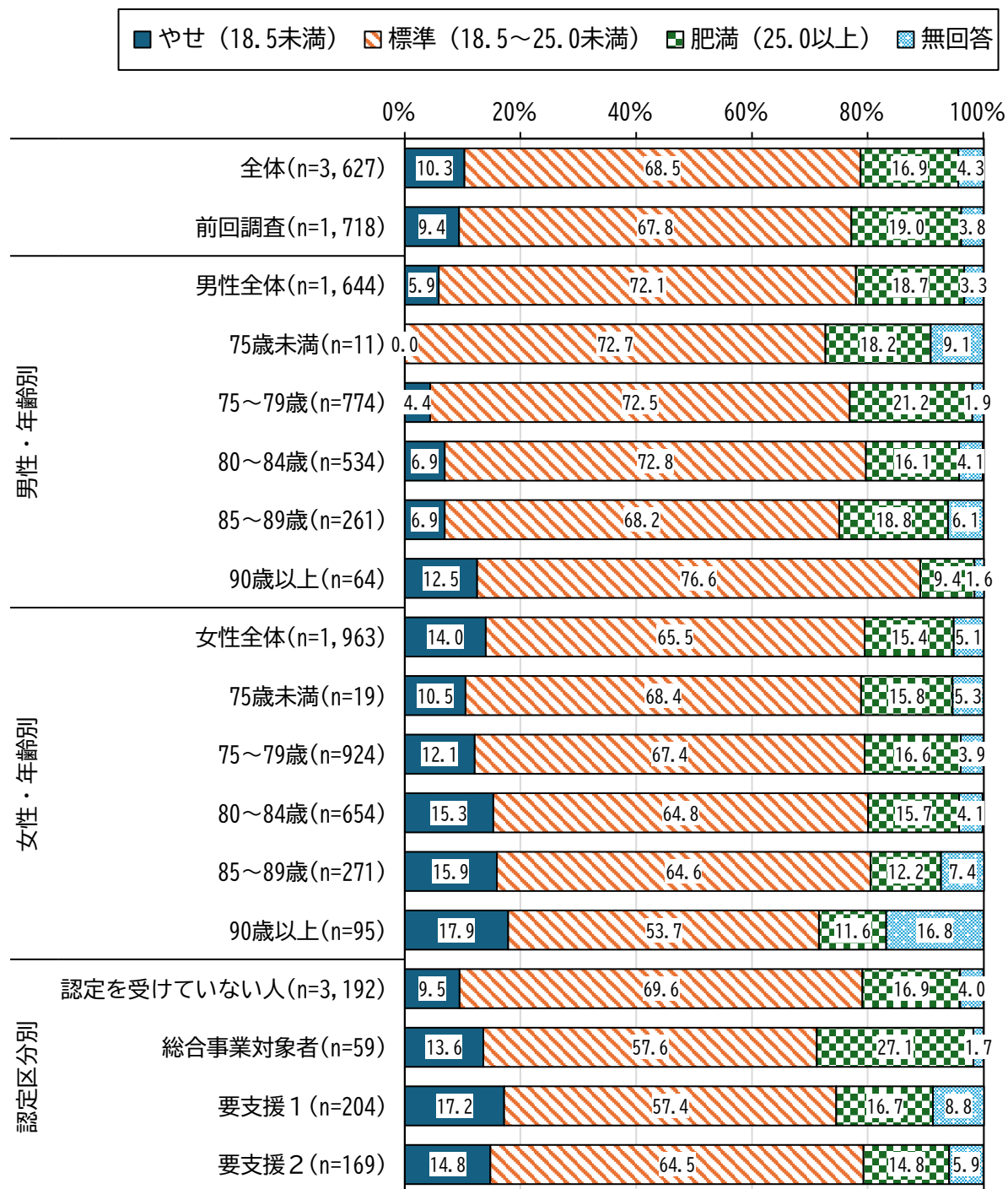
調査対象者に身長と体重をたずね、肥満度の指標のBMIを算出しました。BMIとは、体重(kg)を身長(m)の2乗で割った値で、18.5未満が「やせ」、25.0以上が「肥満」とされます。

「やせ(18.5未満)」に該当するのは、男性が5.9%、女性が14.0%です。「肥満(25.0以上)」に該当するのは、男性が18.7%、女性が15.4%です。

前回調査と比較すると、全体では「肥満(25.0以上)」が2.1ポイント減少しています。

年齢別にみると、男女ともに90歳以上で「やせ(18.5未満)」が高くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は「やせ(18.5未満)」がやや高くなっています。



(3) 固いものの食べにくさ

【一般高齢者】

問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 18 口腔の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

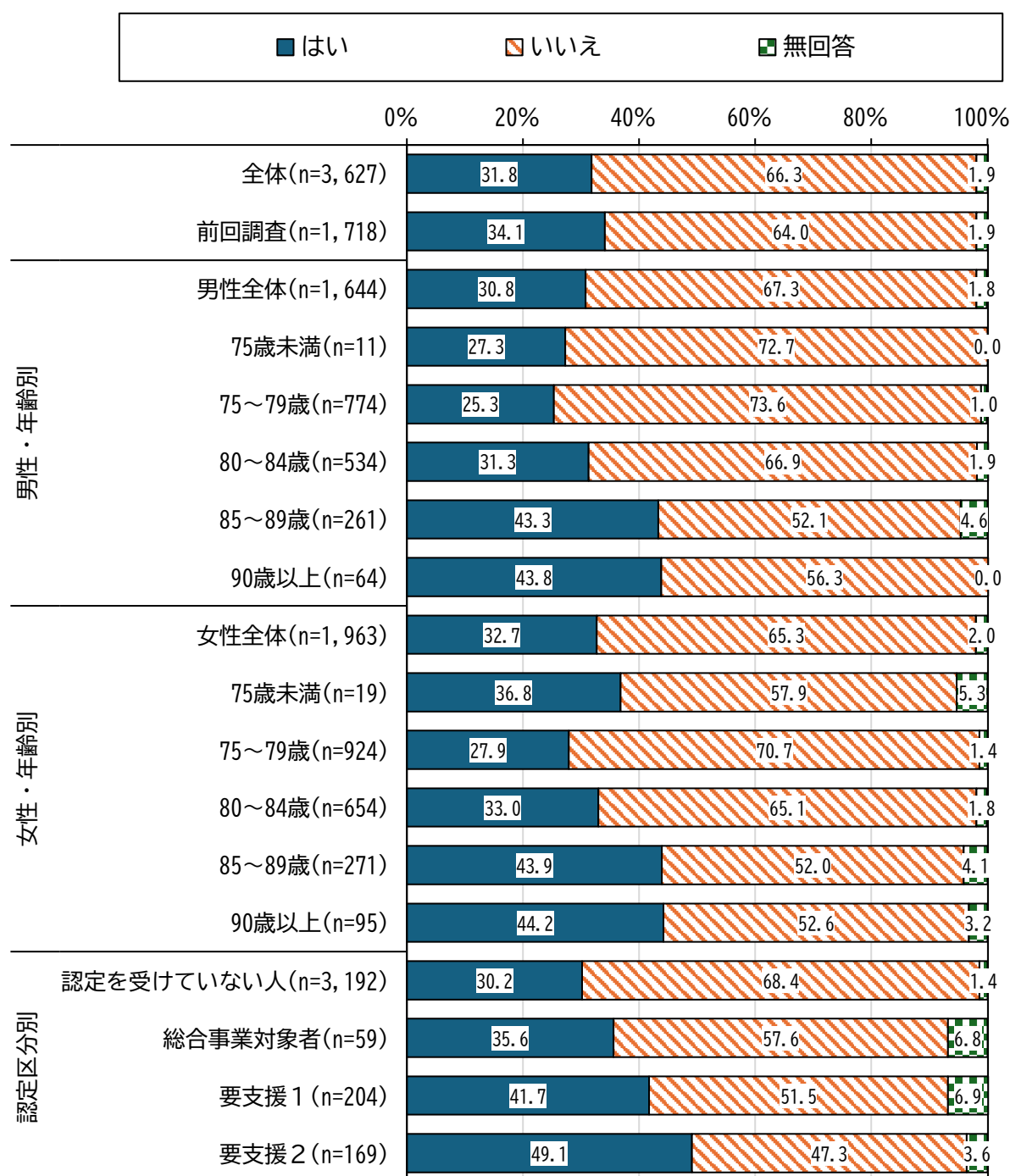
① 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなった(「はい」)のは31.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が2.3ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇しています。また、いずれの年齢層においても女性は男性を上回って推移しています。

認定区分別にみると、総合事業対象者及び要支援認定者は認定を受けていない人に比べ「はい」が高くなっており、特に要支援2は49.1%となっています。



(4) お茶や汁物等でのむせ

【一般高齢者】

問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 18 口腔の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

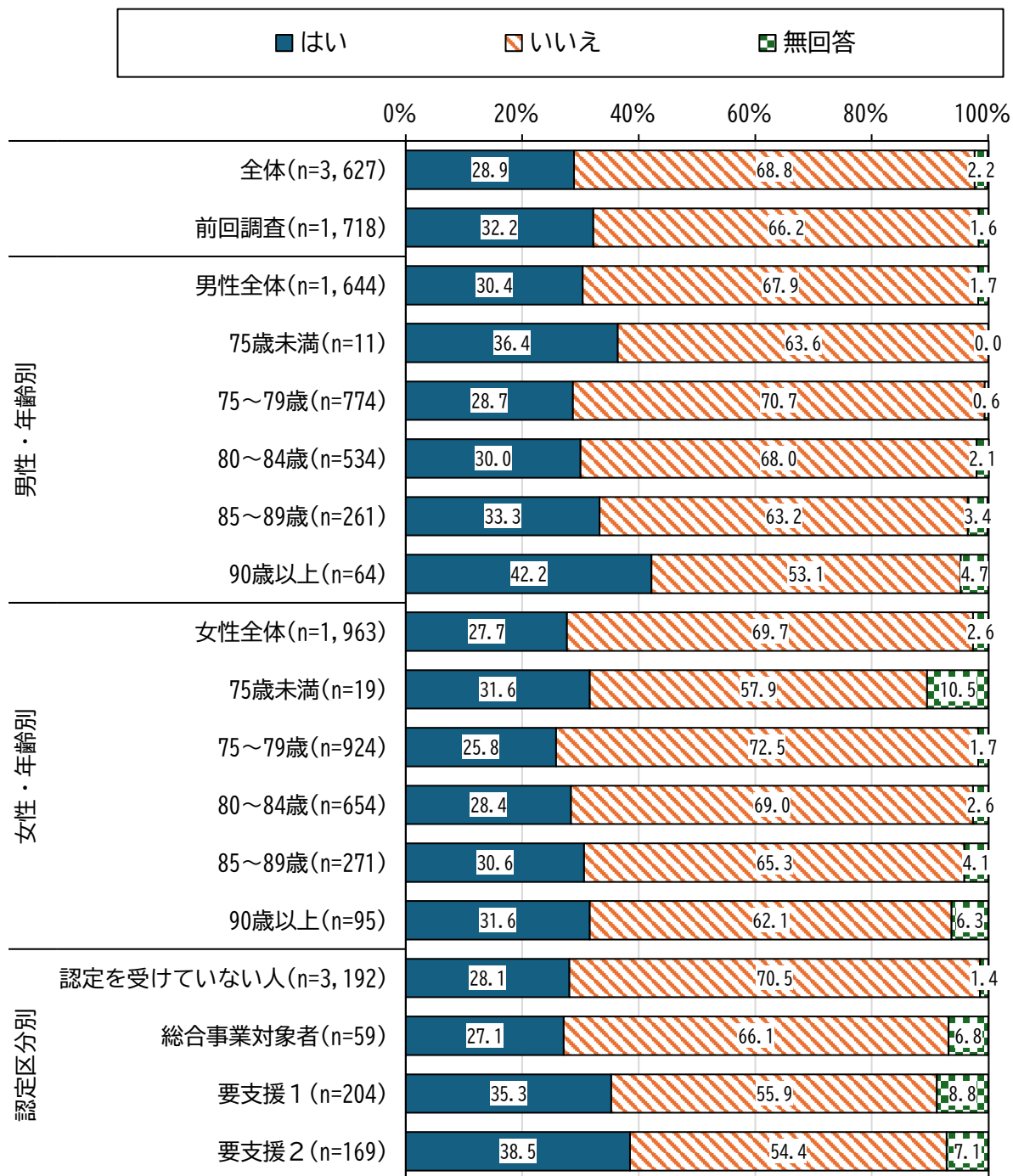
② お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物でむせることがある(「はい」)は28.9%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が3.3ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇しています。

認定区分別にみると、要支援認定者は認定を受けていない人に比べ「はい」が高くなっており、特に要支援2は38.5%となっています。



(5) 口の渇き

【一般高齢者】

問 20 口の渇きが気になりますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 18 口腔の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

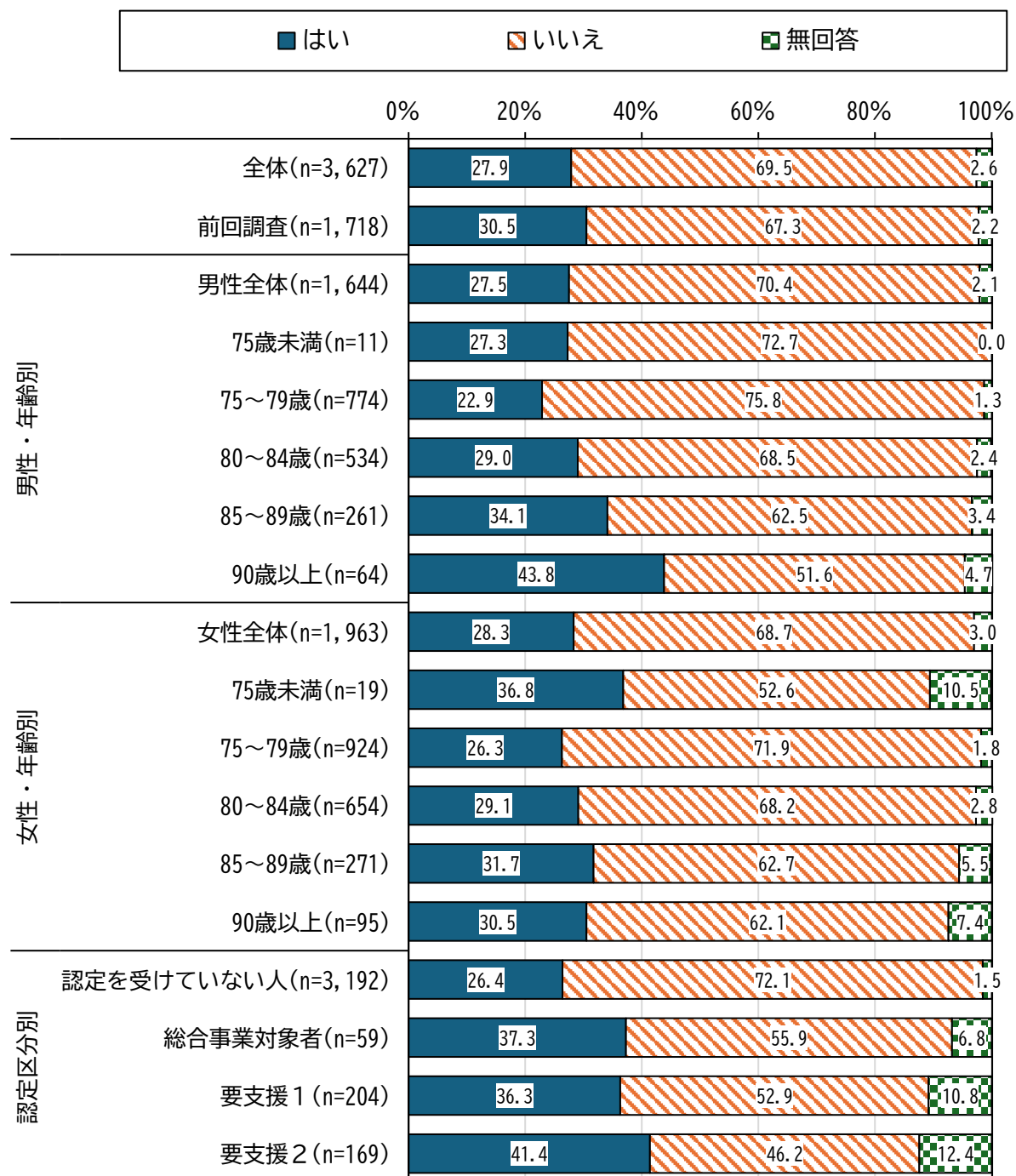
③ 口の渇きが気になりますか

口の渇きが気になる(「はい」)は27.9%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が2.6ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、男性は90歳以上で、女性は85～89歳でやや高くなっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者及び要支援認定者は認定を受けていない人に比べ「はい」が高くなっており、特に要支援2は41.4%となっています。



(6) 歯磨き

【一般高齢者】

問 21 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 18 口腔の状態についておたずねします。（それぞれ○は1つだけ）

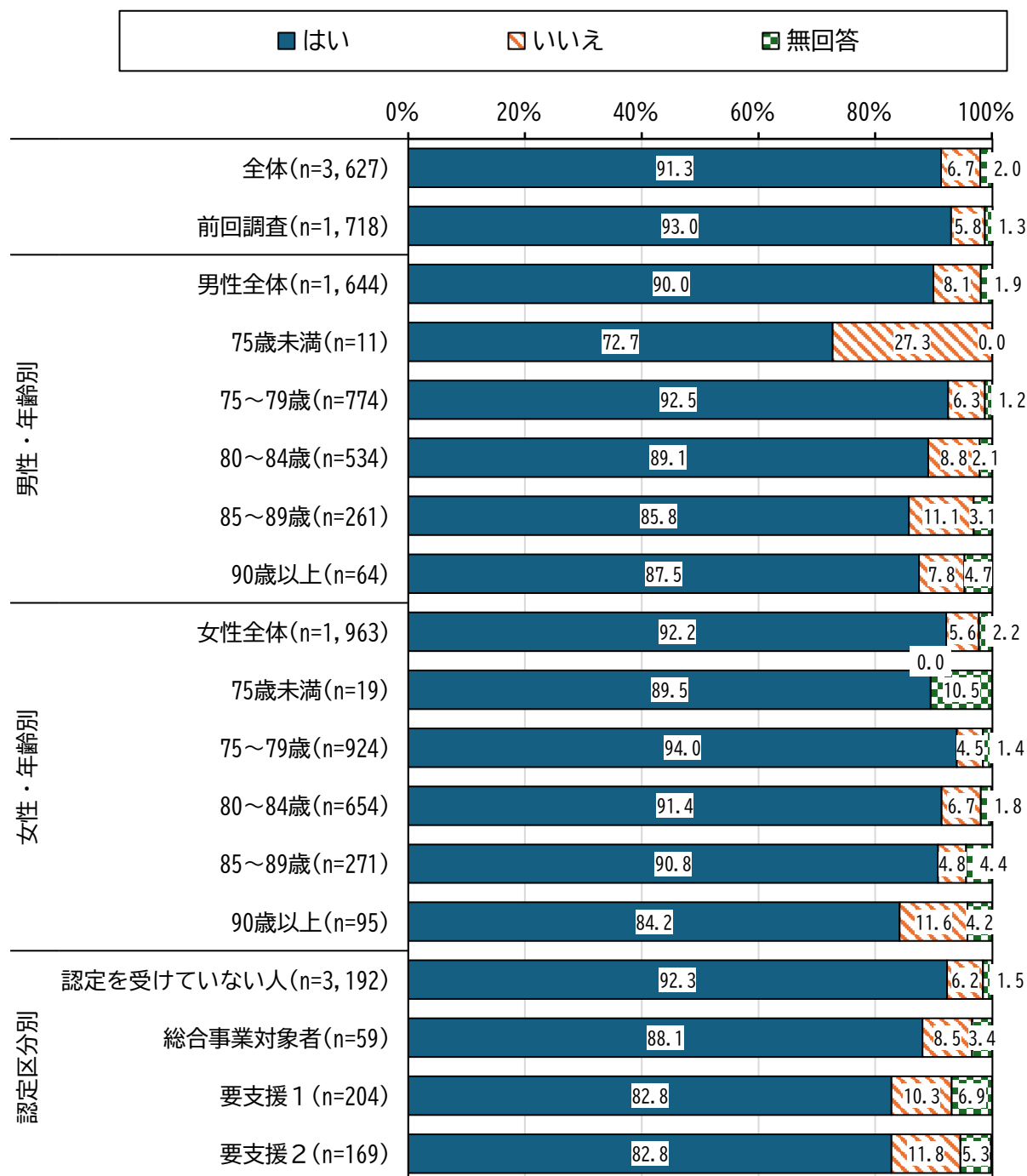
④ 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨きを毎日している（「はい」）のは91.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男性は85～89歳が他の年齢に比べてやや低くなっており、また、女性は年齢が高くなるにしたがい低下しています。

認定区分別にみると、総合事業対象者及び要支援認定者は認定を受けていない人に比べ「はい」が低くなっており、要支援1及び要支援2は82.8%となっています。



(7) 歯の数と入れ歯の状況

【一般高齢者】

問 22 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

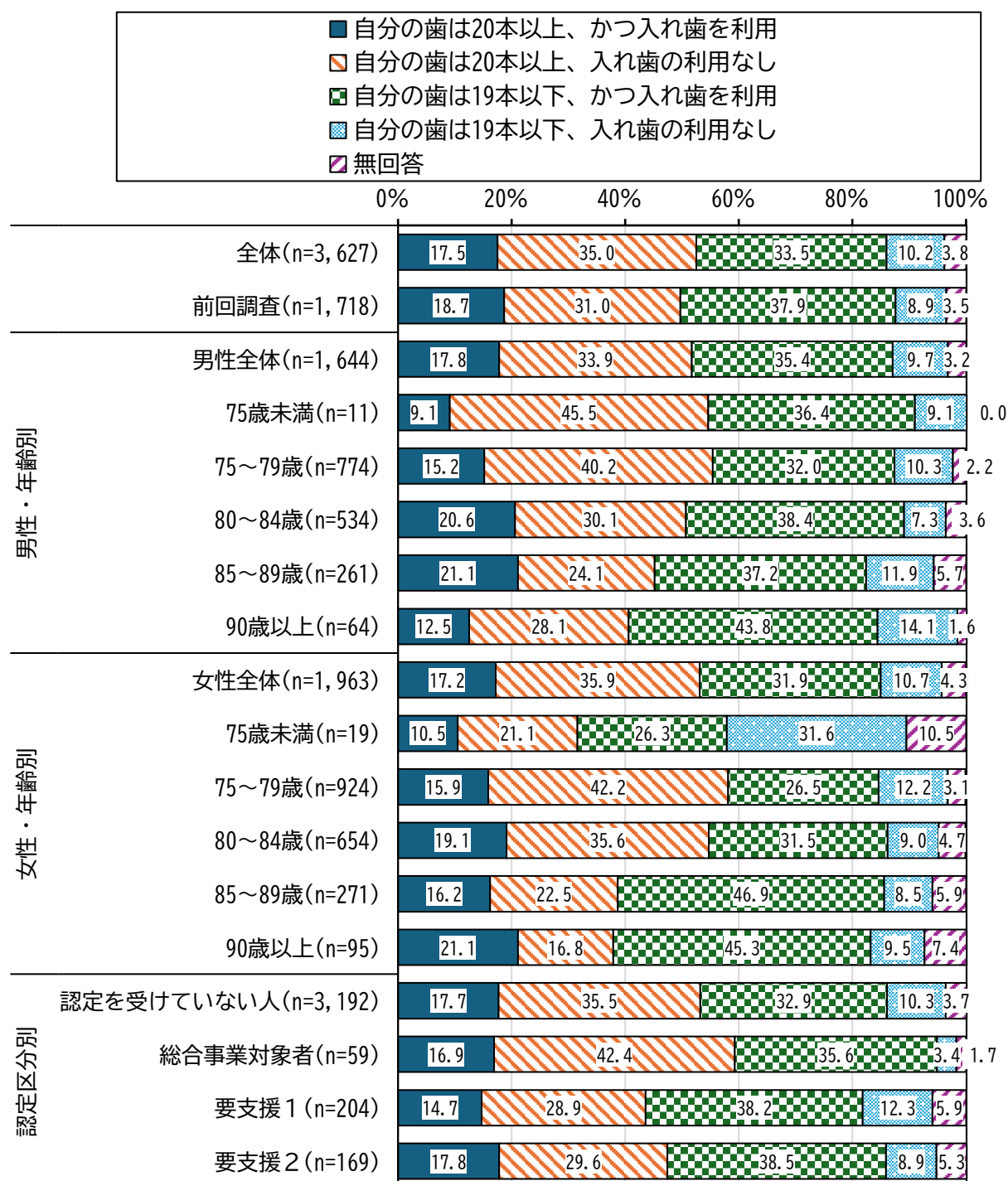
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(○は1つだけ)

歯の数と入れ歯の使用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 35.0%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 33.5%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 4.0 ポイント増加しています。

性・年齢別にみると、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」について、男性は 90 歳以上、女性は 85～89 歳が他の年齢に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が上昇傾向にあり、要支援 2 は 38.5%となっています。



(8) 入れ歯の手入れ

【一般高齢者】

問 23 <問 22 で「1.」または「3.」と答えた方におたずねします>

毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 20 <問 19 で「1.」または「3.」と答えた方におたずねします>

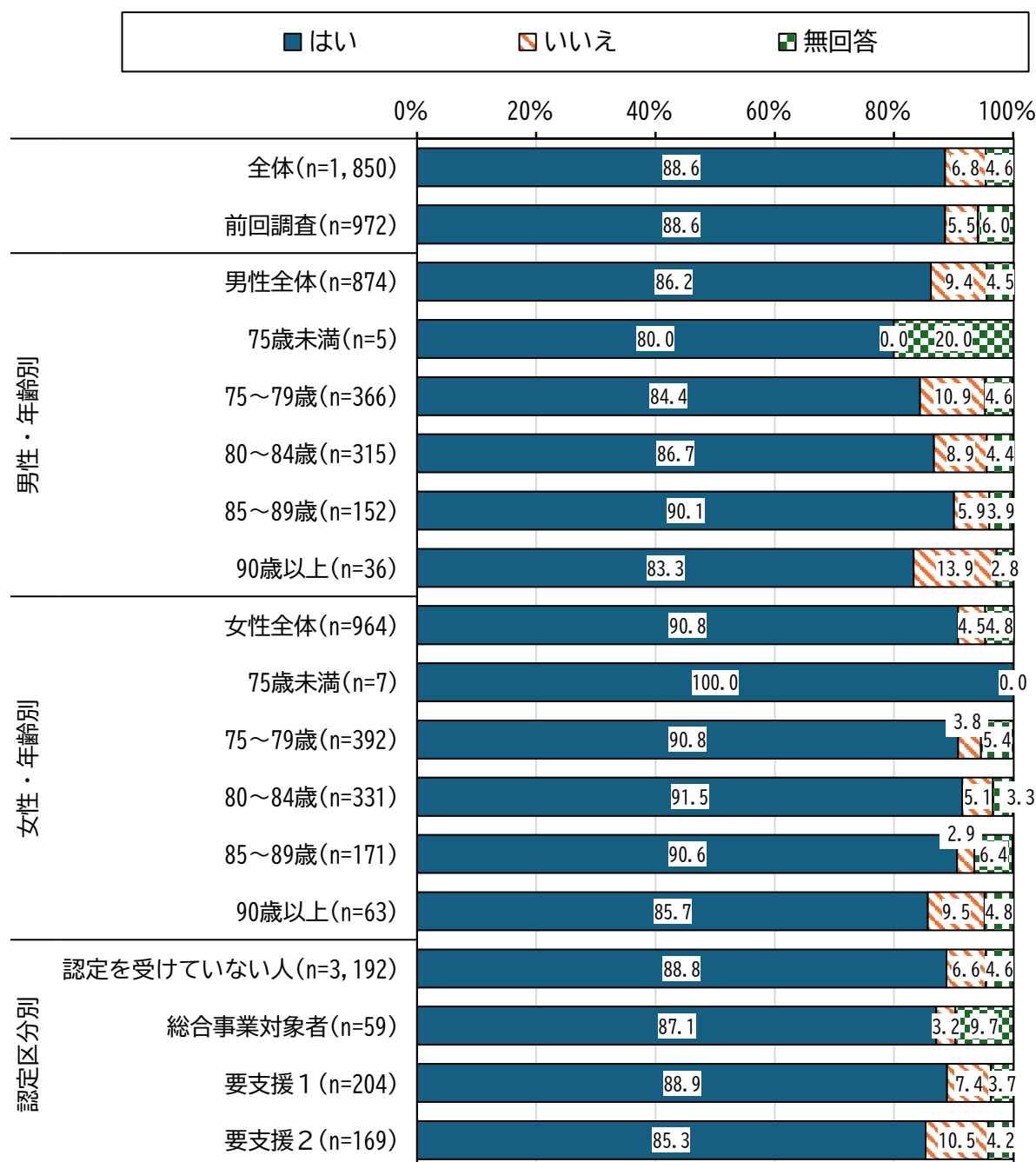
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つだけ)

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかたずねたところ、している(「はい」)は88.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男性は女性に比べ「はい」が低くなっており、特に90歳以上は「いいえ」が13.9%となっています。

認定区分別にみると、要支援2は「いいえ」が10.5%となっています。



(9) 噛み合わせ

【一般高齢者】

問 24 噛み合わせは良いですか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

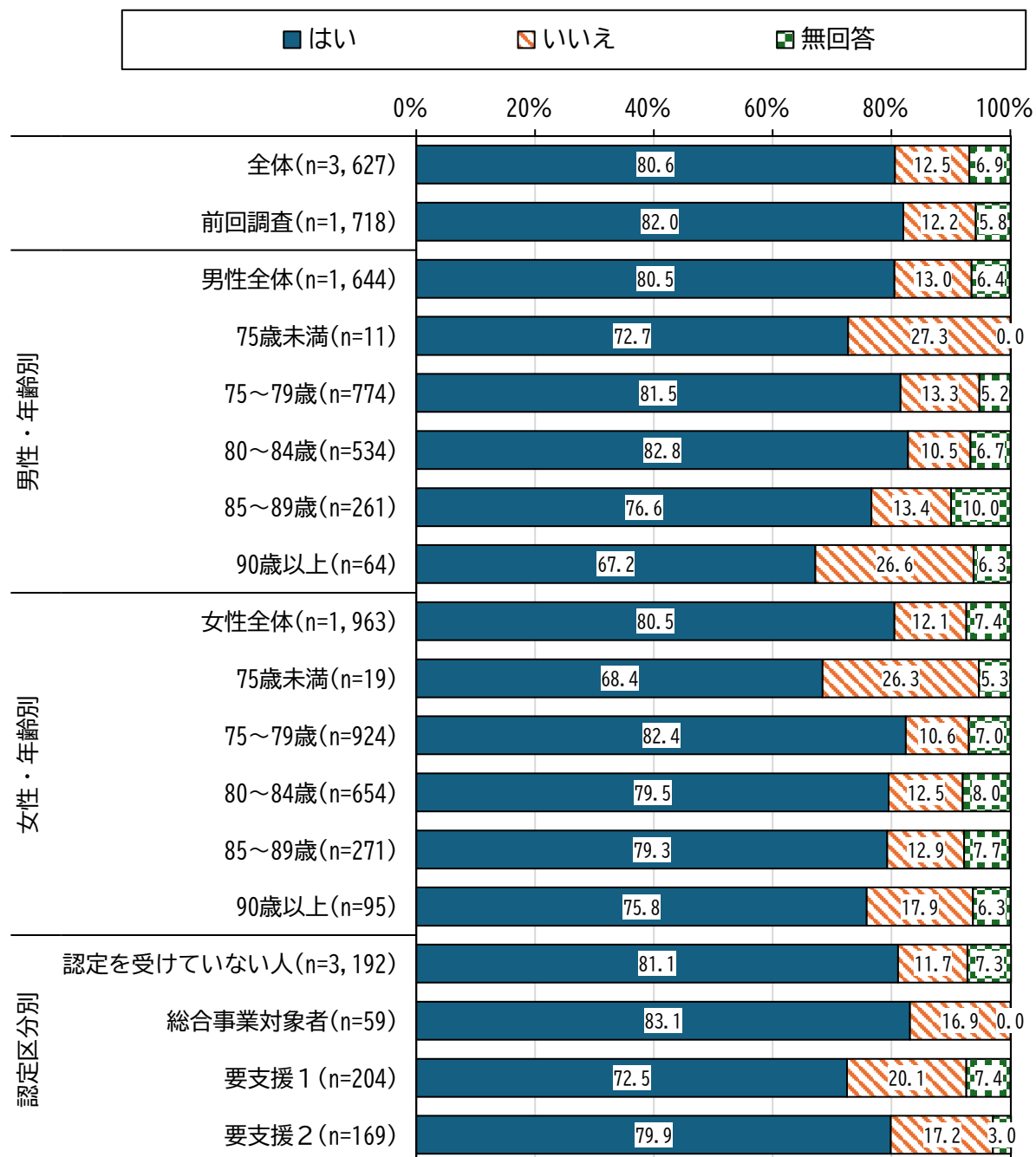
問 21 噛み合わせは良いですか。(○は1つだけ)

噛み合わせが良い(「はい」)は80.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下します。

認定区分別にみると、要支援1は「いいえ」が20.1%と他に比べて高くなっています。



(10) 体重減少

【一般高齢者】

問 25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

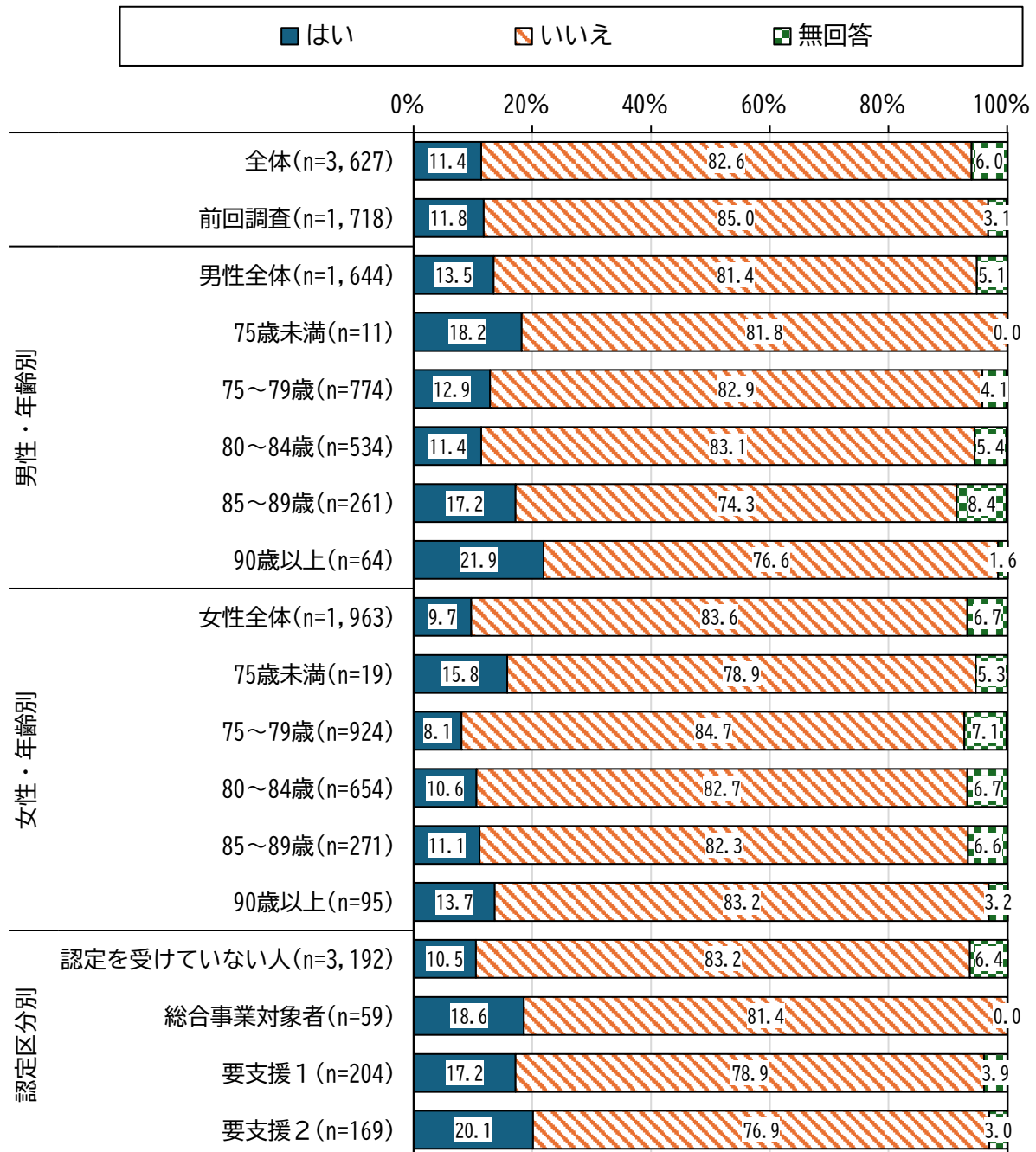
問 22 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つだけ)

6か月間で2～3kg以上の体重減少があった(「はい」)は11.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに90歳以上で「はい」が高くなっており、特に男性の90歳以上は21.9%となっています。

認定区分別にみると、要支援2は「はい」が20.1%と他に比べて高くなっています。



(11) 共食の機会

【一般高齢者】

問 26 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 23 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つだけ)

誰かと食事をとる機会があるかたずねたところ、「毎日ある」が 52.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」(15.4%)などの順となっています。その一方で、「ほとんどない」が 6.5%となっています。

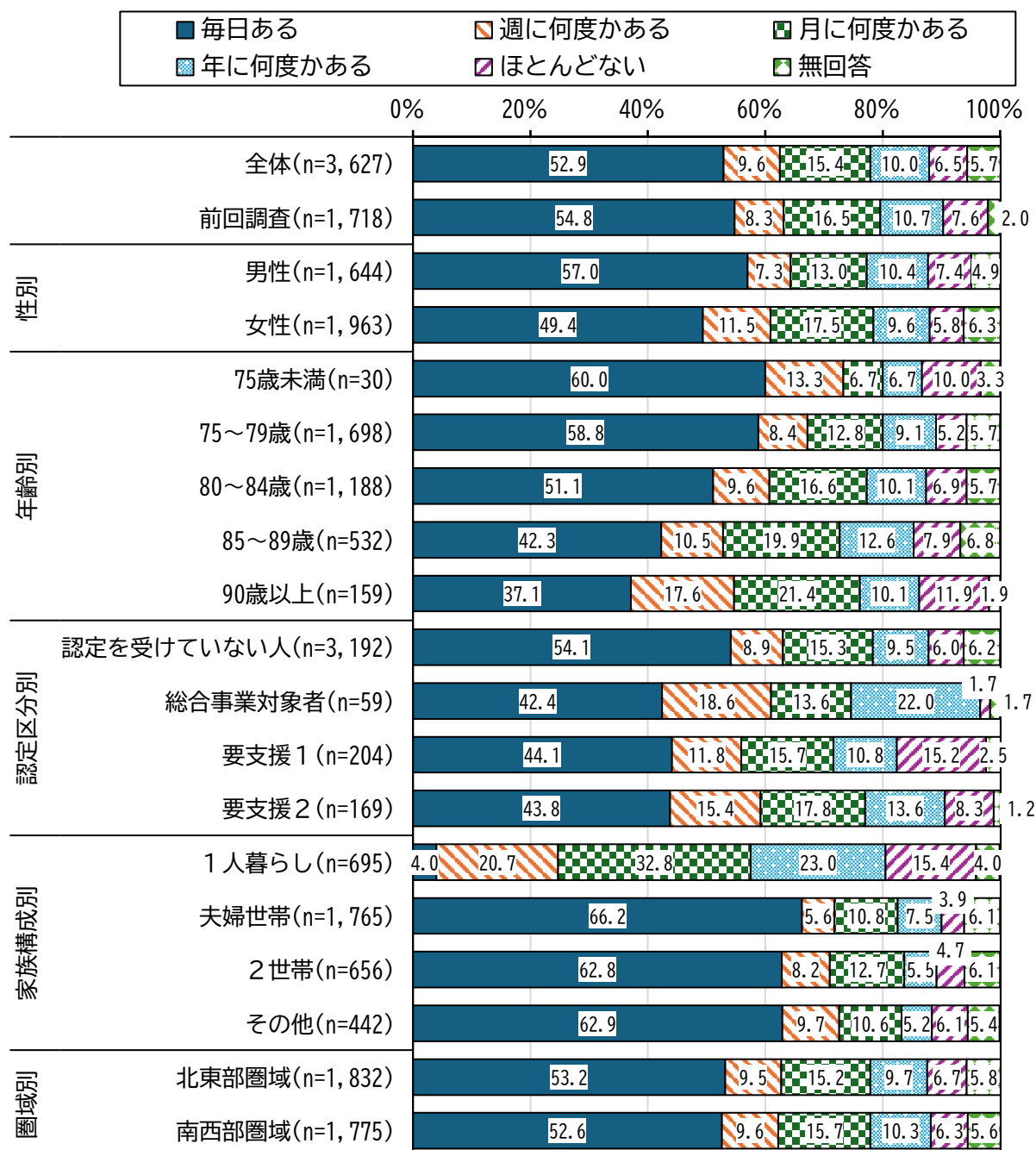
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性別にみると、男性は女性に比べて「毎日ある」が 7.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい「毎日ある」が低下します。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「毎日ある」が低く、「年に何度かある」が高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らし世帯は「ほとんどない」が 15.4%と他に比べて高くなっており、共食の機会が少ないことがわかります。



毎日の生活についておたずねします。

(1) 物忘れの自覚

【一般高齢者】

問 27 物忘れが多いと感じますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 24 物忘れについておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

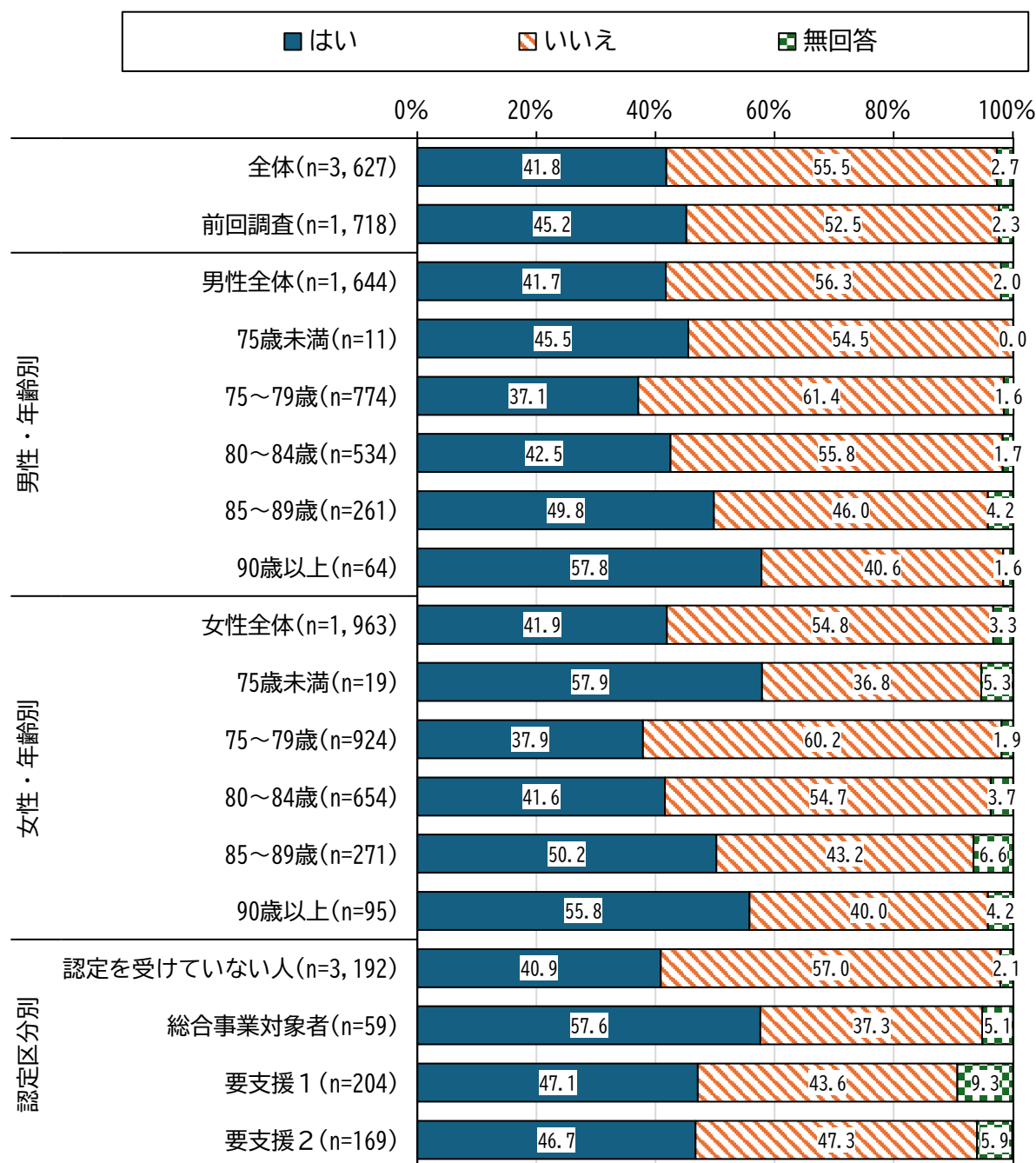
① 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じる(「はい」)のは41.8%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が3.4ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい上昇します。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「はい」が57.6%と他に比べて高くなっています。



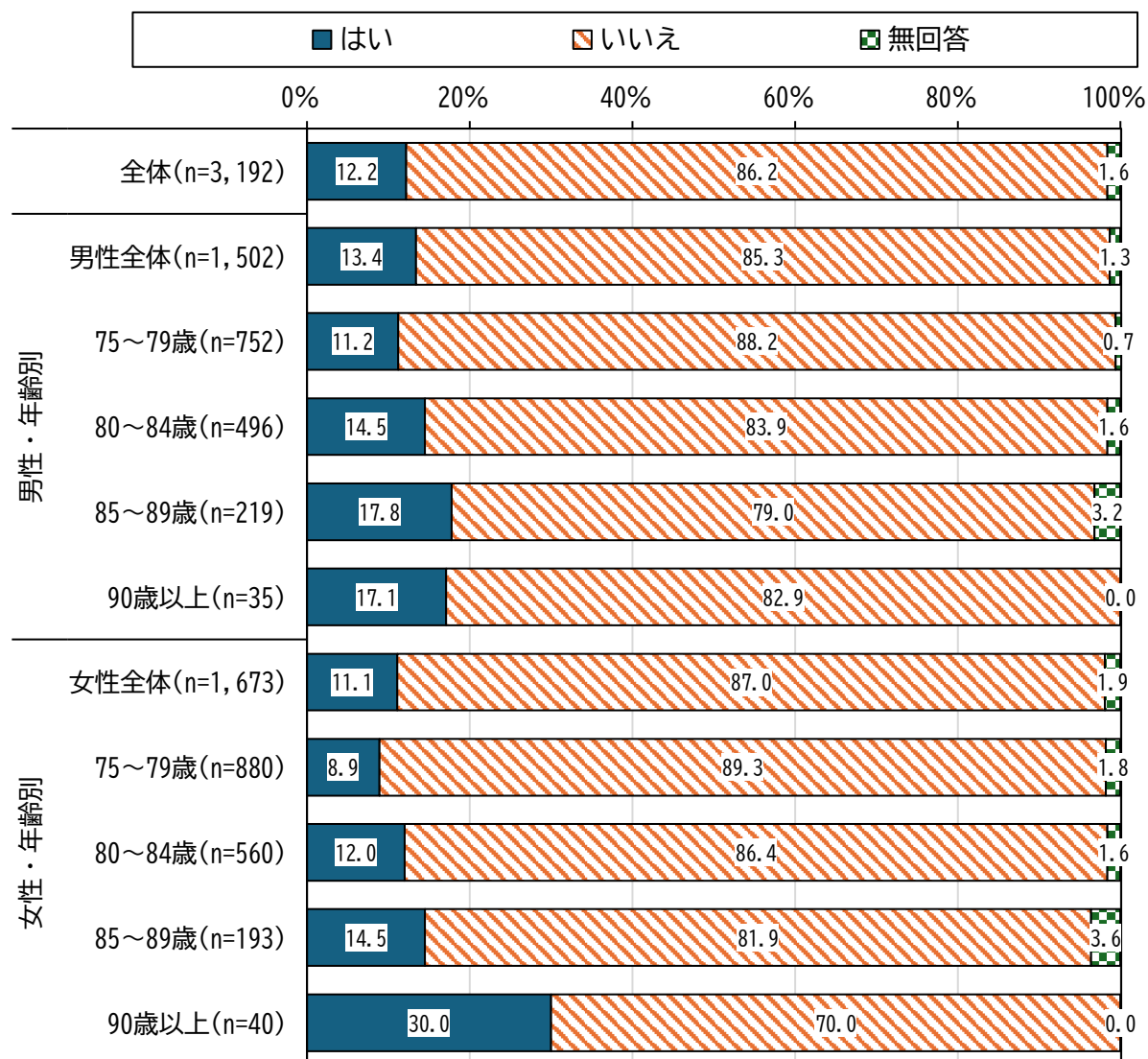
(2) 周りの人から物忘れといわれるか

【一般高齢者】

問 28 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか。(○は1つだけ)

周りの人から物忘れがあるといわれている(「はい」)のは12.2%となっています。

性・年齢別にみると、男性は85～89歳、女性は90歳以上で「はい」が高くなっており、特に女性の90歳以上は30.0%となっています。



(3) 電話

【一般高齢者】

問 29 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 24 物忘れについておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

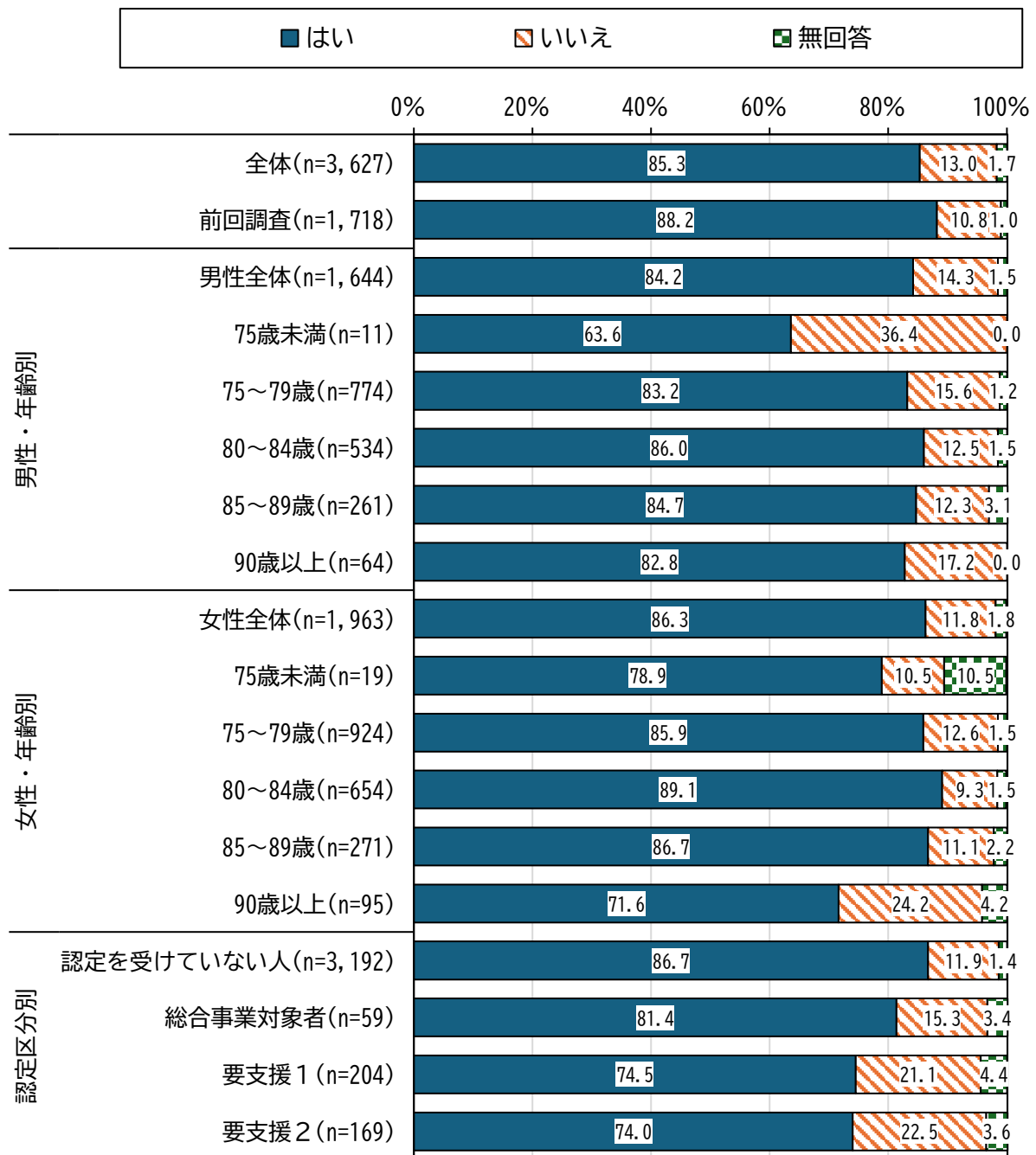
② 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて電話をかける(「はい」)のは85.3%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が2.9ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに90歳以上で「はい」が低くなっており、特に女性の90歳以上は71.6%となっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「いいえ」が上昇傾向にあり、要支援2は22.5%となっています。



(4) 日付

【一般高齢者】

問 30 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 24 物忘れについておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

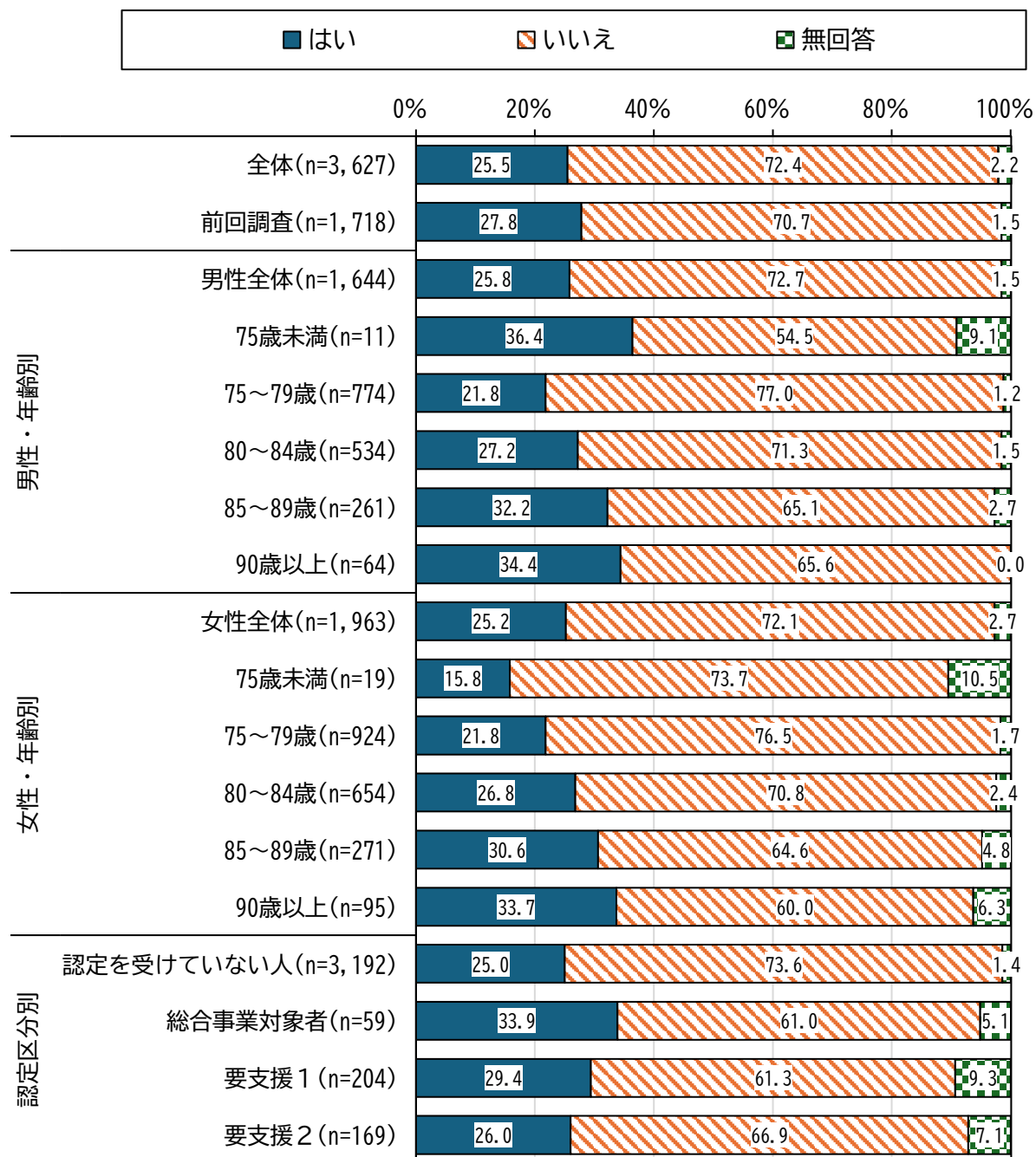
③ 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからないときがある(「はい」)のは25.5%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が2.3ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい「はい」が上昇します。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「はい」が33.9%と他に比べて高くなっています。



(5) 1人での外出

【一般高齢者】

問 31 バスや電車等の公共交通機関（タクシーを含む）や自家用車を使って1人で外出していますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 25 日常生活についておたずねします。（それぞれ○は1つだけ）

① バスや電車等の公共交通機関（タクシーを含む）や自家用車を使って1人で外出していますか

バスや電車（自家用車でも可）で、一人で外出しているかをたずねたところ、「できるし、している」が78.9%となっています。

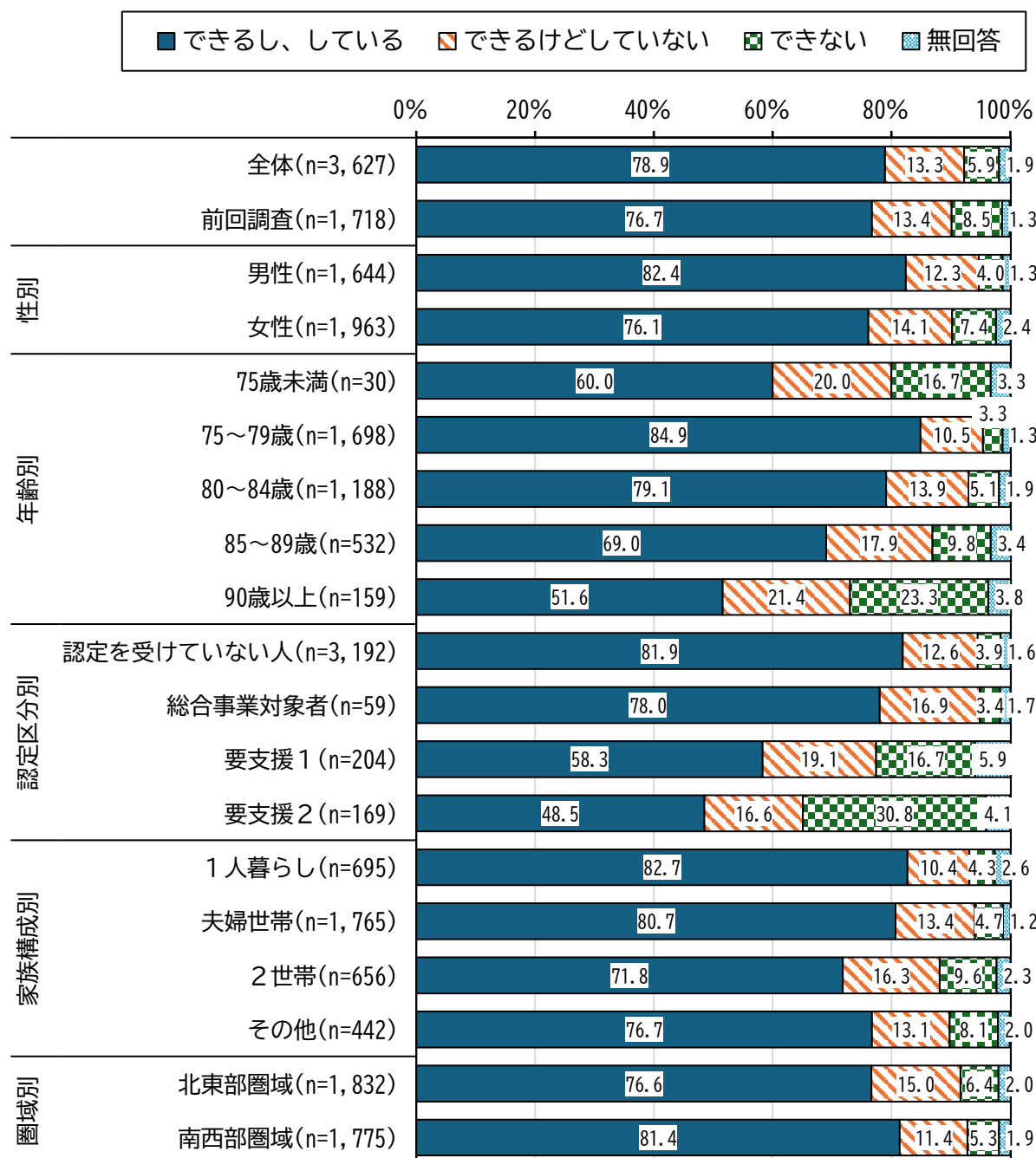
前回調査と比較すると、「できるし、している」が2.2ポイント増加しています。

「できない」を性別にみると、女性は男性に比べて3.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい上昇し、90歳以上は23.3%となっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい上昇し、要支援2は30.8%となっています。

家族構成別にみると、2世帯が9.6%と他に比べて高くなっています。



(6) 買い物

【一般高齢者】

問 32 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 25 日常生活についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

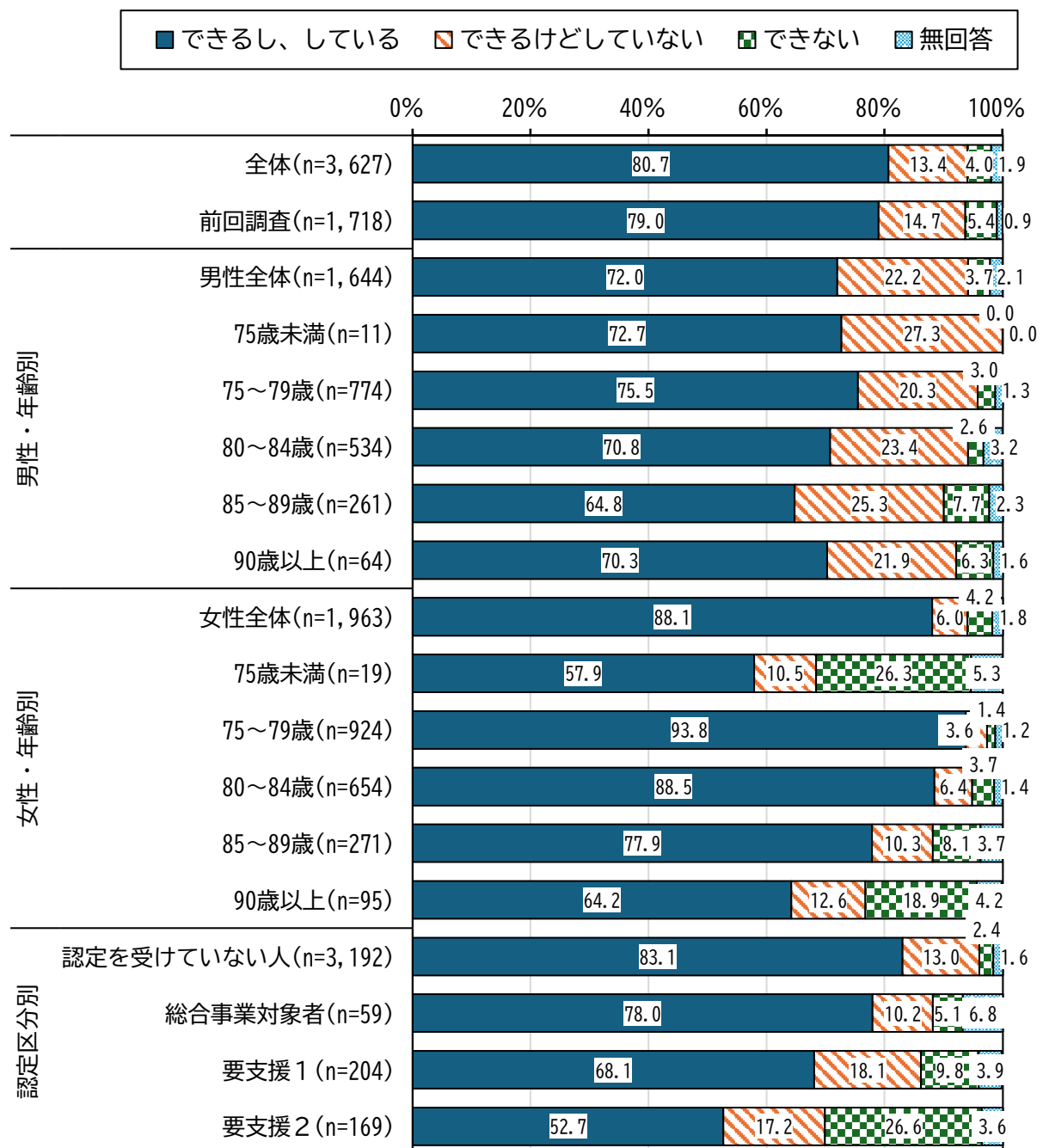
② 自分で食品・日用品の買い物をしていますか

自分で食品・日用品の買い物をしているかたずねたところ、「できるし、している」が 80.7% となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男性は女性に比べて「できるけどしていない」が高くなっています。また、75歳以上の女性は年齢が高くなるにしたがい「できない」が上昇しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「できない」は上昇し、要支援2は 26.6% となっています



(7) 食事の用意

【一般高齢者】

問 33 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 25 日常生活についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

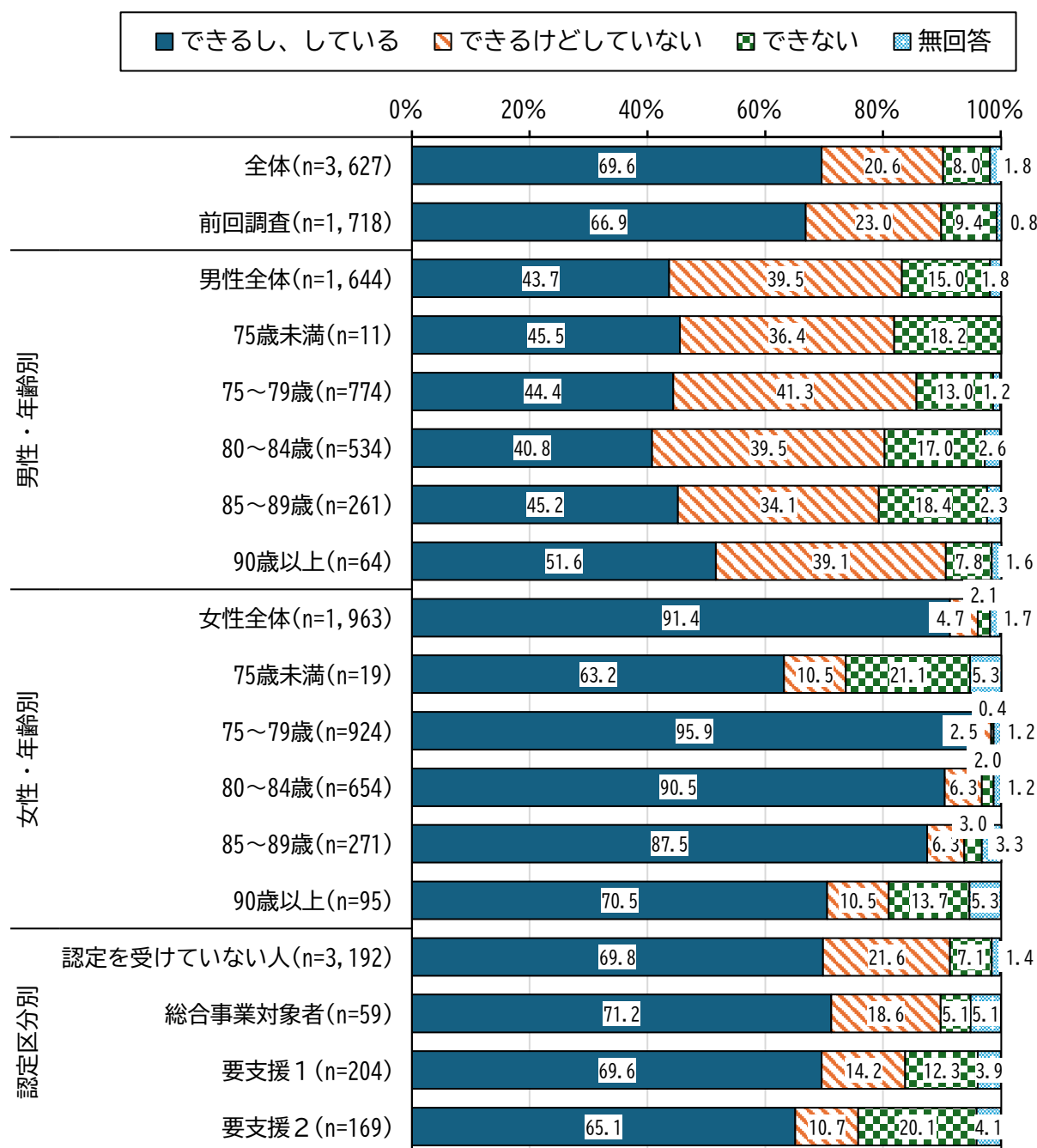
③ 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかたずねたところ、「できるし、している」が 69.6%となっています。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が 2.7 ポイント増加しています。

性・年齢別にみると、男性は女性に比べて「できるけどしていない」及び「できない」が高く、「できるし、している」が低くなっています。また、75 歳以上の女性は年齢が高くなるにしたがい「できるし、している」が低下し、「できない」が上昇します。

認定区分別にみると、要支援 2 は他に比べて「できない」が高く、「できるし、している」及び「できるけどしていない」が低くなっています。



(8) 請求書の支払い

【一般高齢者】

問 34 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 25 日常生活についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

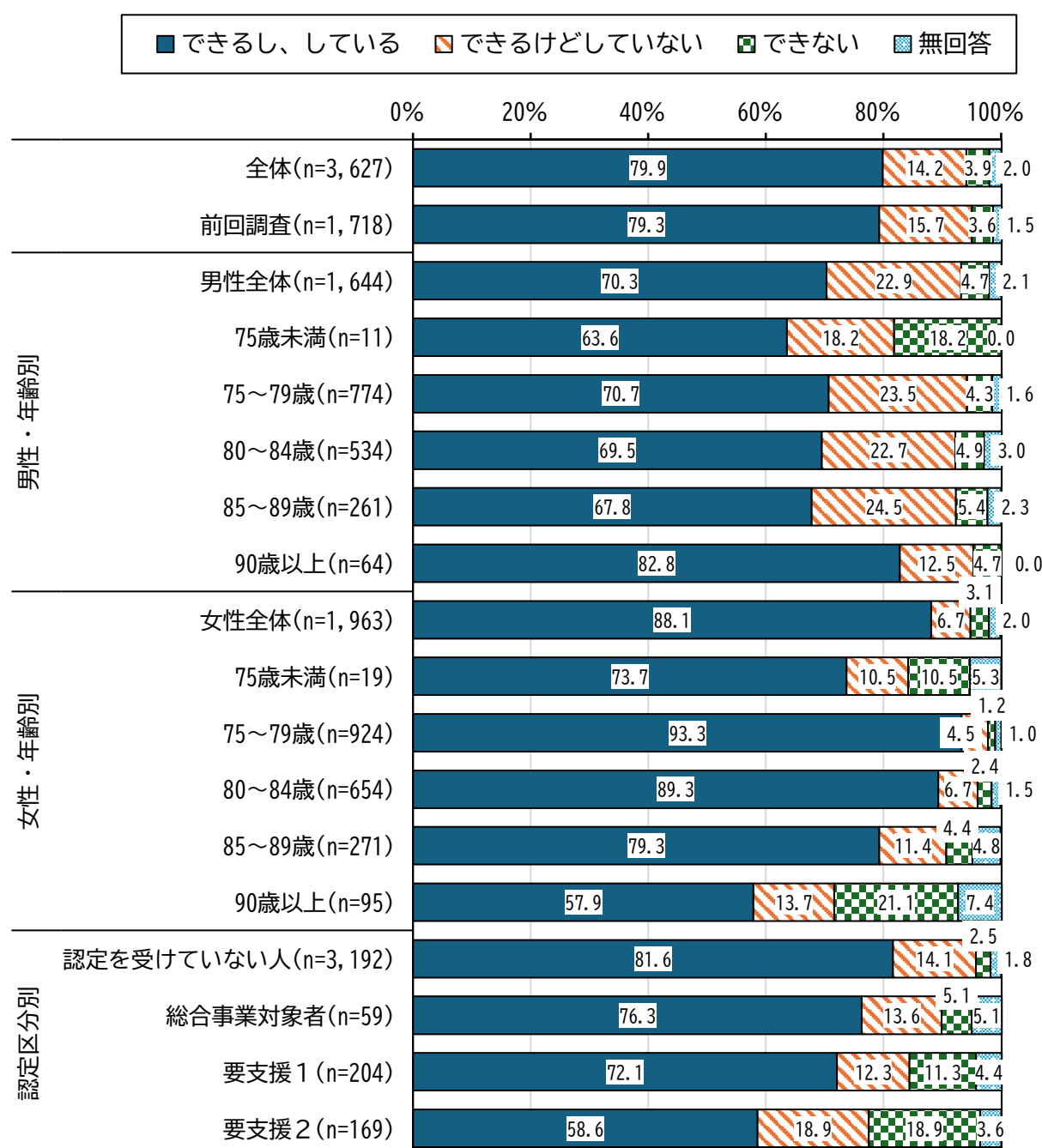
④ 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払をしているかたずねたところ、「できるし、している」が 79.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男性は女性に比べて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」が高くなっています。また、75歳以上の女性は年齢が高くなるにしたがい「できるし、している」が低下し、「できない」が上昇します。

認定区分別にみると、要支援2は他に比べて「できるけどしていない」及び「できない」が高く、「できるし、している」が低くなっています。



(9) 預貯金の出し入れ

【一般高齢者】

問 35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

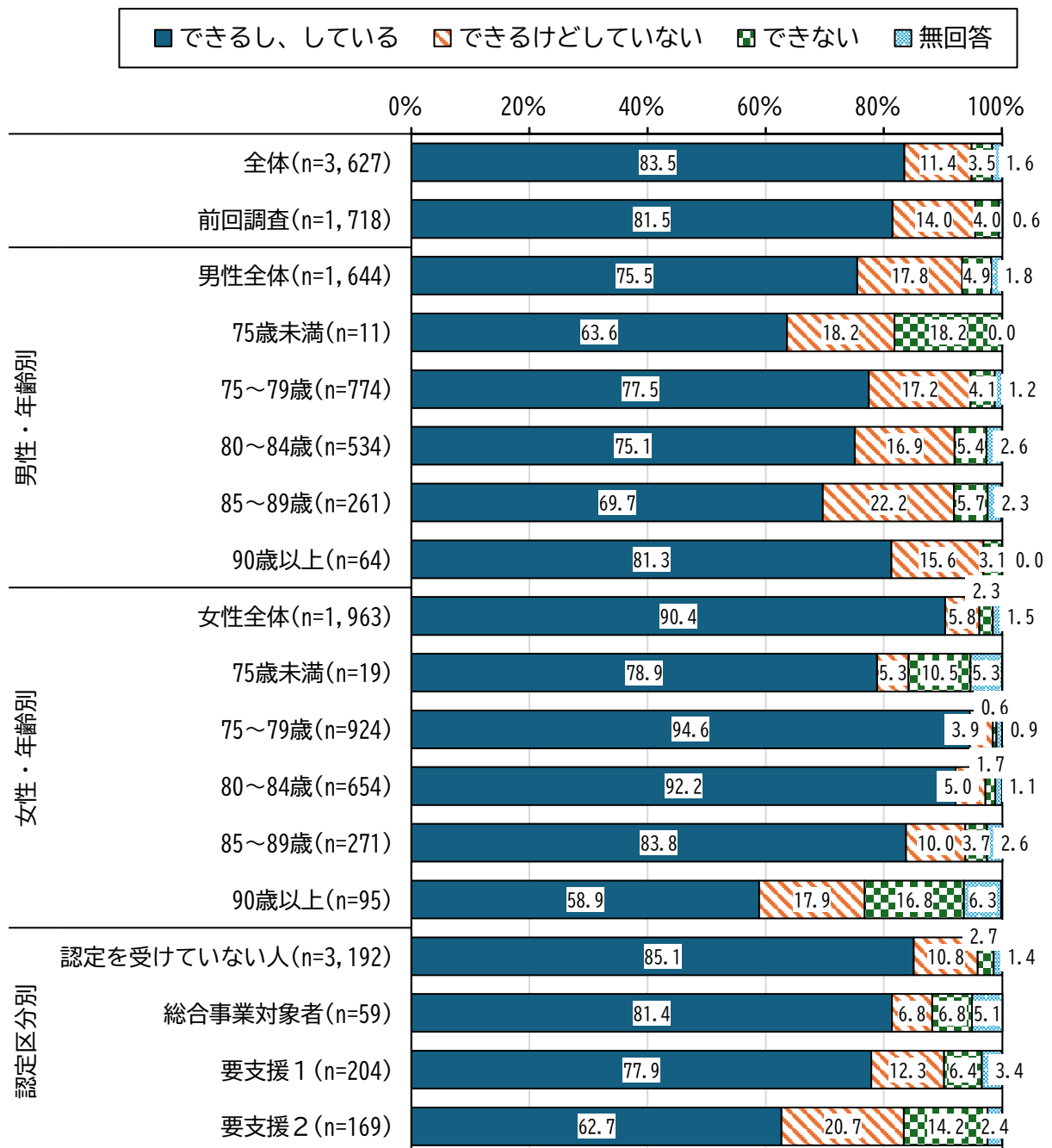
問 25 日常生活についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

⑤ 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかたずねたところ、「できるし、している」が 83.5%となっています。

性・年齢別にみると、男性は女性に比べて「できるし、している」が低く、「できるけどしていない」が高くなっています。また、75 歳以上の女性は年齢が高くなるにしたがい「できるし、している」が低下し、「できない」が上昇します。

認定区分別にみると、要支援2は他の区分に比べて「できるけどしていない」及び「できない」が高く、「できるし、している」が低くなっています。



(10) 書類

【一般高齢者】

問 36 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 26 生活に関わる活動についておたずねします。（それぞれ○は1つだけ）

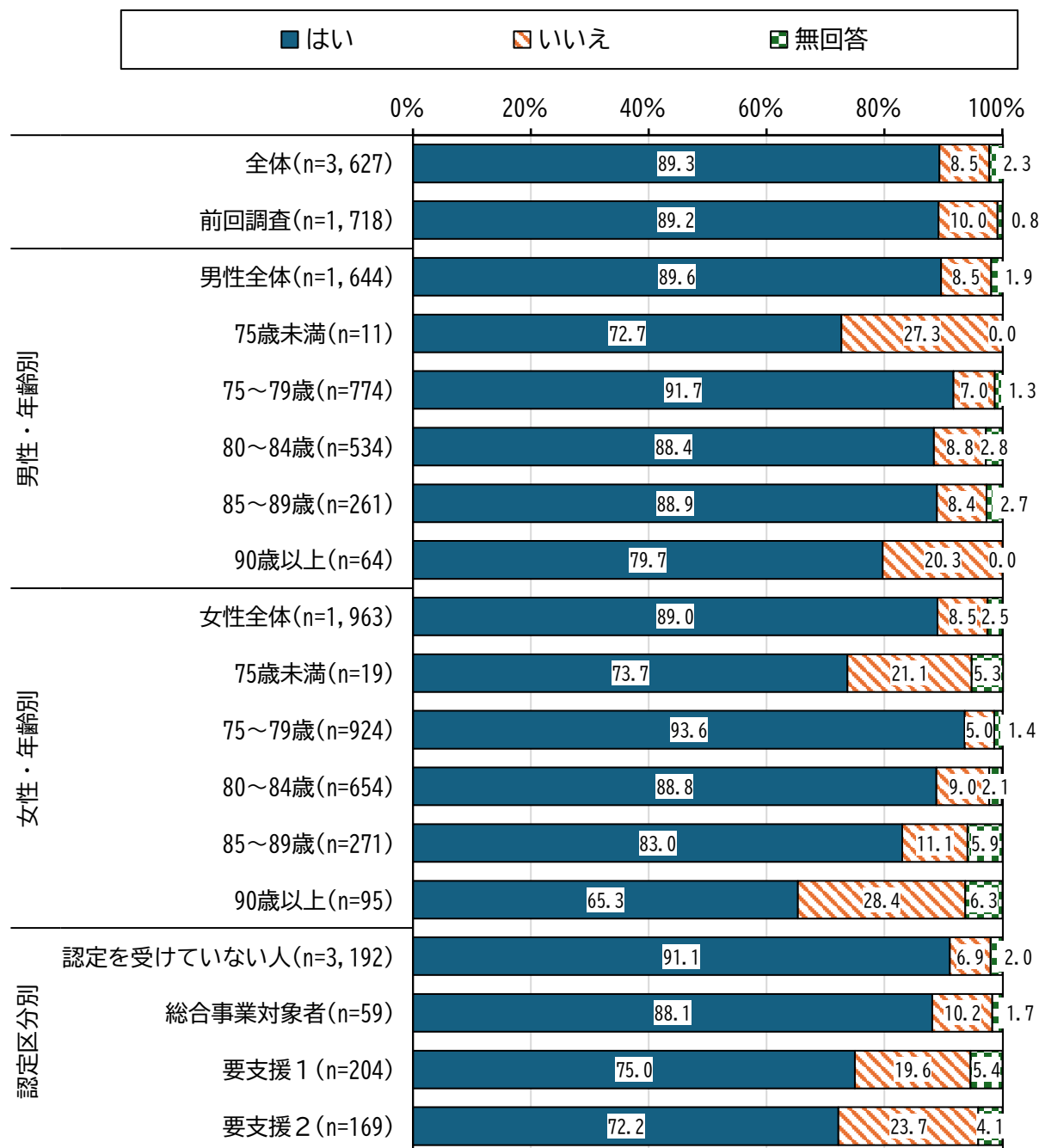
① 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

年金などの書類が書ける（「はい」）のは 89.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上の女性は年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下し、90歳以上は 65.3%となっています。

認定区分別にみると、要支援2は「はい」が 72.2%と他に比べて低くなっています。



(11) 新聞

【一般高齢者】

問 37 新聞を読んでいますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 26 生活に関わる活動についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

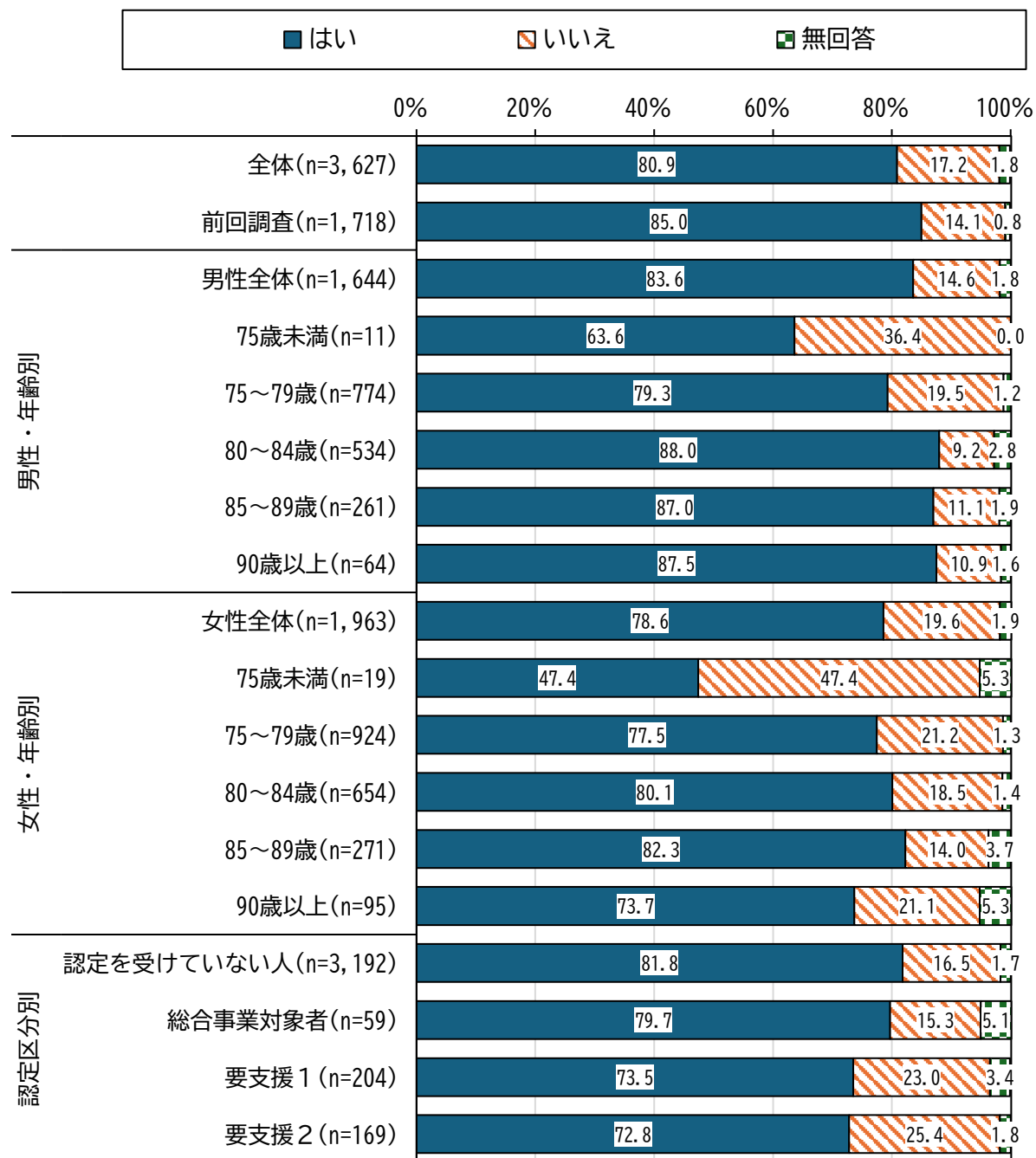
② 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいる(「はい」)のは80.9%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が4.1ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、「はい」はいずれの年齢層においても男性は女性を上回っています。

認定区分別にみると、要支援2は「はい」が72.8%と他に比べて低くなっています。



(12) 読書

【一般高齢者】

問 38 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 26 生活に関わる活動についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

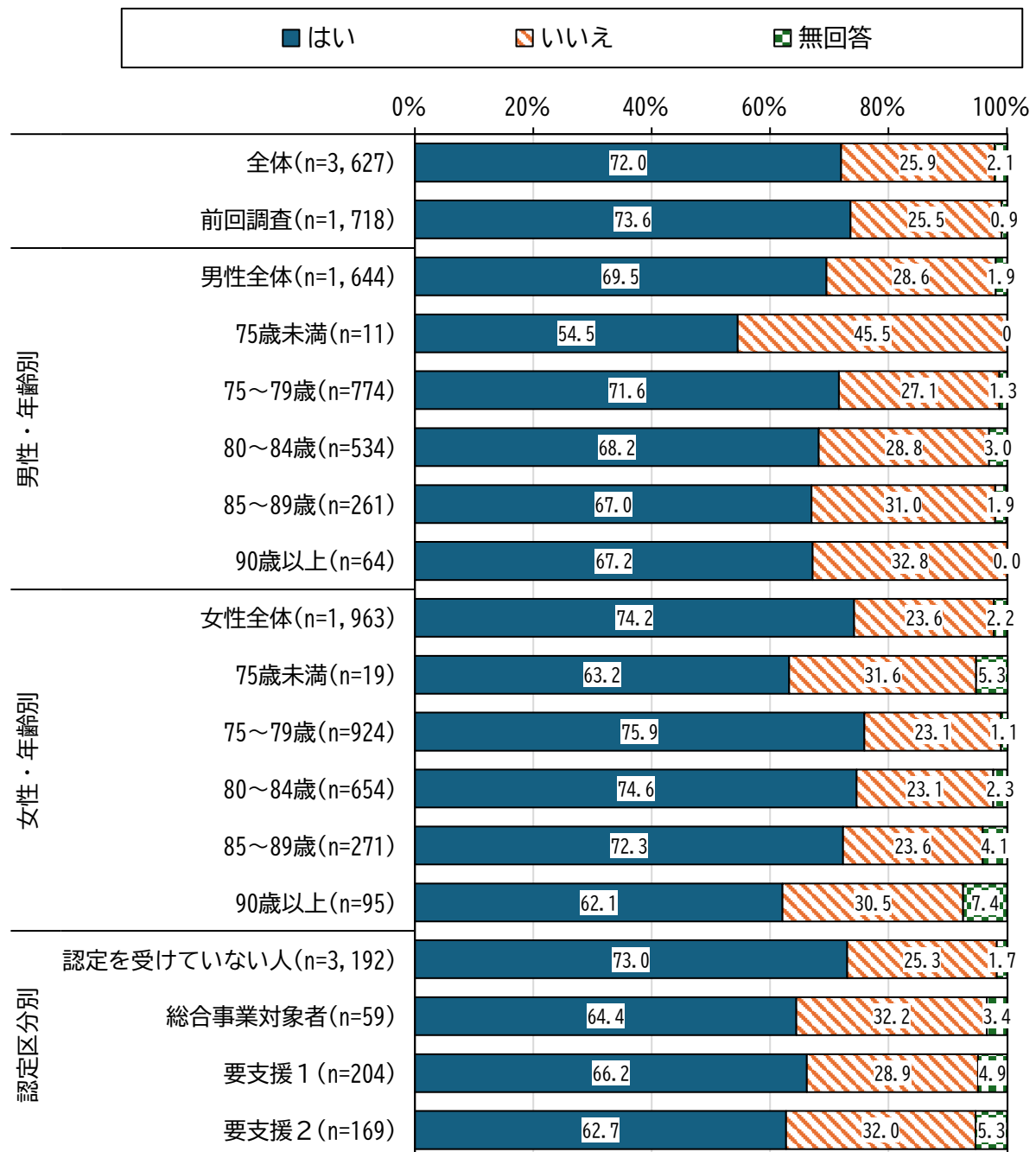
③ 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいる(「はい」)のは72.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下します。

認定区分別にみると、要支援2は「はい」が62.7%と他に比べて低くなっています。



(13) 健康への関心

【一般高齢者】

問 39 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 26 生活に関わる活動についておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

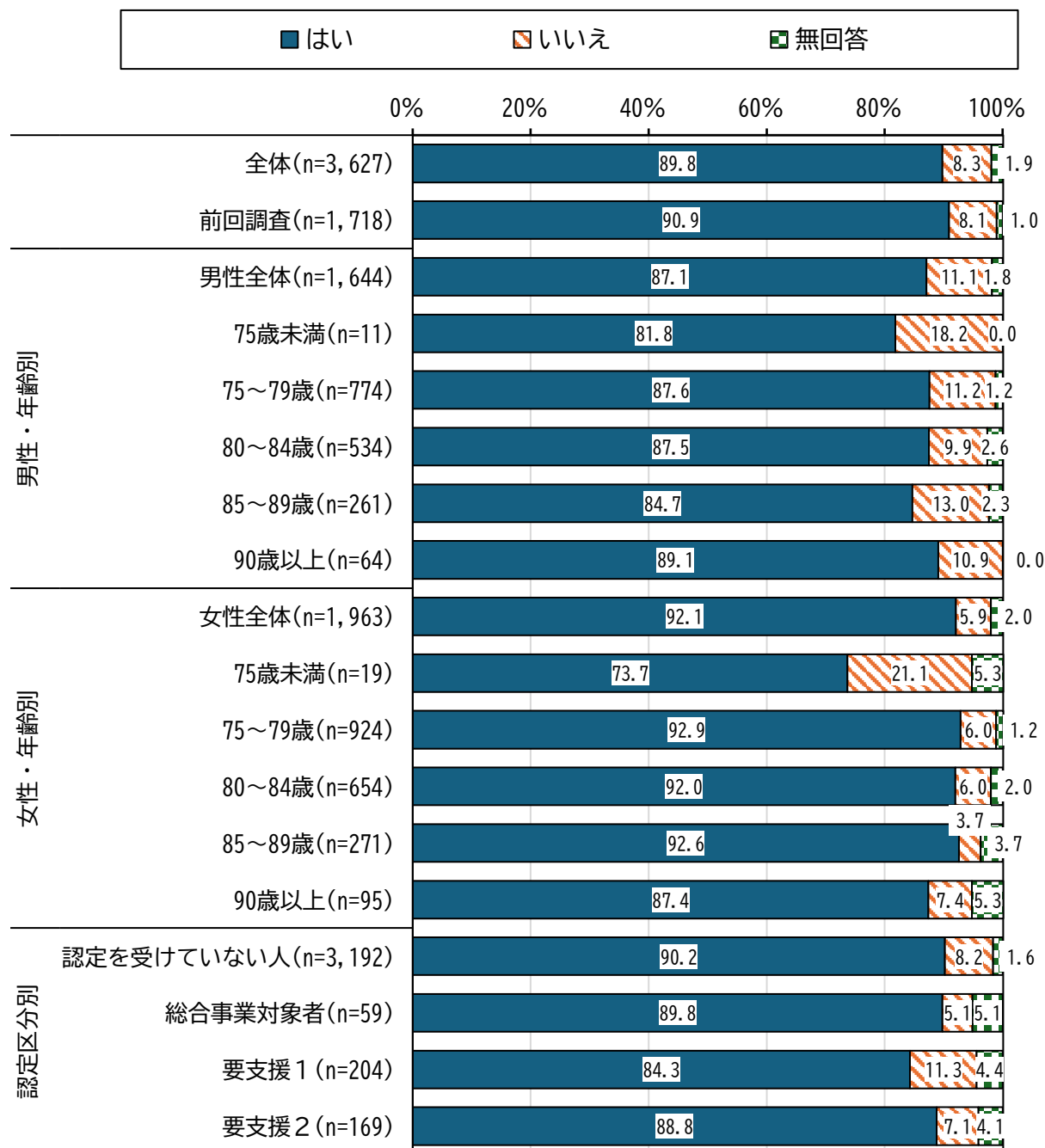
④ 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心がある(「はい」)のは89.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上では男性は85～89歳、女性は90歳以上で「はい」が低くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は「はい」が84.3%と他に比べて低くなっています。



(14) 友人の家への訪問

【一般高齢者】

問 40 友人の家を訪ねていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 38 人との関わりについておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

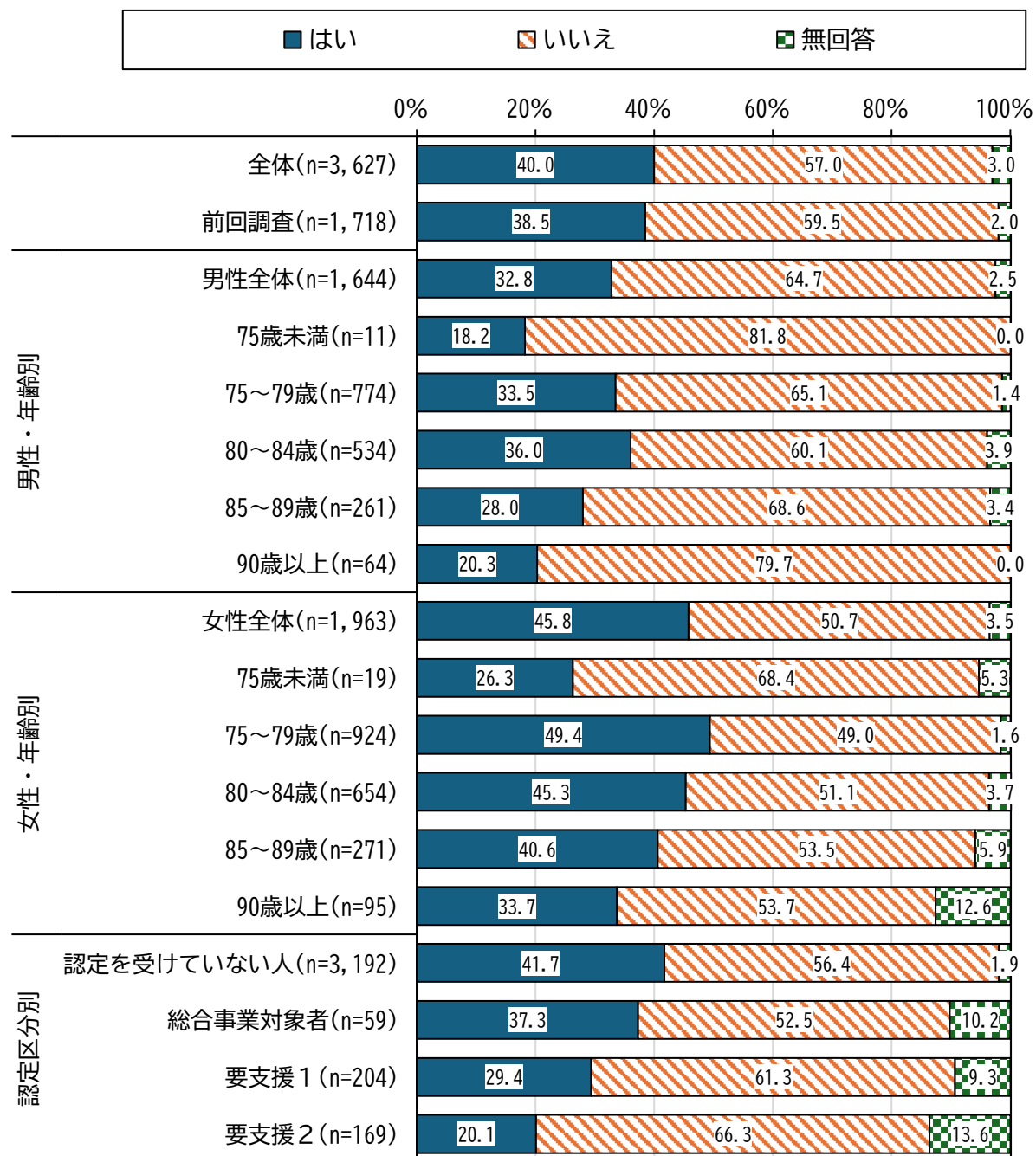
① 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねている(「はい」)のは40.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、男女ともに90歳以上で「はい」が低くなっています。また、いずれの年齢層においても、女性は男性を上回って推移しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「はい」が低下し、要支援2は20.1%となっています。



(15) 家族や友人の相談

【一般高齢者】

問 41 家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 38 人との関わりについておたずねします。（それぞれ○は1つだけ）

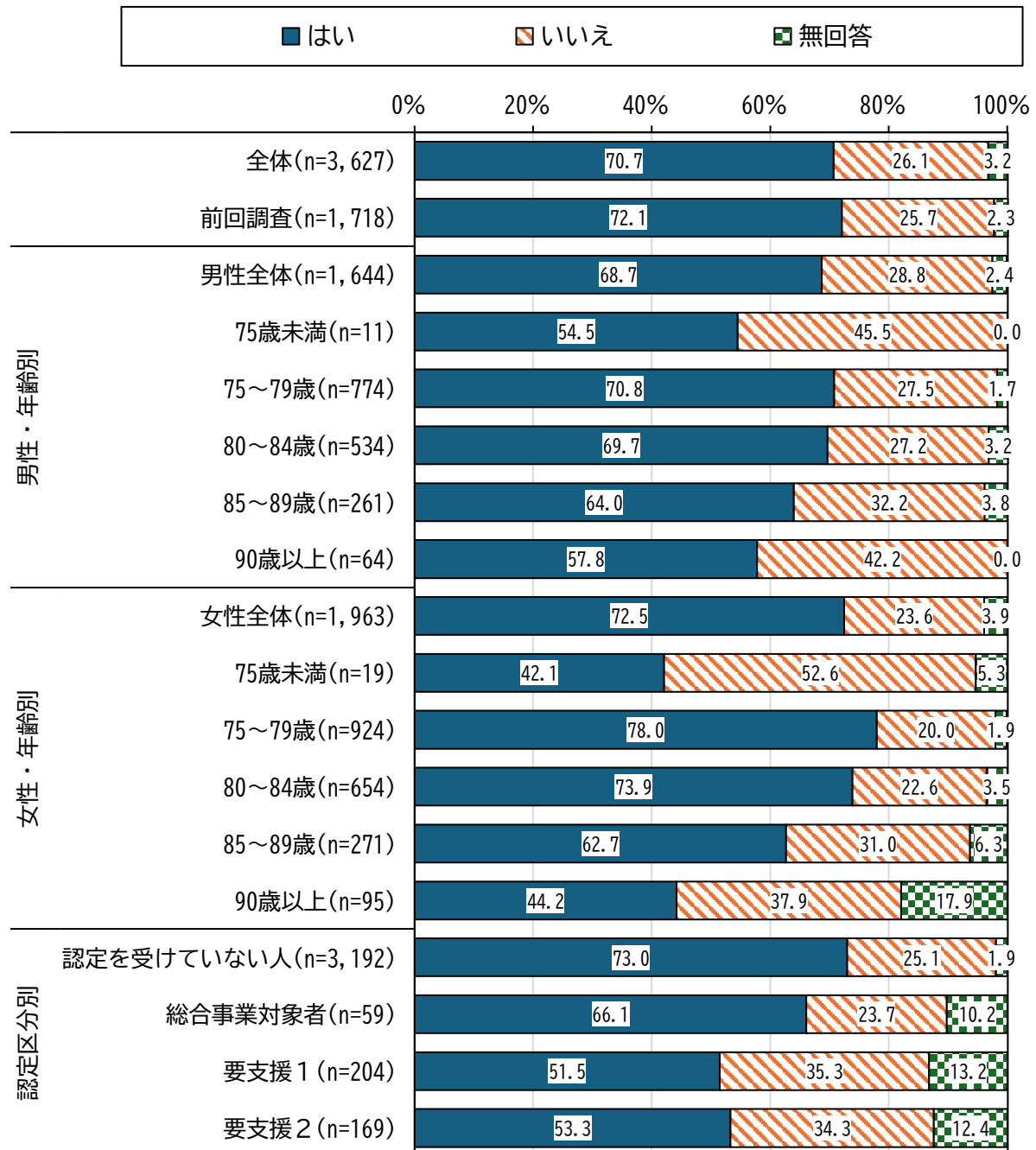
② 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっている（「はい」）のは 70.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75 歳以上では男女ともに年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下します。

認定区分別にみると、要支援 1 は「はい」が 51.5%と他に比べて低くなっています。



(16) 病人の見舞い

【一般高齢者】

問 42 病人を見舞うことができますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 38 人との関わりについておたずねします。（それぞれ○は1つだけ）

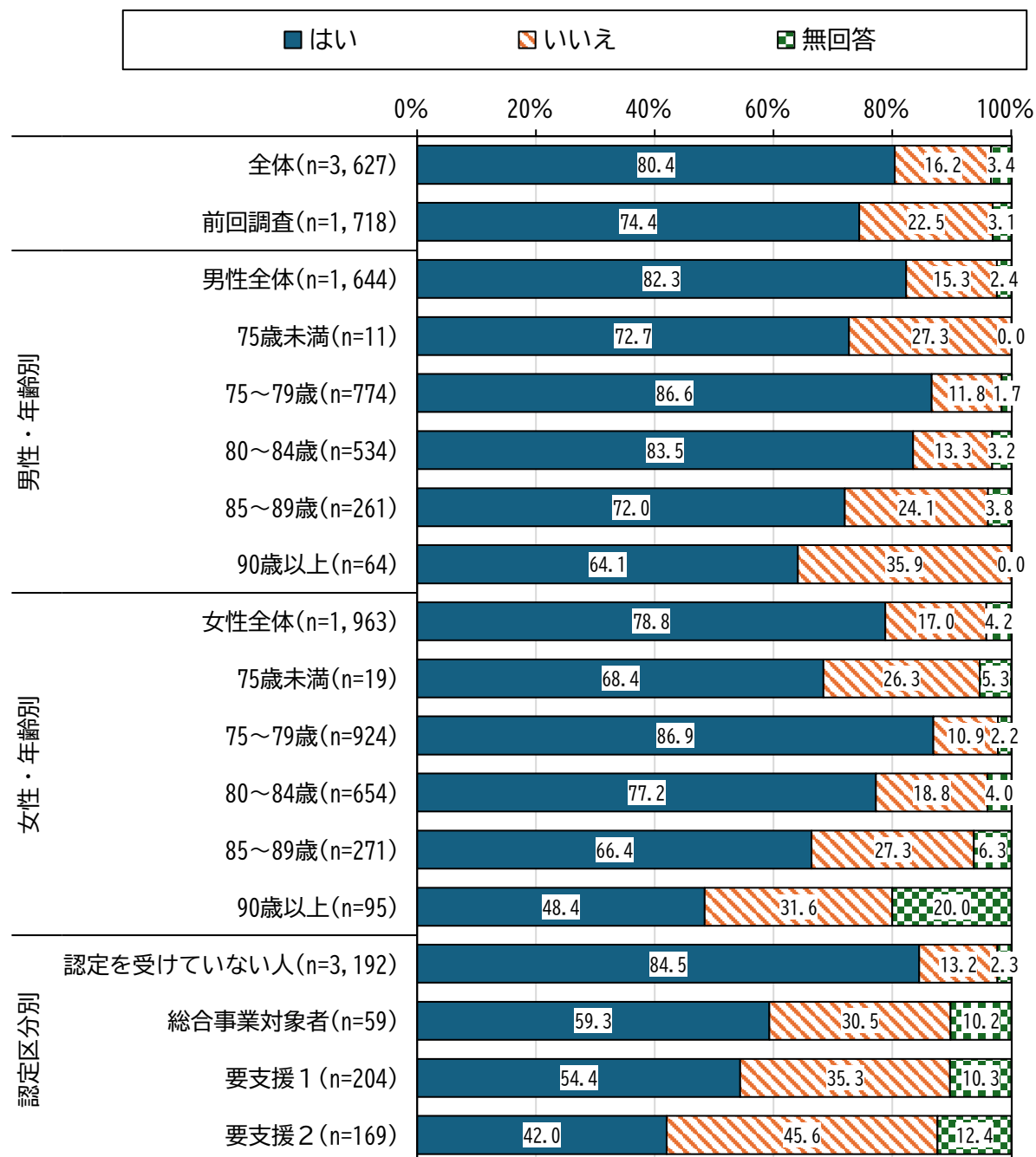
③ 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができる（「はい」）のは 80.4%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が 6.0 ポイント増加しています。

性・年齢別にみると、75 歳以上では男女とも年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下しています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「はい」が低下し、要支援 2 は 42.0%となっています。



(17) 若い人との交流

【一般高齢者】

問 43 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 38 人との関わりについておたずねします。(それぞれ○は1つだけ)

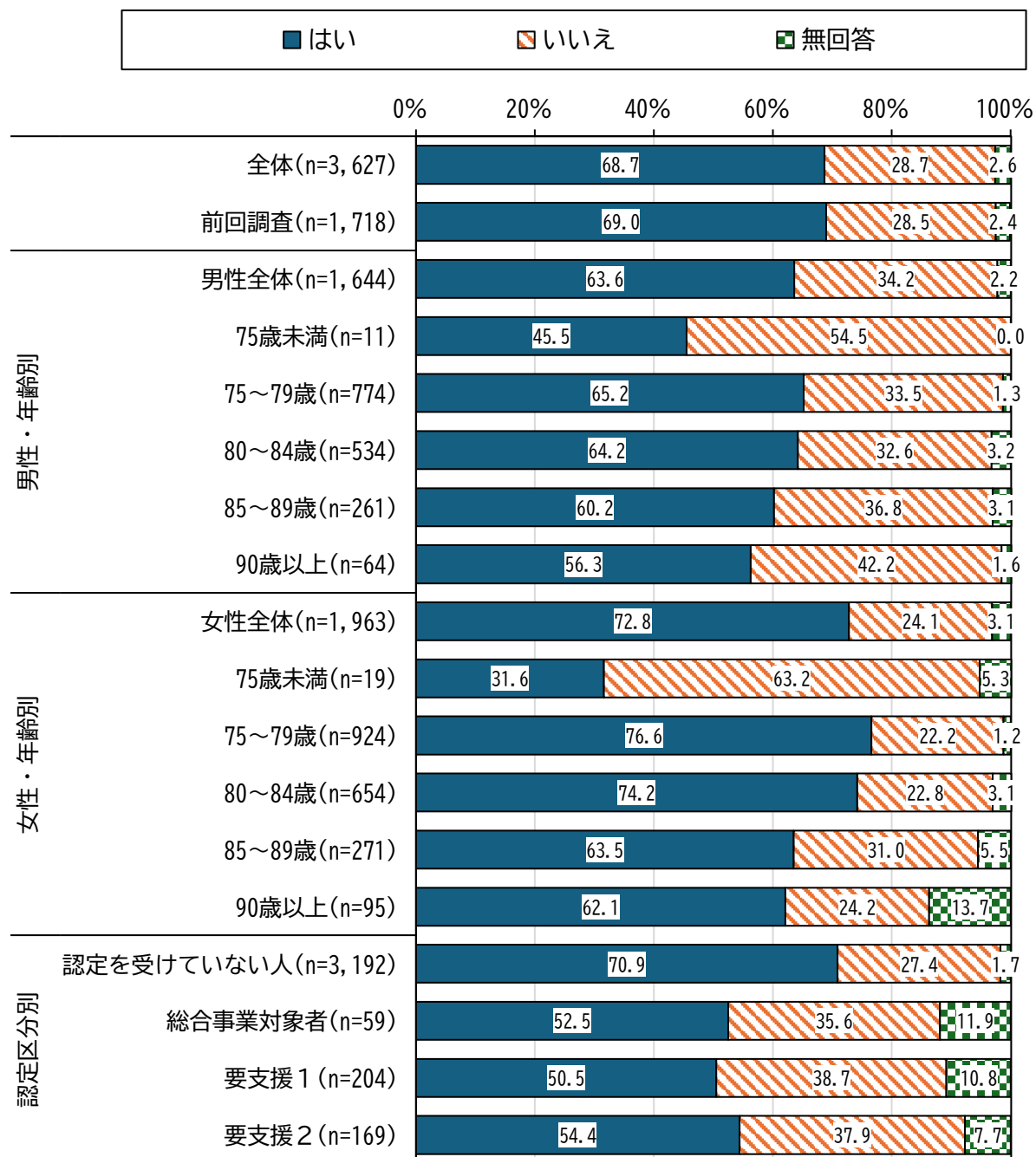
④ 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかける(「はい」)のは68.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、75歳以上では男女とも年齢が高くなるにしたがい「はい」が低下しています。また、いずれの年齢層においても女性は男性を上回って推移しています。

認定区分別にみると、要支援1は「はい」が50.5%と他に比べて低くなっています。



(17) 趣味の有無

【一般高齢者】

問 44 趣味はありますか。ある場合は具体的に教えてください。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

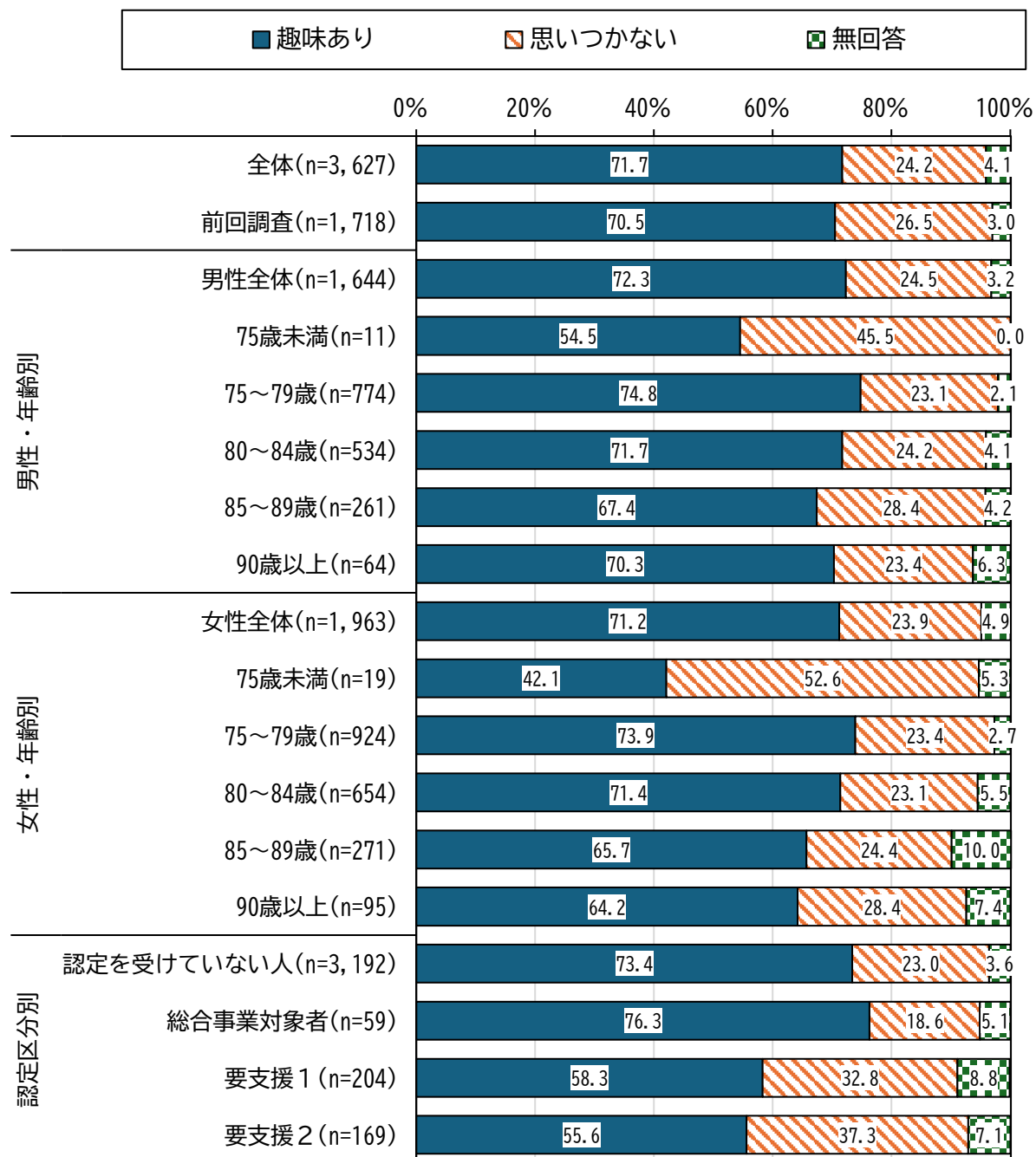
問 27 趣味はありますか。ある場合は具体的に教えてください。（○は1つだけ）

趣味があるかたずねたところ、「趣味あり」が71.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

「趣味あり」を性・年齢別にみると、75歳以上では男性は85～89歳、女性は90歳以上で低くなっています。

また、認定区分別にみると、要支援2は55.6%と他に比べて低くなっています。



【具体的な趣味（抜粋）】

- ・手芸、洋裁 ・旅行 ・読書 ・麻雀 ・ゲーム ・水泳 ・絵の鑑賞 ・テニス ・料理
- ・ゴルフ、グラウンドゴルフ ・音楽 ・パソコン ・ロボット製作 ・習字 ・畑仕事
- ・野菜作り ・パズル、数独 ・絵手紙 ・パッチワーク ・園芸、盆栽 ・タティングレース
- ・写真 ・映画、演劇、舞踊等の鑑賞 ・ヨガ ・そば打ち ・ダンス ・囲碁 ・卓球
- ・トレッキング、登山 ・スキー ・書道 ・魚釣り ・ウォーキング ・ソリティア
- ・投資、株 ・プラモデル作成 ・プログラミング ・ドライブ ・スポーツ観戦 ・ジム通い
- ・銭湯 ・水彩画 ・俳句、短歌 ・競馬 ・作詩 ・デュパーージュ ・ボランティア活動
- ・カローリング ・太極拳 ・将棋 ・カラオケ ・エッセイ ・ガーデニング ・水墨画
- ・陶芸 ・パチンコ ・写経 ・語学 ・マジック演技 ・料理 ・粘土細工 ・歌うこと
- ・ウクレレ ・ピアノ

(18) 生きがいの有無

【一般高齢者】

問 45 生きがいはありますか。ある場合は具体的に教えてください。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

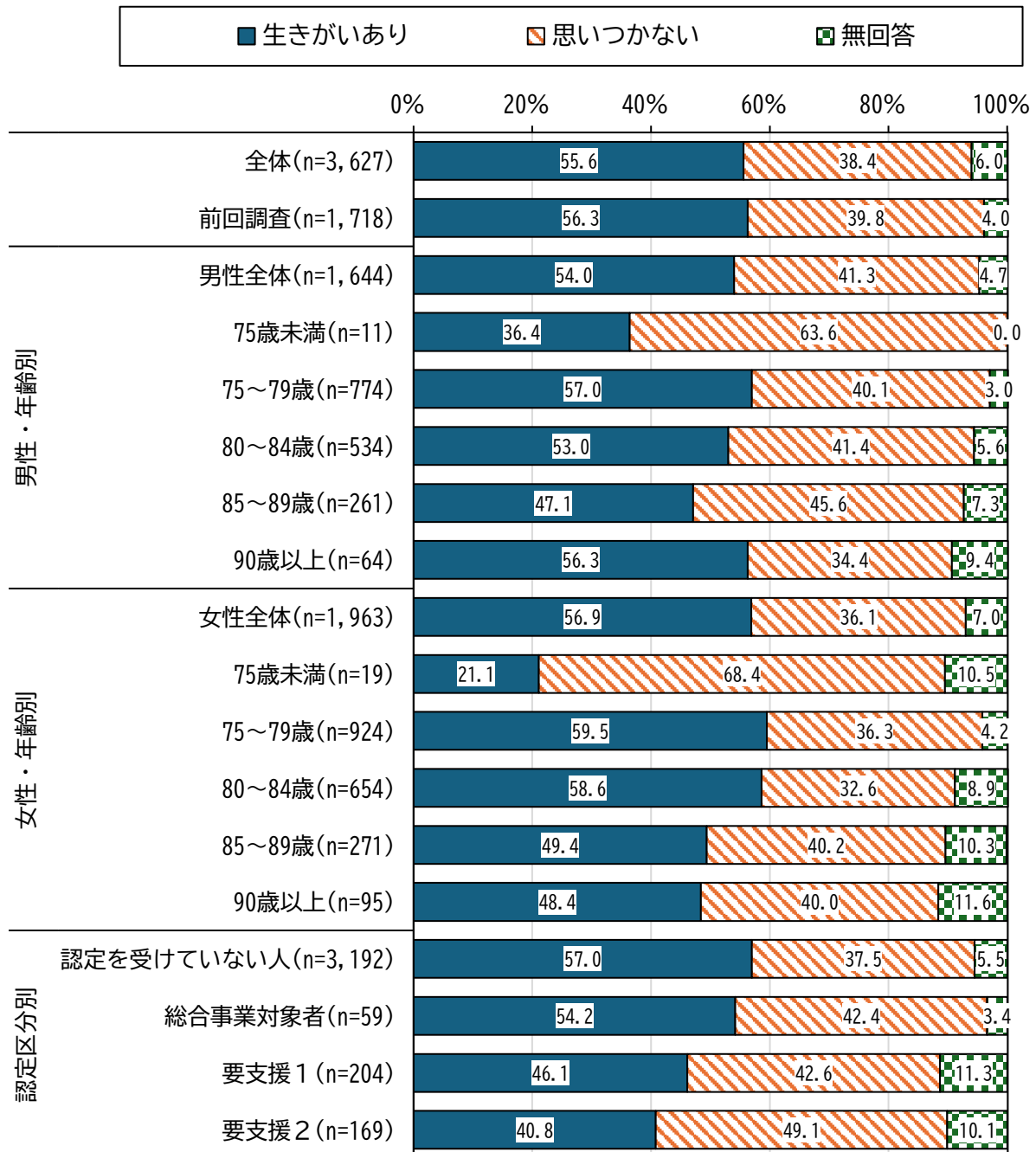
問 28 生きがいはありますか。ある場合は具体的に教えてください。(○は1つだけ)

生きがいがあるかたずねたところ、「生きがいあり」は 55.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

「生きがいあり」を性・年齢別にみると、75歳以上では男性は85～79歳、女性は90歳以上で低くなっています。

また、認定区分別にみると、重度化にしたがい低下し、要支援2は40.8%となっています。



【具体的な生きがい（抜粋）】

- ・孫や親族の子の成長 ・友人との会話、交流 ・テニス ・映画鑑賞 ・庭仕事、園芸 ・散歩
- ・スポーツ観戦 ・旅行 ・写経、書道 ・働くこと、ボランティア活動 ・写真 ・音楽
- ・読書 ・ゴルフ、グラウンドゴルフ ・手芸、洋裁 ・登山 ・デザイン工芸制作 ・健康
- ・音楽 ・歌うこと ・飲食 ・カラオケ ・おしゃれ ・ペット ・パチンコ、スロット
- ・地域のグループ活動 ・配偶者が元気であること ・好きなことをやる ・ジム通い
- ・観光 ・絵画 ・楽器 ・家族 ・空手 ・農業 ・礼拝 ・仕事 ・ウォーキング
- ・ネットサーフィン ・水彩画 ・外出する事 ・長生きすること ・映画 ・コンサート
- ・喫茶店に行く ・スポーツクラブ ・温泉巡り ・詩吟 ・卓球 ・スクールガード
- ・語学 ・同窓会への出席 ・資格取得 ・歴史探訪 ・投資、株 ・囲碁 ・サイクリング
- ・農協活動 ・ダンス ・フィットネス ・執筆 ・歌舞伎、落語鑑賞 ・落語 ・釣り
- ・折り紙 ・サークル活動 ・サロン活動 ・水泳 ・自治会活動 ・つけものづくり
- ・著作 ・彫刻 ・何かにチャレンジすること ・弓道 ・そば打ち ・ドライブ ・麻雀
- ・日本文化の伝承 ・自営業 ・団体活動 ・水泳 ・ピアノ ・ショッピング ・俳句
- ・健康に生きること ・テレビ（ドラマ、スポーツ等）を見る

(19)「短期集中予防サービス」の認知度

【要支援認定者・総合事業対象者】

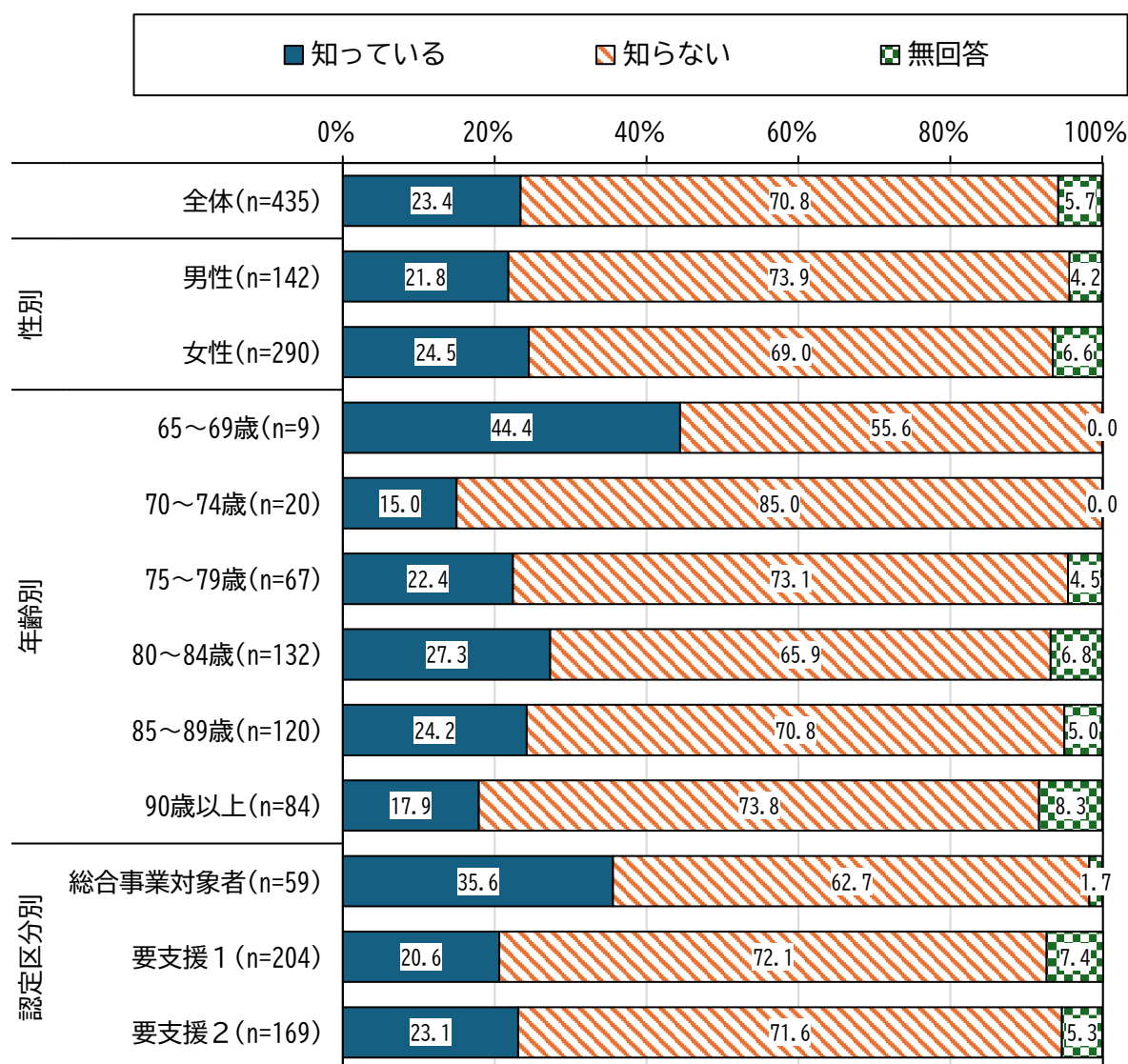
問 29 長久手市では、新たな総合事業として「短期集中予防サービス」を開始し、取組を推進しています。「短期集中予防サービス」を知っていますか。(○は1つだけ)

「短期集中予防サービス」について、「知っている」が23.4%、「知らない」が70.8%となっています。

「知らない」を性別にみると、男性は女性に比べて4.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、70～74歳は85.0%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は72.1%と他に比べて高くなっています。



(20)「短期集中予防サービス」の利用意向

【要支援認定者・総合事業対象者】

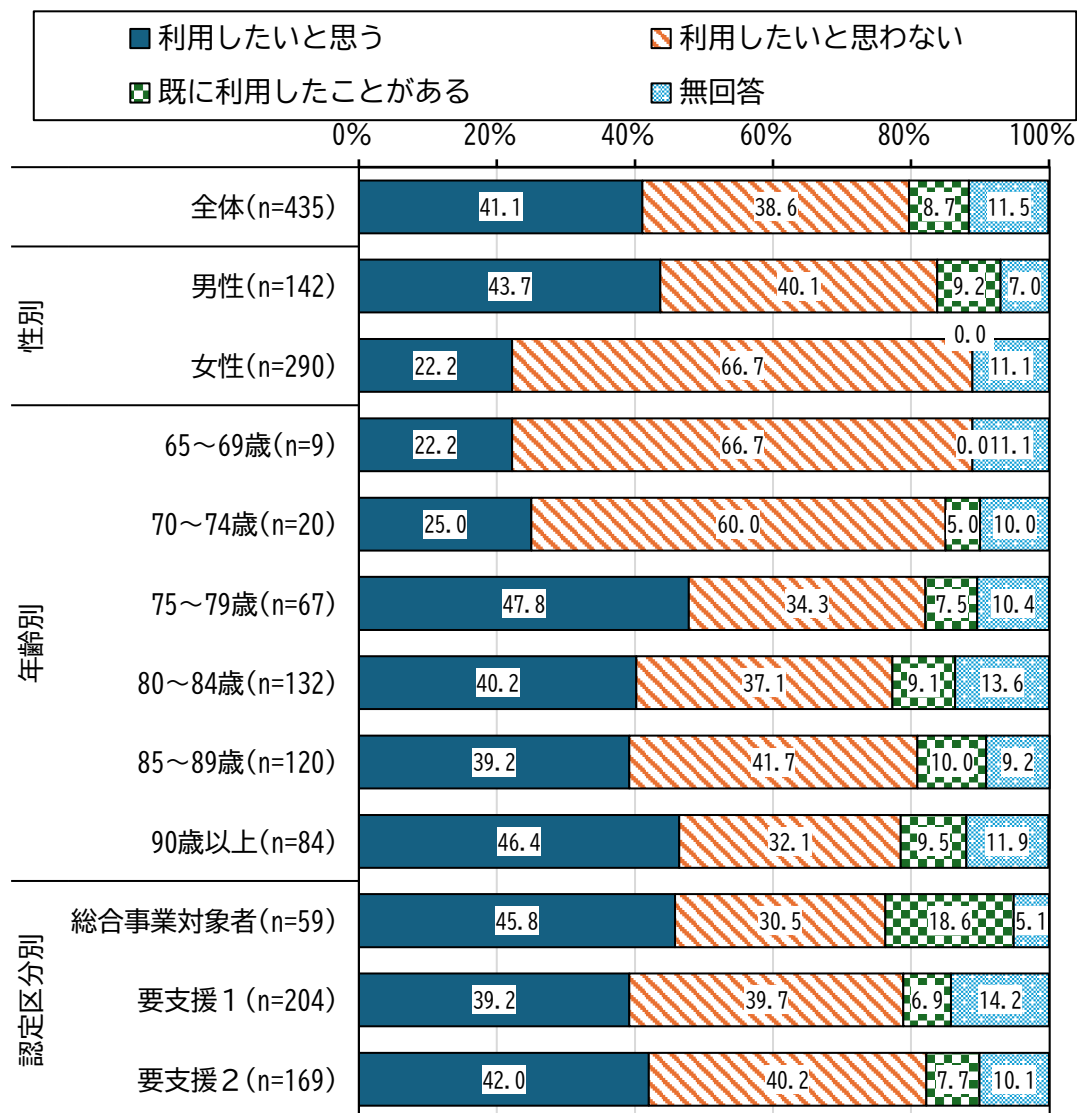
問 30 短期集中予防サービスを利用したいと思いますか。(○は1つだけ)

短期集中予防サービスの利用について、「利用したいと思う」が 41.1%、「利用したいと思わない」が 38.6%、「既に利用したことがある」が 8.7%となっています。

「利用したいと思う」を性別にみると、男性は女性に比べて 21.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75～79 歳は 47.8%と他に比べて高くなっています。また、80 歳以上は「既に利用したことがある」が 1 割程度となっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は 45.8%と他に比べて高くなっており、また、「既に利用したことがある」が 18.6%となっています。



地域での活動についておたずねします。

(1) 会・グループへの参加頻度

【一般高齢者】

問 46 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。（それぞれ○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 31 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。（それぞれ○は1つだけ）

会・グループ等への参加頻度について、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」を合計した＜参加している＞人の割合は、「③趣味関係のグループ」が31.0%と最も高く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が25.5%、「⑦町内会・自治会」が18.4%、「⑧収入のある仕事」が16.7%、「①ボランティアのグループ」が14.6%、「⑥シニアクラブ」が11.4%、「④学習・教養サークル」が9.3%、「⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場」が8.8%の順となっています。

「①ボランティアのグループ」、「③趣味関係のグループ」、「④学習・教養サークル」、「⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場」、「⑥シニアクラブ」は「月1～3回」、「②スポーツ関係のグループやクラブ」は「週2～3回」、⑦町内会・自治会は「年に数回」、⑧収入のある仕事は「週4回以上」がそれぞれ最も高くなっています。

＜週1回以上＞が15%を超えているのは、「②スポーツ関係のグループやクラブ」及び「③趣味関係」のグループです。

前回調査と比較すると、いずれの項目も＜参加している＞が減少しています。

	回答件数 (n)	参加している						参加していない	無回答
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
①ボランティアのグループ	3,627	14.6	1.2	2.2	2.3	4.5	4.4	64.0	21.3
(前回調査)	1,718	19.1	1.1	3.5	3.0	5.9	5.6	75.8	5.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	3,627	25.5	3.6	7.6	6.6	5.1	2.6	54.6	20.0
(前回調査)	1,718	27.2	3.3	7.5	7.9	5.8	2.7	67.8	5.0
③趣味関係のグループ	3,627	31.0	2.0	5.7	6.4	12.0	4.9	51.1	17.9
(前回調査)	1,718	34.8	1.3	6.9	7.4	13.7	5.5	61.0	4.2
④学習・教養サークル	3,627	9.3	0.2	0.8	1.7	3.6	3.0	66.2	24.6
(前回調査)	1,718	11.7	0.1	1.6	2.3	4.5	3.2	82.5	5.8
⑤いきいきサロンなど介護予防のための通いの場	3,627	8.8	0.2	1.0	1.7	3.7	2.2	67.5	23.7
(前回調査)	1,718	13.0	0.3	1.7	3.1	4.9	3.0	82.7	4.2
⑥シニアクラブ	3,627	11.4	0.4	1.7	1.6	4.1	3.6	66.9	21.7
(前回調査)	1,718	13.9	0.2	2.0	2.0	5.2	4.5	81.5	4.5
⑦町内会・自治会	3,627	18.4	0.2	0.3	0.6	3.5	13.8	58.6	22.9
(前回調査)	1,718	24.7	0.1	0.3	0.9	3.5	19.9	70.8	4.9
⑧収入のある仕事	3,627	16.7	5.7	4.8	2.2	2.3	1.7	61.6	21.7
(前回調査)	1,718	18.2	6.1	5.8	1.7	2.1	2.5	77.6	4.1

※「参加している」：「週4回以上」＋「週2～3回」＋「週1回」＋「月1～3回」＋「年に数回」

(2) 地域活動への参加者としての参加意向

【一般高齢者】

問 47 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

地域活動への参加者としての参加意向をたずねたところ、「是非参加したい」(7.3%)と「参加してもよい」(46.5%)を合計した＜参加意向＞が 53.8%となっています。また、「既に参加している」が 6.8%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が 3.8 ポイント減少しています。

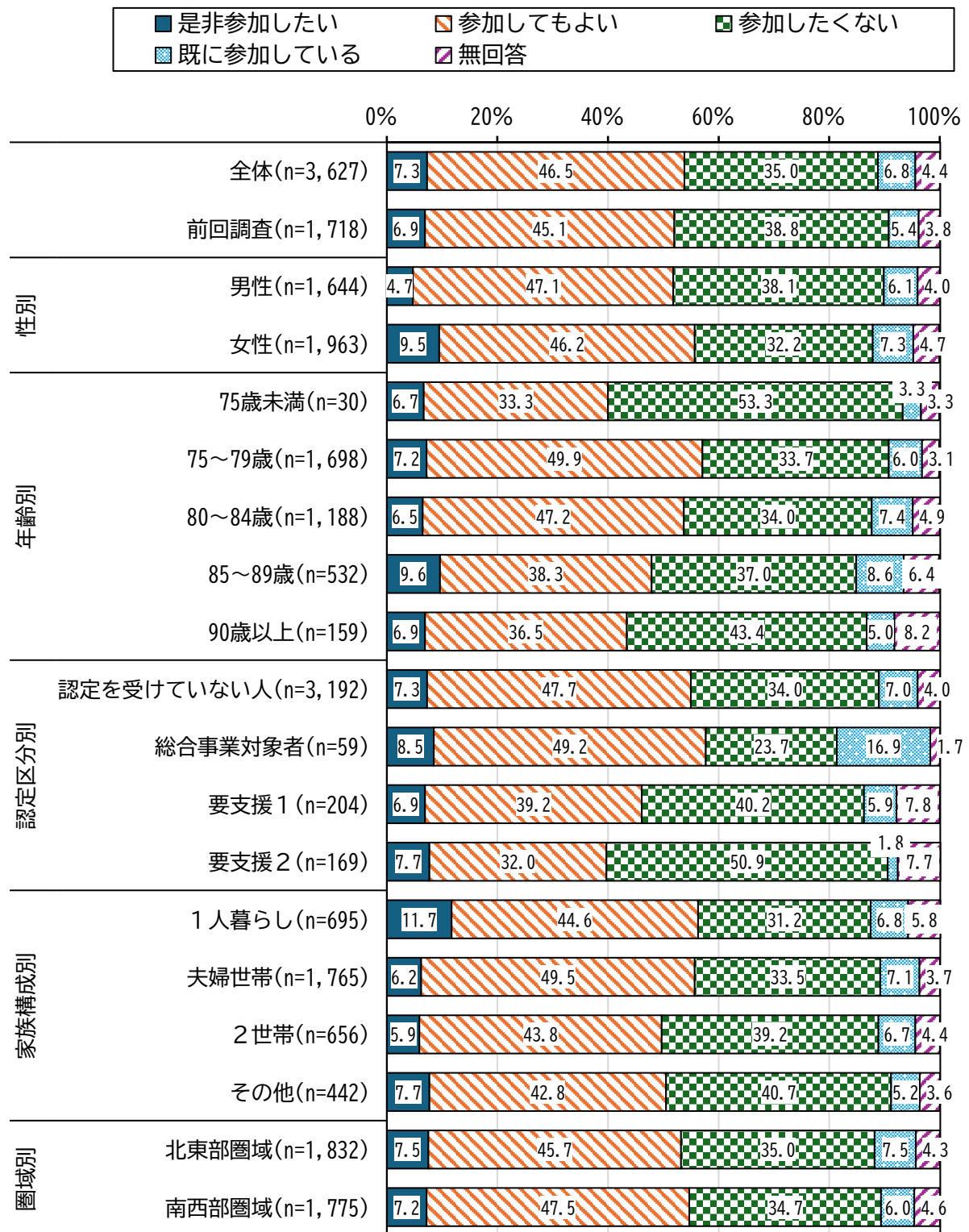
＜参加意向＞を性別にみると、女性は男性に比べて 4.4 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい低下します。

また、認定区分別にみると、総合事業対象者は 57.7%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1 人暮らしは 56.3%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて 1.5 ポイント高くなっています。



(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

【一般高齢者】

問 48 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 33 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つだけ）

地域活動への企画・運営としての参加意向をたずねたところ、「是非参加したい」（2.0%）と「参加してもよい」（27.8%）を合計した＜参加意向＞が 29.8%となっています。また、「既に参加している」が 4.2%となっています。

前回調査と比較すると、「参加したくない」が 5.0 ポイント減少しています。

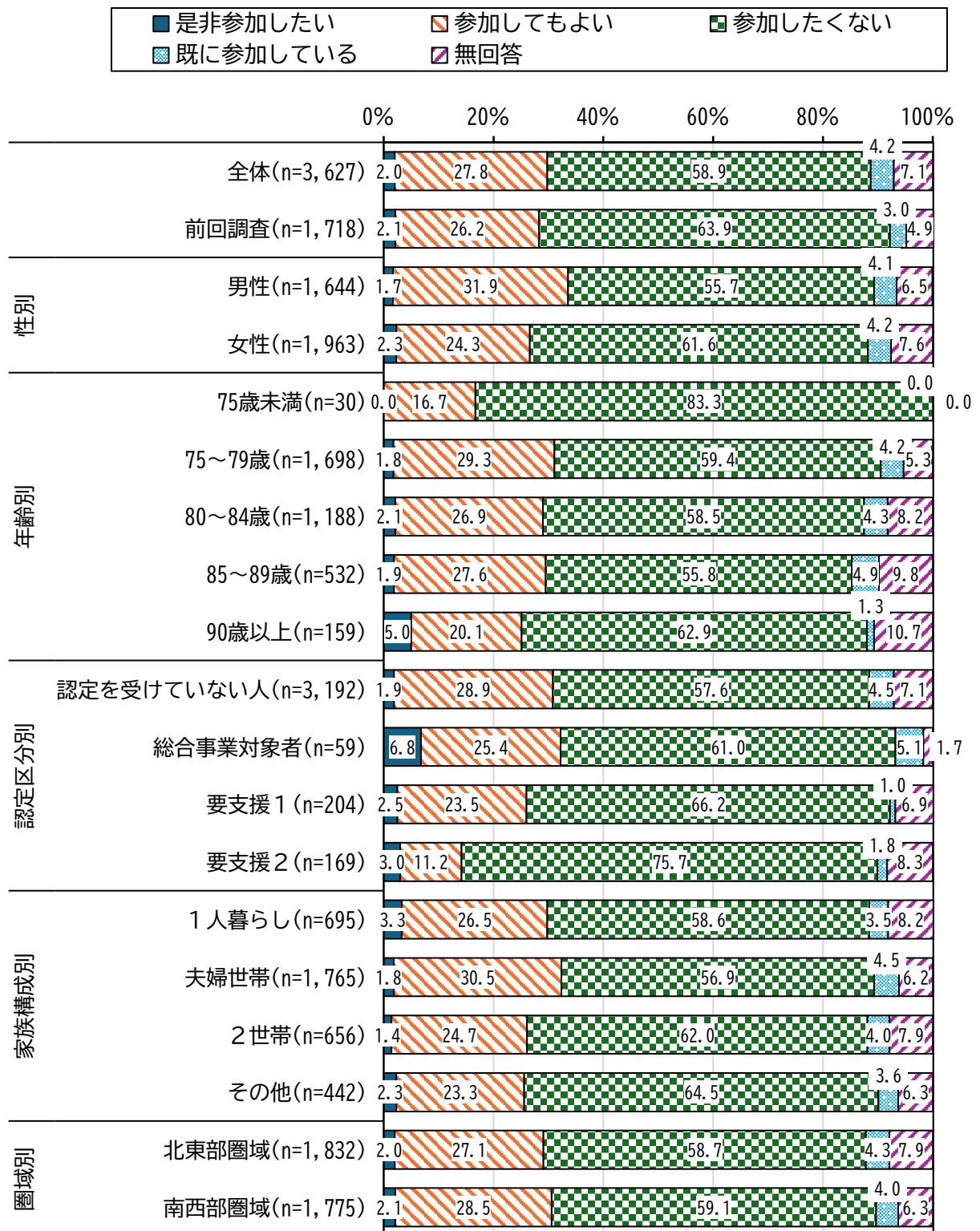
＜参加意向＞を性別にみると、男性は女性に比べて 7.0 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75～79 歳は 31.1%と他に比べて高くなっています。

また、認定区分別にみると、総合事業対象者は 32.2%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦世帯は 32.3%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて 1.5 ポイント高くなっています。



就労についておたずねします。

(1) 就労状態

【一般高齢者】

問 49 現在のあなたの就労状態はどれですか。（○はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 34 現在のあなたの就労状態はどれですか。（○はいくつでも）

現在の就労状態について、「引退した」が 57.5%と最も高くなっています。

就労している人の中では、「非常勤（パート・アルバイト等）」が 9.1%、「自営業」が 6.7%、「常勤（フルタイム）」が 2.0%の順となっています。

性・年齢別にみると、75 歳以上では男性が 85～89 歳、女性が 75～79 歳で「引退した」が高くなっています。

認定区分別にみると、要支援 2 は「職に就いたことがない」が 18.3%と他に比べて高くなっています。

		回答件数 (n)	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	（パート・アルバイト等） 非常勤	自営業	求職中	その他	無回答
全体		3,627	10.0	57.5	2.0	9.1	6.7	0.6	7.9	10.0
男性 年齢別	男性全体	1,644	3.6	63.3	3.2	11.1	8.4	0.9	7.1	6.6
	75歳未満	11	18.2	63.6	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0
	75～79歳	774	2.5	58.1	4.4	17.1	8.4	1.3	6.8	4.5
	80～84歳	534	4.5	65.7	2.8	6.7	9.7	0.6	9.0	7.3
	85～89歳	261	5.0	71.6	1.1	5.0	6.1	0.8	5.4	9.2
	90歳以上	64	3.1	70.3	1.6	1.6	6.3	0.0	1.6	15.6
女性 年齢別	女性全体	1,963	15.4	52.4	1.0	7.6	5.2	0.4	8.6	12.8
	75歳未満	19	21.1	52.6	0.0	5.3	0.0	5.3	15.8	5.3
	75～79歳	924	11.7	53.8	0.9	11.9	5.7	0.4	9.5	9.1
	80～84歳	654	17.7	50.6	1.2	4.4	5.7	0.3	9.2	14.5
	85～89歳	271	18.8	51.7	1.5	3.0	3.3	0.0	5.5	19.9
	90歳以上	95	24.2	52.6	0.0	1.1	4.2	0.0	3.2	18.9
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	9.1	57.5	2.2	10.1	6.8	0.6	8.1	9.5
	総合事業対象者	59	16.9	57.6	1.7	0.0	3.4	3.4	10.2	11.9
	要支援 1	204	15.2	54.9	0.5	3.4	7.8	1.0	5.4	14.7
	要支援 2	169	18.3	60.9	0.0	1.2	4.1	0.0	7.1	12.4

(2) 就労の引退時期

【一般高齢者】

問 50 <問 49 で「2. 引退した」と答えた方におたずねします>

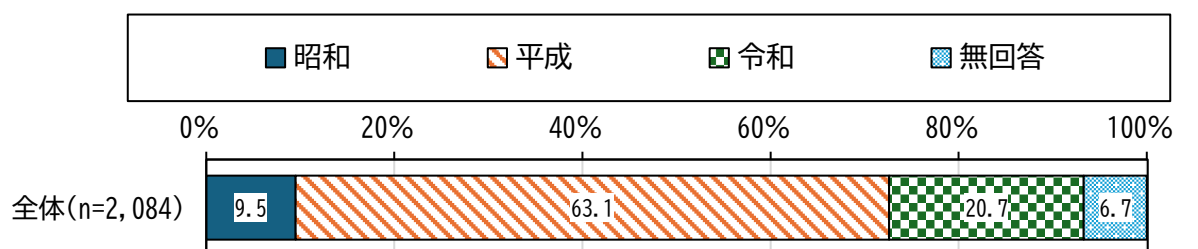
あなたはいつ引退しましたか。(○は1つだけ、数字を記入)

【要支援認定者・総合事業対象者】

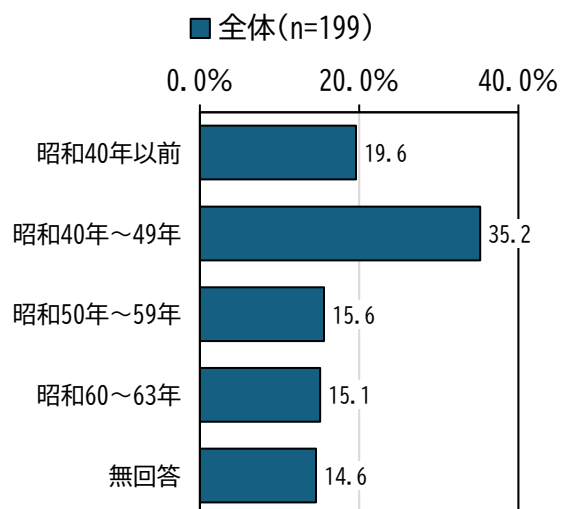
問 35 <問 34 で「2. 引退した」と答えた方におたずねします>

あなたはいつ引退しましたか。(○は1つだけ、数字を記入)

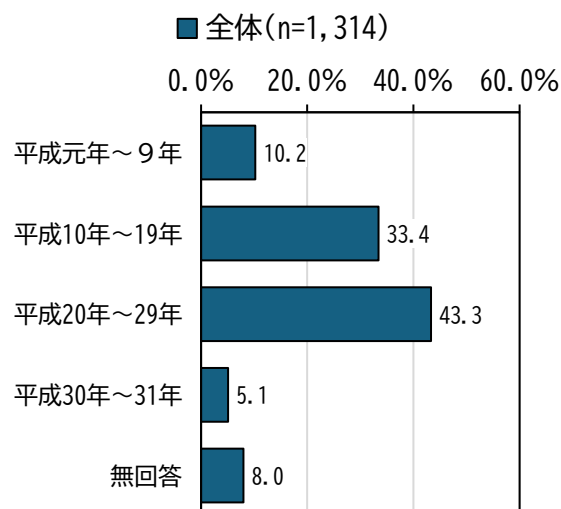
就労していた人の引退時期について、昭和に引退した人は「昭和 40～49 年」、平成に引退した人は「平成 20～29 年」、令和に引退した人は「令和 2 年」がそれぞれ最も高くなっています。



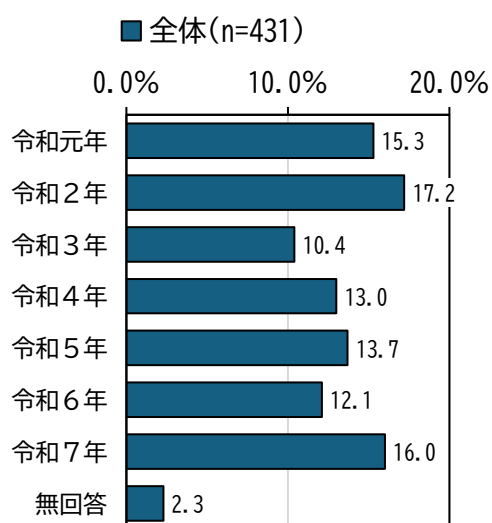
〈昭和〉



〈平成〉



〈令和〉



たすけあいについておたずねします。

(1) まわりの人の「たすけあい」について

【一般高齢者】

問 51 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。（それぞれ○はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 36 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。（それぞれ○はいくつでも）

まわりの人とのたすけあいの状況をみると、＜該当する人がいる＞は、「① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人」が 90.3%、「② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人」が 84.2%、「③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」が 88.3%、「④ 反対に、看病や世話をしてあげる人」が 74.9%となっています。

①～④のいずれの項目も「配偶者」が最も高くなっていますが、①及び②の心配事や愚痴については「友人」が比較的高く、特に②では「同居のこども」、「別居のこども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」を上回っています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

	回答件数 (n)	配偶者	同居のこども	別居のこども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣住民	友人	その他	(該当する人がいる)	そのような人はいない	無回答
① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	3,627	52.1	19.4	42.5	24.7	8.6	36.8	1.7	90.3	3.6	6.1
(前回調査)	1,718	53.0	20.2	43.8	25.7	9.9	39.0	1.9	94.5	3.1	2.4
② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	3,627	46.0	14.2	35.2	25.3	9.5	37.4	1.8	84.2	6.7	9.1
(前回調査)	1,718	48.7	16.0	36.9	26.6	11.6	40.8	1.2	89.3	7.7	3.0
③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	3,627	54.6	22.4	36.0	9.2	1.1	3.1	1.5	88.3	5.2	6.5
(前回調査)	1,718	58.7	25.0	37.7	8.8	1.9	3.1	1.3	93.4	4.7	1.9
④ 反対に、看病や世話をしてあげる人	3,627	54.9	16.0	21.7	12.2	1.5	3.9	1.5	74.9	14.5	10.6
(前回調査)	1,718	60.4	18.0	24.0	12.9	3.0	5.2	1.2	79.8	15.8	4.4

※＜該当する人がいる＞＝100%－「そのような人はいない」－無回答

【その他の回答（抜粋）】

「① あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人」

- ・ケアマネジャー、ヘルパー ・職場の同僚、仕事仲間 ・姪 ・共生ステーションの相談員
- ・喫茶店の店員 ・地域包括支援センター ・リハビリ施設のスタッフ

「② 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人」

- ・パート先の人、仕事仲間 ・クラブ活動 ・ボランティア活動仲間 ・リハビリ施設のスタッフ

「③ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」

- ・ヘルパー、看護師 ・支援者 ・社会福祉の人

「④ 反対に、看病や世話をしてあげる人」

- ・親しい友人 ・同居の孫、別居の孫 ・姪

(2) 家族、友人・知人以外の相談相手

【一般高齢者】

問 52 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（それぞれ〇はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 37 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（それぞれ〇はいくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手をたずねたところ、「そのような人はいない」が 36.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 32.1%、「地域包括支援センター・市役所」が 17.9%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「そのような人はいない」が 3.2 ポイント増加しています。

性別にみると、男女で 5 ポイント以上の差があるのは、男性が高い「そのような人はいない」と、女性が高い「ケアマネジャー」、「地域包括支援センター・市役所」です。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「そのような人はいない」が低下し、「ケアマネジャー」が上昇しています。

認定区分別にみると、総合事業対象者及び要支援認定者は「ケアマネジャー」が高くなっています。また、認定を受けていない人は「そのような人はいない」が高くなっています。

家族構成別にみると、1 人暮らしは「社会福祉協議会・民生委員」や「地域包括支援センター・市役所」が他に比べて高くなっています。

圏域別に見ると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「地域包括支援センター・市役所」が 2.9 ポイント高くなっています。

		回答件数（n）	自治会・町内会・シニアクラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,627	4.7	13.1	9.1	32.1	17.9	5.6	36.1	9.3
前回調査		1,718	5.6	16.3	12.0	34.7	21.4	4.5	32.9	5.4
性別	男性	1,644	5.5	11.3	6.2	34.1	15.0	5.8	39.2	8.0
	女性	1,963	4.1	14.6	11.6	30.6	20.4	5.4	33.3	10.4
年齢別	75歳未満	30	0.0	10.0	46.7	30.0	30.0	3.3	26.7	3.3
	75～79歳	1,687	3.5	9.7	5.0	30.6	14.6	5.9	42.5	8.0
	80～84歳	1,188	5.6	14.2	8.9	33.1	20.8	5.0	32.7	10.6
	85～89歳	532	6.6	20.1	13.9	32.3	19.5	6.2	28.2	11.1
	90歳以上	159	6.3	18.2	31.4	42.1	24.5	5.0	18.9	8.8
認定区分別	認定を受けていない人	3,192	4.7	13.1	4.1	32.0	16.3	5.5	39.0	9.3
	総合事業対象者	59	6.8	15.3	37.3	33.9	28.8	8.5	15.3	6.8
	要支援1	204	5.9	15.2	46.6	35.3	28.9	4.9	15.7	7.8
	要支援2	169	3.0	9.5	47.3	30.2	30.2	6.5	13.0	11.8
家族構成別	1人暮らし	695	5.9	21.3	12.2	27.3	20.4	7.1	31.1	10.4
	夫婦世帯	1,765	4.4	11.4	7.4	33.7	16.6	4.8	38.3	8.5
	2世帯	656	4.6	10.7	10.5	34.6	19.2	5.3	34.8	9.6
	その他	442	4.3	9.7	9.0	31.2	17.4	7.0	38.7	7.9
圏域別	北東部圏域	1,832	5.5	13.9	9.1	33.0	16.5	5.6	36.3	8.9
	南西部圏域	1,775	4.0	12.2	9.1	31.4	19.4	5.6	35.7	9.7

【その他の回答（抜粋）】

- ・心理カウンセラー ・ケアハウスの職員、施設職員 ・栄養士 ・弁護士 ・職場の上司、同僚
- ・ボランティア仲間 ・趣味等の仲間 ・農協 ・共生ステーションの相談員 ・喫茶店の店員
- ・シルバー人材 ・デイサービスのスタッフ

(3) 友人と会う頻度

【一般高齢者】

問 53 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 39 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つだけ)

友人・知人と会う頻度をたずねたところ、「月に何度かある」が28.8%と最も高く、次いで「週に何度かある」が28.1%などの順となっています。

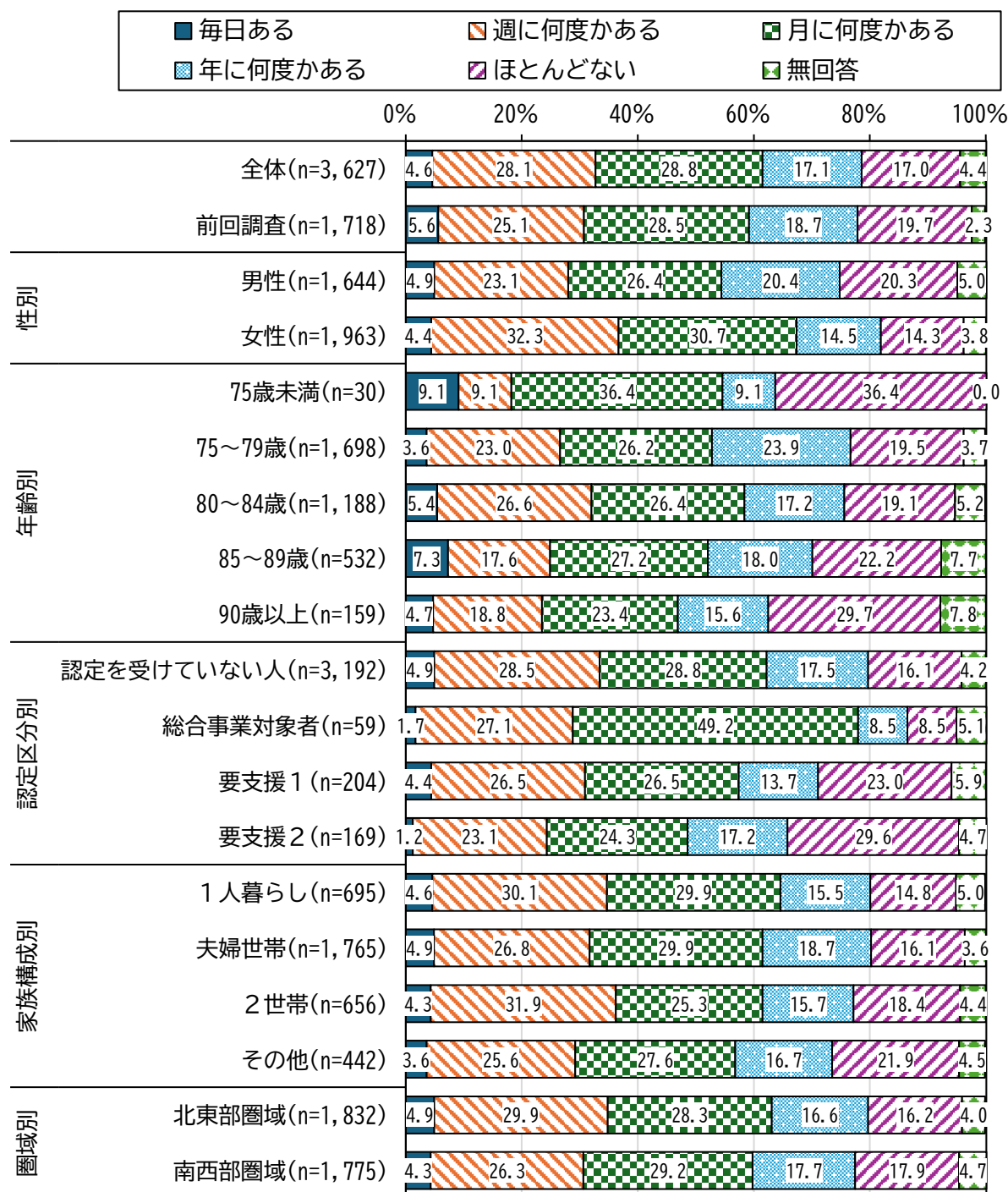
前回調査と比較すると、「ほとんどない」が2.7ポイント減少しています。

性別にみると、女性は男性に比べて会う頻度が高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「ほとんどない」が上昇し、90歳以上は29.7%となっています。

認定区分別にみると、要支援2は「ほとんどない」が29.6%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、世帯規模が小さくなるにしたがい合う頻度が高くなる傾向にあります。



(4) 会った友人の人数

【一般高齢者】

問 54 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 40 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つだけ)

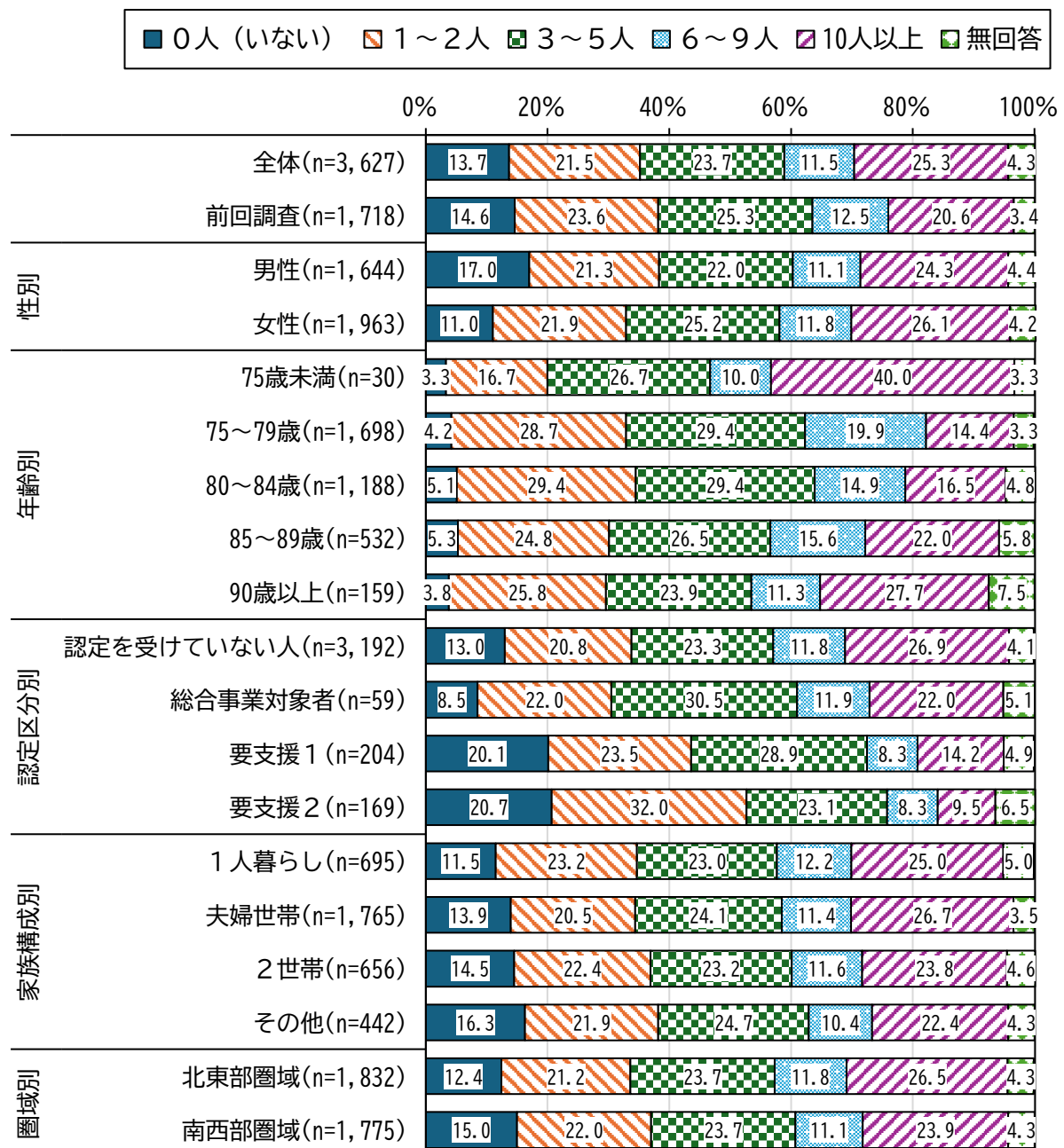
直近1か月間で会った友人・知人の人数は、「10人以上」が25.3%と最も高く、次いで「3～5人」が23.7%、「1～2人」が21.5などの順となっています。

前回調査と比較すると、「10人以上」が4.7ポイント増加しています。

性別にみると、男性は女性に比べて「0人(いない)」と「1～2人」の合計<2人以下>が5.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では80～84歳は他の年齢層に比べて<2人以下>が高く、「6～9人」と「10人以上」の合計<6人以上>が低くなっています。

認定区分別にみると、要支援2は<2人以下>が57.7%と他に比べて高くなっており、<6人以上>が17.8%と他に比べて低くなっています。



(5) 友人との関係

【一般高齢者】

問 55 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（〇はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 41 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（〇はいくつでも）

よく会う友人・知人との関係性をたずねたところ、「近所・同じ地域の人」が 43.0%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 39.9%、「仕事での同僚・元同僚」が 23.7%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「趣味や関心が同じ友人」が 2.4 ポイント増加しています。

性別により 10 ポイント以上の差があるのは、男性が高い「仕事での同僚・元同僚」と、女性が高い「近所・同じ地域の人」です。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「学生時代の友人」、「仕事での同僚・元同僚」、「趣味や関心が同じ友人」が低下しています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は「仕事での同僚・元同僚」が、要支援 2 は「いない」が高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦世帯は「学生時代の友人」や「仕事での同僚・元同僚」が、その他世帯は「いない」が高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「近所・同じ地域の人」が 7.9 ポイント高くなっています。

		回答件数 (n)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		3,627	43.0	7.6	15.1	23.7	39.9	9.8	6.1	10.6	4.9
前回調査		1,718	43.5	6.6	14.6	22.8	37.5	9.0	7.0	11.5	3.1
性別	男性	1,644	33.9	8.8	16.9	30.8	36.7	10.3	5.6	13.3	4.5
	女性	1,963	50.8	6.7	13.7	17.9	42.5	9.3	6.4	8.4	5.1
年齢別	75歳未満	30	23.3	0.0	13.3	23.3	23.3	6.7	10.0	23.3	3.3
	75～79歳	1,687	39.3	7.6	18.1	29.6	43.1	10.0	6.4	9.4	3.2
	80～84歳	1,188	47.1	9.1	14.3	21.0	40.0	10.2	5.8	9.2	5.6
	85～89歳	532	45.5	6.2	10.3	16.7	34.6	9.2	4.9	13.7	7.7
	90歳以上	159	49.7	3.1	5.7	6.3	25.8	6.9	7.5	22.0	7.5
	認定を受けていない人	3,192	42.9	7.9	16.1	25.3	41.5	10.1	5.7	9.8	4.4
認定区分別	総合事業対象者	59	47.5	10.2	6.8	15.3	42.4	10.2	10.2	6.8	8.5
	要支援 1	204	48.5	4.9	7.4	10.3	28.9	7.4	9.8	16.7	6.9
	要支援 2	169	36.7	4.7	8.9	13.6	21.3	7.1	6.5	20.1	10.1
	1人暮らし	695	46.9	6.0	13.5	20.6	38.8	8.6	8.2	8.9	5.6
家族構成別	夫婦世帯	1,765	40.8	7.5	17.0	26.8	42.1	11.2	5.2	10.7	4.0
	2世帯	656	45.9	10.8	13.7	20.9	37.7	8.5	4.6	11.4	5.3
	その他	442	41.4	5.9	13.6	22.4	37.3	9.0	8.8	12.4	5.0
	北東部圏域	1,832	47.0	9.4	14.8	22.4	38.2	10.0	5.8	9.2	4.9
圏域別	南西部圏域	1,775	39.1	5.7	15.5	25.2	41.6	9.5	6.3	12.1	4.8

【その他の回答（抜粋）】

- ・こども関連の友人 ・看護師 ・Nバスで仲良く話をする人 ・リハビリセンターの職員
- ・喫茶店で会う人 ・教会の人 ・シニア会の友人 ・デイサービス ・スポーツクラブ
- ・フィットネスの知人 ・仕事仲間、元同僚 ・こどもの保育園役員 ・病院で知り合った人
- ・医師 ・昔の友人 ・同じリハビリ施設に通う仲の良い人

（６）今後の生活や、いざというときの不安

【一般高齢者】

問 56 今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることは、次のどれですか。
(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 42 今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることは、次のどれですか。
(○は1つだけ)

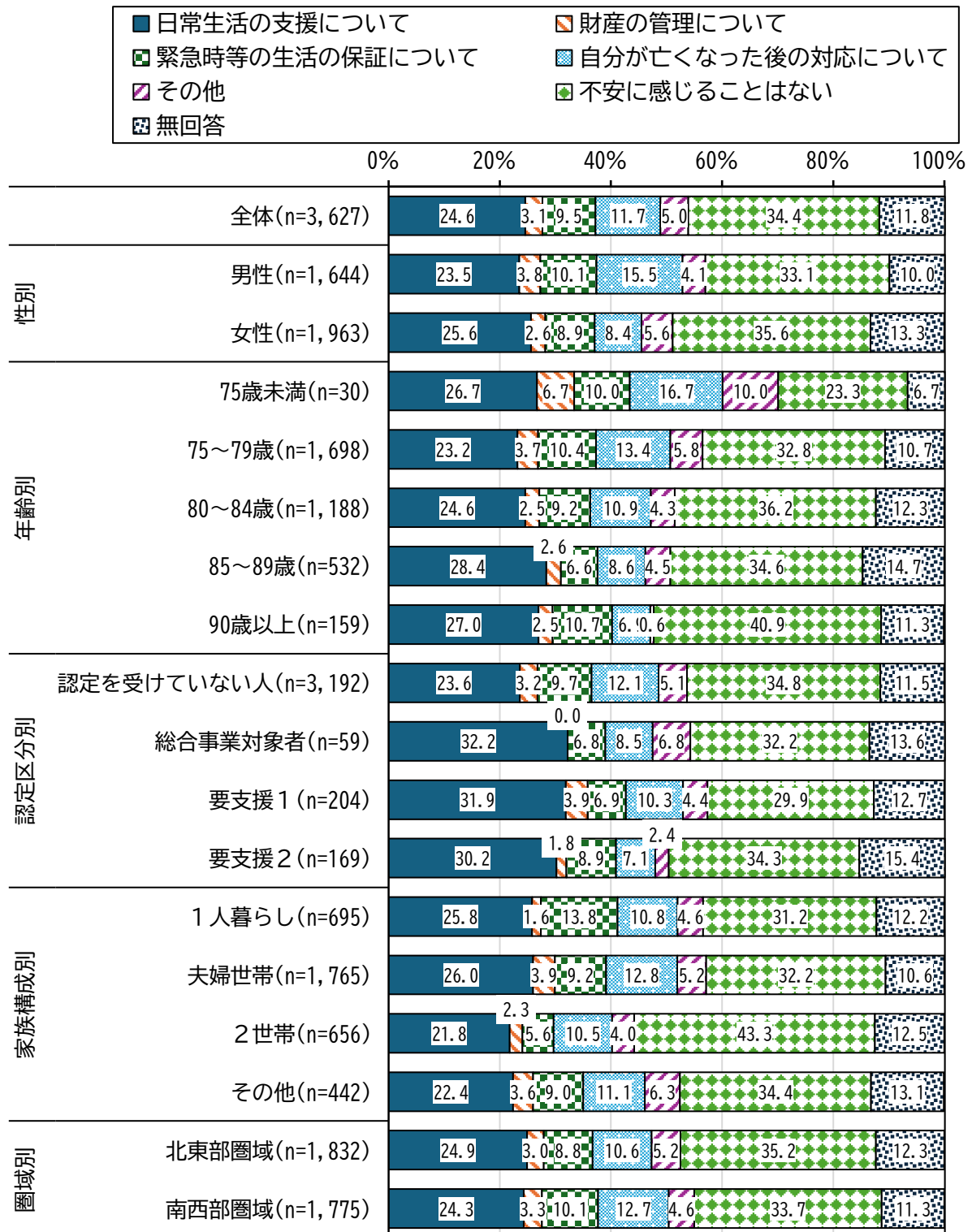
今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることについて、「不安に感じることはない」が 34.4%と最も高く、次いで「日常生活の支援について」が 24.6%、「自分が亡くなった後の対応について」が 11.7%などの順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「自分が亡くなった後の対応について」が 7.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、90 歳以上は「不安に感じることはない」が 40.9%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は「自分が亡くなった後の対応について」が 12.1%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1 人暮らしは「緊急時等の生活の保証について」が 13.8%と他に比べて高くなっています。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 配偶者の老後 ・ 経済的に苦しくならないかと不安 ・ 大災害の時の対応
- ・ 一人でいるときに体調が急変した時対応できるか ・ 火災発生時の避難
- ・ 一人暮らしの為、夜間に体調不良になった場合

健康についておたずねします。

(1) 健康状態

【一般高齢者】

問 57 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 58 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つだけ）

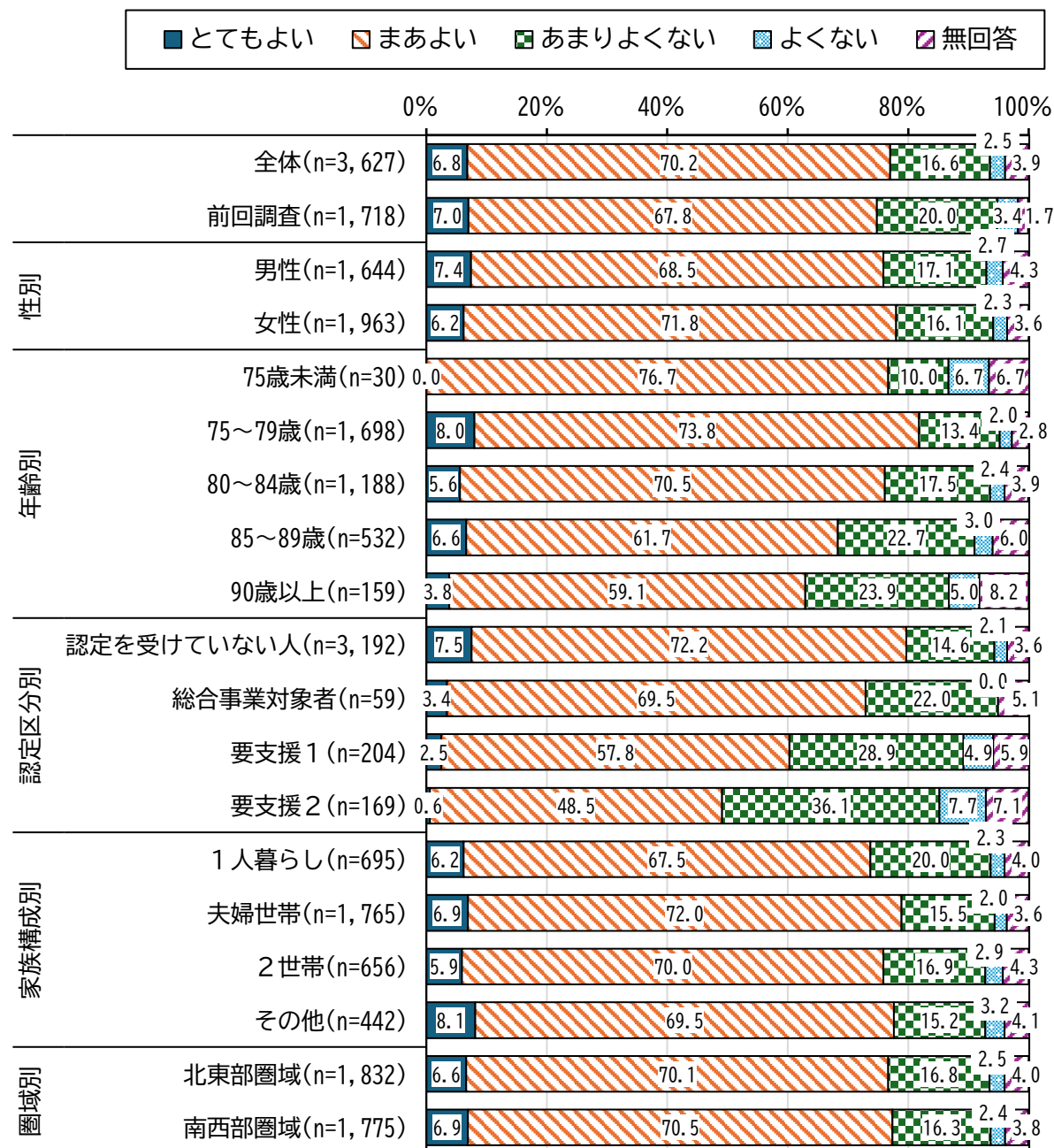
現在の健康状態をたずねたところ、「まあよい」が 70.2%となっていますが、「あまりよくない」（16.6%）と「よくない」（2.5%）を合計した＜よくない＞は 19.1%となっています。

前回調査と比較すると、＜よくない＞が 4.3 ポイント減少しています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい＜よくない＞が上昇し、90 歳以上は 28.9%となっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい＜よくない＞が上昇し、要支援2は 43.8%となっています。

家族構成別にみると、1 人暮らしは＜よくない＞が他に比べて高くなっています。



(2) 幸福度

【一般高齢者】

問 58 あなたの現在の幸福度はどの程度ですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 59 あなたの現在の幸福度はどの程度ですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください。(○は1つだけ)

「あなたの現在の幸福度はどの程度ですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください」という設問では、「7点」が20.1%と最も高く、次いで「5点」が20.0%、「8点」が17.6%などの順となっており、＜8点以上＞が37.7%となっています。

幸福度の平均点は6.9点であり、前回調査の7.1点と比較するとやや減少しています。

性別にみると、女性は男性に比べて＜8点以上＞が6.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は＜8点以上＞が34.8%と他に比べて低くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は＜8点以上＞が26.5%と他に比べて低くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは＜8点以上＞が31.0%と他に比べて低くなっています。

		回答 件数 (n)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点
全体		3,627	0.1	0.6	0.9	2.7	3.2	20.0
前回調査		1,718	0.2	0.3	0.5	3.1	3.0	19.0
性別	男性	1,644	0.0	0.4	0.8	3.2	4.0	21.0
	女性	1,963	0.2	0.7	1.0	2.3	2.5	19.3
年齢別	75歳未満	30	0.0	3.3	0.0	6.7	6.7	23.3
	75～79歳	1,687	0.1	0.4	1.1	2.6	2.8	17.3
	80～84歳	1,188	0.1	0.8	0.7	2.5	3.3	21.8
	85～89歳	532	0.2	0.2	0.8	3.0	4.1	23.1
	90歳以上	159	0.0	1.3	1.9	3.1	2.5	25.2
	認定を受けていない人	3,192	0.1	0.5	0.8	2.3	2.9	19.0
認定 区分別	総合事業対象者	59	0.0	0.0	0.0	1.7	3.4	23.7
	要支援1	204	0.0	1.0	2.5	5.9	5.9	26.5
	要支援2	169	0.6	1.2	0.6	5.3	5.3	29.0
	1人暮らし	695	0.3	0.7	1.2	3.6	5.0	22.6
家族 構成別	夫婦世帯	1,765	0.1	0.4	1.0	2.5	2.4	18.4
	2世帯	656	0.0	0.8	0.3	2.0	3.2	21.2
	その他	442	0.0	0.9	0.9	2.5	3.4	20.1
	その他	442	0.0	0.9	0.9	2.5	3.4	20.1
圏域別	北東部圏域	1,832	0.2	0.7	1.0	2.6	3.7	20.4
	南西部圏域	1,775	0.0	0.4	0.8	2.8	2.6	19.7
		回答 件数 (n)	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体		3,627	11.0	20.1	17.6	9.7	10.4	3.8
前回調査		1,718	9.3	17.8	20.1	13.7	11.6	1.3
性別	男性	1,644	12.0	20.8	17.6	8.4	7.8	4.0
	女性	1,963	10.1	19.5	17.5	10.8	12.4	3.7
年齢別	75歳未満	30	13.3	23.3	10.0	0.0	6.7	6.7
	75～79歳	1,687	11.3	22.6	17.8	11.0	10.4	2.7
	80～84歳	1,188	9.9	19.8	18.0	9.3	10.1	3.7
	85～89歳	532	13.2	14.7	16.4	7.5	10.9	6.0
	90歳以上	159	8.2	13.2	17.6	8.2	10.7	8.2
	認定を受けていない人	3,192	11.2	20.6	18.1	10.3	10.6	3.5
認定 区分別	総合事業対象者	59	3.4	25.4	22.0	6.8	8.5	5.1
	要支援1	204	12.3	14.2	11.8	6.9	7.8	5.4
	要支援2	169	8.9	15.4	13.6	3.6	9.5	7.1
	1人暮らし	695	14.1	18.3	13.8	6.8	10.4	3.3
家族 構成別	夫婦世帯	1,765	10.9	21.8	18.8	10.5	9.8	3.3
	2世帯	656	9.6	18.6	17.4	11.3	11.6	4.1
	その他	442	8.8	19.0	19.9	8.8	10.6	5.0
	その他	442	8.8	19.0	19.9	8.8	10.6	5.0
圏域別	北東部圏域	1,832	11.4	20.1	15.7	9.4	11.2	3.7
	南西部圏域	1,775	10.6	20.1	19.5	10.0	9.5	3.9

(3) 直近1か月間で、気持ちが沈んだり、ゆううつな気持ちになったこと

【一般高齢者】

問 59 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

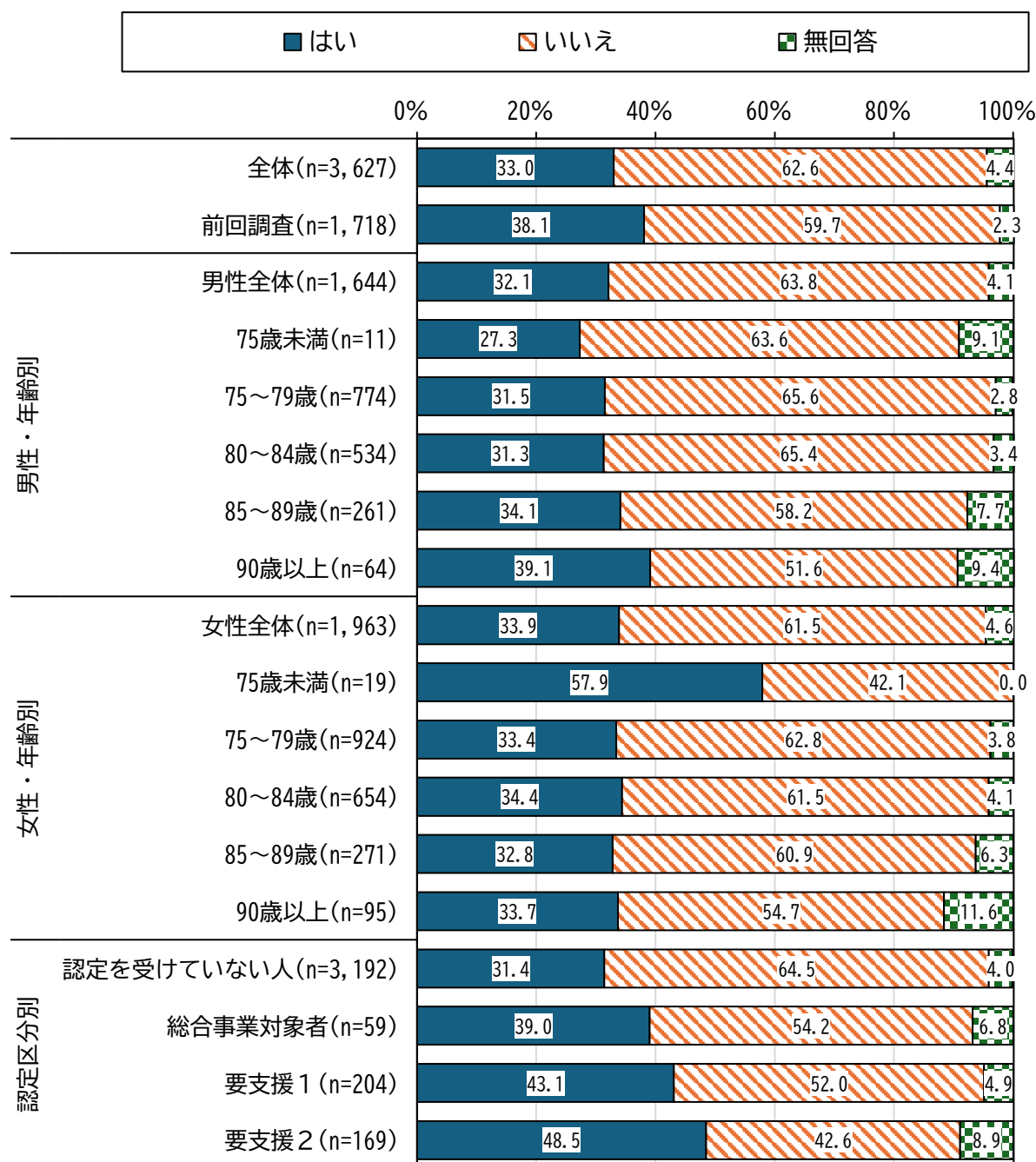
問 60 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つだけ)

直近1か月間で、気持ちが沈んだり、ゆううつな気持ちになった(「はい」)のは33.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が5.1ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男性は90歳以上、女性は80～84歳で「はい」が高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「はい」が低下し、要支援2は48.5%となっています。



(4) 直近1か月間で、物事に興味がわかなかったり、心から楽しめないことがあったこと

【一般高齢者】

問 60 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

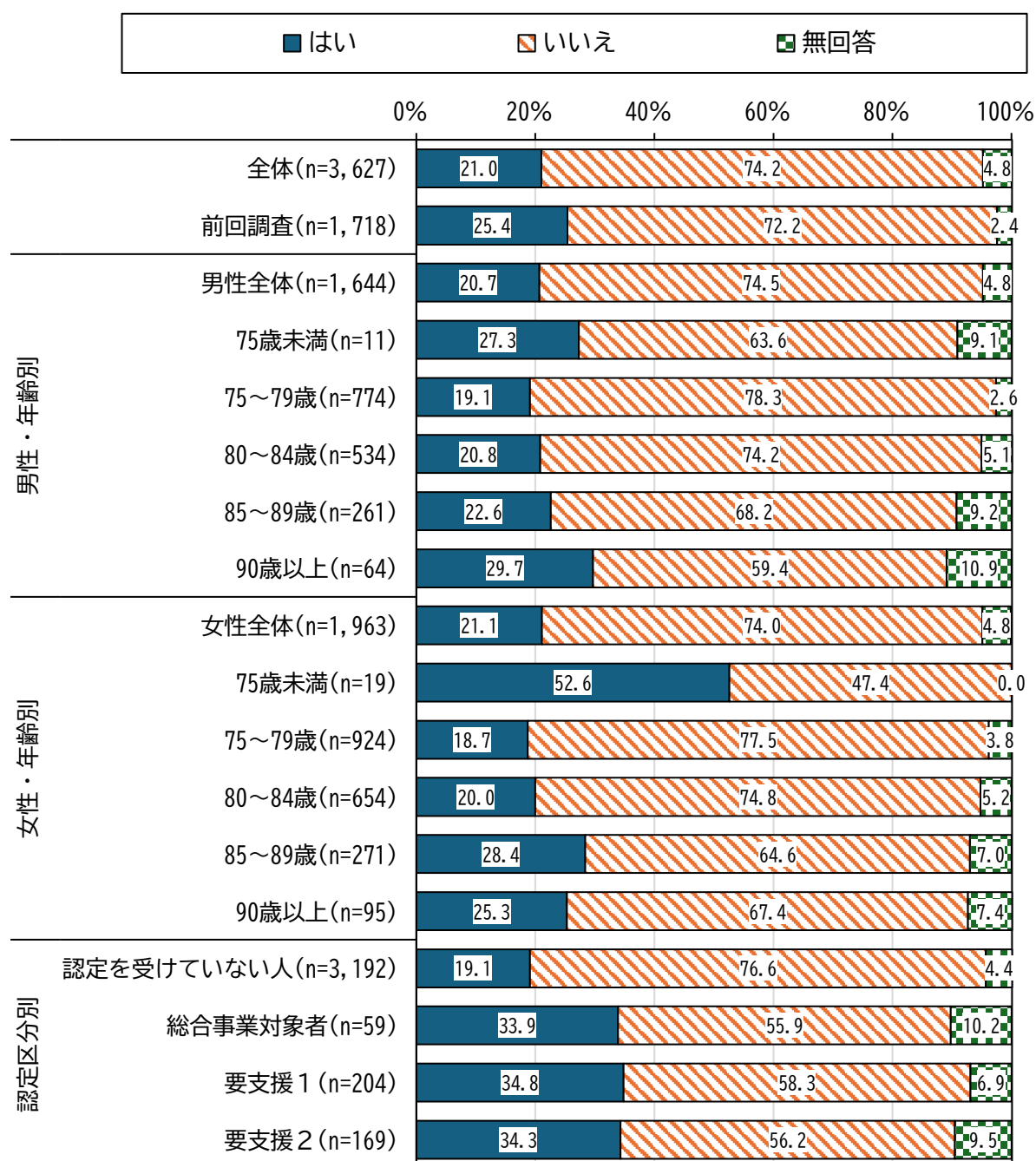
問 61 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)

直近1か月間で、物事に興味がわかなかったり、心から楽しめないことがあった(「はい」)のは21.0%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」が4.4ポイント減少しています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男性は90歳以上、女性は85～89歳で「はい」が高くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は「はい」が34.8%と他に比べて高くなっています。

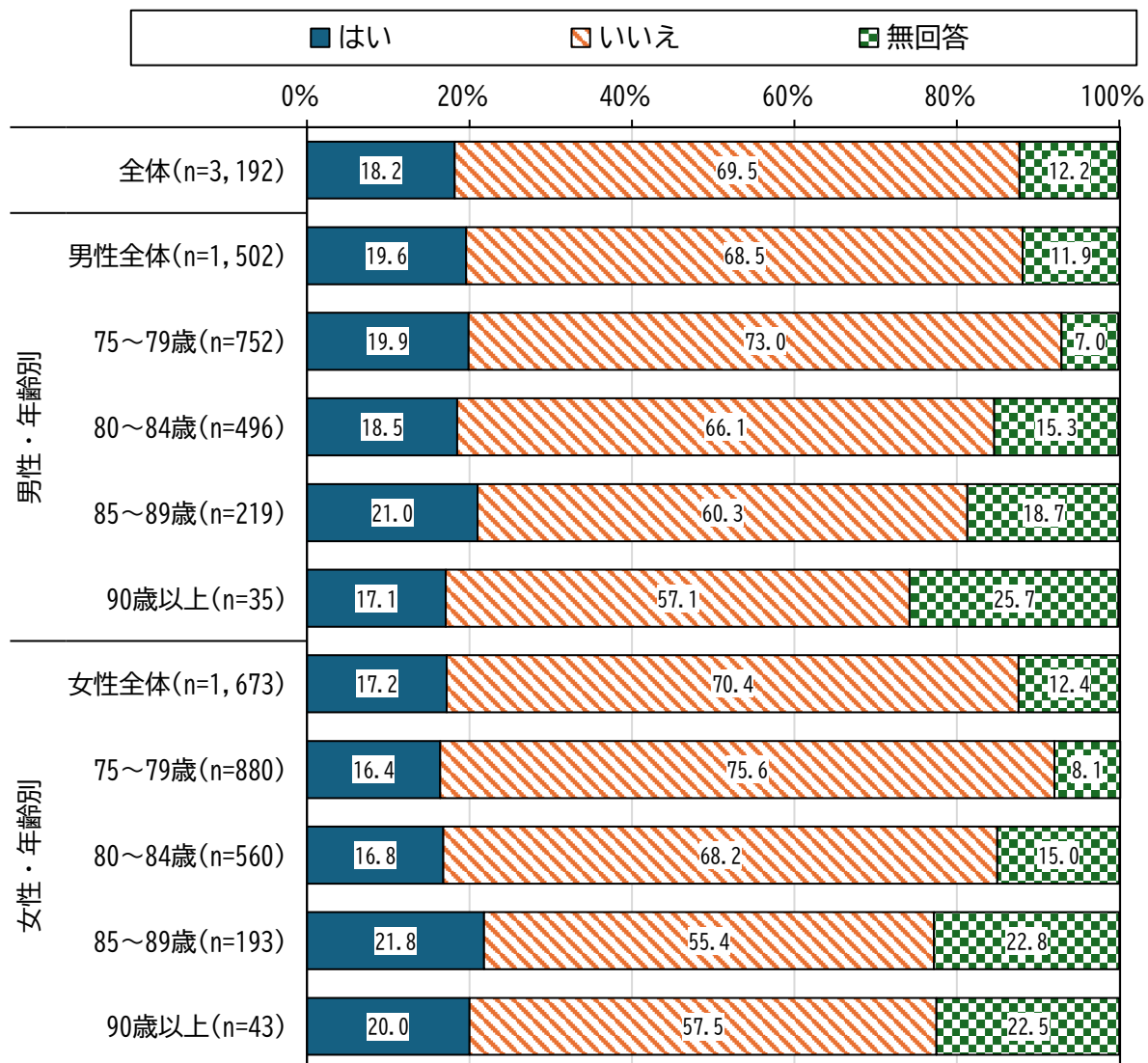


(5) 生活の充実感

【一般高齢者】

問 61 ここ2週間の中で、以下のように感じていますか。（それぞれ○は1つだけ）

① 毎日の生活に充実感がない

毎日の生活に充実感がないと感じている（「はい」）のは18.2%となっています。
性・年齢別にみると、男女ともに85～89歳で「はい」が高くなっています。


(6) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったこと

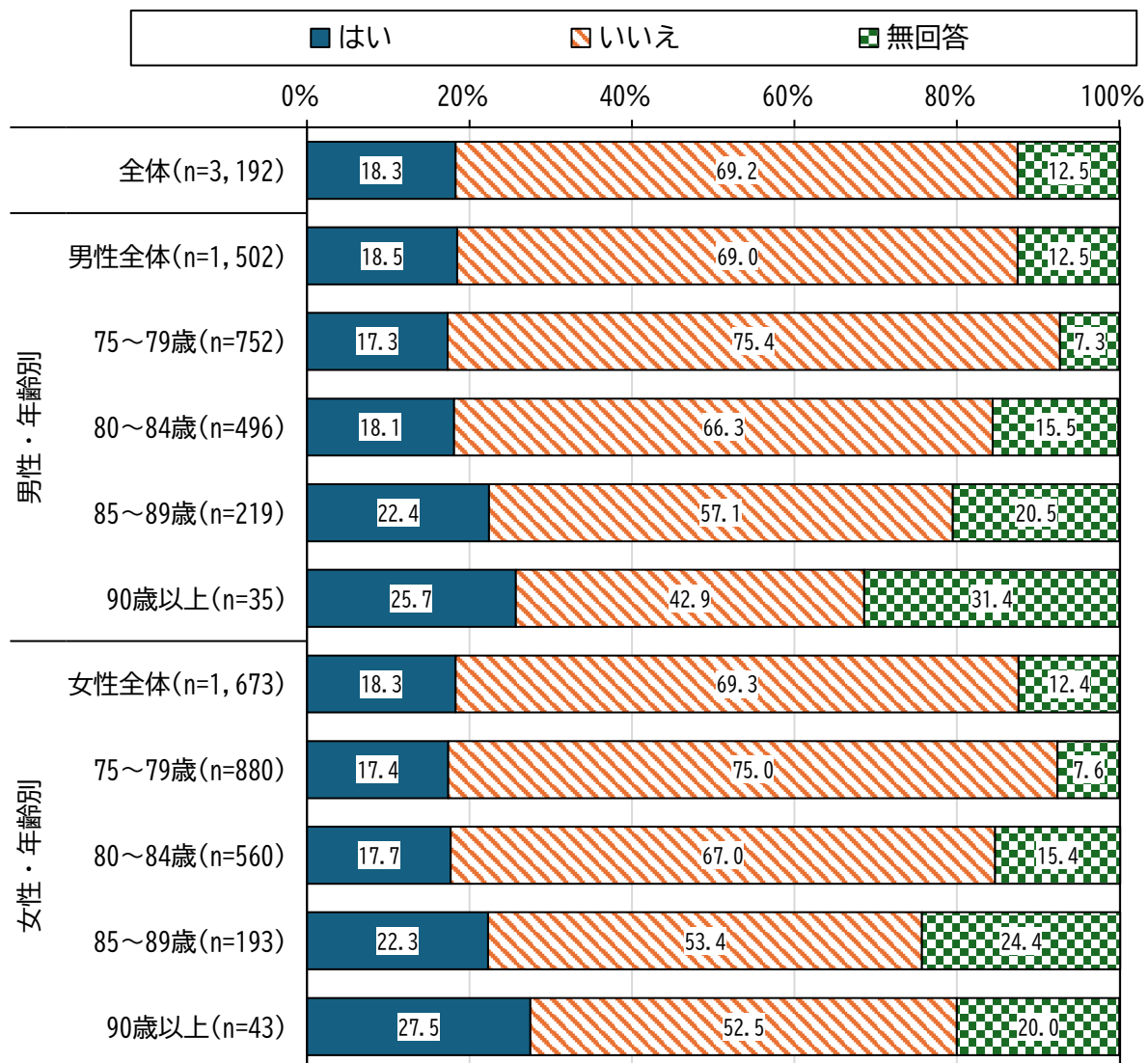
【一般高齢者】

問 61 ここ2週間の中で、以下のように感じていますか。（それぞれ○は1つだけ）

② これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じている（「はい」）のは 18.3%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が高くなるにしたがい「はい」が上昇します。



(7) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられること

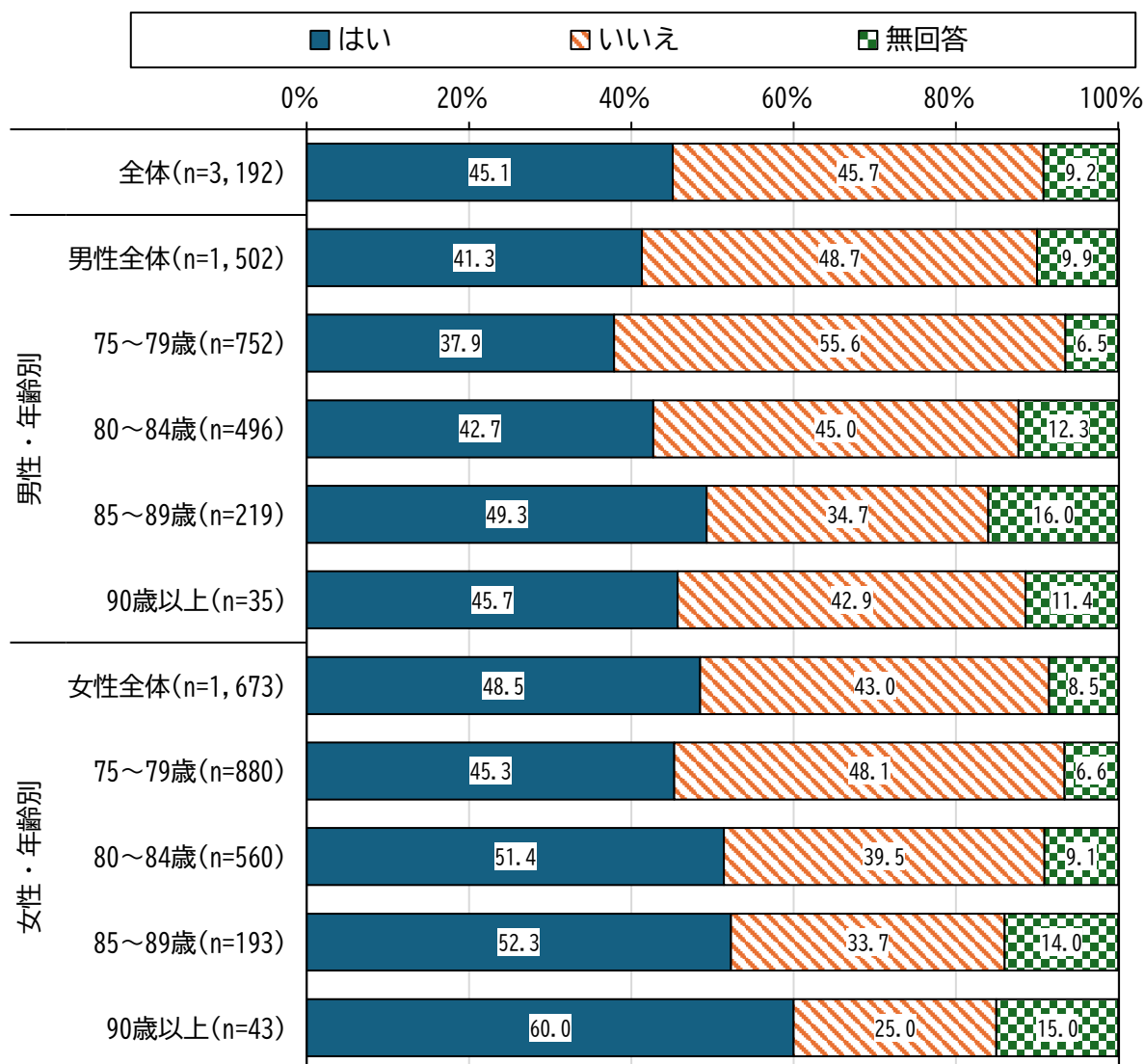
【一般高齢者】

問 61 ここ2週間の中で、以下のように感じていますか。(それぞれ○は1つだけ)

③ 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる

以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる(「はい」)のは45.1%となっています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男性は85～89歳、女性は90歳以上で「はい」が高くなっています。



(8) 自己肯定感

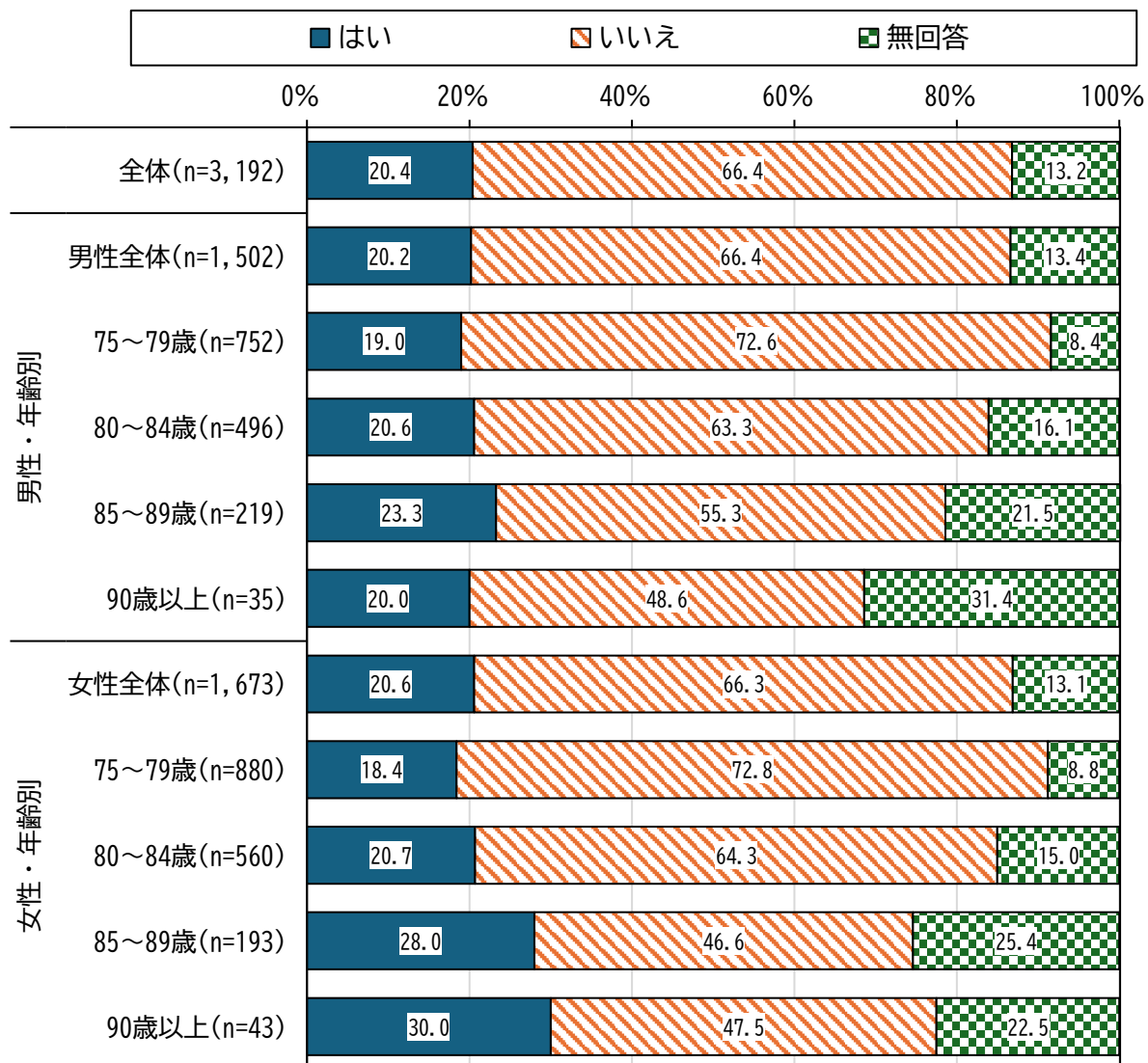
【一般高齢者】

問 61 ここ2週間の中で、以下のように感じていますか。（それぞれ○は1つだけ）

④ 自分が役に立つ人間だと思えない

自分が役に立つ人間だと思えないと感じられる（「はい」）のは20.4%となっています。

性・年齢別にみると、75歳以上では男性は85～89歳、女性は90歳以上で「はい」が高くなっています。



(9) 疲労感

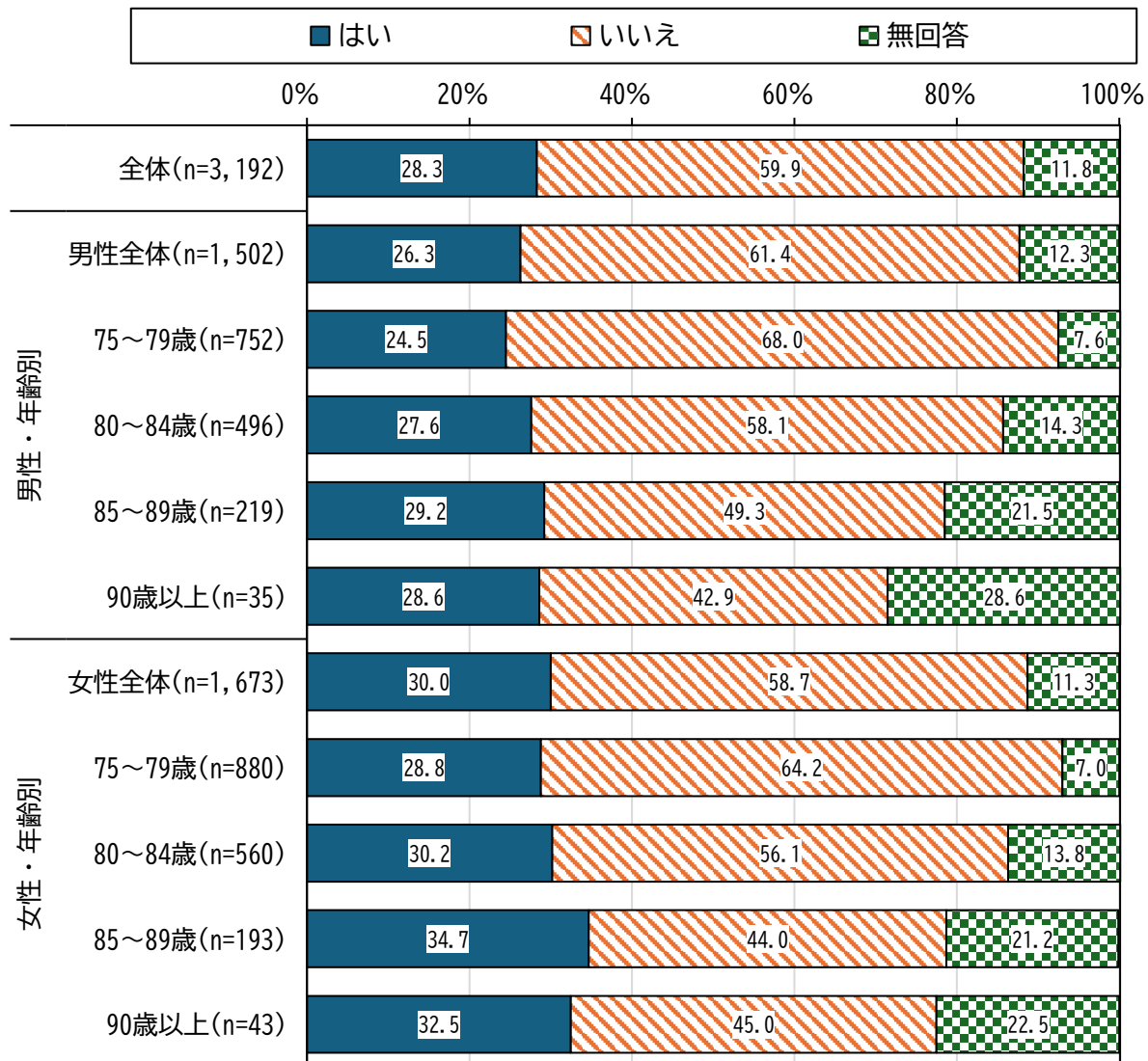
【一般高齢者】

問 61 ここ2週間の中で、以下のように感じていますか。（それぞれ○は1つだけ）

⑤ わけもなく疲れたような感じがする

わけもなく疲れたような感じがする（「はい」）のは 28.3%となっています。

性・年齢別にみると、男女ともに 85～89 歳で「はい」が高くなっています。



(10) 飲酒習慣

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

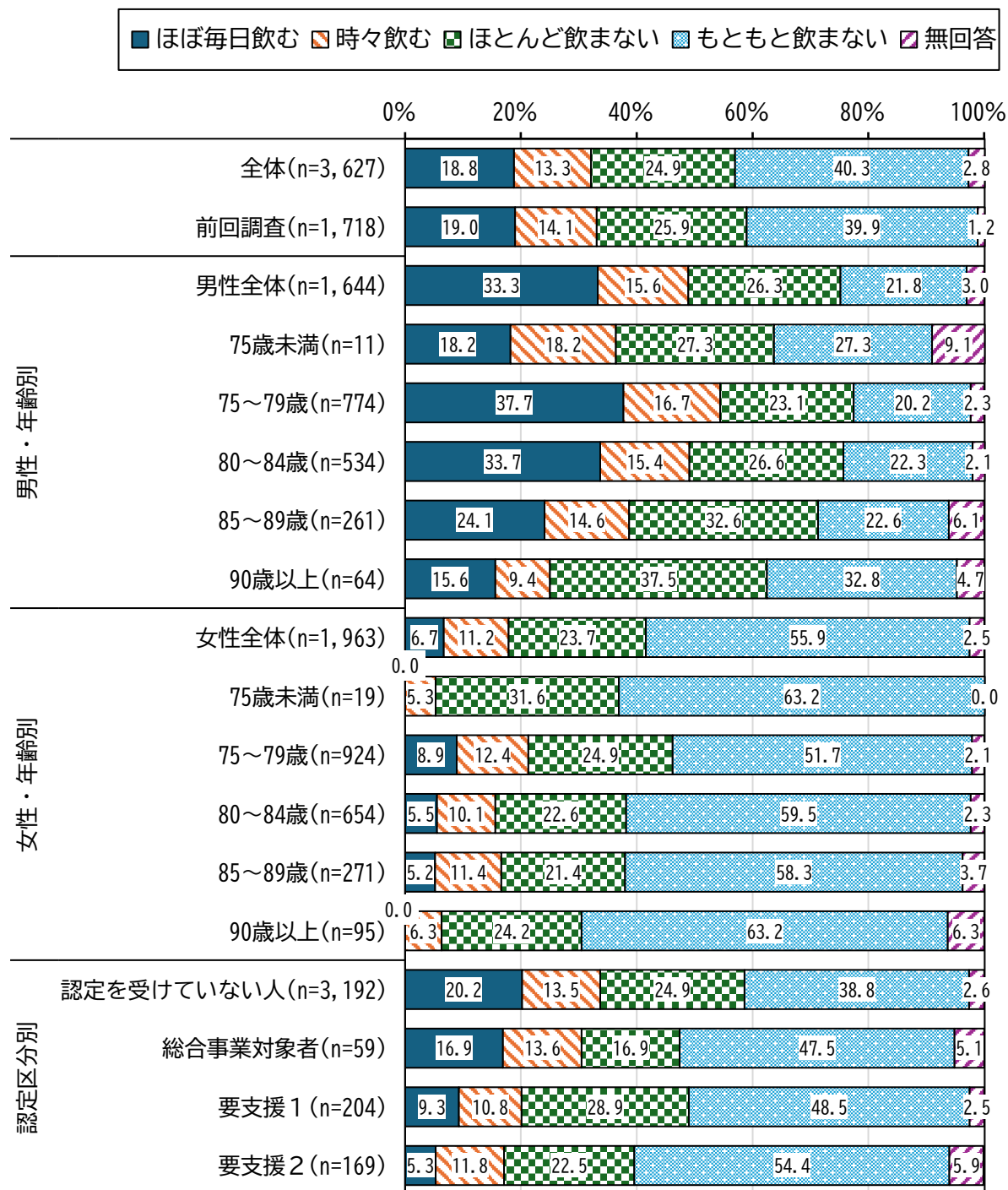
問 62 お酒は飲みますか。(○は1つだけ)

酒を「ほぼ毎日飲む」は18.8%、「時々飲む」は13.3%と、＜飲酒習慣がある＞は32.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると、＜飲酒習慣がある＞はいずれの年齢でも男性が高く、90歳以上の「ほぼ毎日飲む」では男性は女性に比べて15.6ポイント高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい＜飲酒習慣がある＞が低下し、要支援2は17.1%となっています。



(11) 喫煙習慣

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

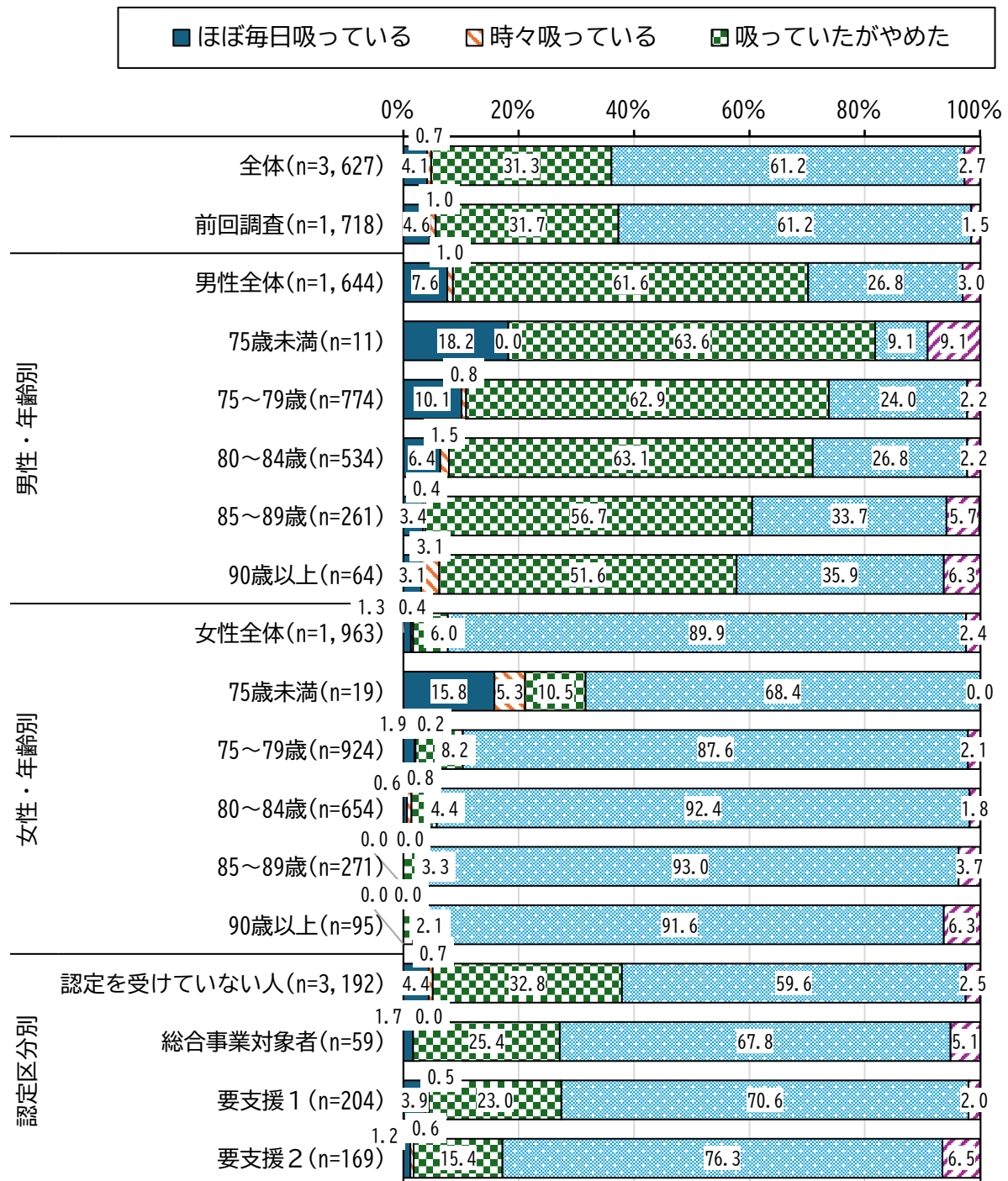
問 63 タバコは吸っていますか。(○は1つだけ)

タバコを「ほぼ毎日吸っている」は4.1%、「時々吸っている」は0.7%と、＜喫煙習慣がある＞は4.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性・年齢別にみると＜喫煙習慣がある＞はいずれの年齢でも男性が高く、90歳以上の「ほぼ毎日吸っている」では男性は女性に比べて6.2ポイント高くなっています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は＜喫煙習慣がある＞が5.1%と他に比べて高くなっています。



(12) 治療中、または後遺症のある病気

【一般高齢者、要支援認定者・総合事業対象者共通】

問 64 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

現在、治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」が 47.4%と最も高く、次いで「目の病気」23.0%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.7%、「糖尿病」が 16.2%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「高血圧」、「高脂血症（脂質異常）」が増加しています。

性・年齢別にみると、男性は「腎臓・前立腺の病気」が高く、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい上昇します。また、女性は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が高く、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい上昇します。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が上昇し、要支援 2 は 27.8%となっています。

		回答件数 (n)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全体		3,627	10.1	47.4	4.2	13.2	16.2	16.7	6.7	6.1	11.4	11.8
前回調査		1,718	9.4	45.4	4.4	14.1	17.0	14.4	6.8	8.1	11.7	13.3
男性 年齢別	男性全体	1,644	9.8	49.0	5.7	17.1	22.0	12.0	7.7	7.1	22.0	4.7
	75歳未満	11	0.0	36.4	27.3	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2
	75～79歳	774	11.4	47.8	5.0	14.2	20.8	12.7	6.2	6.6	20.2	3.7
	80～84歳	534	9.9	51.1	5.4	16.9	26.0	12.7	9.6	7.9	23.0	4.1
	85～89歳	261	5.4	51.3	6.9	22.6	19.2	9.6	7.3	7.7	23.0	7.3
	90歳以上	64	9.4	39.1	6.3	28.1	14.1	9.4	10.9	6.3	32.8	7.8
女性 年齢別	女性全体	1,963	10.1	46.1	3.0	9.9	11.5	20.7	6.0	5.2	2.7	17.8
	75歳未満	19	5.3	42.1	26.3	5.3	15.8	10.5	5.3	15.8	0.0	21.1
	75～79歳	924	13.6	41.2	2.9	6.8	10.9	24.9	5.2	5.6	1.9	14.0
	80～84歳	654	7.2	48.0	2.6	11.5	10.6	18.0	5.7	4.9	3.4	20.2
	85～89歳	271	7.7	54.6	2.2	15.5	13.3	15.1	7.7	5.5	3.0	21.8
	90歳以上	95	4.2	56.8	4.2	13.7	16.8	15.8	10.5	1.1	5.3	27.4
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	11.0	47.4	3.4	12.1	15.5	17.4	6.1	6.2	11.6	10.0
	総合事業対象者	59	3.4	49.2	5.1	22.0	18.6	13.6	10.2	5.1	18.6	20.3
	要支援 1	204	3.9	48.5	11.8	20.1	24.5	10.8	8.8	4.4	8.3	25.0
	要支援 2	169	2.4	46.2	10.7	20.7	19.5	10.7	13.6	6.5	10.1	27.8
		回答件数 (n)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		3,627	3.6	5.1	2.5	1.0	0.7	0.6	23.0	7.9	10.2	5.1
前回調査		1,718	4.5	5.4	2.4	1.0	1.0	0.5	26.4	7.8	10.2	3.4
男性 年齢別	男性全体	1,644	2.6	6.6	3.0	0.7	0.8	0.4	21.5	7.9	10.0	4.7
	75歳未満	11	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	18.2	9.1
	75～79歳	774	1.7	6.8	2.8	0.8	0.9	0.8	18.2	5.2	10.1	4.4
	80～84歳	534	2.6	7.5	2.4	0.6	0.6	0.0	24.5	9.4	8.8	3.6
	85～89歳	261	3.8	4.2	5.0	1.1	1.1	0.4	24.9	12.3	10.7	8.0
	90歳以上	64	9.4	4.7	1.6	0.0	0.0	0.0	21.9	10.9	15.6	4.7
女性 年齢別	女性全体	1,963	4.5	3.9	2.1	1.2	0.7	0.7	24.3	7.9	10.4	5.3
	75歳未満	19	15.8	0.0	10.5	10.5	5.3	10.5	21.1	10.5	10.5	0.0
	75～79歳	924	2.2	5.4	1.7	1.4	0.4	0.8	24.1	6.5	11.4	5.1
	80～84歳	654	5.8	2.6	2.8	0.9	0.6	0.5	24.6	8.4	9.8	5.4
	85～89歳	271	6.6	3.0	1.1	1.1	1.5	0.7	24.4	9.6	9.2	6.6
	90歳以上	95	9.5	1.1	2.1	0.0	0.0	0.0	24.2	12.6	8.4	5.3
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	2.7	5.1	2.5	0.8	0.7	0.3	22.6	7.6	10.0	5.2
	総合事業対象者	59	0.0	5.1	1.7	1.7	1.7	1.7	35.6	8.5	8.5	5.1
	要支援 1	204	9.8	4.4	3.4	2.0	2.0	4.4	22.5	11.3	9.3	2.0
	要支援 2	169	14.2	4.7	1.8	3.0	0.0	0.6	27.2	9.5	14.8	7.1

【その他の回答（抜粋）】

- ・低血圧 ・皮膚病 ・統合失調症 ・睡眠時無呼吸 ・リウマチ ・三叉神経痛 ・便秘
- ・コレステロール ・痛風 ・シェーグレン症候群 ・頸椎側弯ゆがみ ・頸椎症性神経根症
- ・過活動膀胱（子宮内膜症） ・海綿状血管腫 ・悪性のリンパ腫 ・右下肢血栓性静脈炎
- ・進行性核上性麻痺 ・胸椎椎間板ヘルニア後遺症 肝不全

認知症についておたずねします。

(1) 認知症は誰もがなり得ると思うか

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

① 認知症は誰もがなり得ると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

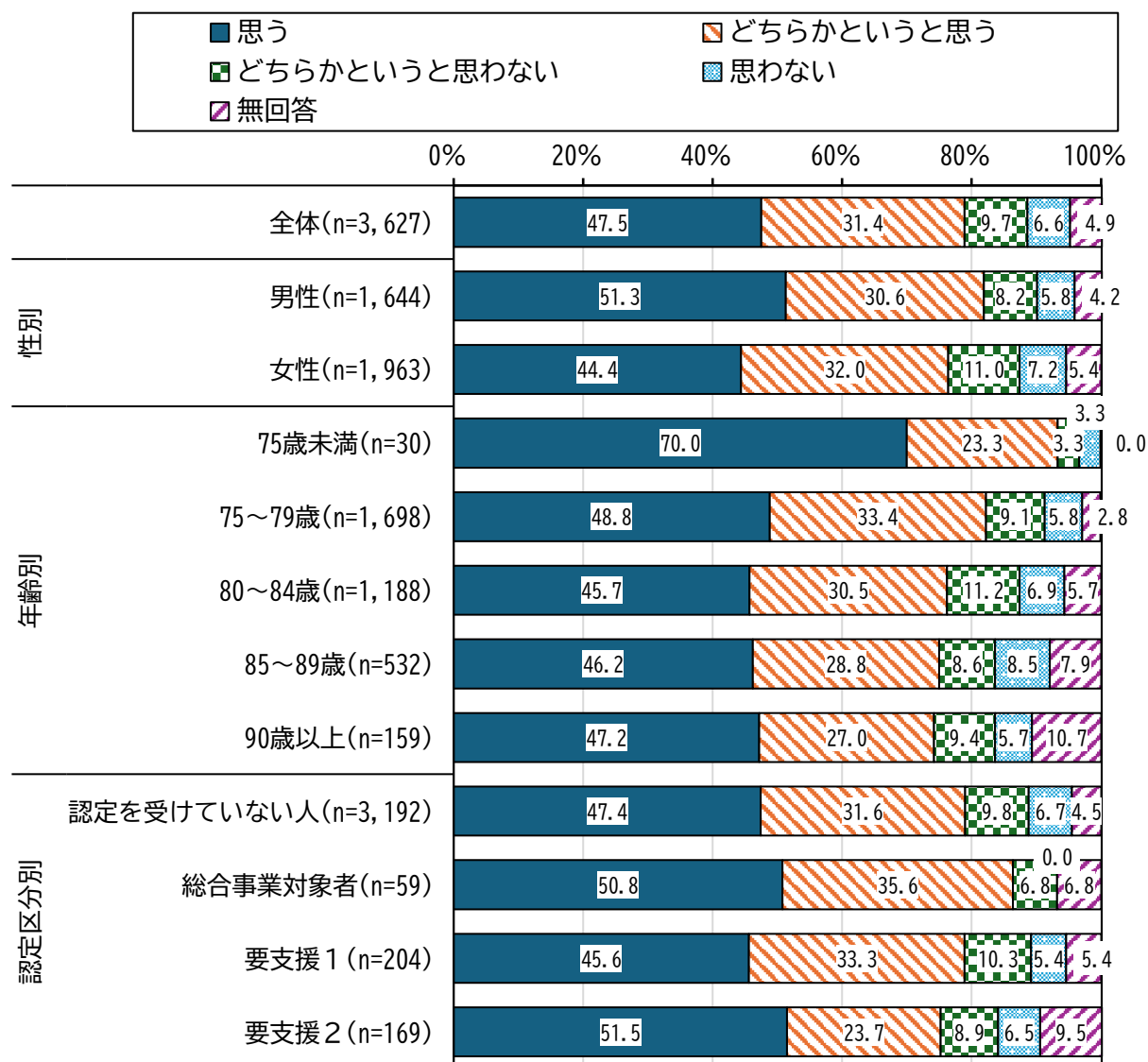
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか

認知症は誰もがなり得ると思うかについて、「思う」(47.5%)と「どちらかというと思う」(31.4%)を合計した<思う>は78.9%、「どちらかというと思わない」(9.7%)と「思わない」(6.6%)を合計した<思わない>は16.3%となっています。

<思う>を性別にみると、男性は女性に比べて5.5ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるにしたがい低下し、90歳以上は74.2%となっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は86.4%と他に比べて高くなっています。



(2) 認知症への理解

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

② あなたは認知症に関して理解していると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

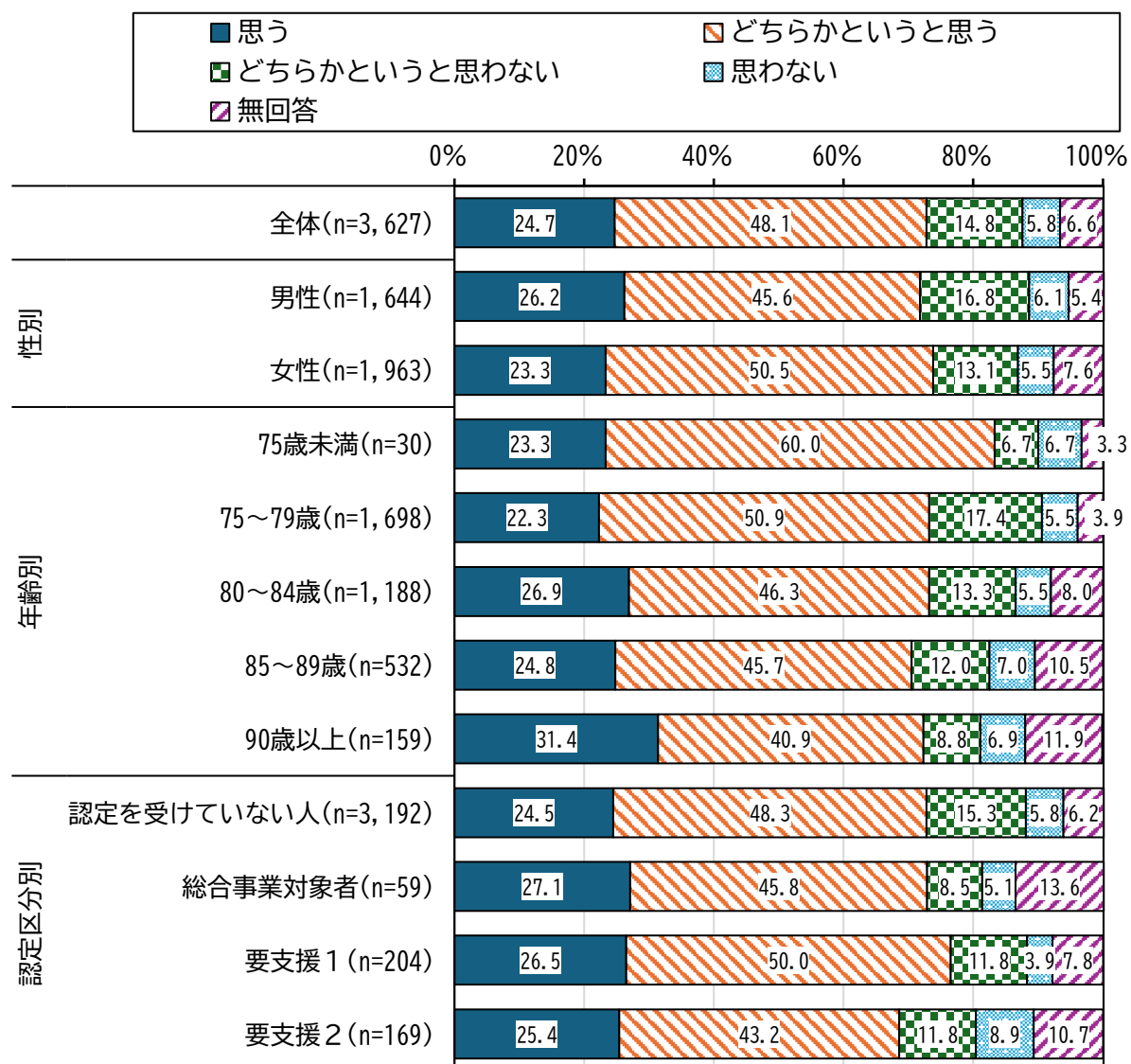
② あなたは認知症に関して理解していると思いますか

認知症に関して理解していると思うかについて、「思う」（24.7%）と「どちらかというと思う」（48.1%）を合計した＜思う＞は 72.8%、「どちらかというと思わない」（14.8%）と「思わない」（5.8%）を合計した＜思わない＞は 20.6%となっています。

＜思う＞を性別にみると、女性は男性に比べて2.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は70.5%と他に比べて低くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は76.5%と他に比べて高くなっています。



(3) 認知症になってもできることが多くあると思うか

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

③ 認知症になってもできることが多くあると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

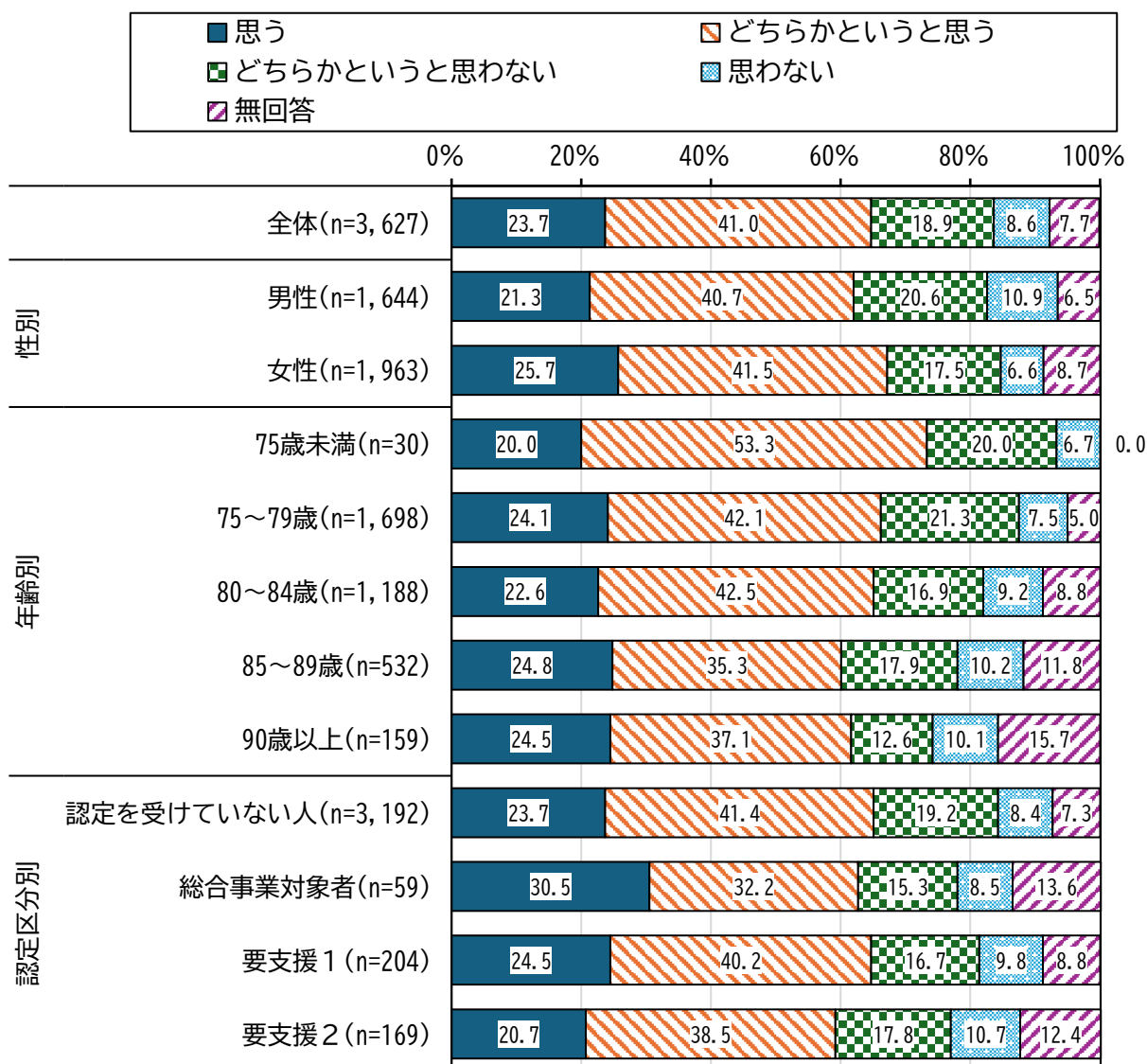
③ 認知症になってもできることが多くあると思いますか

認知症になってもできることが多くあると思うかについて、「思う」(23.7%)と「どちらかというと思う」(41.0%)を合計した<思う>は64.7%、「どちらかというと思わない」(18.9%)と「思わない」(8.6%)を合計した<思わない>は27.5%となっています。

<思う>を性別にみると、女性は男性に比べて5.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は60.1%と他に比べて低くなっています。

認定区分別にみると、要支援2は59.2%と他に比べて低くなっています。



(4) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

④ あなたが暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

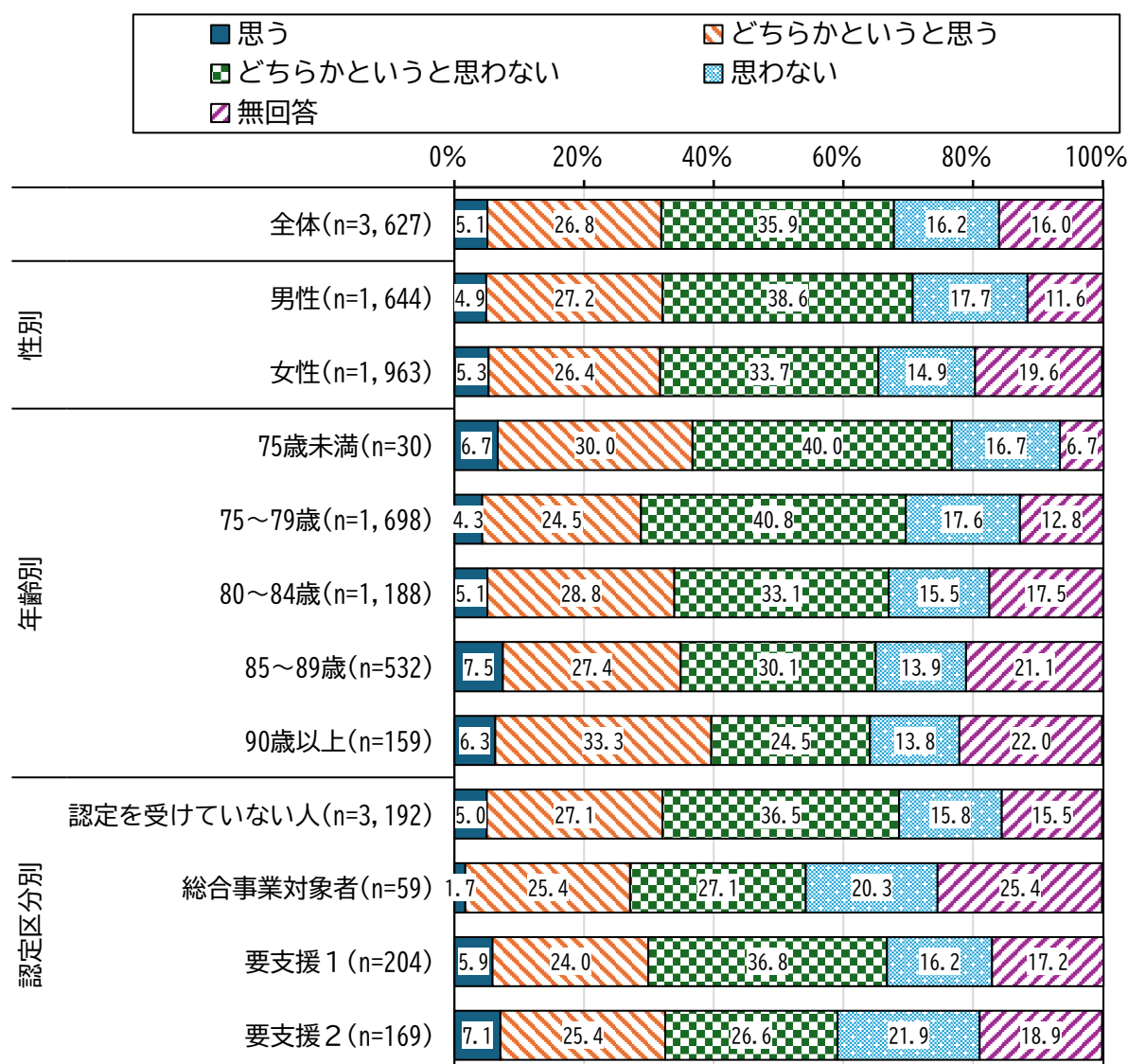
④ あなたが暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか

回答者が暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかについて、「思う」(5.1%)と「どちらかというと思う」(26.8%)を合計した<思う>は31.9%、「どちらかというと思わない」(35.9%)と「思わない」(16.2%)を合計した<思わない>は52.1%となっています。

<思わない>を性別にみると、男性は女性に比べて7.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい低下し、90歳以上は38.3%となっています。

認定区分別にみると、要支援1は53.0%と他に比べて低くなっています。



(5) 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑤ 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

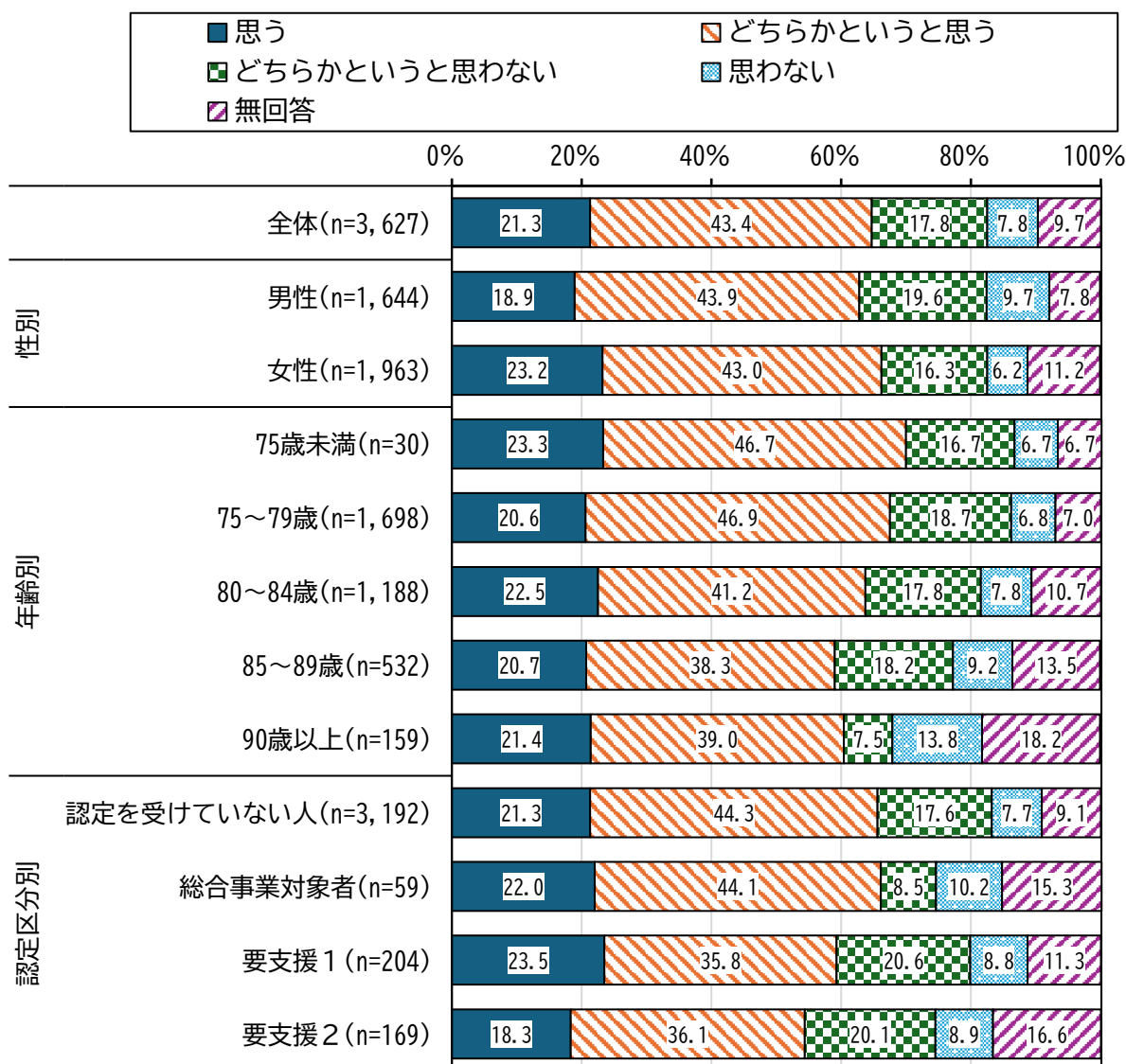
⑤ 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについて、「思う」(21.3%)と「どちらかというと思う」(43.4%)を合計した<思う>は 64.7%、「どちらかというと思わない」(17.8%)と「思わない」(7.8%)を合計した<思わない>は 25.6%となっています。

<思う>を性別にみると、女性は男性に比べて3.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は59.0%と他に比べて低くなっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は66.1%と他に比べて高くなっています。



(6) 認知症の人が自分らしく暮らせると思うか

【一般高齢者】

問 65 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑥ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

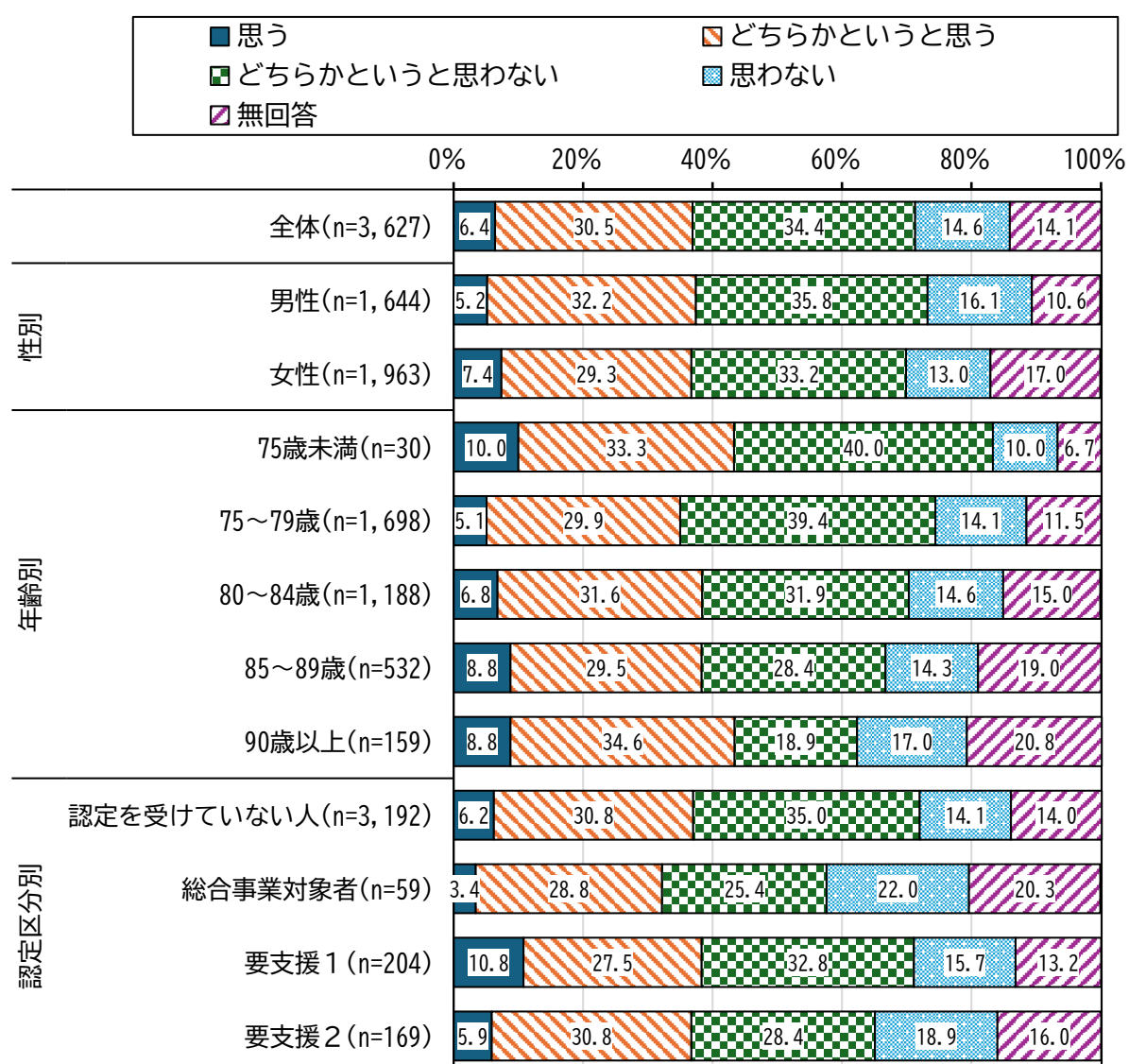
⑥ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか

回答者が暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思うかについて、「思う」(6.4%)と「どちらかというと思う」(30.5%)を合計した<思う>は36.9%、「どちらかというと思わない」(34.4%)と「思わない」(14.6%)を合計した<思わない>は49.0%となっています。

<思わない>を性別にみると、男性は女性に比べて5.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい低下し、90歳以上は35.9%となっています。

認定区分別にみると、認定を受けていない人は49.1%と他に比べて高くなっています。



(7) 「新しい認知症観」の認知度

【一般高齢者】

問 66 「新しい認知症観」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

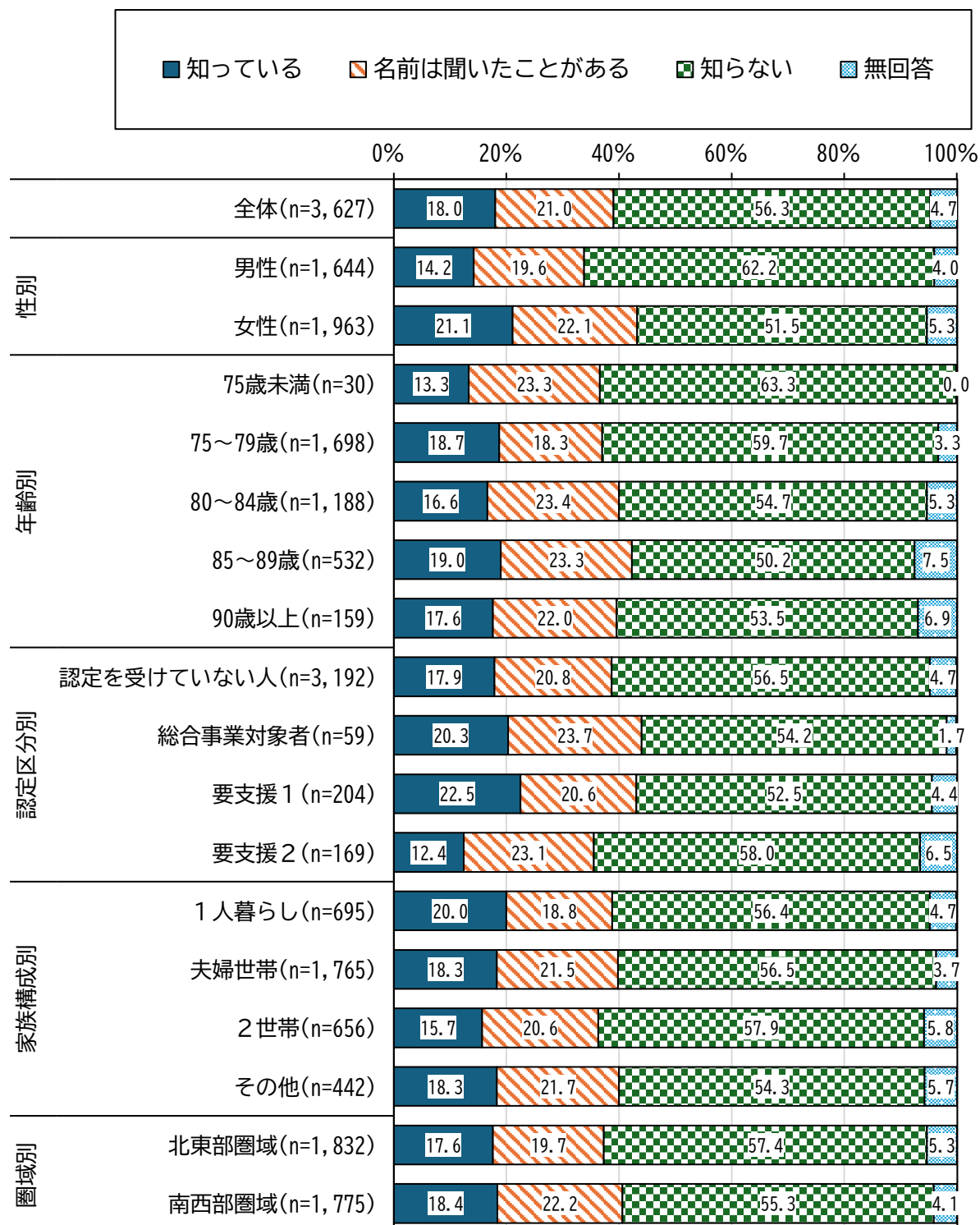
問 44 「新しい認知症観」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

「新しい認知症観」の認知度について、「知っている」が18.0%、「名前は聞いたことがある」が21.0%、「知らない」が56.3%となっています。

性別にみると、女性は男性に比べて「知っている」が6.9ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は「知っている」が19.0%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、要支援2は「知らない」が58.0%と他に比べて高くなっています。



(8) 認知症の症状

【一般高齢者】

問 67 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

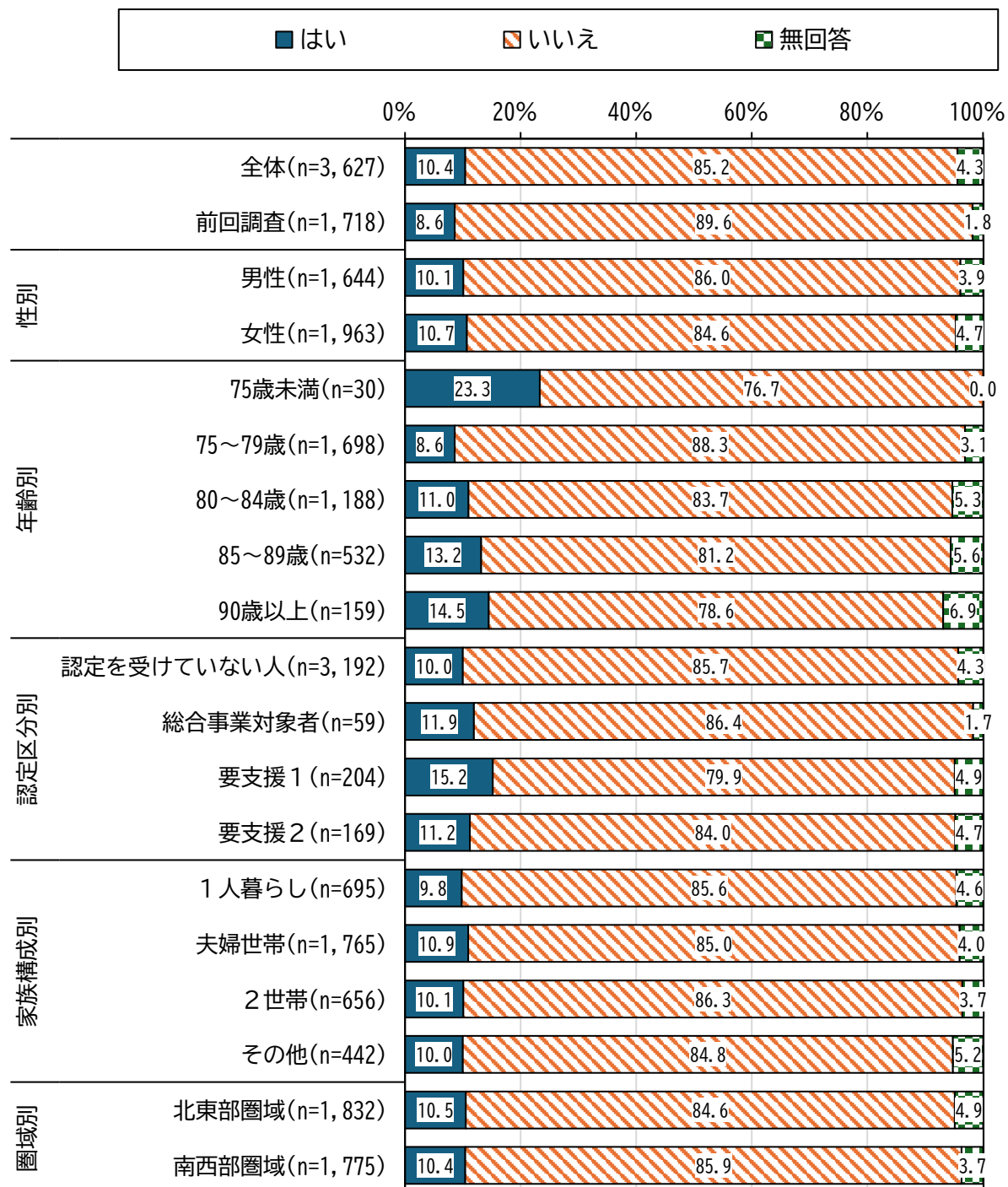
問 45 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる(「はい」)のは10.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「はい」が上昇し、90歳以上は14.5%となっています。

認定区分別にみると、要支援1は「はい」が15.2%と他に比べて高くなっています。



(9) 認知症だと思った際の対応

【一般高齢者】

問 68 自分や家族が「認知症ではないか？」と思ったら、どうしますか。(○はいくつでも)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 46 自分や家族が「認知症ではないか？」と思ったら、どうしますか。(○はいくつでも)

自分や家族が「認知症ではないか？」と思ったらの対応について、「病院で受診する」が71.5%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談する」が66.6%、「包括、社会福祉協議会等に相談する」が31.9%などの順となっています。

性別にみると、女性は男性に比べて「包括、社会福祉協議会等に相談する」が11.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「病院で受診する」、「本やインターネットで調べる」が低下し、「包括、社会福祉協議会等に相談する」、「地域の人(民生委員等)に相談する」が上昇します。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「包括、社会福祉協議会等に相談する」が54.2%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは「家族や親戚に相談する」が他に比べて低く、「近隣の人や友人に相談する」、「地域の人(民生委員等)に相談する」が他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「本やインターネットで調べる」が3.7ポイント高くなっています。

		回答件数 (n)	家族や親戚に相談する	近隣の人や友人に相談する	包括、社会福祉協議会等に相談する	地域の人(民生委員等)に相談する	病院で受診する	認知症予防の事業に参加する	本やインターネットで調べる	誰にも言わずに黙っておく	どうしたらいいのかわからない	その他	無回答
全体		3,627	66.6	11.7	31.9	12.1	71.5	11.4	17.4	1.7	5.9	1.1	3.4
性別	男性	1,644	66.6	8.8	25.9	11.0	72.3	7.8	20.6	1.7	5.7	1.3	3.1
	女性	1,963	66.8	14.2	37.1	13.1	70.8	14.4	14.7	1.6	6.1	0.9	3.7
年齢別	75歳未満	30	43.3	3.3	36.7	16.7	63.3	10.0	23.3	6.7	3.3	3.3	0.0
	75～79歳	1,687	69.0	13.1	30.5	9.6	75.3	11.5	23.0	1.6	5.2	1.0	2.5
	80～84歳	1,188	67.8	12.0	32.4	13.1	71.2	11.9	13.1	1.4	5.7	1.0	4.1
	85～89歳	532	60.7	8.5	34.4	16.4	65.2	10.3	12.0	1.5	8.3	1.1	4.5
	90歳以上	159	59.1	6.9	35.8	17.0	55.3	10.7	6.9	3.1	6.9	2.5	5.7
認定区分別	認定を受けていない人	3,192	67.4	12.1	30.2	11.7	73.0	11.2	18.2	1.5	5.6	1.1	3.6
	総合事業対象者	59	64.4	8.5	54.2	13.6	76.3	15.3	11.9	0.0	1.7	1.7	1.7
	要支援1	204	55.9	10.8	38.7	19.6	58.3	12.7	12.7	3.4	9.3	1.0	2.0
	要支援2	169	64.5	5.9	48.5	10.7	58.0	11.2	9.5	2.4	9.5	1.8	3.6
家族構成別	1人暮らし	695	62.4	15.3	35.5	19.3	65.2	14.1	15.8	1.0	7.6	0.9	3.7
	夫婦世帯	1,765	68.6	10.7	29.6	11.4	74.3	10.1	19.3	1.4	5.4	0.9	2.8
	2世帯	656	67.7	12.5	32.9	11.0	71.0	12.0	15.5	2.1	5.3	0.8	3.4
	その他	442	64.7	10.2	36.0	5.9	71.5	12.0	16.3	2.9	5.4	2.7	4.8
圏域別	北東部圏域	1,832	65.6	10.6	32.4	12.3	71.0	11.6	15.6	2.1	6.1	1.1	3.9
	南西部圏域	1,775	67.9	12.8	31.6	11.9	72.1	11.2	19.3	1.2	5.7	1.1	3.0

【その他の回答(抜粋)】

- ・かかりつけ医に相談 ・施設に入る
- ・リハビリ施設のスタッフである看護師、地域包括支援センターの担当の方にも頼る

(10) 認知症予防の取組への参加意向

【一般高齢者】

問 69 認知症予防の取組ができるところがあれば参加したいですか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

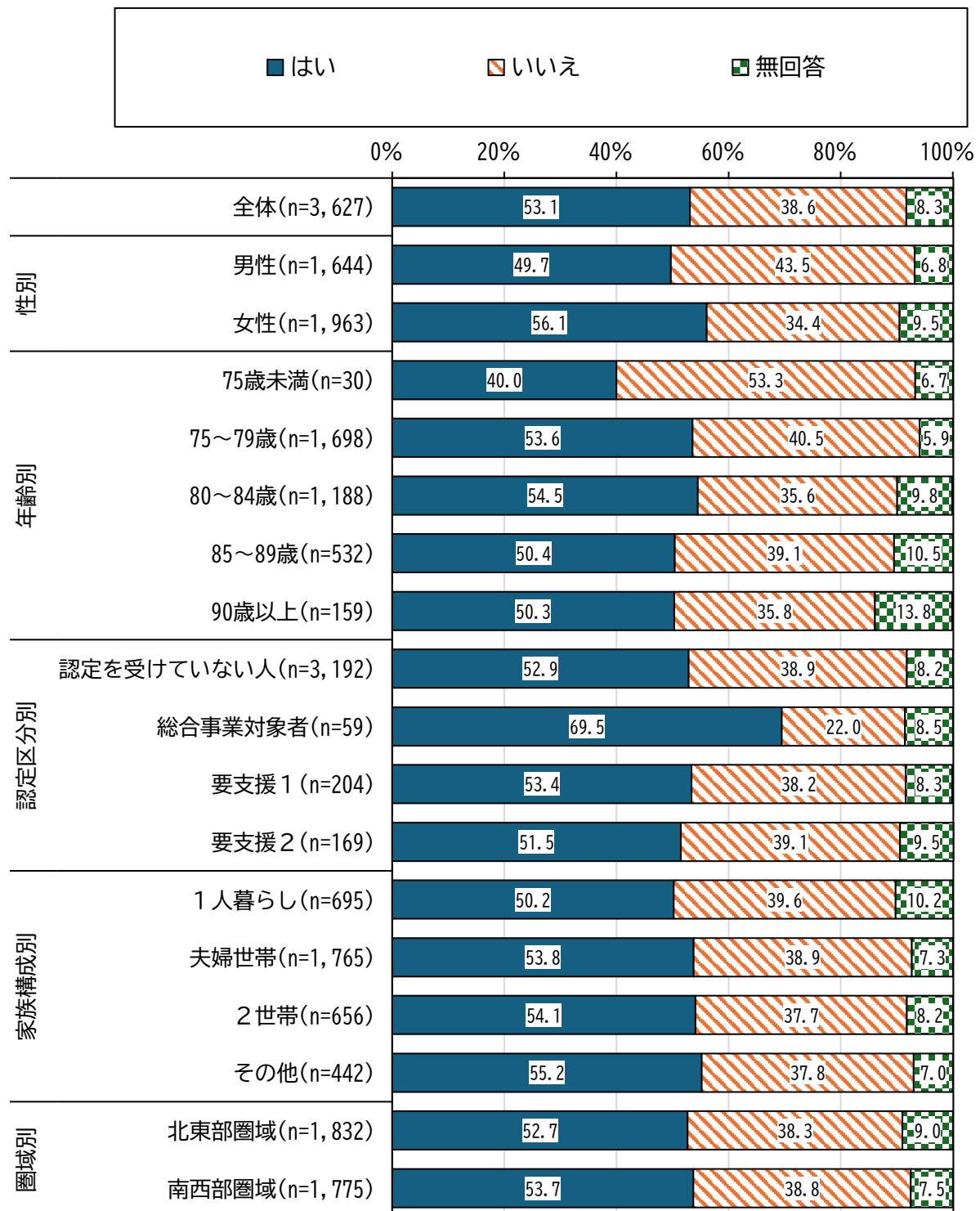
問 47 認知症予防の取組ができるところがあれば参加したいですか。（○は1つだけ）

認知症予防の取組ができるところがあれば参加したい（「はい」）のは53.1%となっています。

性別にみると、女性は男性に比べて「はい」が6.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、80～84歳は「はい」が54.5%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「はい」が69.5%と他に比べて高くなっています。



(11) 認知症に関する相談窓口の認知度

【一般高齢者】

問 70 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

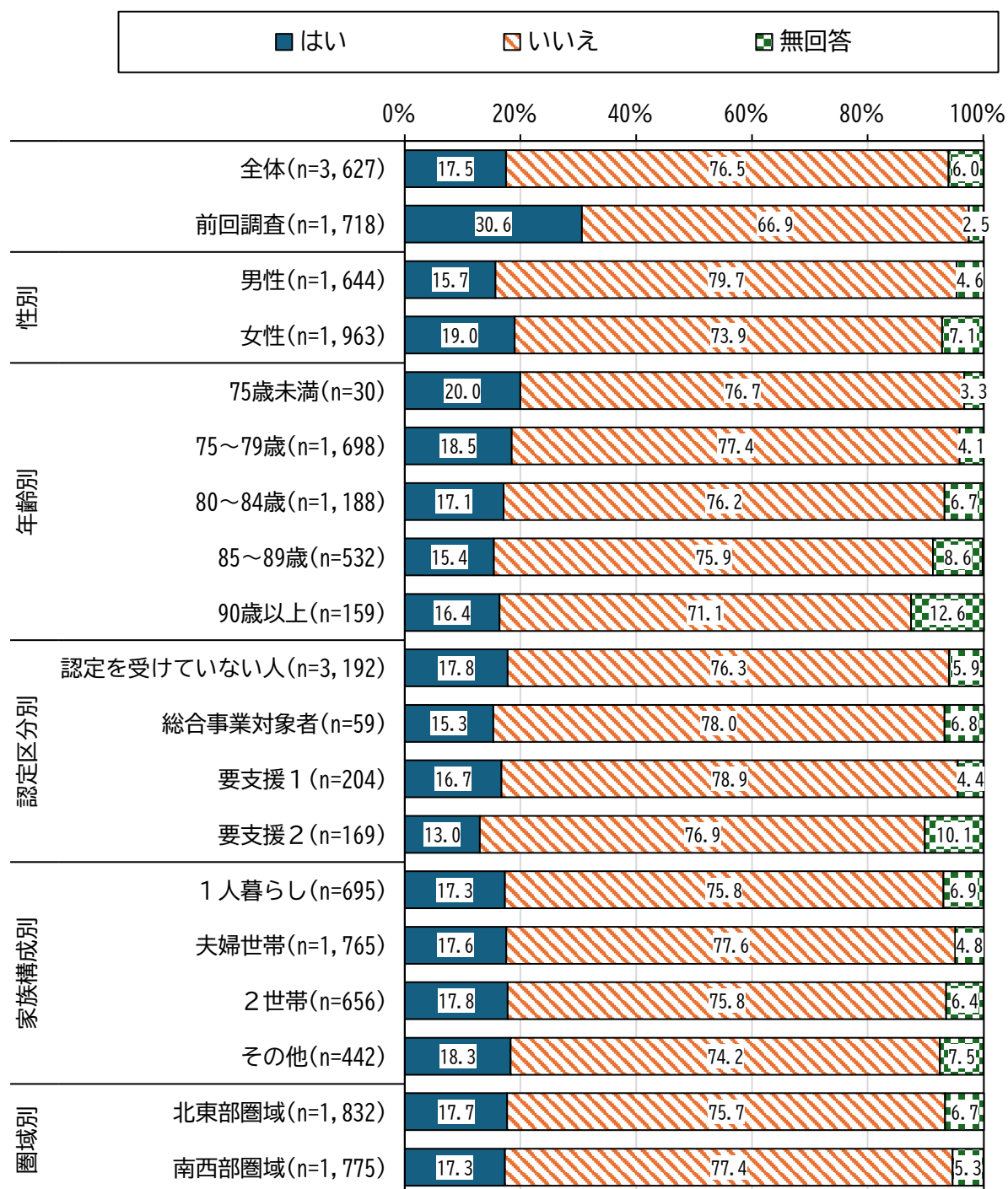
問 48 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

認知症に関する相談窓口の認知度(「はい」)は、17.5%となっています。

認知度を性別にみると、女性は男性に比べて「はい」が3.3ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は「はい」が15.4%と他に比べて低くなっています。

認定区分別にみると、要支援2は「はい」13.0%と他に比べて低くなっています。



(12) 認知症について知りたいこと

【一般高齢者】

問 71 あなたが、認知症について知りたいことはどんなことですか。（○はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 49 あなたが、認知症について知りたいことはどんなことですか。（○はいくつでも）

認知症について知りたいことについて、「認知症の原因となる病気や症状」が 46.3%と最も高く、次いで「認知症予防に関する取組」が 44.6%、「認知症に関する相談窓口」が 41.5%などの順となっています。

性別により5ポイント以上の大きな差があるのは、女性が高い「認知症の人が在宅で利用できるサービス」、「認知症の人が入所できる施設やグループホーム等」となっています。

年齢別にみると、75～79歳は「認知症予防に関する取組」が 48.1%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、要支援1は「認知症の原因となる病気や症状」が 51.5%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは「認知症の人に対する接し方やケア（介護）の方法」が 18.0%と他に比べて低くなっています。

		回答件数（n）	認知症の原因となる病気や症状	認知症予防に関する取組	認知症の人に対する接し方やケア（介護）の方法	認知症に関する相談窓口	認知症の人が在宅で利用できるサービス	認知症の人が入所できる施設やグループホーム等	その他	無回答
全体		3,627	46.3	44.6	31.7	41.5	40.1	34.7	2.5	8.7
性別	男性	1,644	47.1	46.4	34.0	43.1	35.9	30.5	2.5	7.6
	女性	1,963	45.5	43.4	29.8	40.3	43.7	38.3	2.5	9.5
年齢別	75歳未満	30	33.3	36.7	33.3	43.3	46.7	30.0	6.7	6.7
	75～79歳	1,687	45.5	48.1	33.2	44.6	40.9	36.2	2.2	6.7
	80～84歳	1,188	47.8	44.6	32.2	41.0	40.4	32.4	2.7	9.6
	85～89歳	532	46.6	37.0	28.6	36.5	39.7	36.7	2.6	11.1
	90歳以上	159	44.0	37.7	23.3	29.6	30.2	30.8	3.1	14.5
認定区分別	認定を受けていない人	3,192	46.1	45.2	32.3	42.2	40.0	34.3	2.5	8.6
	総合事業対象者	59	40.7	47.5	30.5	44.1	49.2	55.9	1.7	10.2
	要支援1	204	51.5	38.7	28.4	33.3	40.2	30.4	2.5	7.8
	要支援2	169	45.0	40.8	25.4	38.5	39.1	39.1	3.0	11.8
家族構成別	1人暮らし	695	44.7	41.7	18.0	37.7	41.4	39.6	2.4	10.6
	夫婦世帯	1,765	45.3	45.0	36.9	44.4	41.0	34.2	2.7	6.9
	2世帯	656	49.8	46.3	32.6	39.0	38.6	32.8	2.3	9.1
	その他	442	46.8	46.8	31.4	42.8	38.9	32.8	2.3	11.1
圏域別	北東部圏域	1,832	45.7	43.0	32.3	40.0	38.5	34.2	2.8	10.2
	南西部圏域	1,775	46.8	46.5	31.1	43.2	41.8	35.3	2.2	7.0

【その他の回答（抜粋）】

- ・ 認知症に良いとされる食材や日頃摂取すべき栄養素。例：鶏肉

(13) 認知症になっても自宅で生活続けるために必要なこと

【一般高齢者】

問 72 認知症になっても自宅で生活続けるために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 50 認知症になっても自宅で生活続けるために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

認知症になっても自宅で生活続けるために必要なことについて、「気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること」が 69.9%と最も高く、次いで「困ったときに頼れる支援機関（地域包括支援センターなど）があること」が 64.6%、「利用できる介護サービスがあること」が 59.6%などの順となっています。

性別により5ポイント以上の大きな差があるのは、女性が高い「地域住民の理解があること」、「利用できる介護サービスがあること」となっています。

年齢別にみると、85～89歳は「自宅では生活せず、施設に入所したい」が 19.9%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること」、「地域住民の理解があること」が他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは「自宅では生活せず、施設に入所したい」が 27.1%と他に比べて高くなっています。

		回答件数 (n)	気軽に話せる人が身近にいたり、 居場所があること	地域住民の理解があること	困ったときに頼れる支援機関 (地域包括支援センターなど)があること	利用できる介護サービスがあること	介護をしてくれる人(家族や友人)がいること	自宅では生活せず、施設に入所したい	その他	無回答
全体		3,627	69.9	26.2	64.6	59.6	56.0	16.8	1.0	4.8
性別	男性	1,644	68.7	22.1	62.2	55.2	57.8	15.0	1.2	4.7
	女性	1,963	71.2	29.8	66.8	63.2	54.6	18.3	0.9	4.8
年齢別	75歳未満	30	60.0	33.3	60.0	60.0	46.7	20.0	3.3	3.3
	75～79歳	1,687	71.9	28.0	68.1	62.9	58.6	15.5	0.9	3.5
	80～84歳	1,188	70.5	26.0	63.4	58.8	54.2	17.8	1.0	5.5
	85～89歳	532	66.0	23.7	58.5	54.9	53.0	19.9	0.9	6.4
	90歳以上	159	62.9	18.2	59.7	45.3	55.3	11.9	1.9	8.2
認定 区分別	認定を受けていない人	3,192	70.6	26.3	64.4	59.6	56.2	16.2	0.9	4.8
	総合事業対象者	59	81.4	37.3	69.5	62.7	50.8	22.0	3.4	3.4
	要支援1	204	65.2	29.4	65.2	56.4	53.4	16.7	2.0	3.4
	要支援2	169	59.2	18.3	65.7	60.9	55.6	26.0	0.6	7.1
家族 構成別	1人暮らし	695	62.7	28.1	64.5	60.3	42.7	27.1	1.3	5.9
	夫婦世帯	1,765	72.6	25.4	66.2	60.0	59.4	13.3	0.8	3.7
	2世帯	656	72.7	27.4	62.2	60.8	59.6	15.1	0.9	5.6
	その他	442	68.1	26.2	63.8	58.1	59.7	15.8	1.6	5.7
圏域別	北東部圏域	1,832	71.3	26.5	62.6	58.3	57.3	15.9	1.1	5.2
	南西部圏域	1,775	68.8	26.1	66.9	60.9	54.9	17.6	1.0	4.3

【その他の回答(抜粋)】

- ・ 家族ではないかと思う ・ 家族の負担になるのなら専用施設に入りたいがお金の問題がある
- ・ 認知症になっても支援を受けて自宅で暮らしたい、出来る限り

(14) 認知症カフェの利用意向

【一般高齢者】

問 73 認知症カフェがあれば、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

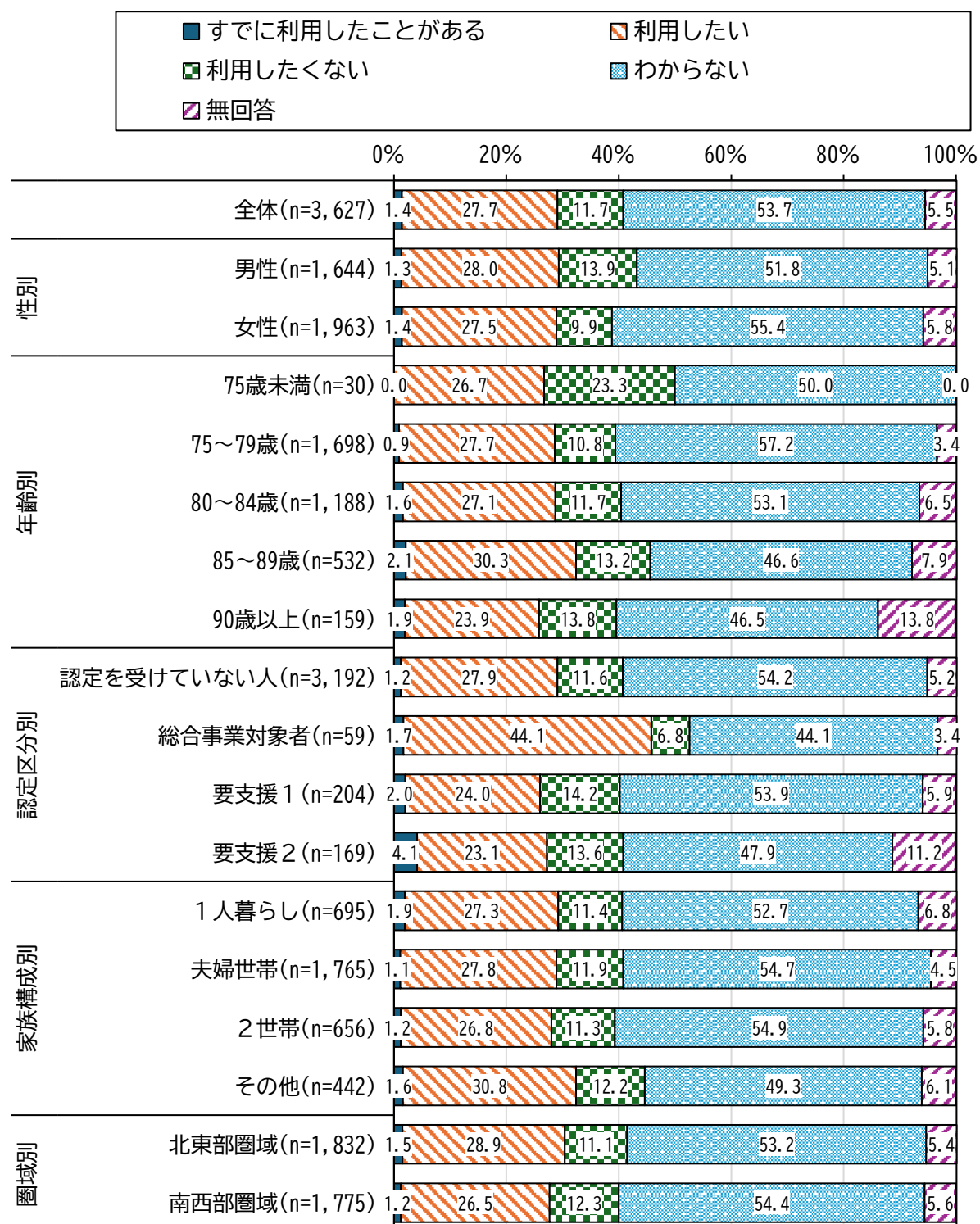
問 51 認知症カフェがあれば、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

認知症カフェの利用意向について、「すでに利用したことがある」が1.4%、「利用したい」が27.7%、「利用したくない」が11.7%、「わからない」が53.7%となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「利用したくない」が4.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、85～89歳は「利用したい」が30.3%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、総合事業対象者は「利用したい」が44.1%と他に比べて高くなっています。



(15) 認知症カフェの参加手段

【一般高齢者】

問 74 <問 73 で「1. 」または「2. 」と答えた方におたずねします>

認知症カフェにどのような手段で参加しますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 52 <問 51 で「1. 」または「2. 」と答えた方におたずねします>

認知症カフェにどのような手段で参加しますか。（○は1つだけ）

認知症カフェの参加手段について、「自分で行く（徒歩、自転車等）」が 41.7%と最も高く、次いで「家族に送迎してもらう」が 15.3%、「介護サービスを利用する」が 13.2%などの順となっています。

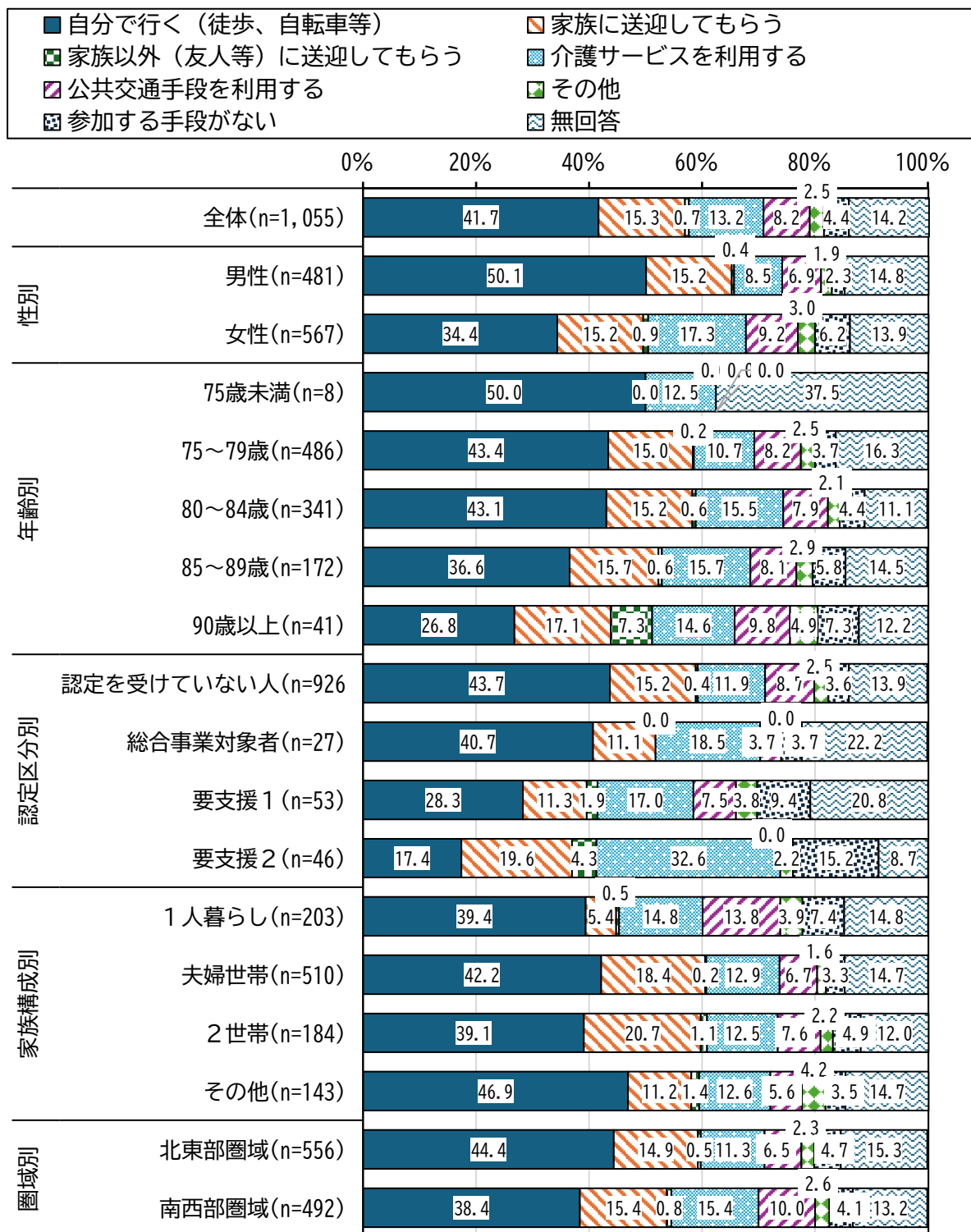
性別にみると、男性は女性に比べて「自分で行く（徒歩、自転車等）」が 15.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、75 歳以上では年齢が高くなるにしたがい「家族に送迎してもらう」が上昇します。

認定区分別にみると、要支援2は「介護サービスを利用する」が 32.6%と他に比べて高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは「介護サービスを利用する」、「公共交通手段を利用する」が他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「自分で行く（徒歩、自転車等）」が高くなっていますが、その他の回答は南西部圏域が高くなっています。



【その他の回答（抜粋）】

- ・自分で行く（公共交通手段をつかって）のが困難な場合は家族に送迎してもらう
- ・タクシー又は友人 ・Nバスでゆける所 ・自分の運転

Ⅲ 在宅介護実態調査

Ⅲ 在宅介護実態調査

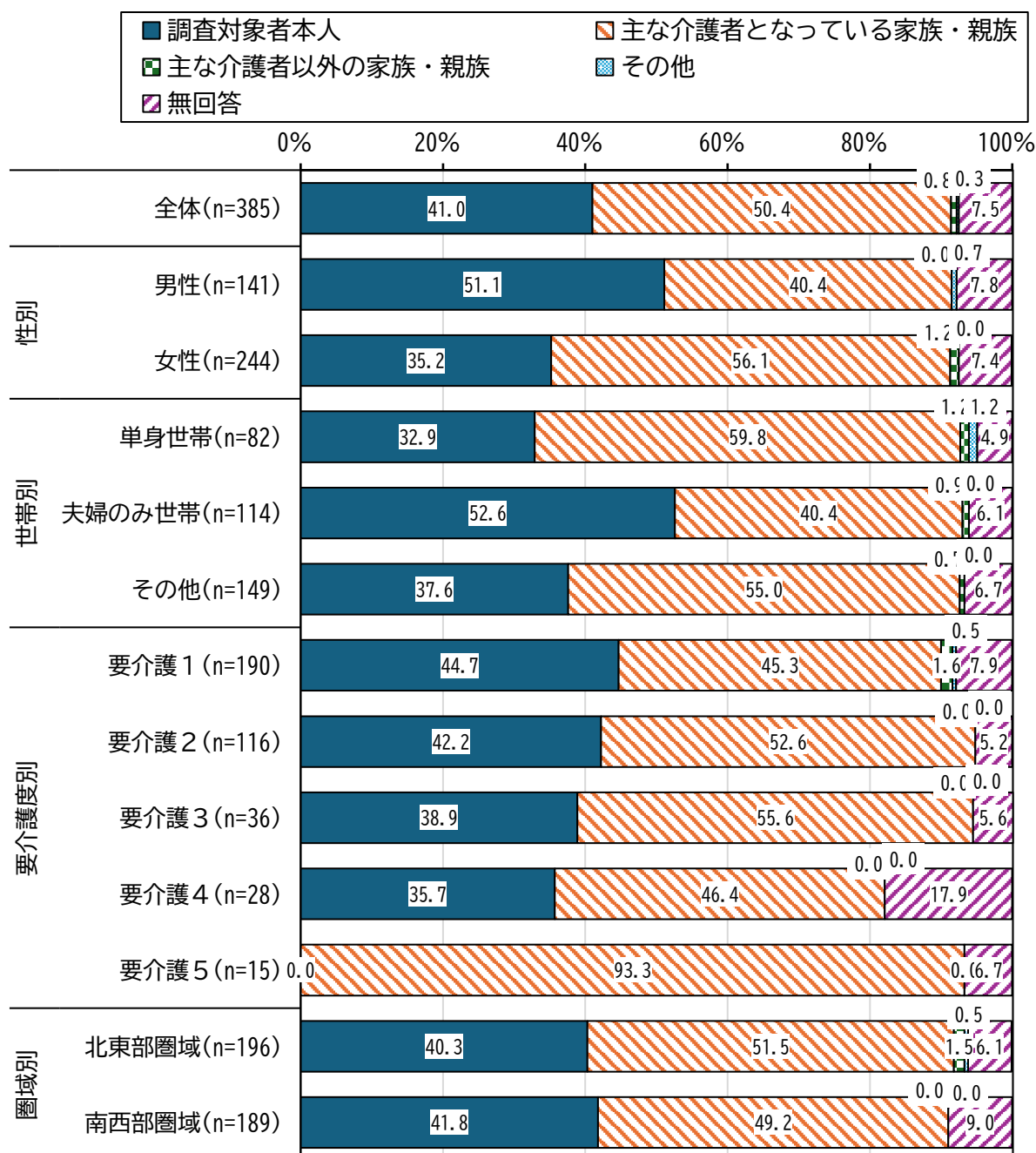
◇回答者（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

◆ 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つだけ）

回答者は「調査対象者本人」が 57.0%、「主な介護者となっている家族・親族」が 50.4%などとなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「家族」が上昇し、要介護5は 93.3%以上を占めています。



【本人から見た続柄（抜粋）】

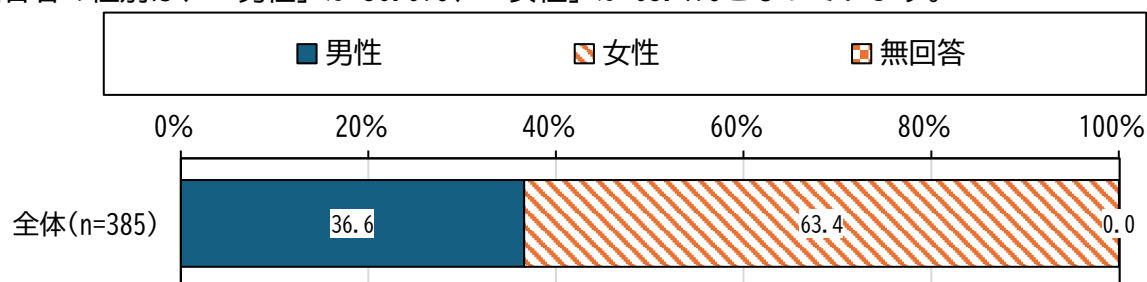
・妻 ・夫 ・子 ・子の配偶者 ・義甥 ・

【その他回答（抜粋）】

・夫と2人 ・保佐人

◇性別（要介護認定者のみ）

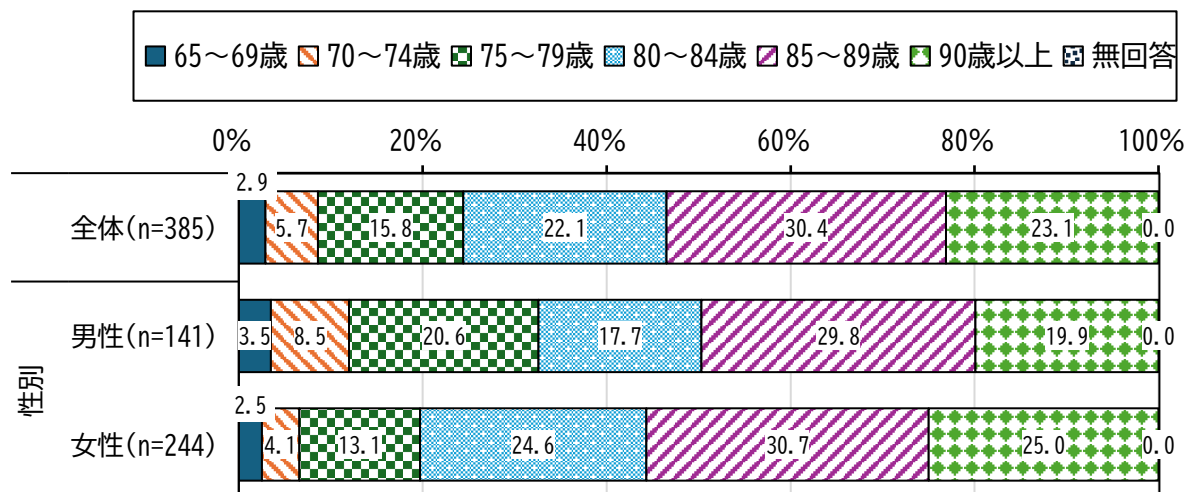
回答者の性別は、「男性」が 36.6%、「女性」が 63.4%となっています。



◇年齢（要介護認定者のみ）

回答者の年齢は、「85～89 歳」が 30.4%と最も高く、次いで「90 歳以上」が 23.1%、「80～84 歳」が 22.1%などの順となっています。

性別にみると、女性は男性に比べて<75 歳以上>が高くなっています。

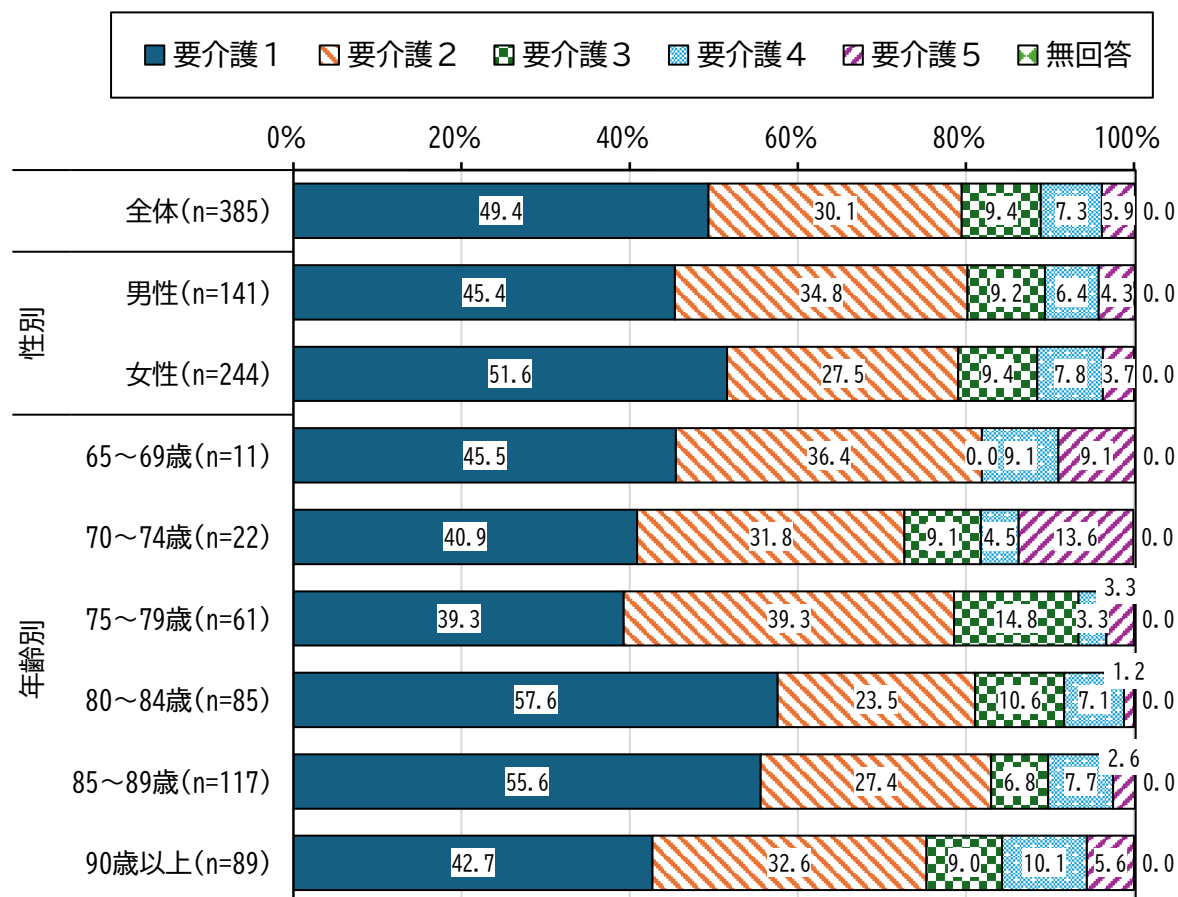


◇要介護認定区分（要介護認定者のみ）

回答者の要介護度は「要介護1」が49.4%と最も高く、次いで「要介護2」が30.1%、「要介護3」が9.4%などの順となっており、＜要介護1・2＞は79.5%、＜要介護3以上＞は20.6%となっています。

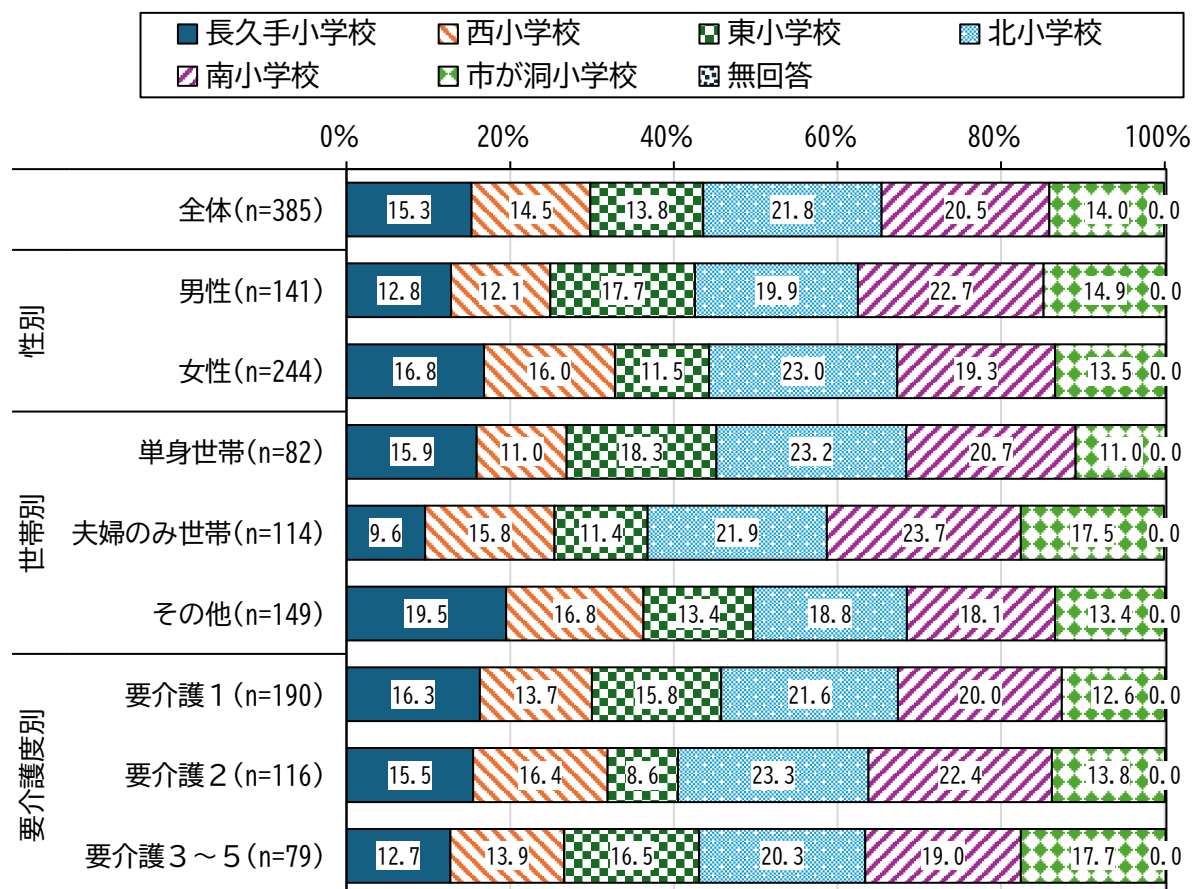
性別にみると、女性は男性に比べて「要介護1」が6.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、80～84歳は＜要介護1・2＞が81.9%と他に比べて高くなっています。



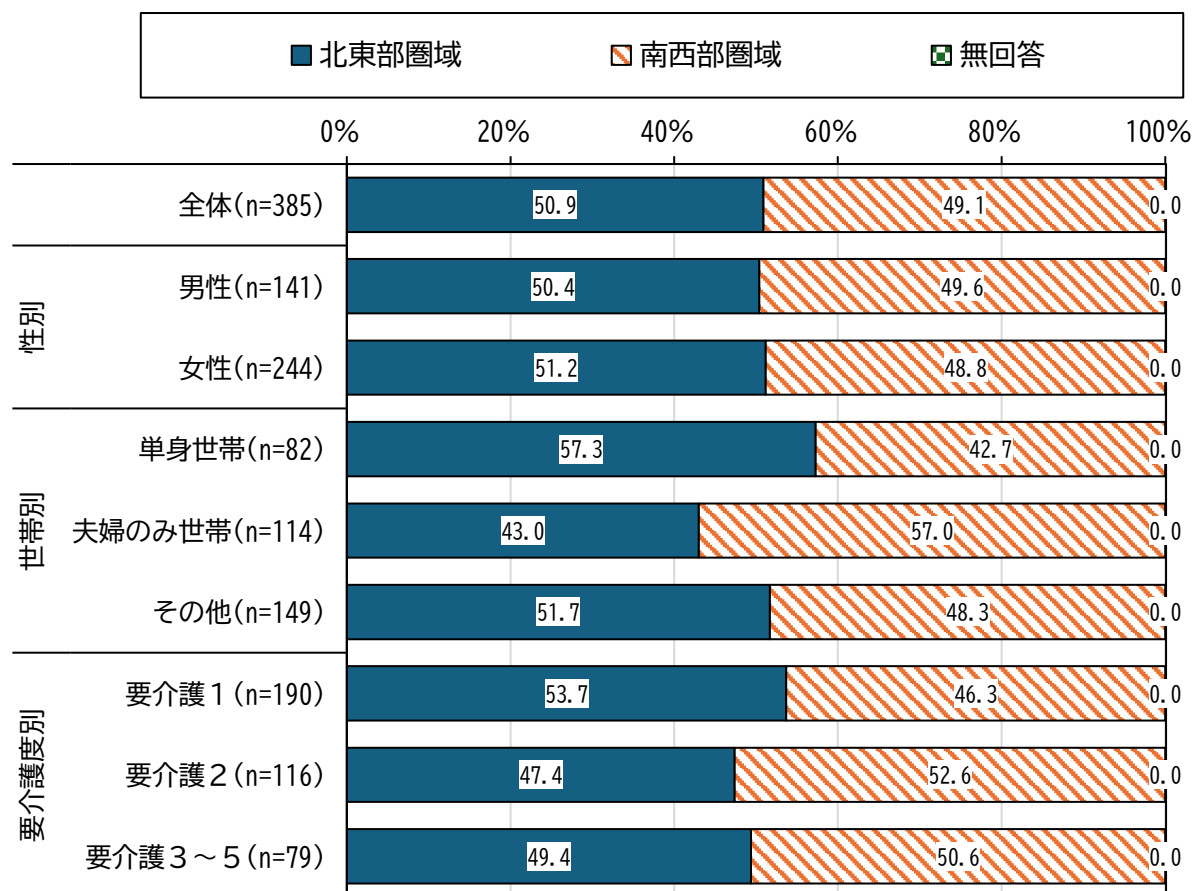
◇小学校区（要介護認定者のみ）

小学校区は、「北小学校」が21.8%、「南小学校」が20.5%、「長久手小学校」が15.3%、「西小学校」が14.5%、「東小学校」が13.8%、「市が洞小学校」が14.0%、「無回答」が0.0%の順となっています。



◇日常生活圏域（要介護認定者のみ）

回答者の日常生活圏域は「北東部圏域」が50.9%、「南西部圏域」が49.1%となっています。
認定区分別にみると、要介護1は「北東部圏域」、要介護2以上は「南西部圏域」がそれぞれ高くなっています。



○日常生活圏域の区分

区 分	北東部圏域	南西部圏域
小学校区	長久手小・東小・北小学校区	西小・南小・市が洞小学校区
地域包括支援センター	長久手市社会福祉協議会 地域包括支援センター	愛知たいようの杜 地域包括支援センター

あなたのご家族や生活の状況についておたずねします。

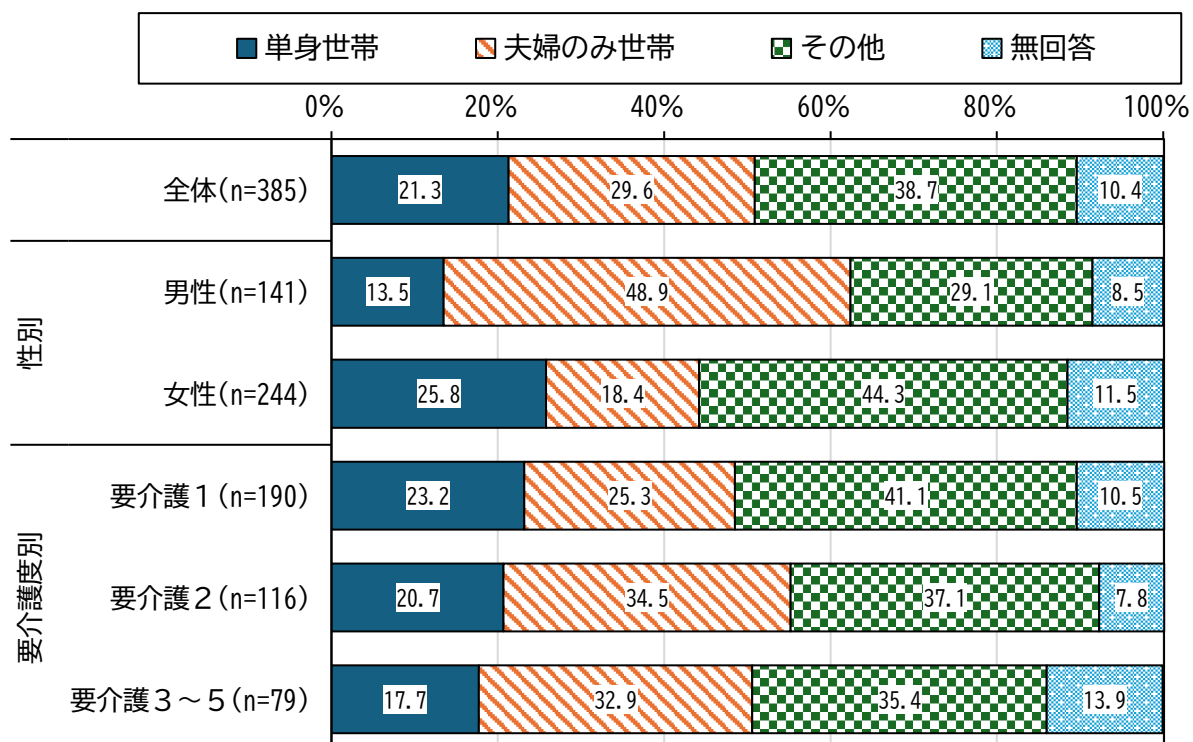
(1) 世帯類型（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問1 世帯類型について、ご回答ください。（○は1つだけ）

世帯の状況は、こどもとの同居世帯を含む「その他」が 38.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 29.6%、「単身世帯」が 21.3%となっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「単身世帯」が低下し、要介護3～5は 17.7%となっています。



(2) 親族との関係（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問2 <問1で「1.」または「2.」と答えた方におたずねします>

あなたのご親族（こども、兄弟姉妹など）との関係について、おたずねします。

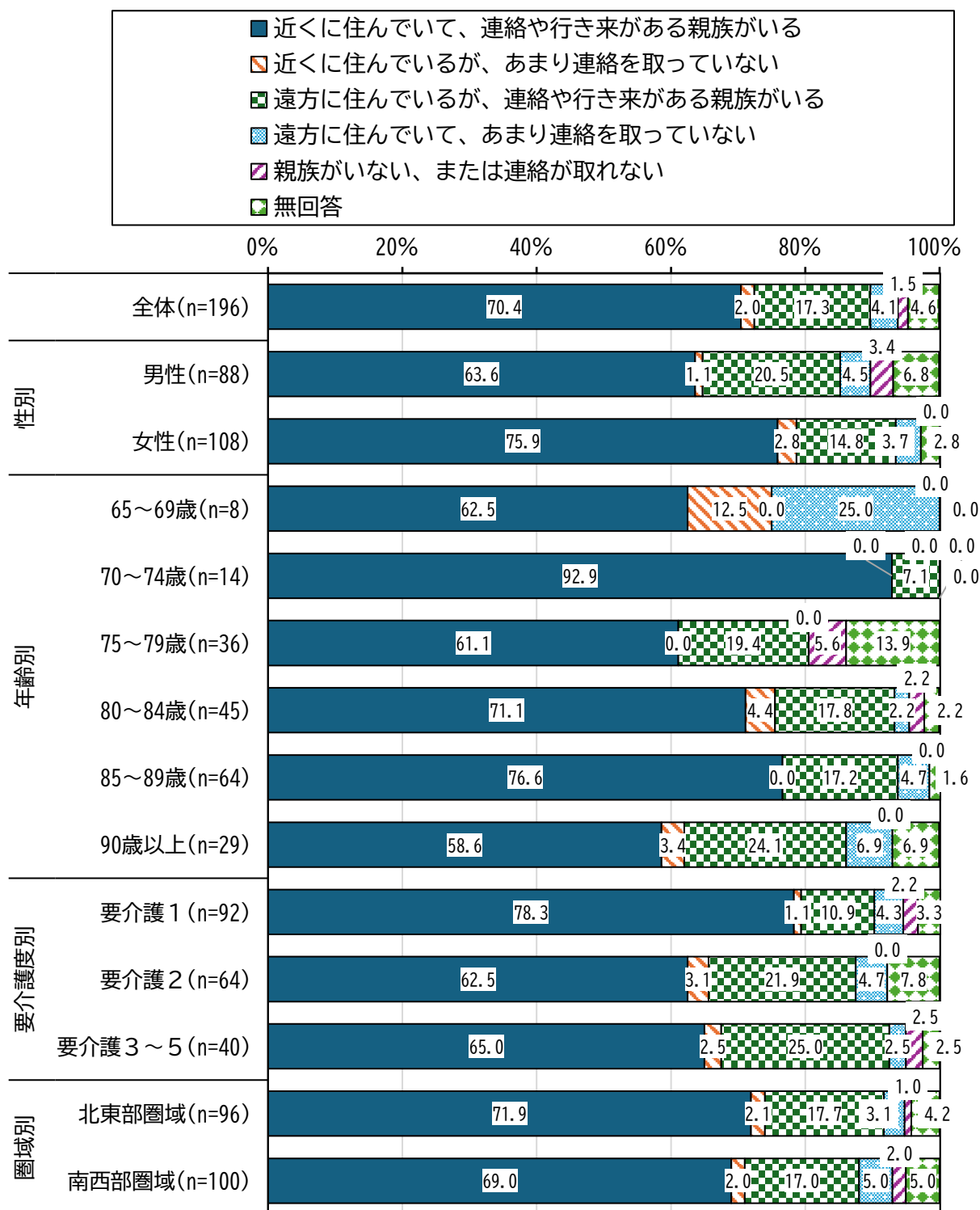
（○は1つだけ）

「1人暮らし」または「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と回答した人に、親族との関係について尋ねると、「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が70.4%と最も高く、次いで「遠方に住んでいるが、連絡や行き来がある親族がいる」が17.3%、「遠方に住んでいて、あまり連絡を取っていない」が4.1%、「近くに住んでいるが、あまり連絡を取っていない」が2.0%、「親族がいない、または連絡が取れない」が1.5%の順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が低くなっています。

年齢別にみると、75～79歳は「親族がいない、または連絡が取れない」が5.6%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、要介護1は「近くに住んでいて、連絡や行き来がある親族がいる」が他に比べて高くなっています。



(3) 同居している親族（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問2 <問1で「3. その他」と答えた方におたずねします>

本人を含めて同居している人数を教えてください。また、同居している人はどなたですか。

（ご本人を含んだ人数を記入して、あてはまるものすべてに○）

前項で「その他」と答えた方に本人を含めた同居人数をたずねたところ、「3人」が36.9%と最も高く、次いで「2人」が17.4%などの順となっており、これらを合計した<3人以下>が4.3%となっており、また、「4人」（15.4%）と「5人以上」（12.1%）を合計した<4人以上>は27.5%となっています。

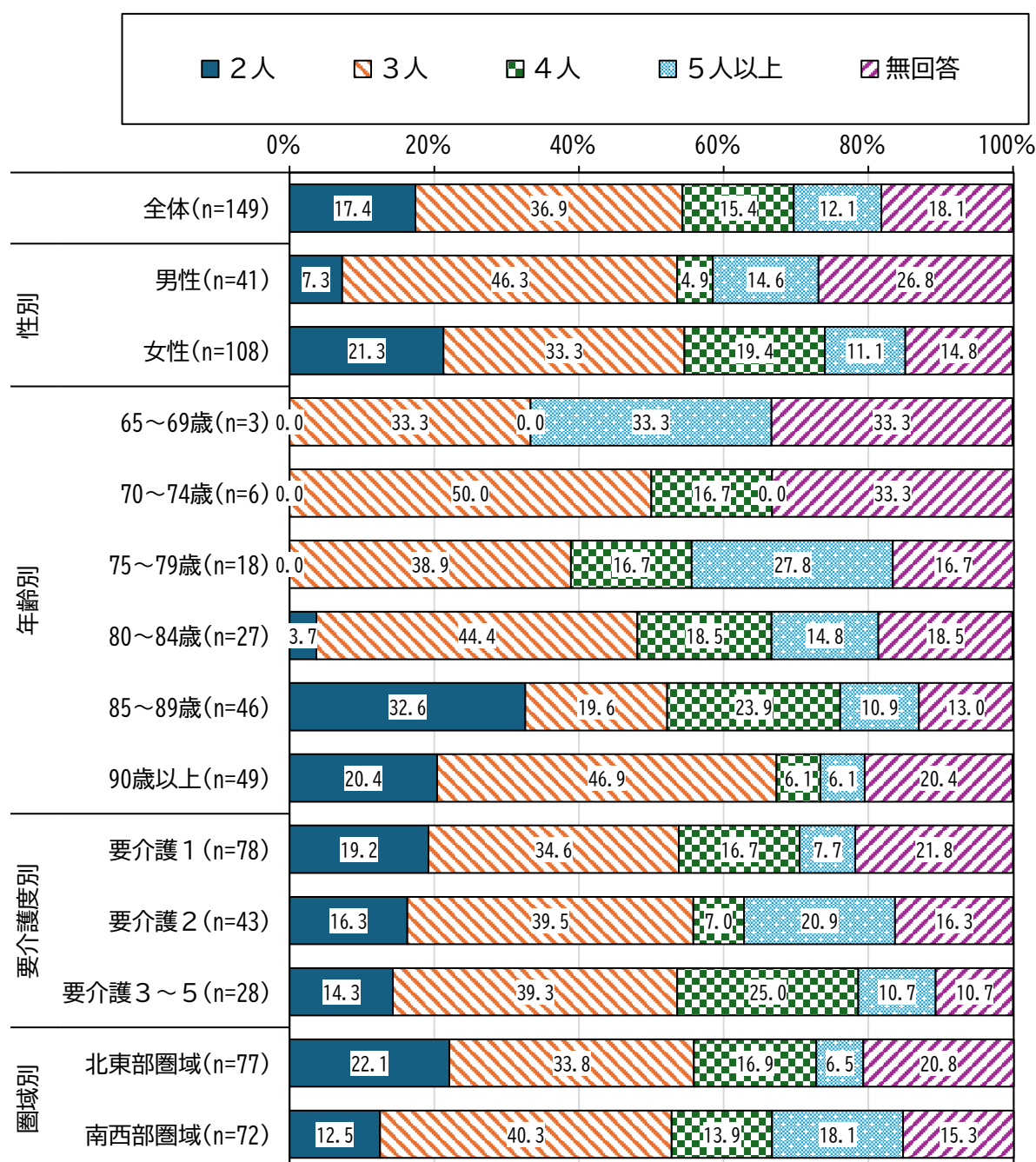
性別にみると、女性は男性に比べて「2人」が高くなっています。

年齢別にみると、90歳以上は<3人以下>が67.3%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護3～5は<4人以上>が35.7%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて<3人以下>が3.1ポイント高くなっています。

【同居人数】



また、同居者との続柄をたずねたところ、「娘」が46.3%と最も高く、次いで「息子」が42.3%、「子の配偶者」が29.5%などの順となっています。

性別にみると、男性は女性に比べて「配偶者（夫・妻）」、「孫」が高くなっており、女性は男性に比べて「息子」、「子の配偶者」が高くなっています。

年齢別にみると、75歳以上では年齢が高くなるにしたがい「配偶者（夫・妻）」が低下します。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「孫」が上昇しています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べ「子の配偶者」が10ポイント高くなっています。

【同居している人】

		回答件数 (n)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	その他	無回答
全体		149	28.9	42.3	46.3	29.5	26.8	0.0	6.0	6.7
性別	男性	41	43.9	34.1	46.3	19.5	31.7	0.0	2.4	12.2
	女性	108	23.1	45.4	46.3	33.3	25.0	0.0	7.4	4.6
年齢別	65～69歳	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	70～74歳	6	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	75～79歳	18	77.8	50.0	44.4	33.3	38.9	0.0	0.0	5.6
	80～84歳	27	40.7	40.7	59.3	22.2	29.6	0.0	3.7	0.0
	85～89歳	46	21.7	34.8	47.8	34.8	32.6	0.0	8.7	6.5
	90歳以上	49	10.2	44.9	42.9	28.6	16.3	0.0	8.2	8.2
要介護 度別	要介護1	78	26.9	41.0	44.9	26.9	23.1	0.0	2.6	10.3
	要介護2	43	32.6	51.2	41.9	37.2	27.9	0.0	9.3	2.3
	要介護3～5	28	28.6	32.1	57.1	25.0	35.7	0.0	10.7	3.6
圏域別	北東部圏域	77	24.7	41.6	45.5	24.7	24.7	0.0	7.8	5.2
	南西部圏域	72	33.3	43.1	47.2	34.7	29.2	0.0	4.2	8.3

【その他回答（抜粋）】

・母親 ・義弟 ・孫の嫁、ひ孫 ・有料老人ホーム ・ケアハウス

(4) 日中の状況（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

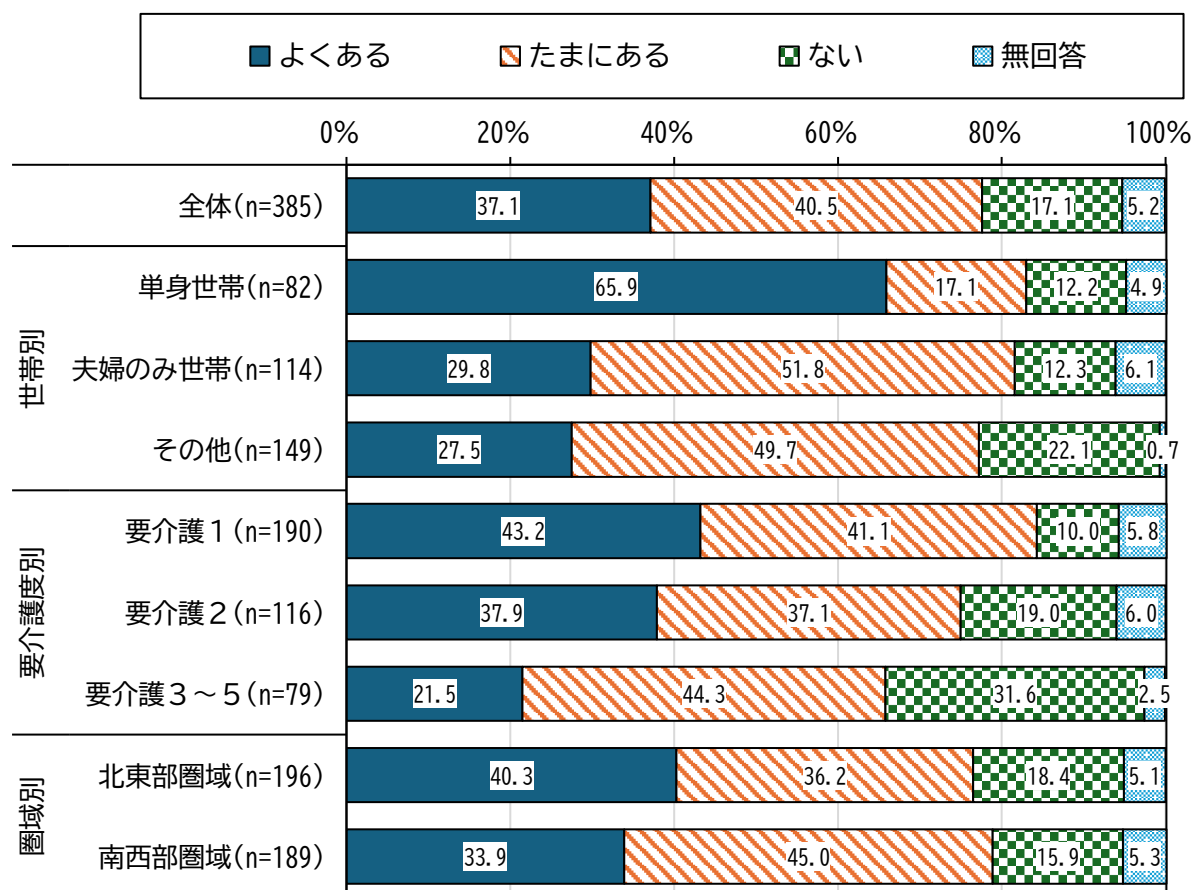
問4 日中、一人になることがありますか。（○は1つだけ）

日中、一人になることがあるかたずねたところ、「たまにある」が 40.5%と最も高く、「よくある」（37.1%）との合計＜ある＞が 77.6%となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「よくある」が 65.9%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい＜ある＞は低下し、重度の要介護3～5は 65.8%となっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて＜ある＞が 2.4 ポイント高くなっています。



(5) 経済状況（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

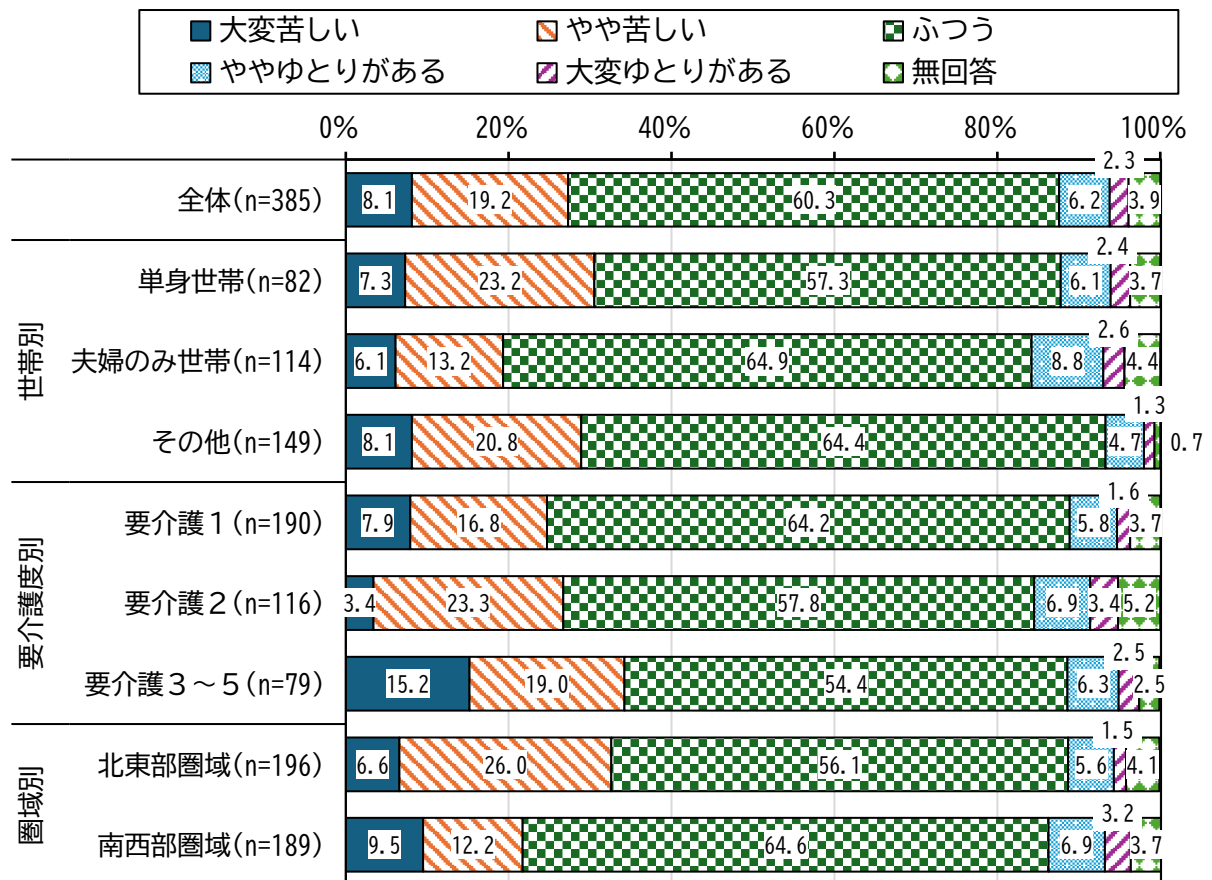
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つだけ）

現在の経済状況をたずねたところ、「ふつう」が 60.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 19.2%などの順となっています。「やや苦しい」と「大変苦しい」（8.1%）の合計<苦しい>は 27.3%、「ややゆとりがある」（6.2%）と「大変ゆとりがある」（2.3%）の合計<ゆとりがある>は 8.5%となっています。

世帯別にみると、単身世帯は<苦しい>が 30.5%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい<苦しい>は上昇し、要介護3～5は 34.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて<苦しい>が 10.9 ポイント高くなっています。



(6) 住まい（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

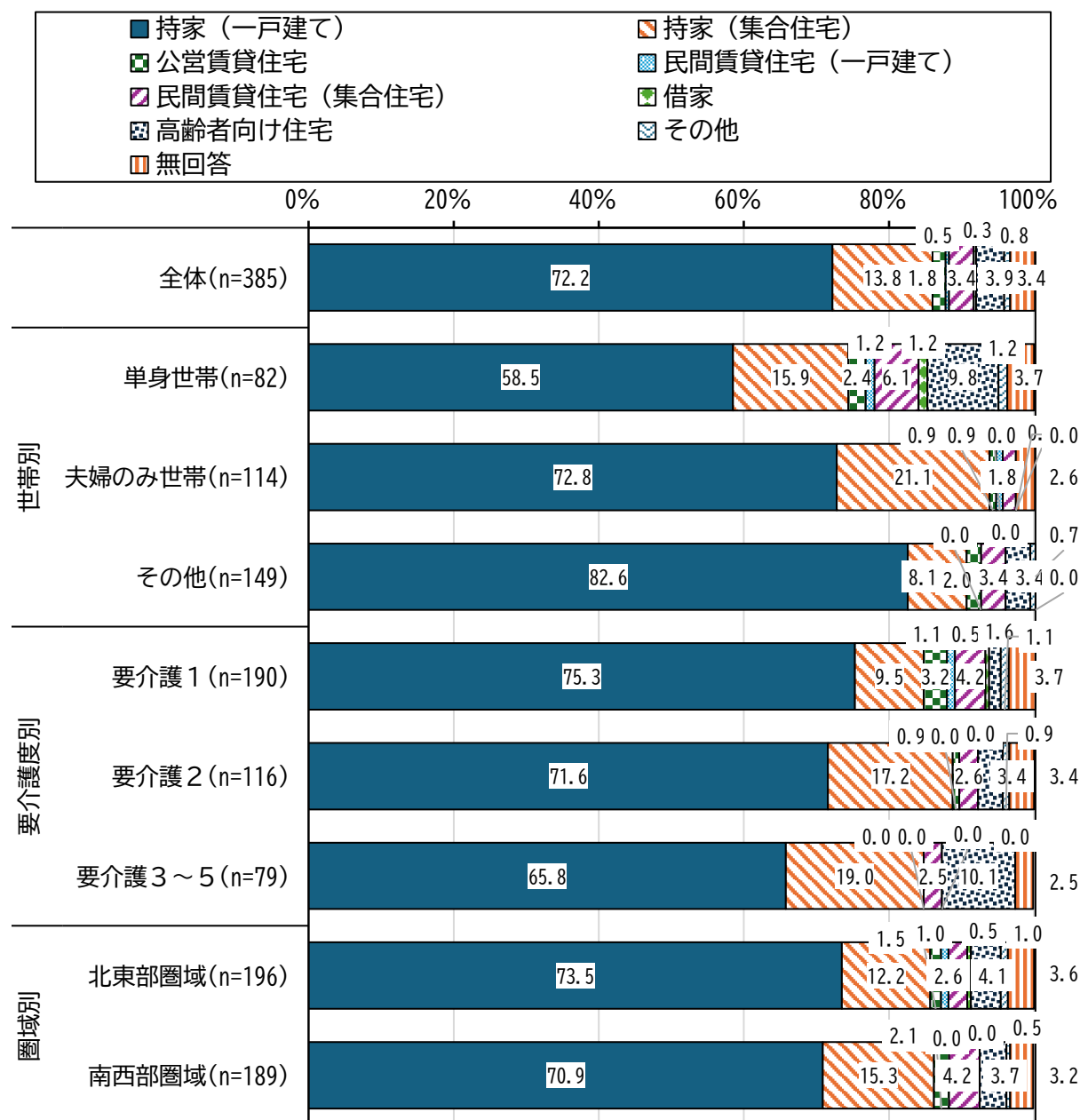
問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つだけ）

現在の住まいをたずねたところ、「持家（一戸建て）」が72.2%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が13.8%、「高齢者向け住宅」が3.9%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「持家（一戸建て）」が低く、「高齢者向け住宅」が高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「持家（一戸建て）」が低下しています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「持家（一戸建て）」が低く、「持家（集合住宅）」が高くなっています。



【その他回答（抜粋）】

・ケアハウス ・障害者向けグループホーム

介護保険サービスについておたずねします。

(1) 要介護認定を申請したきっかけ（要支援認定者、総合事業対象者のみ）

【要支援認定者、総合事業対象者】

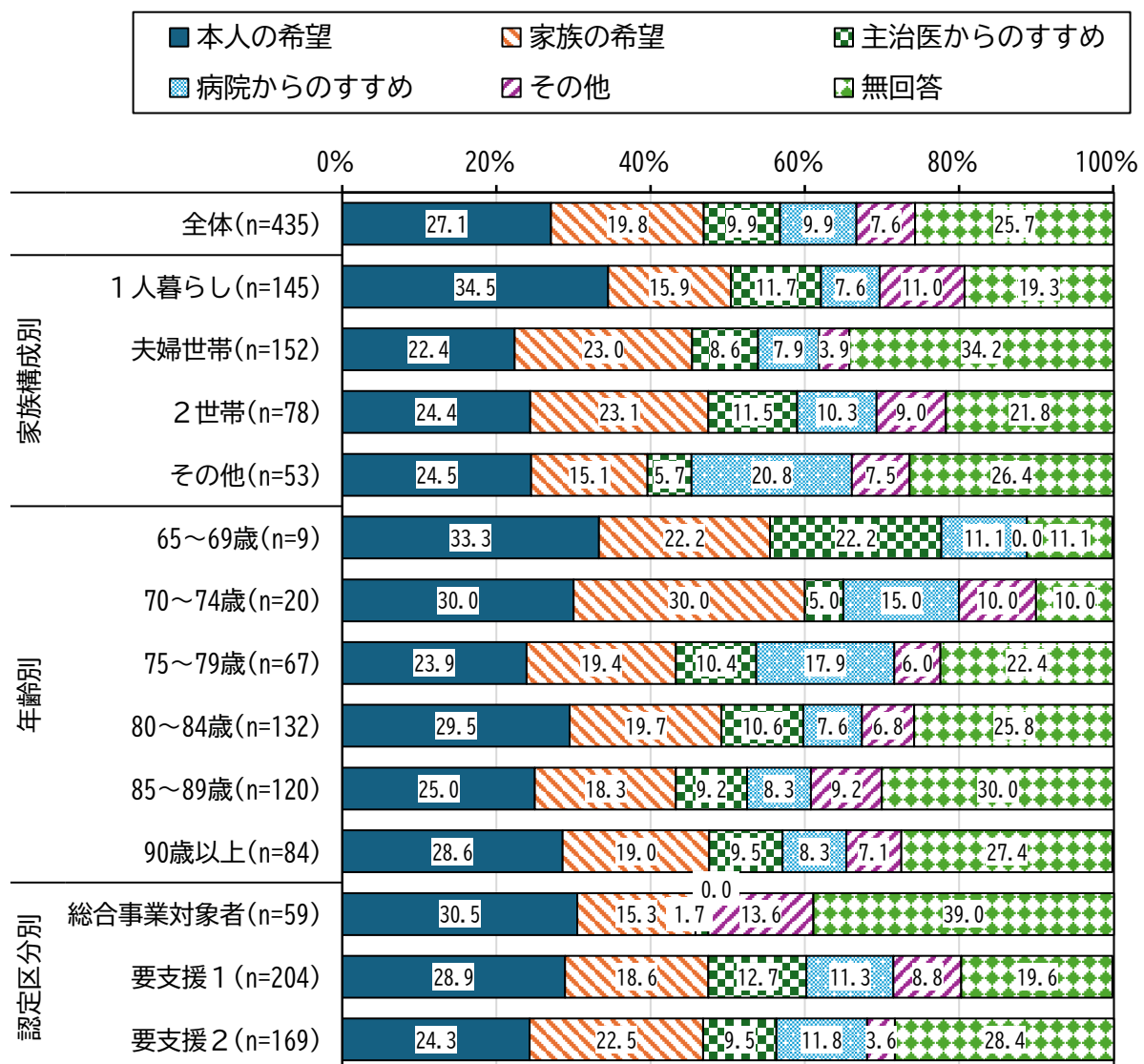
問 53 要介護認定を申請したきっかけを教えてください。（○は1つだけ）

要介護認定を申請したきっかけをたずねたところ、「本人の希望」が 27.1%と最も高く、次いで「家族の希望」が 19.8%、「主治医からのすすめ」及び「病院からのすすめ」が 9.9%の順となっています。

家族構成別にみると、1人暮らしは「本人の希望」が 34.5%と他に比べて高くなっています。また、その他世帯は「病院からのすすめ」が 20.8%と他に比べて高くなっています。

年齢別にみると、75～79歳は「病院からのすすめ」が 17.9%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、重度化にしたがい「家族の希望」が上昇し、要支援2は 22.5%となっています。



(2) 介護保険サービスの利用状況

【要介護認定者】

問7 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つだけ）

【要支援認定者、総合事業対象者】

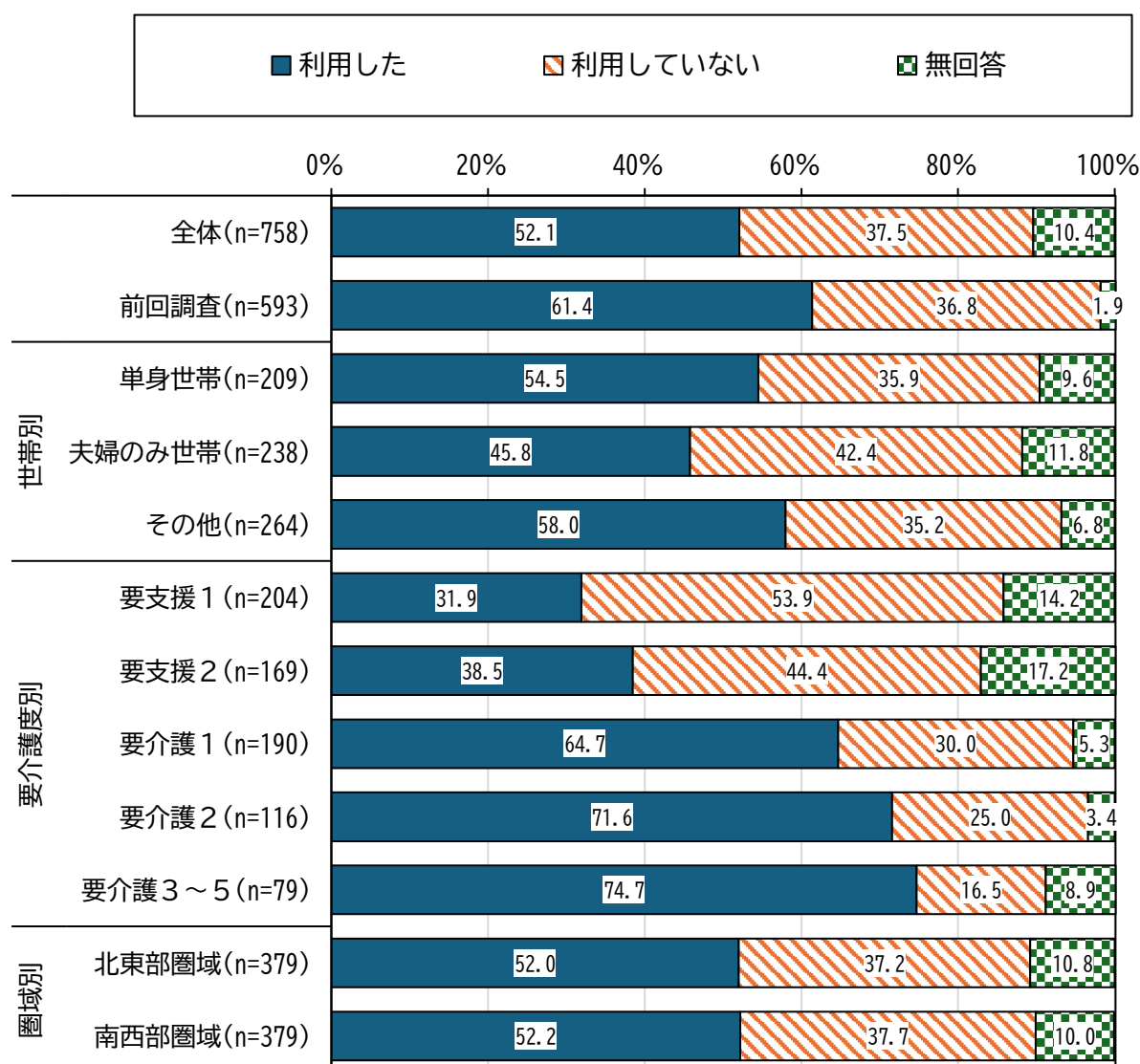
問54 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つだけ）

要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを「利用した」のは52.1%です。

前回調査と比較すると、「利用した」が9.3ポイント減少しています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「利用した」が45.8%と他に比べて低くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「利用した」は上昇し、要介護3～5は74.7%となっています。



(3) 改善してほしいサービス（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問8 <問1で「3. その他」と答えた方におたずねします>

利用しているサービスについて、改善してほしいことがあれば具体的にご記入ください。

サービス名	改善してほしいことの具体的な内容
サービス全般	・介護保険2のため、利用時間が短い。掃除、洗濯、入浴、食事介助、全てに時間が足りない。 ・時間を増やしたい。介護パンツを履き忘れたりすることが多くなり、介護の時間内で処理が出来ない時がある。衛生面も心配。 ・トラブルが多い
訪問介護	・お風呂や掃除などとても助かる ・土日がお休み。食事介助が無く、ガス止められているので温かい飲み物、食事に困る ・まだ信頼関係を築けていない（精神科） ・時間が短く、カウンセリングなどはしてくれない（精神科）
訪問看護	・糖尿病の診察のための補助
デイサービス	・送迎の時間を毎回違うので決まった時間にしてほしい（早く帰宅する事があるので） ・送迎時間が長い ・利用日数上限を増やして欲しい ・昼食をおいしくしてほしい ・定員数がいっぱい等で施設の選択枠があまりない事
福祉用具貸与	・福祉用具はいいが、手続きを簡潔にしてほしい（風呂場のイス） ・福祉用具はいいが、手続きを簡潔にしてほしい（風呂場の手すり） ・福祉用具はいいが、手続きを簡潔にしてほしい（段差解消） ・足元の台が大きく、よくひっかかります（移動式手すり）
住宅改修	・地震に強くしたい
小規模多機能型居宅介護	・実費が多い
ショートステイ	・送迎時間を前日にご連絡頂くのですが、出来ましたら同じ時間だと計画しやすいので助かります。
シニアカー	・もう少し早くはしりたい
ヘルパー	・土日及び平日朝夕の食事の質を上げてほしい
介護タクシー	・無料にされたい ・迎えの時間を早くしてほしい
訪問美容サービス	・1回の料金が6,000円（サービス券6,000/12,000）年に2回しか利用できない。店ごとの料金は決められないのか

(4) 介護保険サービスを利用していない理由

【要介護認定者】

問9 <問7で「2. 利用していない」と答えた方におたずねします>

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【要支援認定者、総合事業対象者】

問55 <問54で「2. 利用していない」と答えた方におたずねします>

利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 17.3%、「家族が介護するため必要ない」が 14.4%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が増加しています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「家族が介護するため必要ない」が 21.8%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は「本人にサービス利用の希望がない」が 29.8%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護するため必要ない」がいずれも低くなっています。

		回答件数 (n)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護するため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		284	57.4	17.3	14.4	1.4	3.9	1.8	8.1	5.6	7.7	11.3
前回調査		218	56.0	17.0	20.2	2.3	3.7	3.7	6.9	6.9	6.0	8.7
世帯別	単身世帯	75	56.0	17.3	1.3	1.3	5.3	4.0	14.7	5.3	9.3	10.7
	夫婦のみ世帯	101	58.4	19.8	21.8	1.0	4.0	2.0	5.0	5.9	5.9	12.9
	その他	93	61.3	15.1	15.1	1.1	1.1	0.0	6.5	5.4	8.6	10.8
	要支援1	110	65.5	7.3	10.0	0.0	4.5	0.9	6.4	4.5	8.2	13.6
要介護度別	要支援2	75	57.3	18.7	16.0	1.3	4.0	5.3	9.3	8.0	4.0	12.0
	要介護1	57	49.1	29.8	17.5	3.5	1.8	0.0	12.3	3.5	10.5	5.3
	要介護2	29	51.7	24.1	20.7	3.4	3.4	0.0	6.9	10.3	10.3	10.3
	要介護3～5	13	38.5	23.1	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4
圏域別	北東部圏域	141	56.7	16.3	13.5	1.4	4.3	2.8	9.9	5.7	7.8	12.1
	南西部圏域	143	58.0	18.2	15.4	1.4	3.5	0.7	6.3	5.6	7.7	10.5

【その他回答（抜粋）】

- ・ その他のサービスの内容が分からない
- ・ 訪問リハビリを利用していたが効果の期待が持てなかった。
- ・ 今の所はないがもっと年を取ると違ってくると思います。
- ・ 薬害を受けた事があり注射出来なく風邪等の感染が怖い

(5) 施設等への入所・入居の検討状況（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

（○は1つだけ）

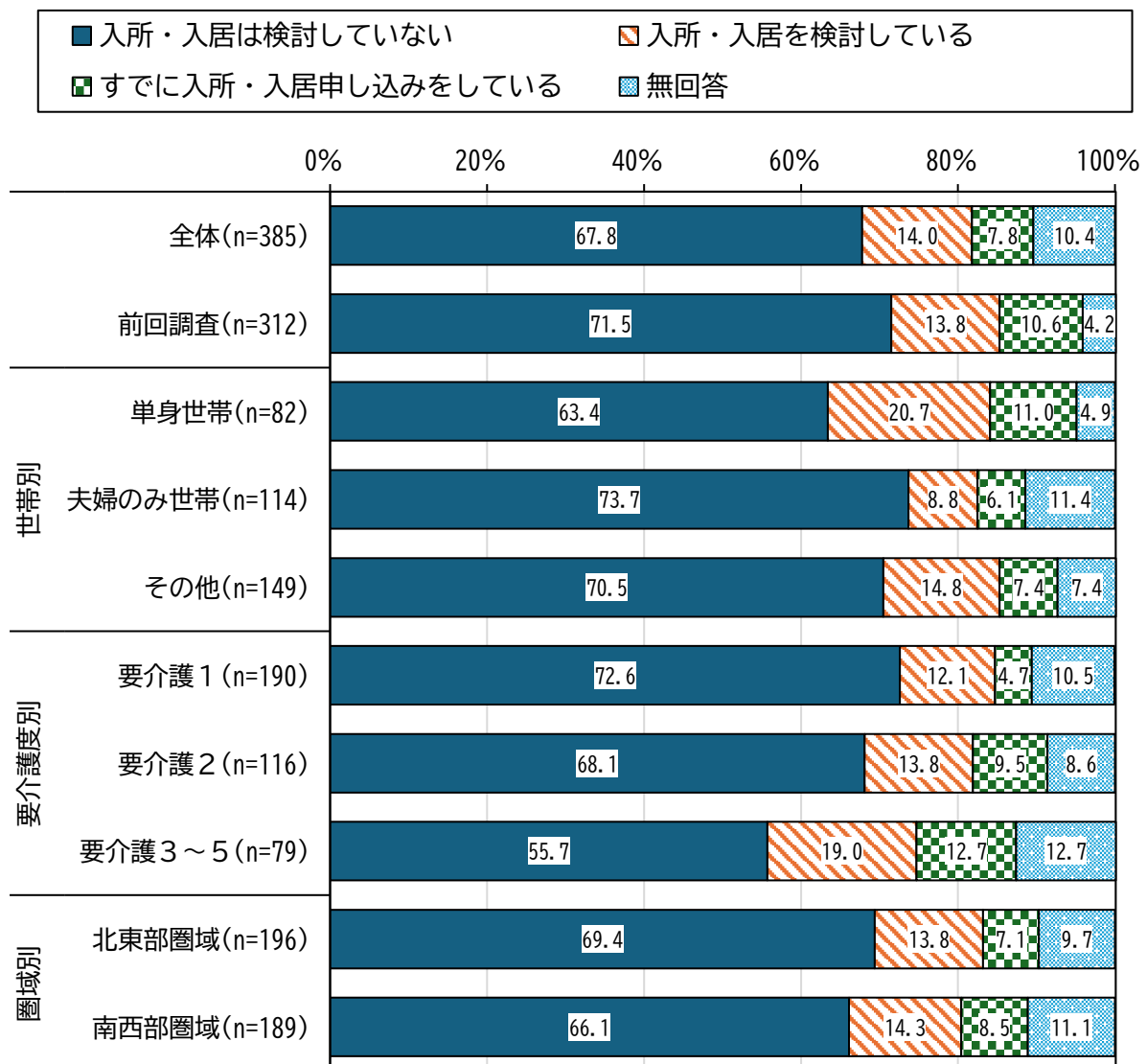
要介護認定を受けている人に施設入所の検討状況をたずねたところ、「入所・入居は検討していない」が37.8%、「入所・入居を検討している」が14.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.8%となっています。

前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が3.7ポイント減少しています。

世帯別にみると、単身世帯は「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が上昇します。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」が高くなっています。



(6) 施設等への入所・入居を考えていない理由（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 11 <問 10 で「1. 入所・入居は検討していない」と答えた方におたずねします>

入所・入居を考えていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

施設等への入所・入居を検討していない人にその理由をたずねたところ、「施設を利用するほどの状態ではないから」が 59.0%と最も高く、次いで「家族の介護を受けるから」が 49.4%、「施設に入ることには抵抗があるから」が 24.9%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「施設を利用するほどの状態ではないから」が 4.7 ポイント増加しています。

世帯別にみると、単身世帯は「施設に入ることには抵抗があるから」が 34.6%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「家族の介護を受けるから」が上昇します。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「施設を利用するほどの状態ではないから」が高くなっています。

		回答件数（n）	家族の介護を受けるから	施設を利用するほどの状態ではないから	利用料を支払うのが困難だから	どんな施設に入ったらよいかわからないから	施設に入ることには抵抗があるから	家族や身内などに理解が得られないから	申し込んでも入ることができないから	その他	無回答
全体		261	49.4	59.0	11.9	11.1	24.9	0.8	1.1	3.8	2.7
前回調査		223	48.0	54.3	13.9	8.5	22.4	0.9	3.1	4.5	2.7
世帯別	単身世帯	52	26.9	55.8	13.5	17.3	34.6	0.0	0.0	13.5	1.9
	夫婦のみ世帯	84	52.4	58.3	7.1	8.3	23.8	0.0	0.0	2.4	4.8
	その他	105	56.2	62.9	14.3	10.5	18.1	1.0	1.0	1.0	1.9
要介護度別	要介護1	138	42.0	71.0	12.3	12.3	25.4	1.4	1.4	1.4	2.9
	要介護2	79	55.7	54.4	5.1	7.6	29.1	0.0	0.0	6.3	2.5
	要介護3～5	44	61.4	29.5	22.7	13.6	15.9	0.0	2.3	6.8	2.3
圏域別	北東部圏域	136	50.7	56.6	10.3	11.0	25.7	0.7	1.5	2.9	1.5
	南西部圏域	125	48.0	61.6	13.6	11.2	24.0	0.8	0.8	4.8	4.0

【その他回答（抜粋）】

- ・デイサービスを受ける
- ・現状デイサービスで十分
- ・出来るだけ自分でする様に、出来なくなったらアドバイスしてくれる
- ・慣れ親しんだ家を離れたくない
- ・在宅でなるべく最後まで過ごしたい。
- ・運動機能の増進は考えられないかもという懸念
- ・まだ働いている
- ・十分に介護してくれない

(7) 入所・入居したい施設の種類の種類（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 12 <問 10 で「2. 入所・入居を検討している」と答えた方におたずねします>

問 12-1 ～問 12-3 までお答えください。

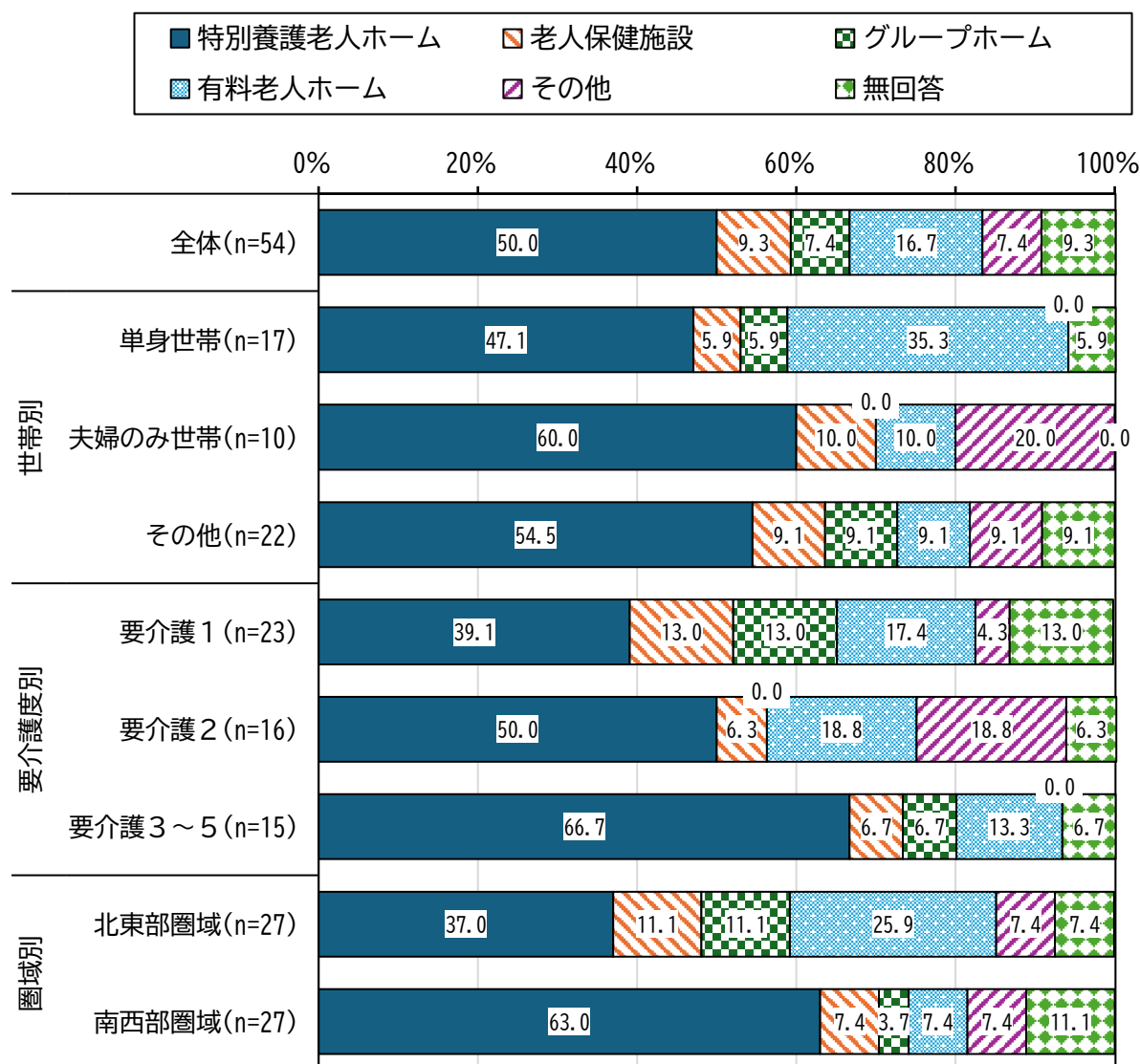
問 12-1 入所・入居したい施設の種類の種類は何ですか。（○は1つだけ）

入所・入居を検討している人に入所・入居したい施設の種類の種類をたずねたところ、「特別養護老人ホーム」が 50.0%と最も高く、次いで「有料老人ホーム」が 16.7%、「老人保健施設」が 9.3%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「有料老人ホーム」が 35.3%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「特別養護老人ホーム」が上昇し、要介護3～5は 66.7%となっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「有料老人ホーム」が高く、南西部圏域は北東部圏域に比べて「特別養護老人ホーム」が高くなっています。



【その他回答（抜粋）】

- ・ 出来れば家庭でみる
- ・ 自由が利かないから
- ・ どれを選ぶか分からない
- ・ 相談できるケアマネージャーを探している

(8) 入所・入居したい時期（検討中の人）（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 12 <問 10 で「2. 入所・入居を検討している」と答えた方におたずねします>

問 12-1 ～問 12-3 までお答えください。

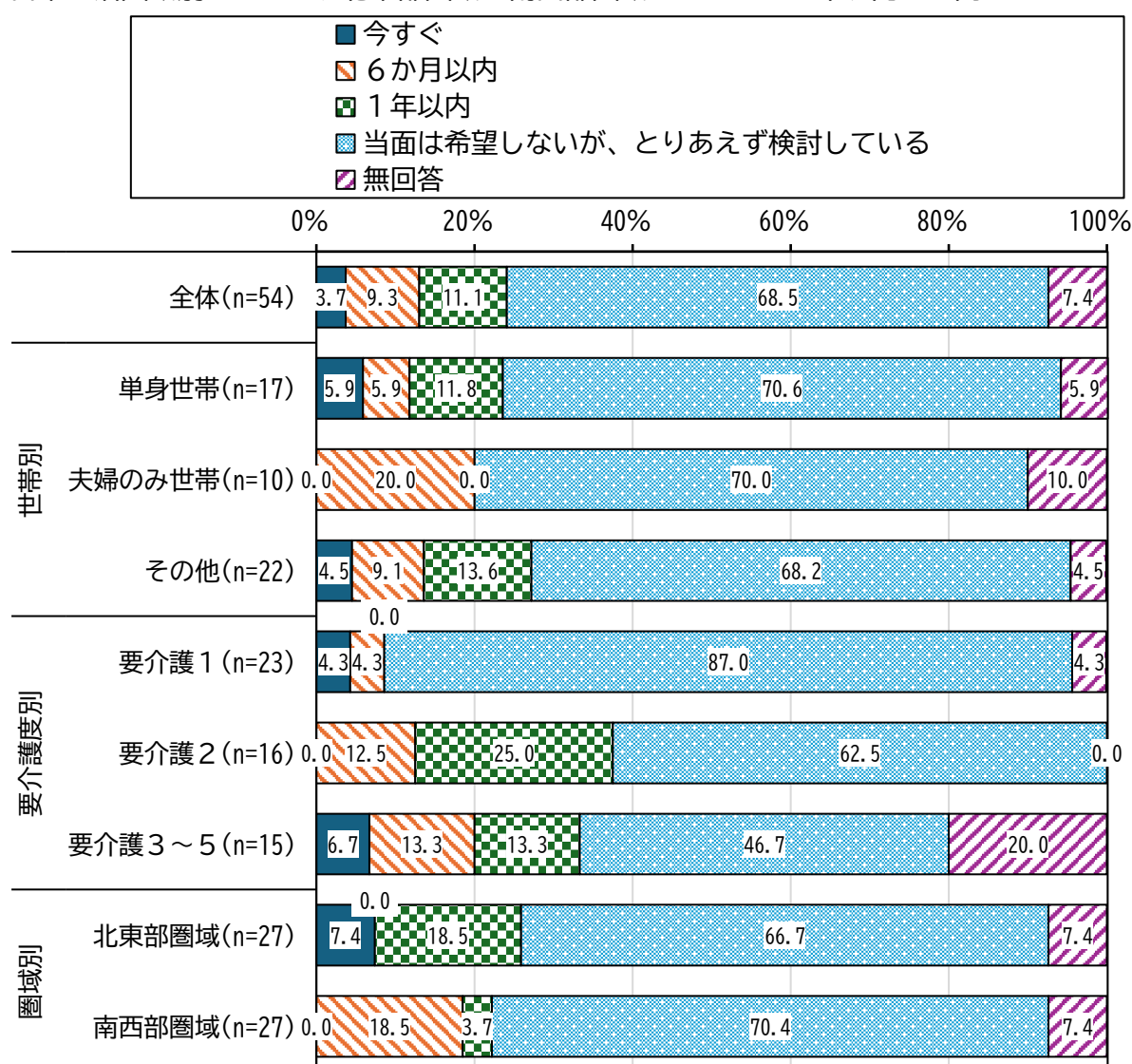
問 12-2 入りたい時期はいつですか。（○は1つだけ）

入所・入居を検討している人に入所・入居したい時期をたずねたところ、「当面は希望しないが、とりあえず検討している」が 68.5%と最も高く、次いで「1年以内」が 11.1%、「6か月以内」が 9.3%、「今すぐ」が 3.7%などの順となっています。

世帯別にみると、その他世帯は「今すぐ」（4.5%）、「6か月以内」（9.1%）、「1年以内」（13.6%）を合計した＜1年以内＞が 27.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護3～5は「今すぐ」が 6.7%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて＜1年以内＞が高くなっています。



(9) 入所・入居を検討している理由（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 12 <問 10 で「2. 入所・入居を検討している」と答えた方におたずねします>

問 12-1 ～問 12-3 までお答えください。

問 12-3 入所・入居を検討している理由は何ですか。（○はいくつでも）

入所・入居を検討している人に理由をたずねたところ、「家族の介護負担が大きいから」が 55.6%と最も高く、次いで「専門的な介護（医療、認知症等）が必要だから」、「家族に面倒をかけたくないから」が 31.5%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「自宅で介護できる家族がいないから」が 58.8%と他に比べて高く、また、その他世帯は「専門的な介護（医療、認知症等）が必要だから」が 50.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は「家族の介護負担が大きいから」が 62.5%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「家族に面倒をかけたくないから」が高くなっています。

		回答件数（n）	自宅で介護できる家族がいないから	24時間の介護が必要だから	家族の介護負担が大きいから	家族に面倒をかけたくないから	同じような境遇の人と一緒に、安心して暮らせるから	住居の都合（段差がある、手すりがない等）で生活が困難だから	専門的な介護（医療、認知症等）が必要だから	その他	無回答
全体		54	25.9	5.6	55.6	31.5	24.1	9.3	38.9	5.6	3.7
世帯別	単身世帯	17	58.8	5.9	35.3	29.4	29.4	5.9	29.4	11.8	0.0
	夫婦のみ世帯	10	30.0	0.0	60.0	20.0	30.0	10.0	30.0	10.0	0.0
	その他	22	4.5	4.5	68.2	36.4	13.6	4.5	50.0	0.0	4.5
要介護度別	要介護1	23	34.8	4.3	52.2	39.1	26.1	8.7	26.1	4.3	0.0
	要介護2	16	25.0	6.3	62.5	31.3	31.3	12.5	50.0	6.3	0.0
	要介護3～5	15	13.3	6.7	53.3	20.0	13.3	6.7	46.7	6.7	13.3
圏域別	北東部圏域	27	29.6	3.7	51.9	22.2	25.9	7.4	37.0	7.4	3.7
	南西部圏域	27	22.2	7.4	59.3	40.7	22.2	11.1	40.7	3.7	3.7

【その他回答（抜粋）】

- ・ 本人は自宅生活を希望しているが、1人暮らしが困難と思われた時、施設の入居を考えている
- ・ 体調が悪くなった時、動けなくなったら

(10) 入所・入居の申し込みをしている施設の種類の種類（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

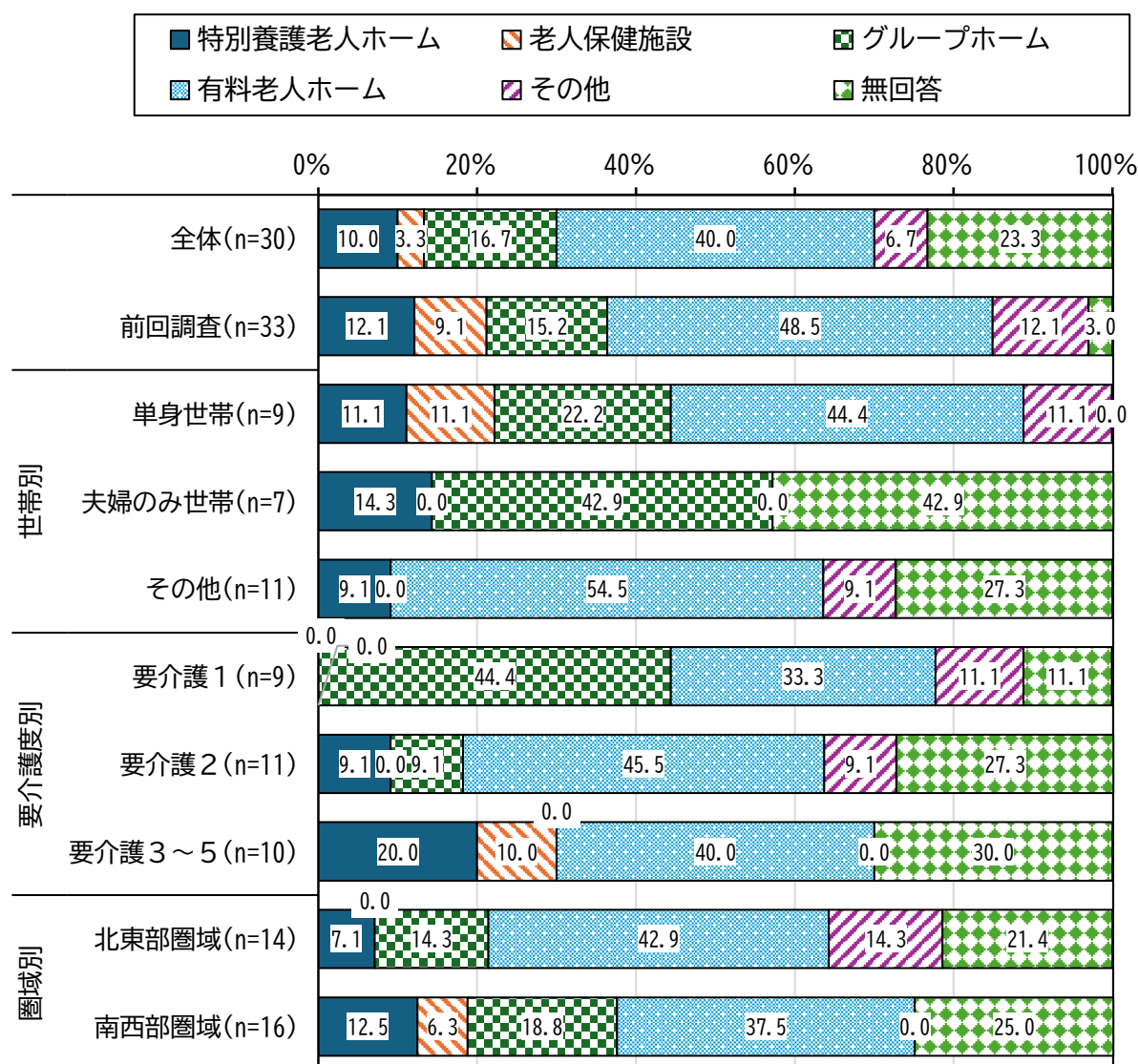
問 13 <問 10 で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方におたずねします>

問 13-1 ～問 13-4 までお答えください。

問 13-1 入所・入居の申し込みをしている施設の種類の種類は何ですか。（○は1つだけ）

すでに入所・入居申し込みをしている人に入所・入居の申し込みをしている施設の種類の種類をたずねたところ、「有料老人ホーム」が 40.0%（12 人）と最も高く、次いで「グループホーム」が 16.7%（5 人）、「特別養護老人ホーム」が 10.0%（3 人）などの順となっています。

前回調査と比較すると、回答の傾向はおおむね同様となっています。



【その他回答（抜粋）】

・住宅型 ・地域密着型通所介護

(11) 入所・入居の申し込みをしている施設の待機期間（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

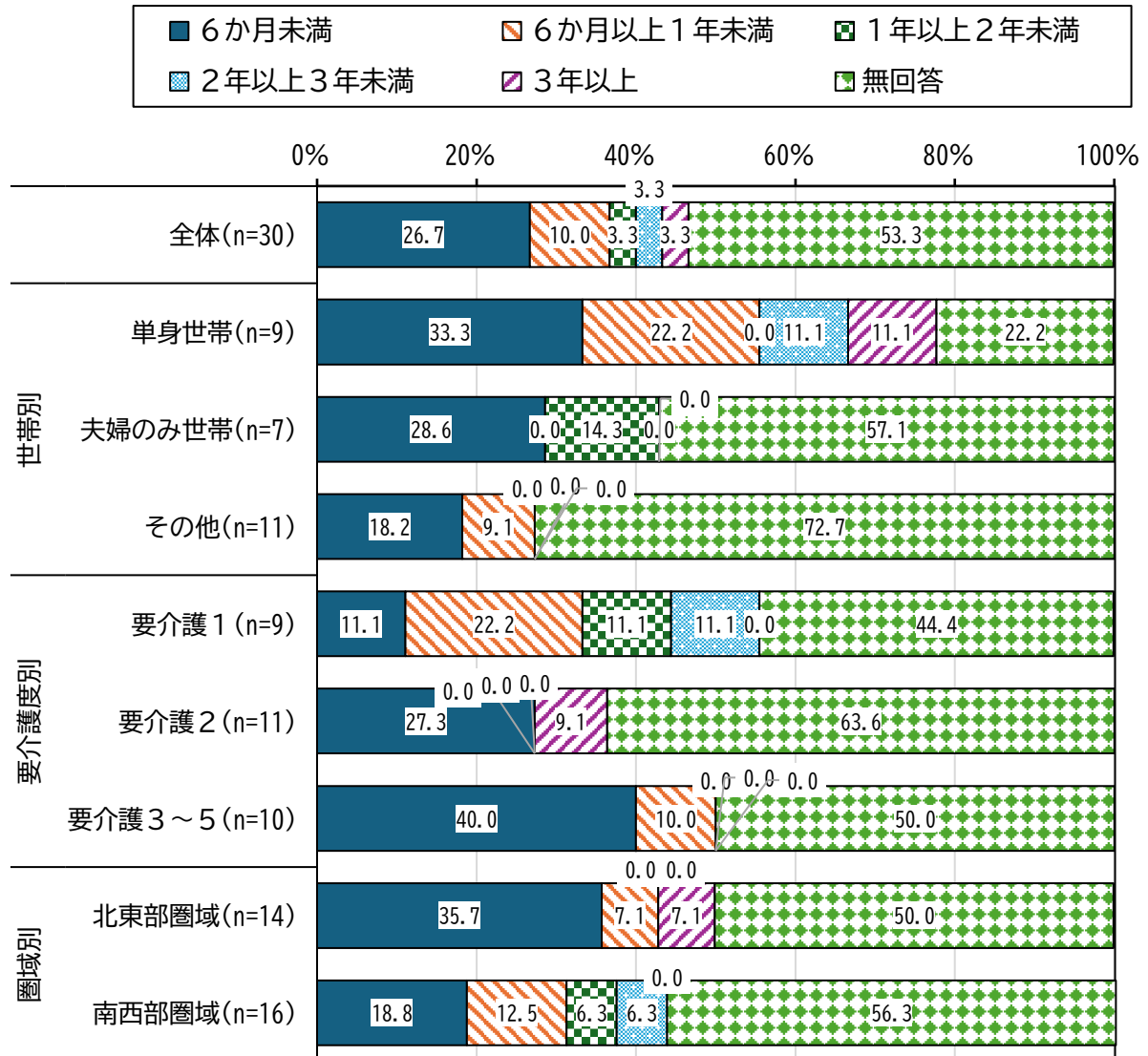
問 13 <問 10 で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方におたずねします>

問 13-1 ～問 13-4 までお答えください。

問 13-2 入所・入居の申し込みをしている施設の待機期間はどれくらいですか。

（○は1つだけ）

すでに入所・入居申し込みをしている人に施設の待機期間をたずねたところ、「6 か月未満」が 26.7%と最も高くなっています。



(12) 入所・入居したい時期（申し込みをしている人）（要介護認定者のみ）

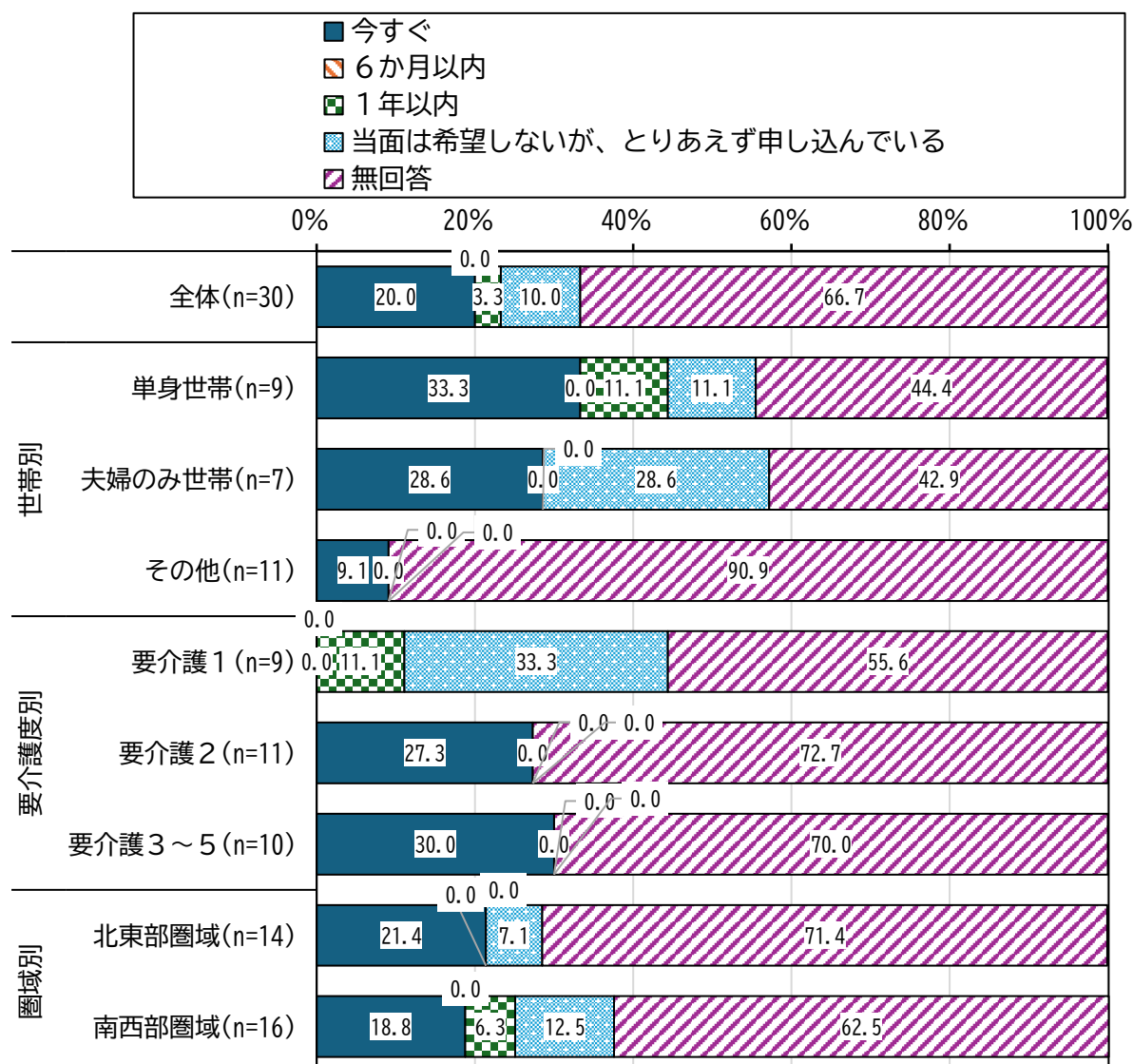
【要介護認定者】

問 13 <問 10 で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方におたずねします>

問 13-1 ～問 13-4 までお答えください。

問 13-3 入りたい時期はいつですか。（○は1つだけ）

すでに入所・入居申し込みをしている人に入所・入居したい時期をたずねたところ、「今すぐ」が 20.0%と最も高くなっています。



(13) 入所・入居の申し込みをしている理由（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 13 <問 10 で「3. すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方におたずねします>

問 13-1 ～問 13-4 までお答えください。

問 13-4 入所・入居の申し込みをしている理由は何ですか。（○はいくつでも）

すでに入所・入居申し込みをしている人に理由をたずねたところ、「自宅で介護できる家族がないから」及び「家族の介護負担が大きいから」が 23.3%と最も高く、次いで「家族に面倒をかけたくないから」及び「専門的な介護（医療、認知症等）が必要だから」が 16.7%などの順となっています。

		回答件数（n）	自宅で介護できる家族がないから	24時間の介護が必要だから	家族の介護負担が大きいから	家族に面倒をかけたくないから	同じような境遇の人と一緒に、安心して暮らせるから	住居の都合（段差がある、手すりがない等）で生活が困難だから	専門的な介護（医療、認知症等）が必要だから	その他	無回答
全体		30	23.3	13.3	23.3	16.7	10.0	13.3	16.7	6.7	43.3
世帯別	単身世帯	9	55.6	33.3	44.4	44.4	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0
	夫婦のみ世帯	7	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9
	その他	11	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	72.7
要介護度別	要介護1	9	44.4	11.1	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3
	要介護2	11	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1	45.5
	要介護3～5	10	10.0	10.0	40.0	30.0	0.0	10.0	30.0	0.0	50.0
圏域別	北東部圏域	14	21.4	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	7.1	42.9
	南西部圏域	16	25.0	18.8	31.3	18.8	6.3	6.3	25.0	6.3	43.8

【その他回答（抜粋）】

・病気 ・家電の取り扱いが難しくなってきたから

(14)「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況

【要介護認定者】

問 14 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（○はいくつでも）

【要支援認定者、総合事業対象者】

問 56 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（○はいくつでも）

介護保険サービス以外で利用している支援・サービスをたずねたところ、「配食」が9.2%、「掃除・洗濯」が7.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が5.0%などの順となっています。また、「利用していない」は42.9%となっています。

前回調査と比較すると、「ゴミ出し」が増加しています。

世帯別にみると、単身世帯の回答は他に比べて全体的に高くなっており、特に「配食」は19.6%となっています。

要介護度別にみると、要介護2は「配食」が12.1%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「配食」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。

		回答件数（n）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物物 （宅配は含まない）	ゴミ出し	（通院、買い物など） 外出同行	（介護・福祉タクシー等） 移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		758	9.2	2.5	7.9	4.2	4.7	5.0	6.2	4.9	3.7	4.2	42.9	28.9
前回調査		593	13.3	2.5	8.6	7.3	3.4	5.7	9.8	6.4	5.6	4.6	47.6	14.8
世帯別	単身世帯	209	19.6	4.8	17.2	10.0	9.6	10.0	8.1	10.5	4.8	4.3	33.0	18.7
	夫婦のみ世帯	238	4.2	2.1	4.2	1.7	3.4	2.5	7.1	1.3	2.9	4.6	43.7	36.1
	その他	264	5.3	0.8	3.8	2.7	1.5	3.4	3.8	3.4	4.2	3.8	53.0	27.3
	要支援1	204	7.4	2.5	9.8	5.9	4.9	5.4	6.9	6.9	4.9	4.4	34.8	29.4
要介護度別	要支援2	169	8.3	0.6	9.5	3.0	4.1	5.9	5.9	1.8	3.0	4.7	43.2	29.0
	要介護1	190	11.6	3.7	5.3	3.7	5.3	4.2	3.7	5.8	3.2	4.2	48.9	26.3
	要介護2	116	12.1	2.6	8.6	2.6	5.2	4.3	9.5	5.2	6.0	3.4	44.0	28.4
	要介護3～5	79	6.3	3.8	5.1	6.3	3.8	5.1	6.3	3.8	0.0	3.8	46.8	34.2
圏域別	北東部圏域	379	7.9	2.9	8.4	5.0	5.0	5.8	4.7	5.3	4.7	4.7	40.6	31.4
	南西部圏域	379	10.6	2.1	7.4	3.4	4.5	4.2	7.7	4.5	2.6	3.7	45.1	26.4

【その他回答（抜粋）】

- ・リハビリフィットネス ・タクシー券配付 ・訪問診察 ・ヘルパーお風呂介助
- ・ベッド ・リハビリ ・訪問歯科 ・訪問美容 ・生協（食材宅配） ・服薬介助
- ・換気フィルター等の清掃（シルバー人材センター）

(15) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

【要介護認定者】

問 15 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

【要支援認定者、総合事業対象者】

問 57 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後、在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスをたずねたところ、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 24.8%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 20.8%、「配食」が 16.5%などの順となっています。また、「特になし」は 24.9%となっています。

前回調査と比較すると、「特になし」が減少しています。

世帯別にみると、単身世帯の回答は他に比べて全体的に高くなっており、特に「外出同行（通院、買い物など）」は 31.6%となっています。

要介護度別にみると、要支援2は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 32.0%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。

	回答件数（n）	配食	調理	掃除・洗濯	（宅配は含まない） 買い物	ゴミ出し	（通院、買い物など） 外出同行	（介護・福祉タクシー等） 移送サービス	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な 通いの場	その他	特になし	無回答
全体	758	16.5	10.0	15.6	14.1	11.9	20.8	24.8	15.4	9.0	3.6	24.9	23.7
前回調査	593	20.4	10.5	18.7	16.5	12.8	25.1	30.7	14.3	10.6	4.9	26.6	13.7
世帯別													
単身世帯	209	26.3	15.3	27.3	25.8	20.6	31.6	31.6	23.0	12.4	4.8	18.7	15.3
夫婦のみ世帯	238	14.3	12.2	13.4	11.3	12.2	17.2	26.9	11.8	7.1	1.7	23.9	31.1
その他	264	10.6	4.5	8.3	9.1	4.9	17.8	19.7	13.3	8.0	4.5	30.7	22.0
要介護度別													
要支援1	204	14.2	10.3	16.7	16.7	13.7	18.6	23.0	14.7	9.8	4.4	24.0	20.6
要支援2	169	21.9	9.5	18.9	16.0	11.8	25.4	32.0	14.2	10.1	4.1	20.1	21.3
要介護1	190	18.4	13.7	15.8	14.7	12.1	21.1	19.5	18.4	10.5	3.2	27.4	25.3
要介護2	116	13.8	8.6	14.7	12.1	12.9	22.4	29.3	16.4	6.9	1.7	28.4	25.9
要介護3～5	79	10.1	3.8	6.3	5.1	5.1	13.9	20.3	11.4	3.8	3.8	26.6	30.4
圏域別													
北東部圏域	379	16.1	10.6	15.3	13.7	10.6	20.6	22.7	15.3	9.2	4.0	23.7	25.6
南西部圏域	379	16.9	9.5	15.8	14.5	13.2	21.1	26.9	15.6	8.7	3.2	26.1	21.9

【その他回答（抜粋）】

- ・ショート利用 ・かみの毛のカット自宅 ・訪問診察 ・ヘルパーお風呂介助
- ・夜間の訪問介護 ・昼からのリハビリフィットネス ・デイケア
- ・付添いについて支援出来るように願いたい ・友達に会いに連れて行って欲しい
- ・現在は事足りていますが、そのうちに頻回に訪問介護が必要となると思います。（寝たきりになった時のことを考えています。）

将来の生活の希望についておたずねします。

(1) これからの介護（要介護認定者のみ）

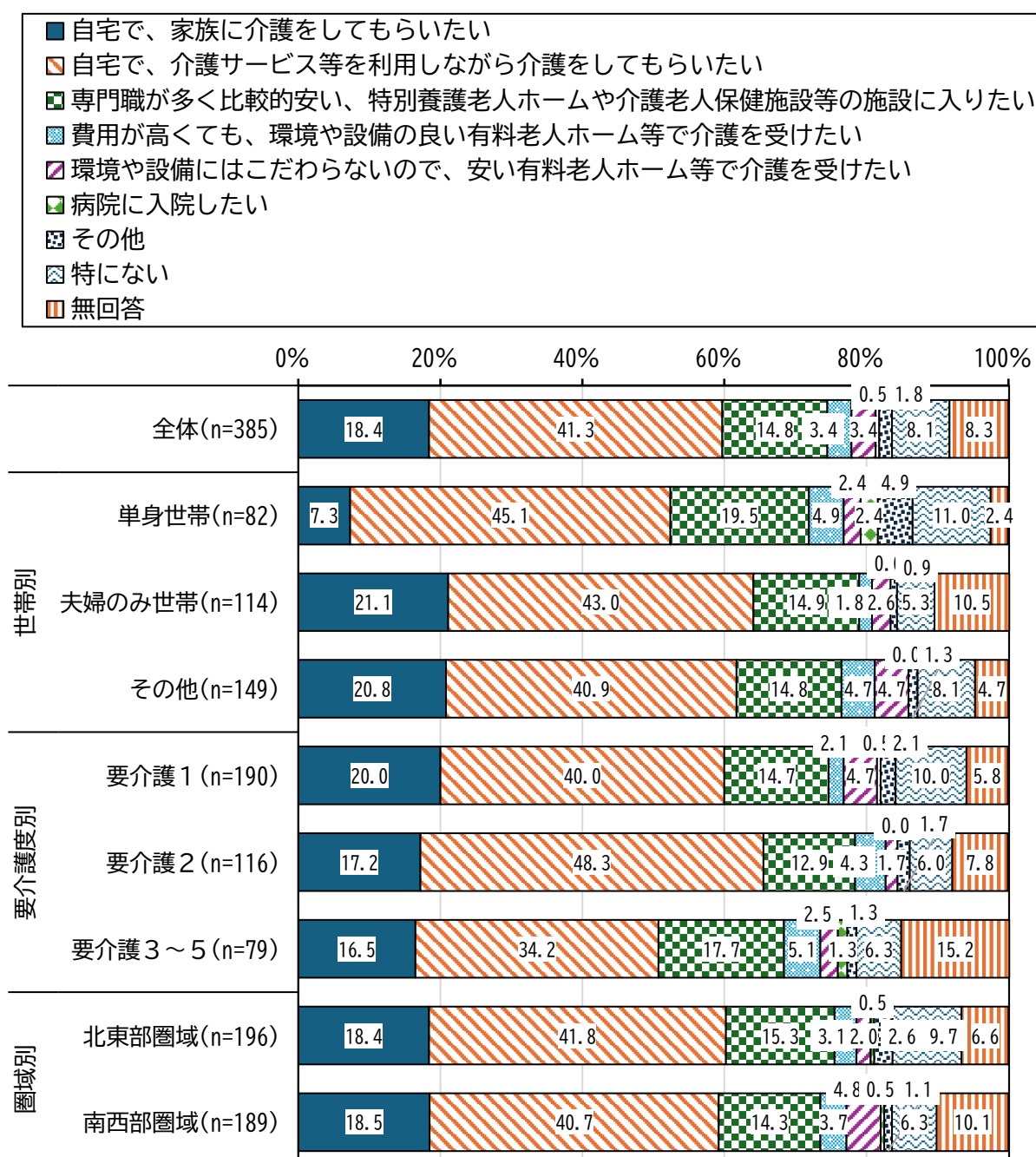
【要介護認定者】

問 16 これからの介護について、どのようにしたいとお考えですか。（○は1つだけ）

要介護認定を受けている人に今後、希望する生活をたずねたところ、「自宅で、介護サービス等を利用しながら介護をしてもらいたい」が 41.3%と最も高く、次いで「自宅で、家族に介護をしてもらいたい」が 18.4%などの順となっており、これらを合計した＜自宅で介護を受けたい＞が 59.7%となっています。

世帯別にみると、単身世帯は＜自宅で介護を受けたい＞が低く、「専門職が多く比較的安い、特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の施設に入りたい」が高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は＜自宅で介護を受けたい＞が 65.5%と他に比べて高くなっています。



【その他回答（抜粋）】

- ・ 料金の安い所 ・ 今後の健康状態がどうなるのか不明なので決められない
- ・ 要介護１で入れる月に 15 万以下の施設に入りたい。 ・ 将来のことは不明
- ・ 身体が全く動かなくなった時の事はまだ考えられない
- ・ どのような状態になるのかわからないので分からない

(2) 住み慣れた地域で暮らし続けるために最も充実すべきこと（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 17 あなたが住み慣れた地域で暮らし続けるために、最も充実すべきことは何だと思いますか。
（○は3つまで）

地域で暮らし続けるために最も充実すべきことをたずねたところ、「介護サービスを充実する」が 50.6%と最も高く、次いで「在宅医療を充実する」が 43.6%、「医療と介護の連携を強化する」が 36.6%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「介護が必要な状態とならないための取組や自立を支援する介護の推進」が 29.3%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「医療と介護の連携を強化する」が上昇し、要介護3～5は 41.8%となっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「相談窓口の充実」が 10.9 ポイント高くなっています。

		回答件数（n）	在宅医療を充実する	介護サービスを充実する	医療と介護の連携を強化する	介護が必要な状態とならないための取組や自立を支援する介護の推進	見守り・配食・買い物など生活支援サービスの充実と権利擁護の確立	高齢期・要介護状態になっても住み続けることのできる住まいの整備	相談窓口の充実	その他	無回答
全体		385	43.6	50.6	36.6	20.8	23.4	26.2	14.5	2.9	7.3
世帯別	単身世帯	82	39.0	58.5	26.8	29.3	39.0	31.7	8.5	3.7	3.7
	夫婦のみ世帯	114	45.6	43.9	38.6	14.9	21.1	28.9	17.5	0.9	5.3
	その他	149	45.6	52.3	44.3	20.1	17.4	20.1	16.8	4.0	7.4
要介護度別	要介護1	190	41.6	46.3	33.2	26.3	23.2	32.1	15.8	2.6	6.3
	要介護2	116	51.7	55.2	38.8	18.1	27.6	17.2	12.1	4.3	6.0
	要介護3～5	79	36.7	54.4	41.8	11.4	17.7	25.3	15.2	1.3	11.4
圏域別	北東部圏域	196	42.3	54.1	38.3	20.9	25.5	28.1	9.2	4.1	6.1
	南西部圏域	189	45.0	47.1	34.9	20.6	21.2	24.3	20.1	1.6	8.5

【その他回答（抜粋）】

- ・ヘルパーさん（家政婦さんの的な）がいるとありがたい ・資金面 ・ショートステイの充実
- ・住宅改修にストマ用トイレへの改修工事が無いので入れてほしい。
- ・今だ相談した事がないのでわからない。 ・介護（特養）に申込み中
- ・隙間風が入って、風に弱いからそこだけを直して欲しいです

(3) 今後の生活や、いざというときの不安

【要介護認定者】

問 18 今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることは、次のどれですか。
(○は1つだけ)

【要支援認定者、総合事業対象者】

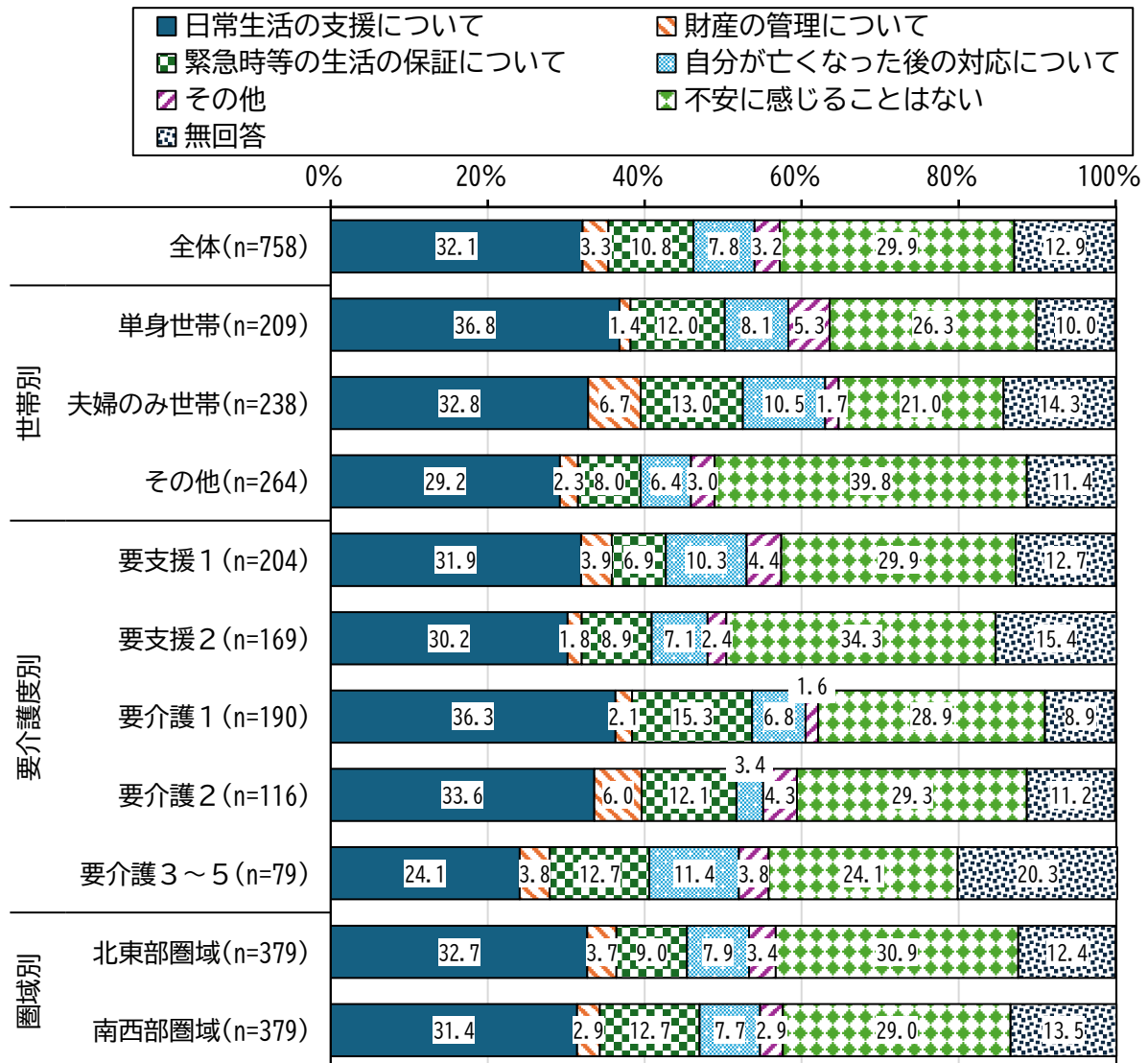
問 42 今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることは、次のどれですか。
(○は1つだけ)

今後の生活や、いざというときに備えて、最も不安に感じることについて、「日常生活の支援について」が 32.1%と最も高く、次いで「不安に感じることはない」が 29.9%、「緊急時等の生活の保証について」が 10.8%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「日常生活の支援について」が 36.8%と他に比べて高くなっています。

認定区分別にみると、要介護1は「日常生活の支援について」が 36.3%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「緊急時等の生活の保証について」が高くなっています。



【その他回答（抜粋）】

- ・介護する夫死亡後の生活 ・資金面、金銭不足
- ・要介護者と介護者全員がコロナになった時におむつ替え等の介護してくれる方がいなかった。新たに契約が必要だったり、すぐに利用したくても契約してからになるので日数がかかる。
- ・地震・災害時の対応（全く歩けない者）心配 ・あるがわからない
- ・大規模災害の時の各施設の対応。たいようの杜の関連の施設は大規模災害時には閉鎖する等・・・
- ・すべて娘が行っているので、上記のことは不安でないが、日々精神疾患のため不安感がある
- ・寝たきりとたった時の介護

認知症についておたずねします。

(1) 認知症は誰もがなり得ると思うか

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

① 認知症は誰もがなり得ると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

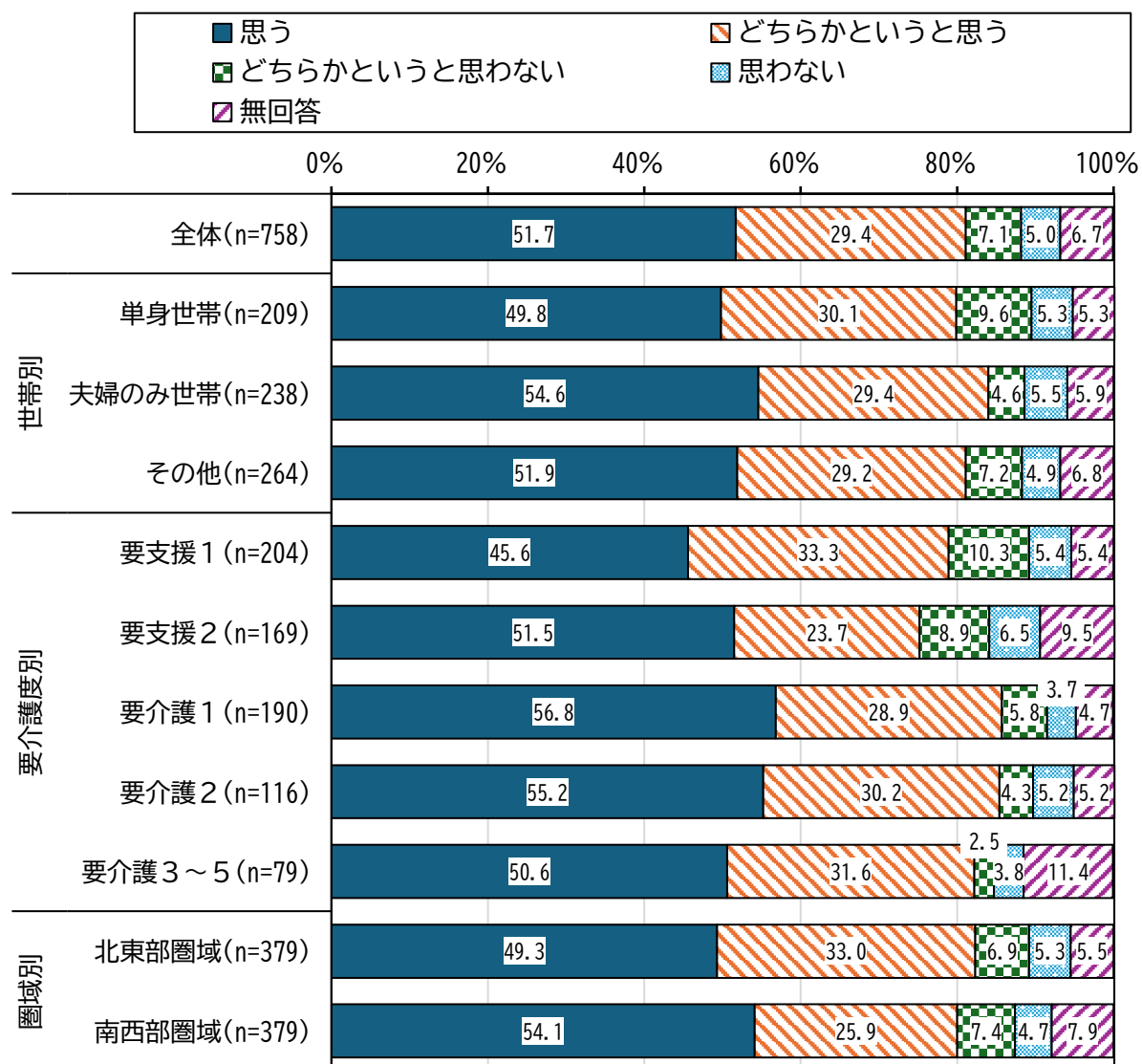
① 認知症は誰もがなり得ると思いますか

認知症は誰もがなり得ると思うかについて、「思う」(51.7%)と「どちらかというと思う」(29.4%)を合計した<思う>は81.1%、「どちらかというと思わない」(7.1%)と「思わない」(5.0%)を合計した<思わない>は12.1%となっています。

<思う>を世帯別にみると、夫婦のみ世帯は84.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は85.7%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて高くなっています。



(2) 認知症への理解

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

② あなたは認知症に関して理解していると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

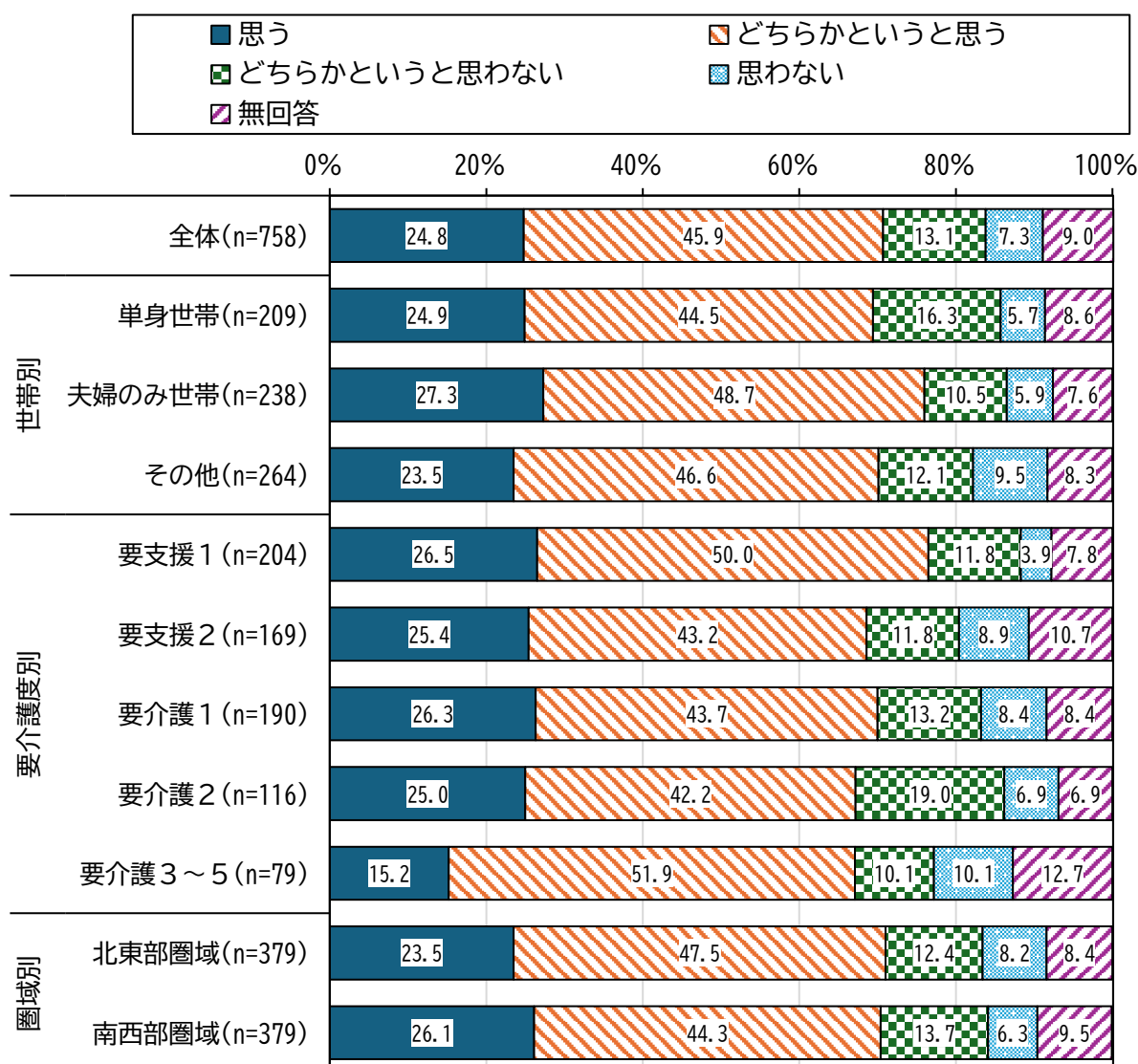
問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

② あなたは認知症に関して理解していると思いますか

認知症に関して理解していると思うかについて、「思う」(24.8%)と「どちらかというと思う」(45.9%)を合計した<思う>は 70.7%、「どちらかというと思わない」(13.1%)と「思わない」(7.3%)を合計した<思わない>は 20.4%となっています。

<思う>を世帯別にみると、夫婦のみ世帯は 76.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1は 76.5%と他に比べて高くなっています。



(3) 認知症になってもできることが多くあると思うか

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

③ 認知症になってもできることが多くあると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

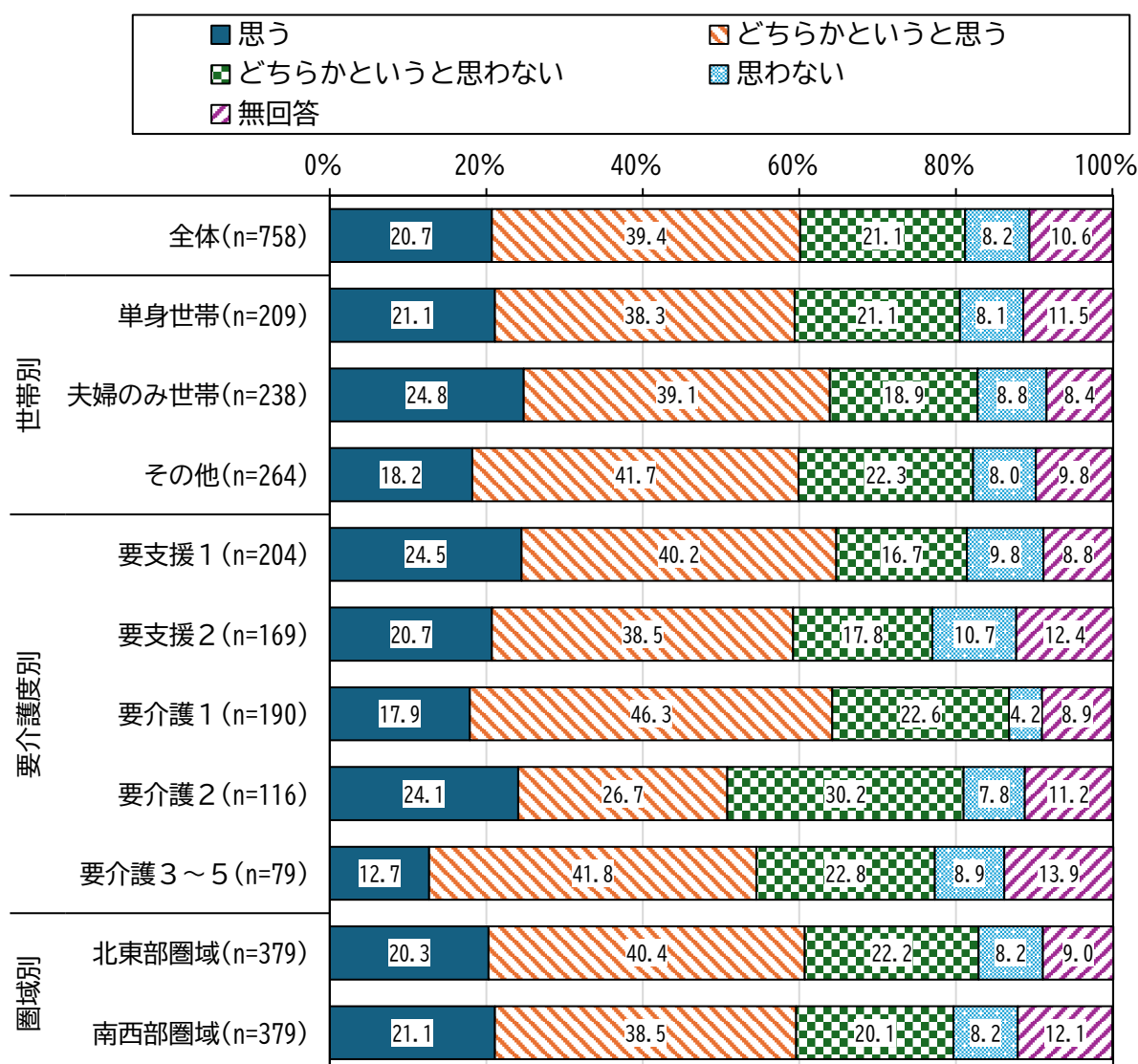
問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

③ 認知症になってもできることが多くあると思いますか

認知症になってもできることが多くあると思うかについて、「思う」(20.7%)と「どちらかというと思う」(39.4%)を合計した<思う>は60.1%、「どちらかというと思わない」(21.1%)と「思わない」(8.2%)を合計した<思わない>は29.3%となっています。

<思う>を世帯別にみると、夫婦のみ世帯は63.9%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は50.8%と他に比べて低くなっています。



(4) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

④ あなたが暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

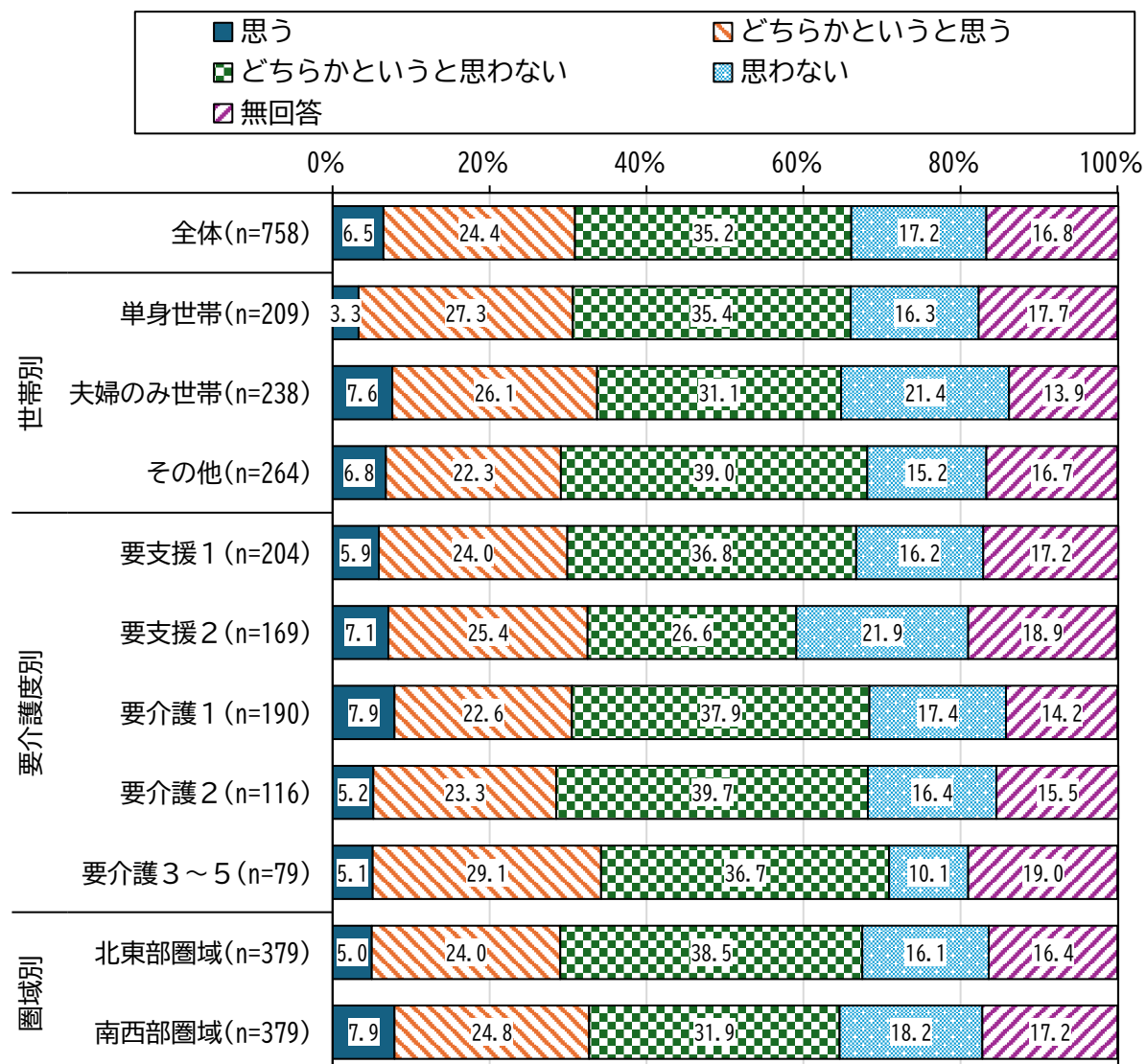
④ あなたが暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか

回答者が暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかについて、「思う」(6.5%)と「どちらかというと思う」(24.4%)を合計した<思う>は30.9%、「どちらかというと思わない」(35.2%)と「思わない」(17.2%)を合計した<思わない>は52.4%となっています。

<思わない>を世帯別にみると、その他世帯は54.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は56.1%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて高くなっています。



(5) 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑤ 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

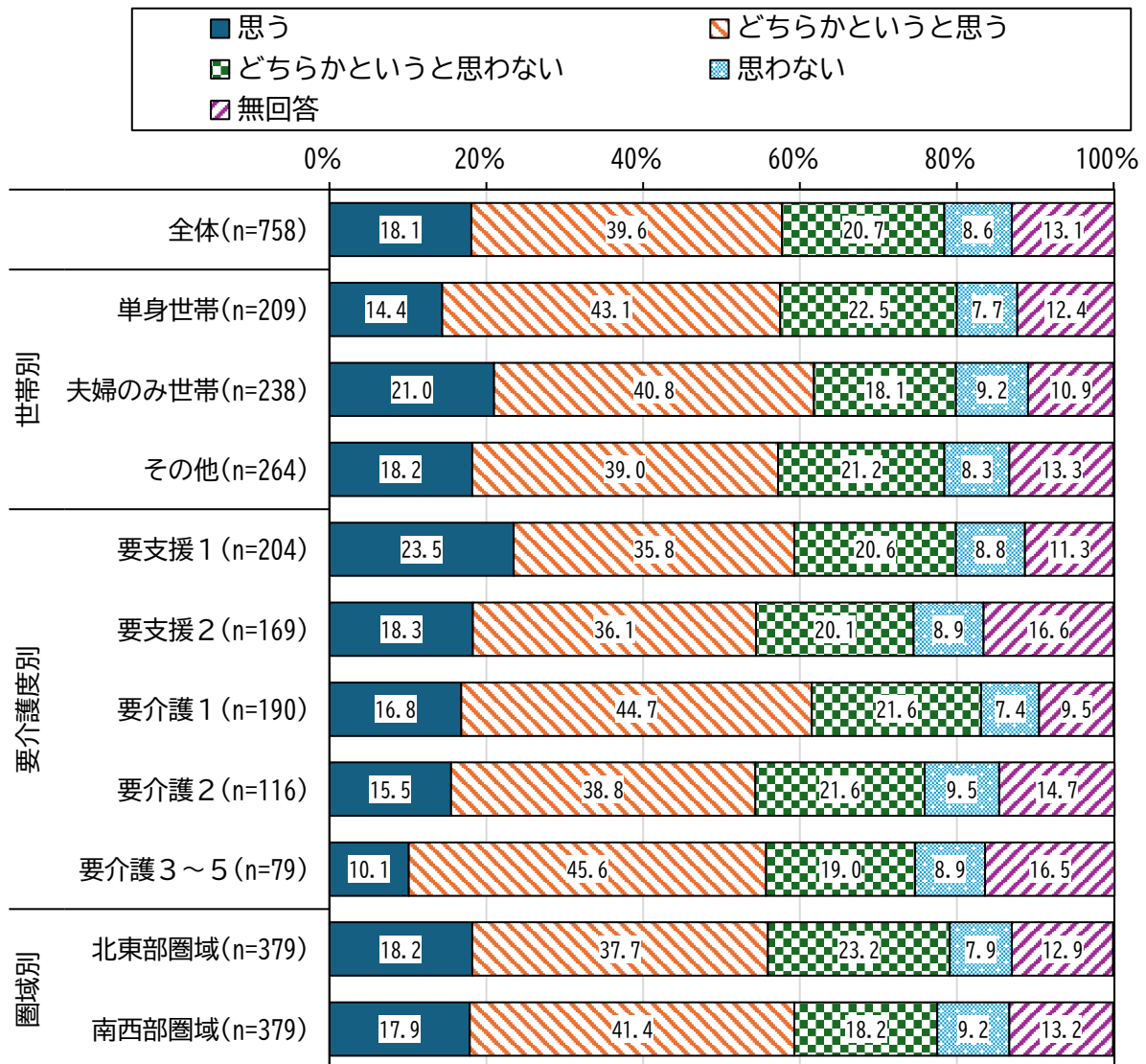
⑤ 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについて、「思う」(18.1%)と「どちらかというと思う」(39.6%)を合計した<思う>は 57.7%、「どちらかというと思わない」(20.7%)と「思わない」(8.6%)を合計した<思わない>は 29.3%となっています。

<思う>を世帯別にみると、夫婦のみ世帯は 61.8%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は 61.5%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて高くなっています。



(6) 認知症の人が自分らしく暮らせると思うか

【要介護認定者】

問 19 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑥ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか

【要支援認定者・総合事業対象者】

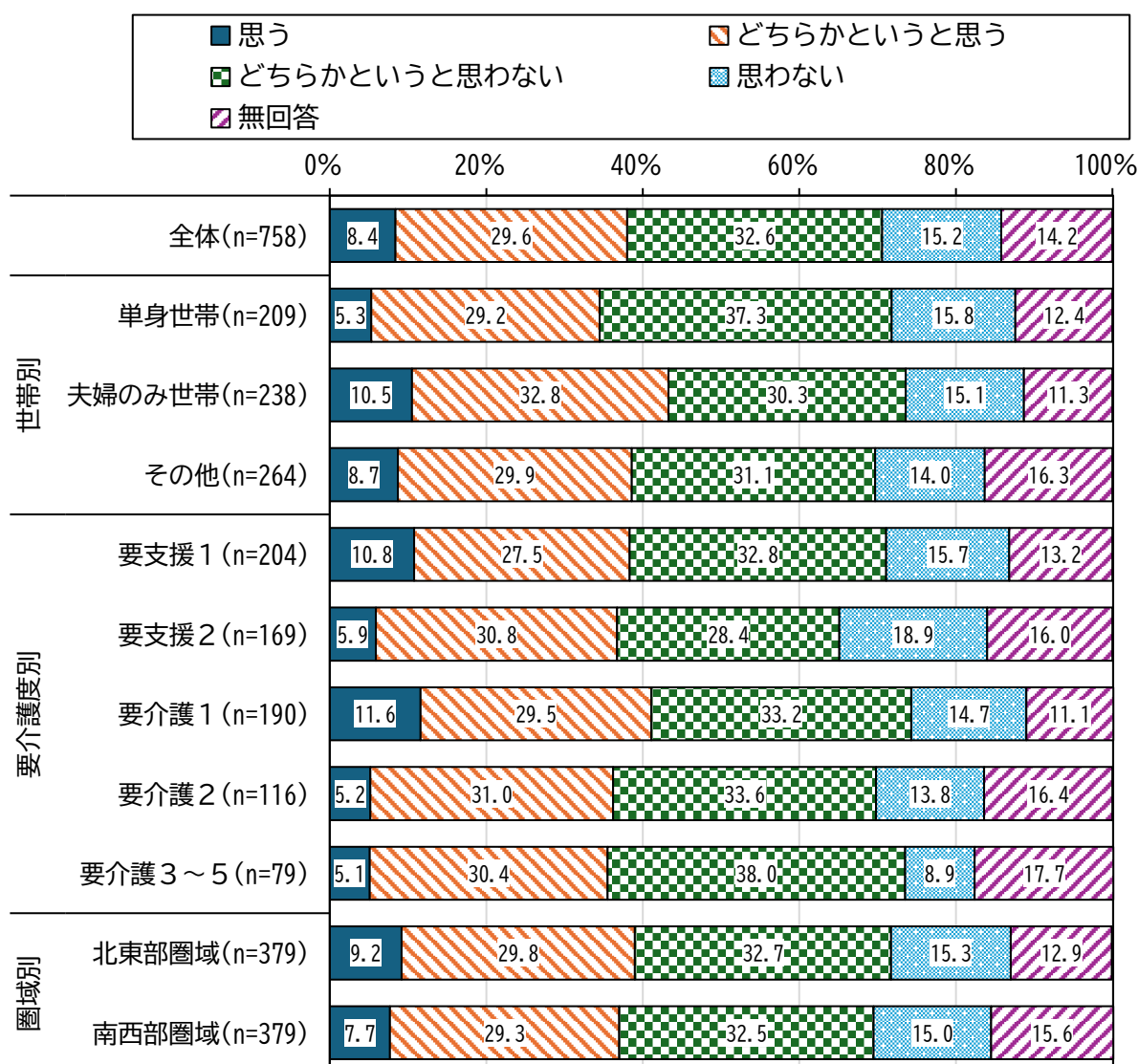
問 43 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑥ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか

回答者が暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思うかについて、「思う」(8.4%)と「どちらかというと思う」(29.6%)を合計した<思う>は 38.0%、「どちらかというと思わない」(32.6%)と「思わない」(15.2%)を合計した<思わない>は 47.8%となっています。

<思わない>を世帯別にみると、単身世帯は 53.1%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1は 48.5%と他に比べて高くなっています。



(7) 「新しい認知症観」の認知度

【要介護認定者】

問 20 「新しい認知症観」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

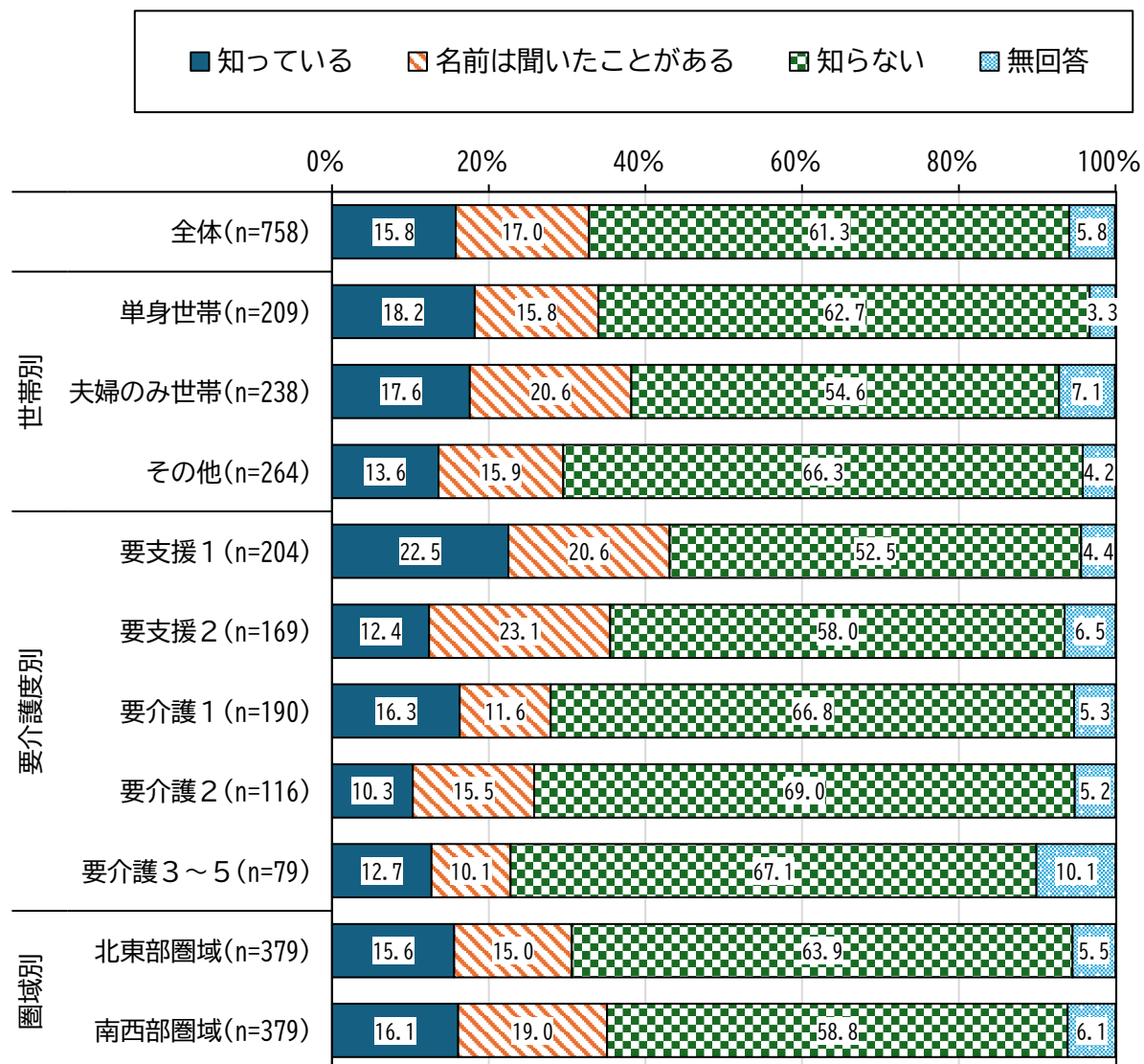
問 44 「新しい認知症観」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

「新しい認知症観」の認知度について、「知っている」が15.8%、「名前は聞いたことがある」が17.0%、「知らない」が61.3%となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「知っている」が18.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1は「知っている」が22.5%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「知らない」が高くなっています。



(8) 認知症について知りたいこと

【要介護認定者】

問 21 あなたが、認知症について知りたいことはどんなことですか。(○はいくつでも)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 49 あなたが、認知症について知りたいことはどんなことですか。(○はいくつでも)

認知症について知りたいことについて、「認知症の原因となる病気や症状」が 43.4%と最も高く、次いで「認知症予防に関する取組」が 42.5%、「認知症の人が在宅で利用できるサービス」が 40.1%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「認知症の人が入所できる施設やグループホーム等」が 40.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は「認知症予防に関する取組」が 50.5%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「認知症の原因となる病気や症状」が高くなっています。

		回答件数 (n)	認知症の原因となる 病気や症状	認知症予防に関する 取組	認知症の人に対する 接し方やケア (介護)の方法	認知症に関する 相談窓口	認知症の人が在宅で 利用できるサービス	認知症の人が入所 できる施設や グループホーム等	その他	無回答
全体		758	43.4	42.5	30.3	36.1	40.1	34.4	2.9	10.2
世帯別	単身世帯	209	45.9	42.1	23.9	39.2	44.0	40.2	3.8	6.2
	夫婦のみ世帯	238	44.1	33.6	38.2	37.4	37.0	32.8	0.8	11.3
	その他	264	41.7	50.0	28.4	34.1	40.5	33.0	4.2	10.6
要介護 度別	要支援1	204	51.5	38.7	28.4	33.3	40.2	30.4	2.5	7.8
	要支援2	169	45.0	40.8	25.4	38.5	39.1	39.1	3.0	11.8
	要介護1	190	40.5	50.5	35.3	37.4	44.7	37.4	2.1	8.9
	要介護2	116	43.1	39.7	28.4	37.1	39.7	31.9	2.6	12.9
	要介護3～5	79	26.6	40.5	36.7	34.2	31.6	31.6	6.3	11.4
圏域別	北東部圏域	379	40.4	42.0	29.8	37.2	40.4	34.3	3.2	10.3
	南西部圏域	379	46.4	43.0	30.9	35.1	39.8	34.6	2.6	10.0

【その他回答(抜粋)】

- ・ 早期の薬物治療介入 ・ 一人暮らしでの対策
- ・ 認知症の人でも何か役割を与えてやらせてもらえる場(半日でもいいので)
→ 送り迎えが必要です
- ・ 日々努力して自分で出来る事は全てやるつもりです

(9) 認知症になっても自宅で生活続けるために必要なこと

【要介護認定者】

問 22 認知症になっても自宅で生活続けるために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 50 認知症になっても自宅で生活続けるために何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

認知症になっても自宅で生活続けるために必要なことについて、「気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること」が 63.1%と最も高く、次いで「困ったときに頼れる支援機関（地域包括支援センターなど）があること」が 61.6%、「利用できる介護サービスがあること」が 59.9%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「地域住民の理解があること」が 32.1%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は「気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること」が 67.4%と他に比べて高くなっています。

		回答件数（n）	気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること	地域住民の理解があること	困ったときに頼れる支援機関（地域包括支援センターなど）があること	利用できる介護サービスがあること	介護をしてくれる人（家族や友人）がいること	自宅では生活せず、施設に入所したい	その他	無回答
全体		758	63.1	26.0	61.6	59.9	55.8	17.5	1.3	5.8
世帯別	単身世帯	209	58.4	32.1	63.6	67.5	49.3	23.0	3.3	2.9
	夫婦のみ世帯	238	64.3	19.3	63.9	52.1	56.7	14.3	0.4	6.3
	その他	264	64.8	26.1	60.6	62.9	60.6	16.3	0.8	5.7
要介護度別	要支援1	204	65.2	29.4	65.2	56.4	53.4	16.7	2.0	3.4
	要支援2	169	59.2	18.3	65.7	60.9	55.6	26.0	0.6	7.1
	要介護1	190	67.4	30.0	63.7	62.1	58.9	15.8	1.1	4.7
	要介護2	116	59.5	22.4	53.4	62.1	53.4	12.9	1.7	6.9
	要介護3～5	79	60.8	29.1	50.6	58.2	58.2	12.7	1.3	10.1
圏域別	北東部圏域	379	63.3	25.6	61.7	60.9	56.2	16.6	1.3	5.5
	南西部圏域	379	62.8	26.4	61.5	58.8	55.4	18.5	1.3	6.1

【その他回答（抜粋）】

- ・ 犯罪や火災を発生させない仕組み ・ 申し込み中 ・ わからない
- ・ 重くなれば施設に入所したい。
- ・ 本人がわからなくても。進行状況に応じて必要なサービスを選択してくれる専門家。

(10) 認知症カフェの利用意向

【要介護認定者】

問 23 認知症カフェがあれば、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

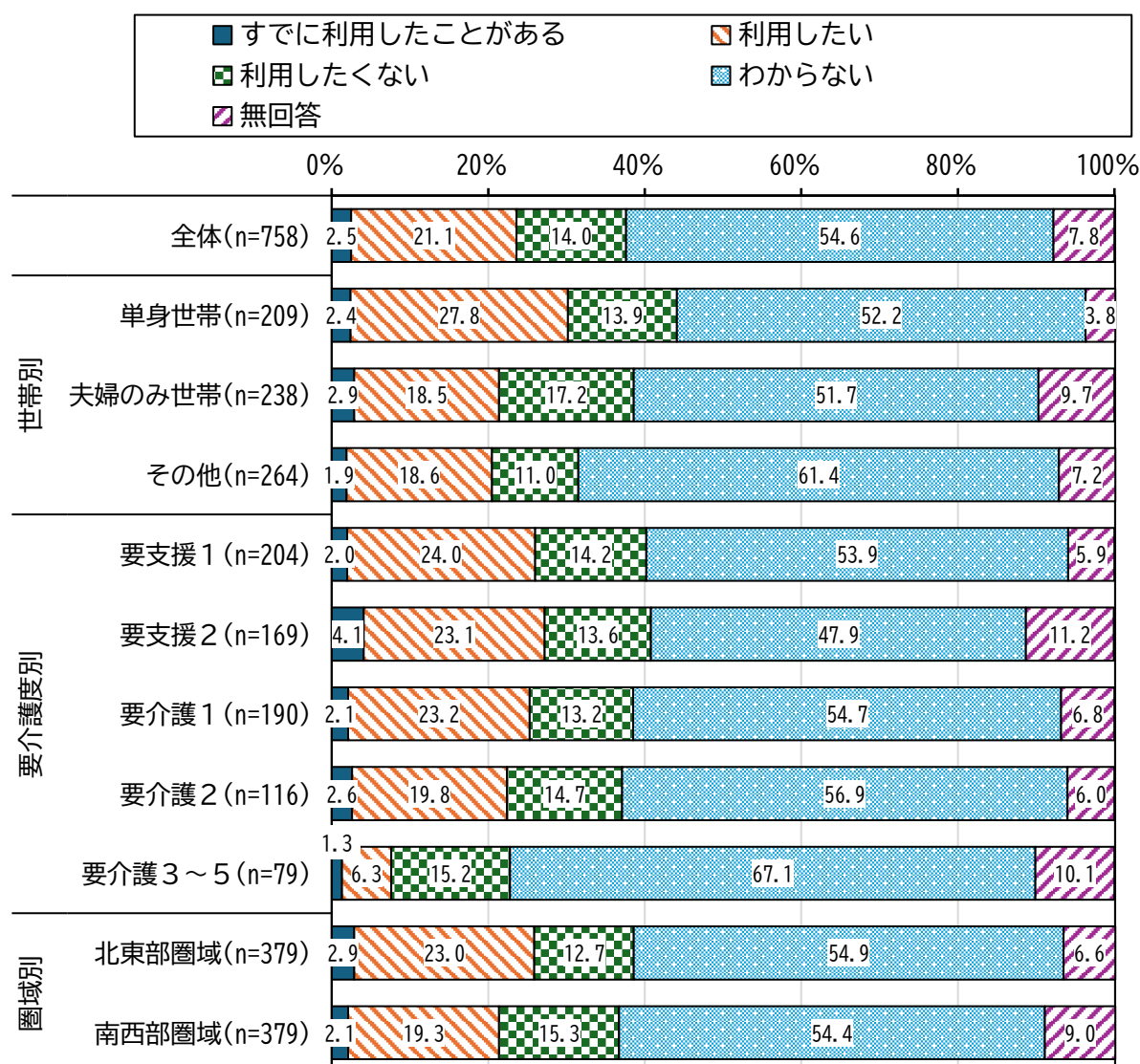
問 51 認知症カフェがあれば、利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

認知症カフェの利用意向について、「すでに利用したことがある」が2.5%、「利用したい」が21.1%、「利用したくない」が14.0%、「わからない」が54.6%となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「利用したい」が27.8%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要支援2は「すでに利用したことがある」が4.1%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「利用したい」が高くなっています。



(11) 認知症カフェの参加手段

【要介護認定者】

問 24 <問 23 で「1. 」または「2. 」と答えた方におたずねします>

認知症カフェにどのような手段で参加しますか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 52 <問 51 で「1. 」または「2. 」と答えた方におたずねします>

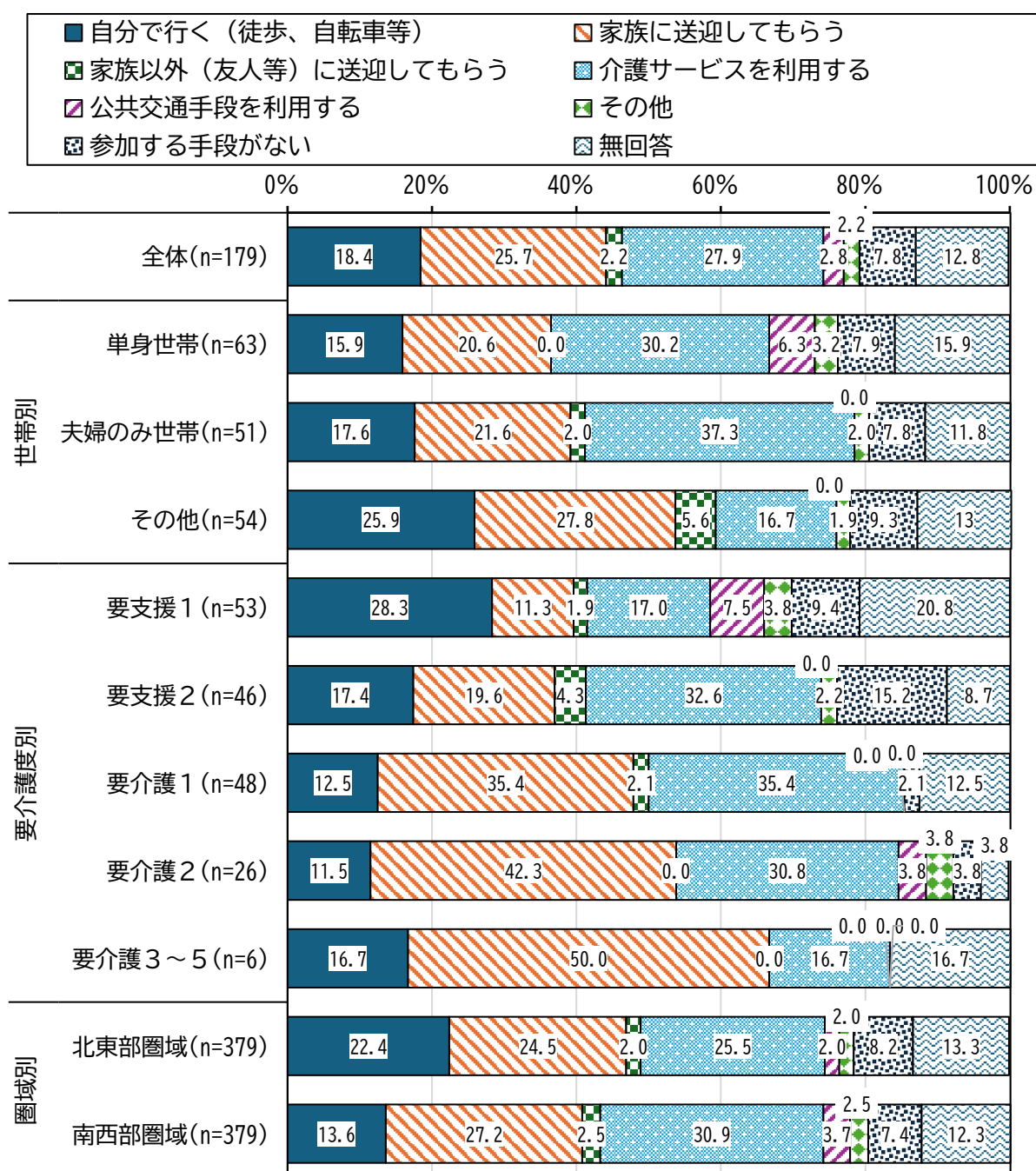
認知症カフェにどのような手段で参加しますか。（○は1つだけ）

認知症カフェの参加手段について、「介護サービスを利用する」が 27.9%と最も高く、次いで「家族に送迎してもらう」が 25.7%、「自分で行く（徒歩、自転車等）」が 18.4%などの順となっています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「介護サービスを利用する」が 37.3%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は「介護サービスを利用する」が 35.4%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「自分で行く（徒歩、自転車等）」が高くなっています。



【その他の回答（抜粋）】
 ・ タクシー利用

健康についておたずねします。

(1) 幸福度

【要介護認定者】

問 25 あなたの現在の幸福度はどの程度ですか。「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点としてご記入ください。(○は 1 つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 59 あなたの現在の幸福度はどの程度ですか。「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点としてご記入ください。(○は 1 つだけ)

要介護認定を受けている人の幸福度は、「5 点」が 24.0%と最も高く、次いで「7 点」が 15.2%、「8 点」(13.9%)などの順となっており、＜8 点以上＞が 30.8%となっています。

幸福度の平均点は 6.4 点です。

＜8 点以上＞を世帯別にみると、その他世帯は 35.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護 1 は 36.4%と他に比べて高くなっています。

		回答 件数 (n)	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点
全体		758	0.3	1.2	1.5	5.1	6.1	24.0
世帯別	単身世帯	209	0.5	1.9	1.4	7.2	8.6	25.4
	夫婦のみ世帯	238	0.4	1.3	2.1	6.7	6.3	21.8
	その他	264	0.0	0.8	0.8	2.7	4.5	25.0
要介護 度別	要支援 1	204	0.0	1.0	2.5	5.9	5.9	26.5
	要支援 2	169	0.6	1.2	0.6	5.3	5.3	29.0
	要介護 1	190	0.0	1.6	0.5	5.8	6.8	17.4
	要介護 2	116	0.9	0.0	0.9	4.3	5.2	21.6
	要介護 3～5	79	0.0	2.5	3.8	2.5	7.6	26.6
圏域別	北東部圏域	379	0.3	0.8	1.6	4.0	7.7	24.8
	南西部圏域	379	0.3	1.6	1.3	6.3	4.5	23.2
		回答 件数 (n)	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点	無 回 答
全体		758	9.8	15.2	13.9	6.3	10.6	6.2
世帯別	単身世帯	209	11.0	12.9	12.9	3.3	10.5	4.3
	夫婦のみ世帯	238	10.1	14.7	14.3	7.1	8.0	7.1
	その他	264	9.5	17.4	14.8	8.3	12.1	4.2
要介護 度別	要支援 1	204	12.3	14.2	11.8	6.9	7.8	5.4
	要支援 2	169	8.9	15.4	13.6	3.6	9.5	7.1
	要介護 1	190	10.0	15.8	17.4	5.8	13.2	5.8
	要介護 2	116	12.1	15.5	13.8	8.6	12.1	5.2
	要介護 3～5	79	1.3	15.2	11.4	8.9	11.4	8.9
圏域別	北東部圏域	379	9.0	15.6	11.9	6.1	12.1	6.3
	南西部圏域	379	10.6	14.8	15.8	6.6	9.0	6.1

(2) 現在抱えている傷病（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 26 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（○はいくつでも）

現在抱えている傷病は「認知症」が 28.6%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 18.7%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 17.1%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「呼吸器疾患」、「膠原病（関節リウマチ含む）」、「難病（パーキンソン病を除く）」、「糖尿病」が増加しています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「糖尿病」が 26.3%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護 2 は「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 25.9%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「認知症」が高くなっています。

		回答件数 (n)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	(骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症
全体		385	9.4	13.0	4.9	9.4	2.3	17.1	5.5	7.0	28.6
前回調査		312	15.1	15.4	5.8	7.7	3.2	20.8	2.9	11.2	35.3
世帯別	単身世帯	82	7.3	13.4	3.7	13.4	1.2	11.0	6.1	9.8	34.1
	夫婦のみ世帯	114	14.0	18.4	4.4	10.5	4.4	20.2	7.9	2.6	17.5
	その他	149	7.4	10.1	6.0	8.7	2.0	18.8	4.0	10.1	34.9
要介護度別	要介護 1	190	6.3	12.6	4.7	6.8	2.6	14.2	3.7	8.9	32.1
	要介護 2	116	13.8	13.8	6.0	11.2	2.6	21.6	7.8	6.0	20.7
	要介護 3～5	79	10.1	12.7	3.8	12.7	1.3	17.7	6.3	3.8	31.6
圏域別	北東部圏域	196	9.7	8.2	4.6	9.7	2.6	15.3	5.1	5.6	32.7
	南西部圏域	189	9.0	18.0	5.3	9.0	2.1	19.0	5.8	8.5	24.3
		回答件数 (n)	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	(視覚・聴覚 障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答	
全体		385	3.6	4.2	16.4	18.7	15.8	5.2	2.9	9.6	
前回調査		312	4.5	2.6	16.0	22.1	23.1	4.8	2.6	4.2	
世帯別	単身世帯	82	2.4	2.4	8.5	11.0	28.0	8.5	2.4	2.4	
	夫婦のみ世帯	114	3.5	7.0	26.3	17.5	11.4	5.3	3.5	8.8	
	その他	149	5.4	2.7	12.1	24.8	12.8	4.0	2.7	8.7	
要介護度別	要介護 1	190	2.1	2.6	14.7	15.8	15.3	6.3	4.2	11.1	
	要介護 2	116	5.2	7.8	19.8	25.9	17.2	2.6	1.7	6.0	
	要介護 3～5	79	5.1	2.5	15.2	15.2	15.2	6.3	1.3	11.4	
圏域別	北東部圏域	196	2.0	3.1	14.8	16.8	16.8	5.6	4.1	9.7	
	南西部圏域	189	5.3	5.3	18.0	20.6	14.8	4.8	1.6	9.5	

【その他の回答（抜粋）】

- ・脳外科手術の後遺症（髄膜腫） ・症候性てんかん ・最近歯ぐきが弱くなった
- ・難聴からの耳鳴り ・膝痛 ・水頭症 ・動脈瘤 ・歩行困難 ・高血圧 ・失語症
- ・頭痛 ・左股関節の骨折復の痛みと歩行不可 ・腰痛 ・うつ病 ・糖尿病
- ・圧迫骨折 30 分～40 分しか台所作業などが出来ない。何も施術が無いので病院には行ってます
- ・失明 ・そううつ病 ・下半身上半身全身不随 ・嚥下障害 ・坐骨神経痛 ・脳梗塞
- ・人工肛門（ストーマ） ・ジストニア ・溶血性貧血症 ・膀胱内出血 ・PBC ・CIDP
- ・封入体筋炎 ・細胞色素変性症 ・下咽頭ガン ・高次機能障害 ・肝硬変
- ・右腕と右手が不自由、両足も不自由になってきた。 ・統合失調症・精神疾患
- ・少々血圧が高いので薬を服用中です。 ・足の浮腫。靴が履けない時がある。
- ・便通がうまく出来る様に食生活に気を付けている ・両下肢疼痛／褥瘡／膀胱炎
- ・歩行困難、つえを持っている ・慢性甲状腺炎
- ・泌尿器疾患、甲状腺機能低下症、睡眠時無呼吸症候群

(3) 訪問診療

【要介護認定者】

問 27 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

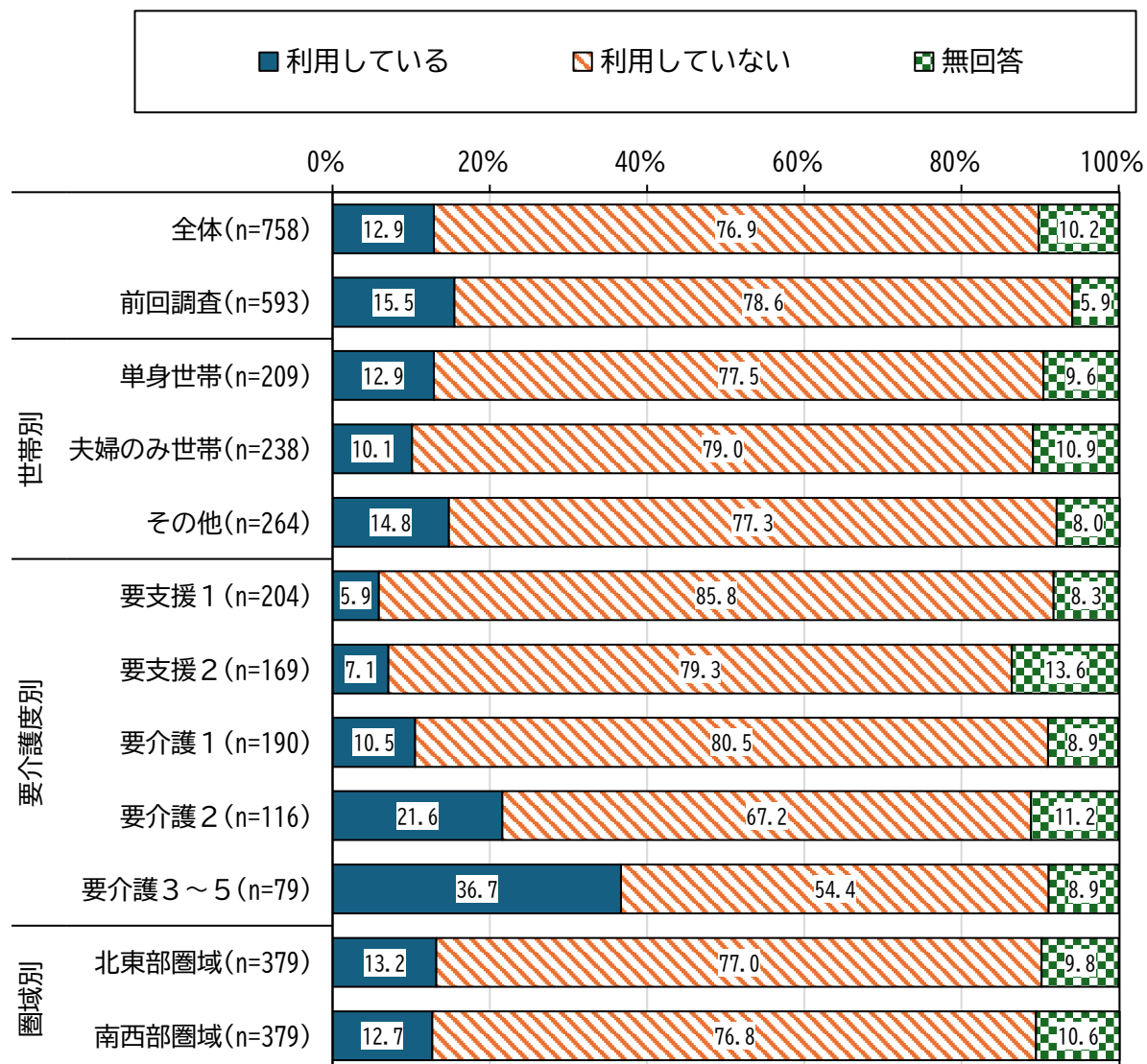
問 65 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つだけ)

現在の訪問診療の利用状況は、「利用している」が12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」が2.6ポイント減少しています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「利用している」が10.1%と他に比べて低くなっています。

要介護認定別にみると、要介護3～5は「利用している」が36.7%と他に比べて高くなっています。



(4) 家族や親族からの介護の頻度

【要介護認定者】

問 28 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

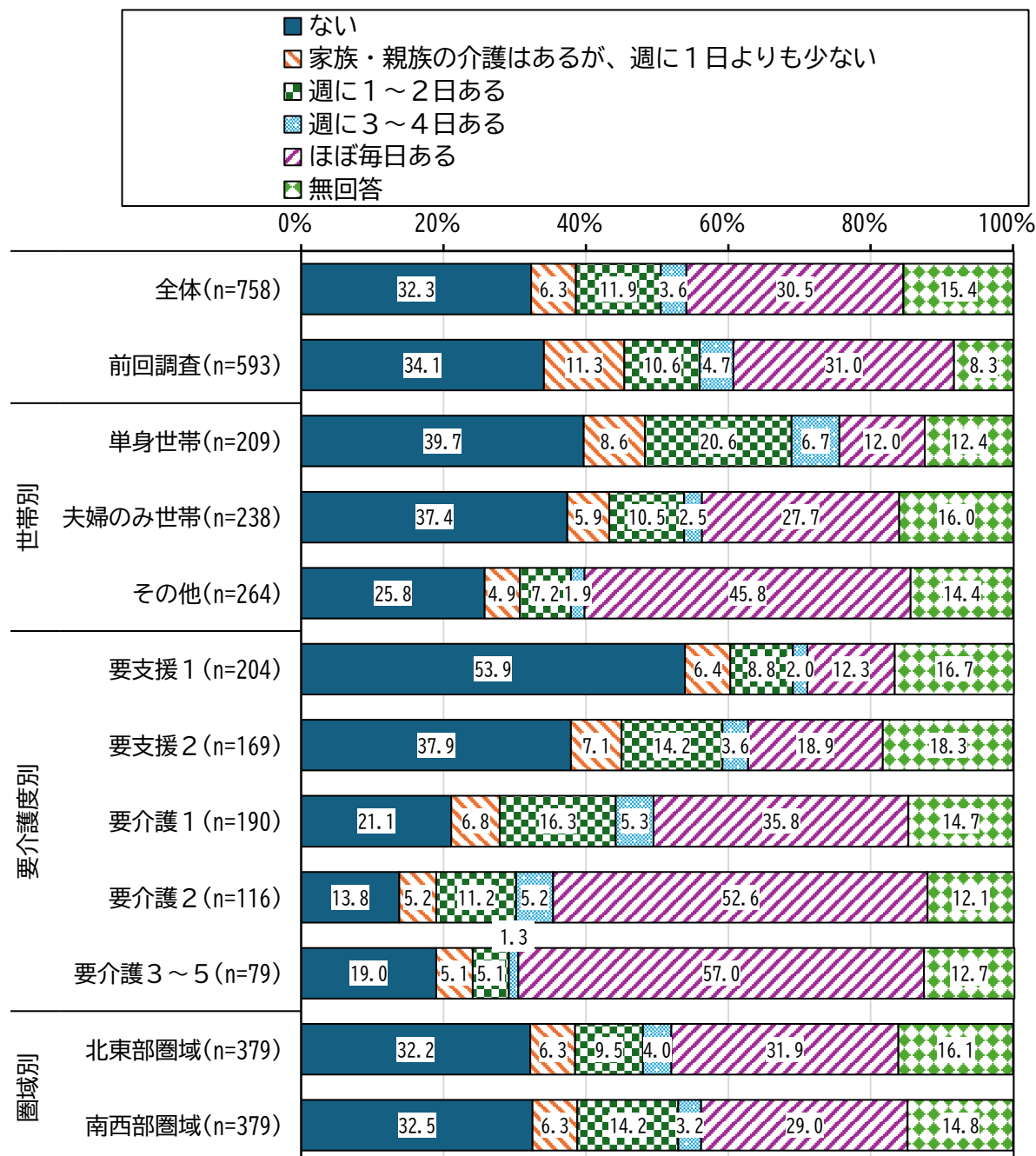
問 66 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つだけ）

家族や親族から介護をしてもらう日数をたずねたところ、「ない」が 32.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」が 30.5%、「週に1～2日ある」が 11.9%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」、「ほぼ毎日ある」を合計した＜ある＞が 5.3 ポイント減少しています。

世帯別にみると、その他の世帯は「ほぼ毎日ある」が 45.7%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「ほぼ毎日ある」は上昇し、要介護3～5は 57.0%となっています。



ここからは、主な介護者の方（あて名の方を介護している方）についておたずねします。

※要介護認定者向け調査の間28、要支援認定者・総合事業対象者向け調査の間66で、「2.」～「5.」と回答した方のみ

（1）主な介護者

【要介護認定者】

問 29 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 67 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つだけ）

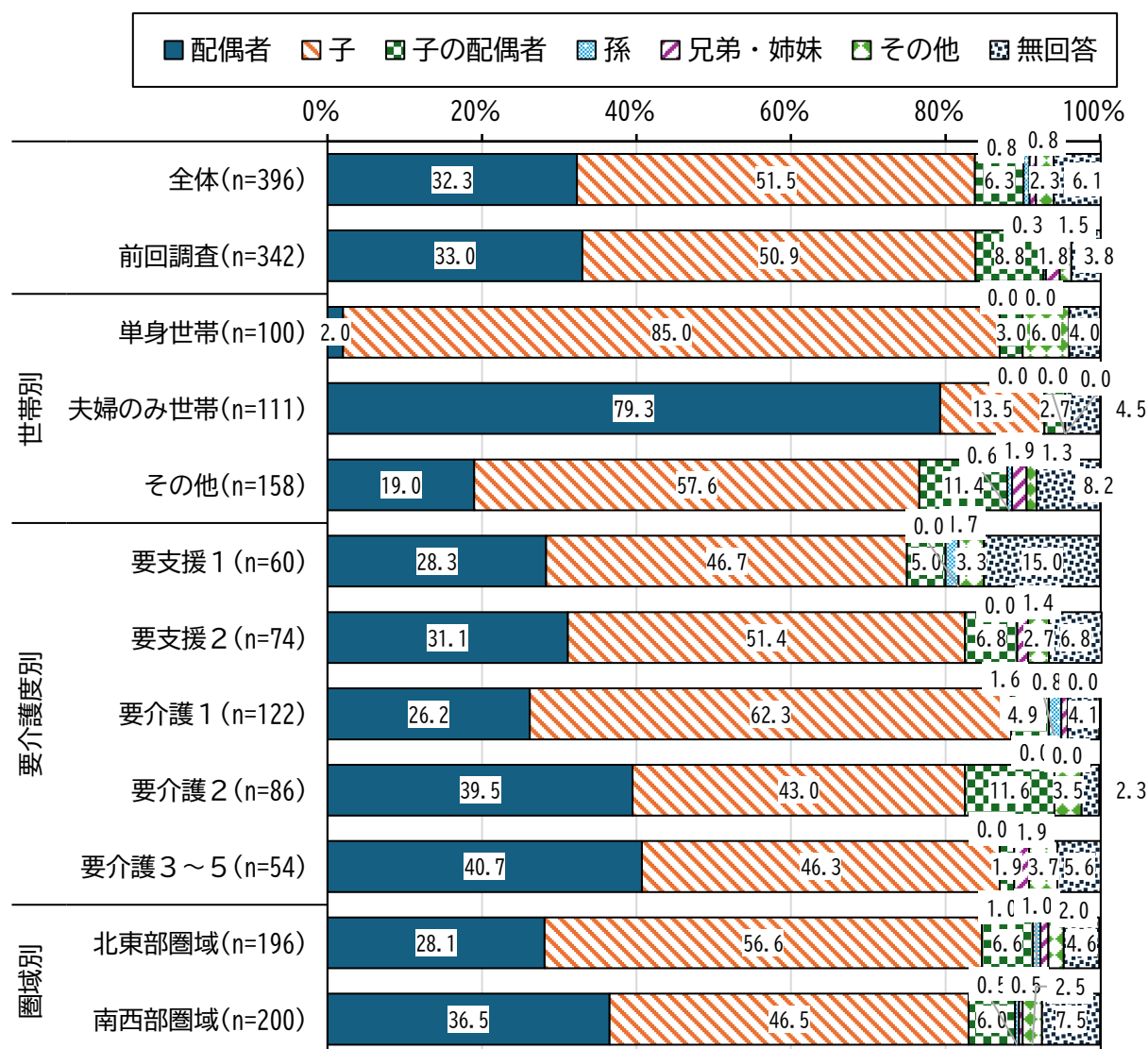
主な介護者は「子」が51.5%と最も高く、次いで「配偶者」が32.3%、「子の配偶者」が6.3%などの順となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「配偶者(夫・妻)」が、単身世帯及びその他の世帯は「子」が最も高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1以上は重度化にしたがい「配偶者(夫・妻)」が上昇します。また、要介護2は「子の配偶者」が11.6%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「配偶者(夫・妻)」が高くなっています。



【その他の回答（抜粋）】

・介護施設の職員 ・在宅介護サービス

(2) 主な介護者の性別

【要介護認定者】

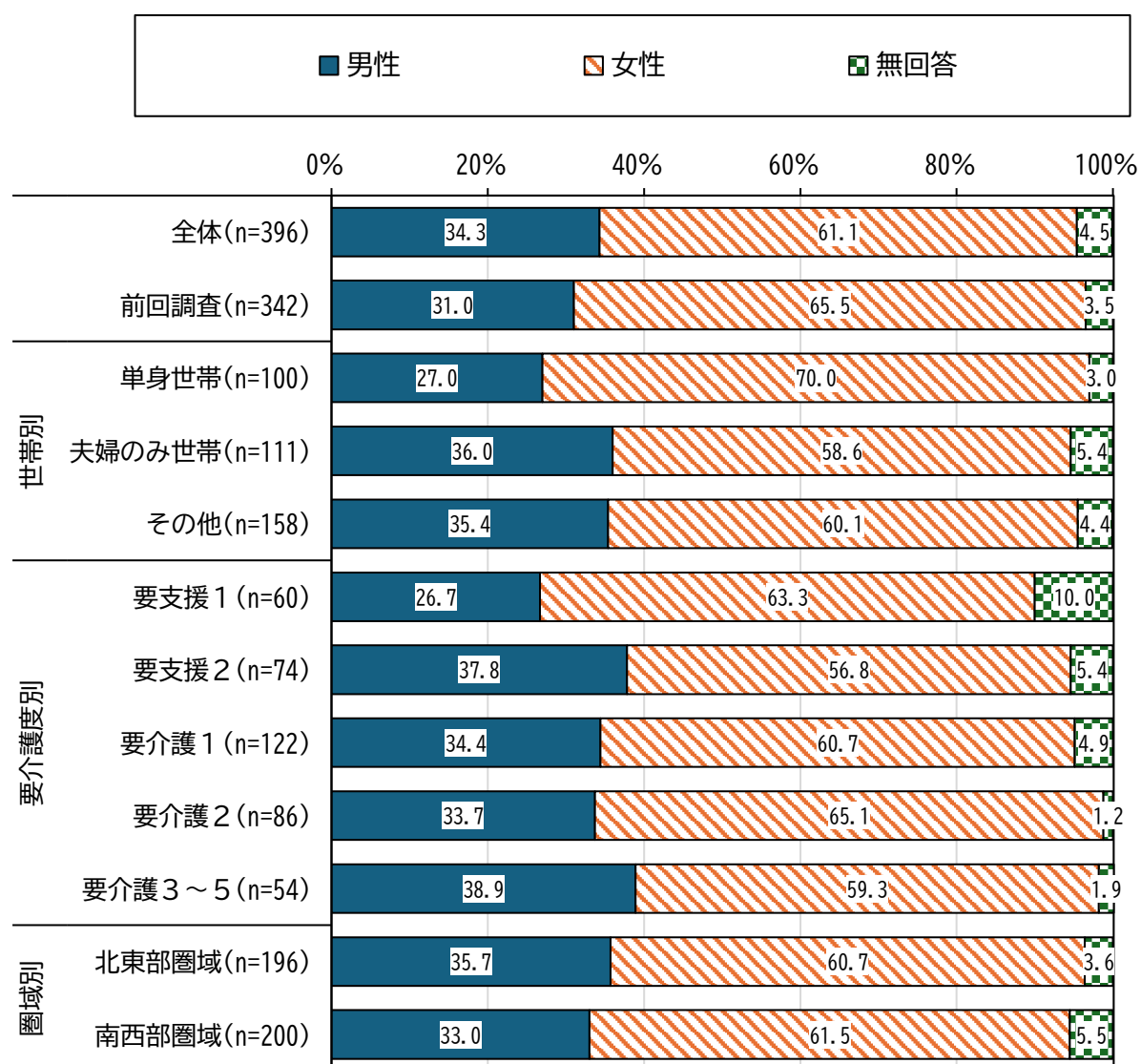
問 30 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 68 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つだけ）

主な介護者の性別は、「男性」が 34.3%、「女性」が 61.1%となっています。

前回調査と比較すると、「男性」が 3.3 ポイント増加しています。



(3) 主な介護者の年齢

【要介護認定者】

問 31 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 69 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つだけ）

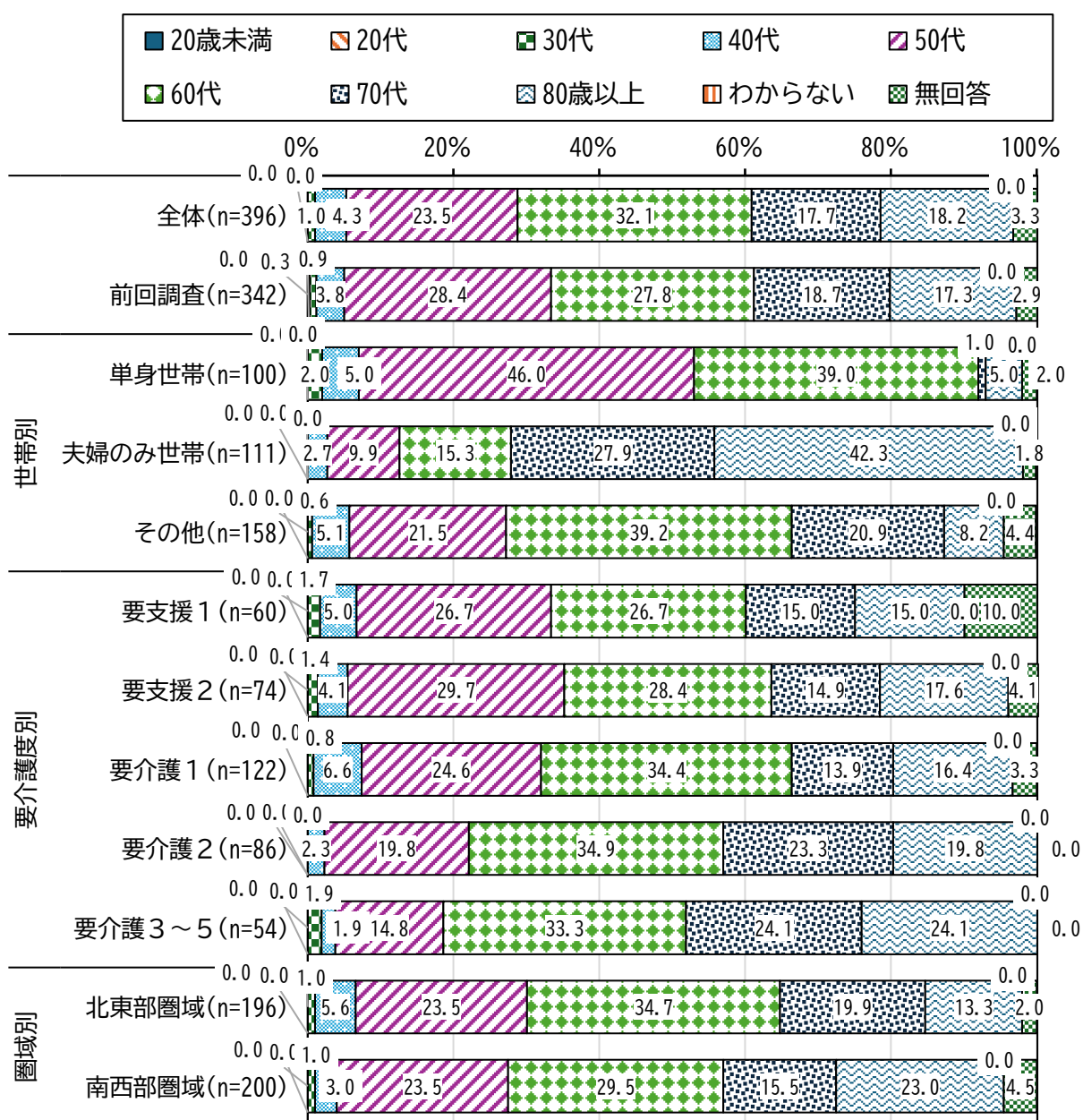
主な介護者の年齢は、「60代」が32.1%と最も高く、次いで「50代」が23.5%などの順となっており、＜70歳以上＞が35.9%です。また、「20歳未満」及び「20代」と回答した人はいませんでした。

前回調査と比較すると、「60代」が4.3ポイント増加しています。

世帯別にみると、単身世帯は「50代」が、夫婦のみ世帯は「80歳以上」が、その他の世帯は「60代」がそれぞれ最も高くなっています。また、夫婦のみ世帯は＜70歳以上＞が70.2%となっています。

要介護度別にみると、要介護3～5は「70代」及び「80歳以上」が24.1%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べ「80歳以上」が高くなっています。



(4) 主な介護者が行っている介護等

【要介護認定者】

問 32 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 70 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも)

主な介護者が行っている介護をたずねたところ、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 70.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 65.9%、「食事の準備（調理等）」が 65.2.6%「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 60.1%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」が増加しています。

世帯別にみると、夫婦のみ世帯は「衣服の着脱」が 30.6%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護3～5の回答は全体的に高くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べ「認知症状への対応」が高くなっています。

		回答件数 (n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	(洗顔・身だしなみ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		396	9.8	8.6	12.6	16.2	12.1	19.7	14.9	65.9	33.6
前回調査		342	13.2	11.4	15.2	21.1	17.5	22.5	15.5	71.9	37.7
世帯別	単身世帯	100	3.0	4.0	7.0	12.0	5.0	7.0	7.0	67.0	18.0
	夫婦のみ世帯	111	9.9	8.1	15.3	18.9	16.2	30.6	14.4	64.9	36.9
	その他	158	12.0	11.4	13.9	15.2	13.3	20.3	20.9	67.7	38.6
要介護度別	要支援1	60	0.0	1.7	3.3	0.0	0.0	8.3	1.7	53.3	10.0
	要支援2	74	0.0	1.4	4.1	12.2	2.7	5.4	6.8	59.5	12.2
	要介護1	122	3.3	3.3	3.3	8.2	4.9	9.8	8.2	73.8	38.5
	要介護2	85	10.5	4.7	20.9	26.7	16.3	30.2	18.6	69.8	44.2
	要介護3～5	54	48.1	44.4	42.6	40.7	48.1	57.4	50.0	64.8	61.1
圏域別	北東部圏域	196	10.2	7.7	12.8	15.8	13.8	19.4	14.3	64.8	36.2
	南西部圏域	200	9.5	9.5	12.5	16.5	10.5	20.0	15.5	67.0	31.0
		回答件数 (n)	認知症状への対応	(経管栄養、医療面での対応 ストーマ等)	食事の準備(調理等)	(掃除、洗濯、洗身、買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	その他	わからない	無回答	
全体		396	20.5	9.1	62.6	70.2	60.1	4.8	0.3	4.5	
前回調査		342	24.0	7.6	62.3	71.6	62.3	6.1	0.3	3.5	
世帯別	単身世帯	100	23.0	4.0	41.0	61.0	59.0	8.0	0.0	4.0	
	夫婦のみ世帯	111	11.7	11.7	71.2	76.6	55.0	4.5	0.9	4.5	
	その他	158	23.4	9.5	72.2	73.4	64.6	3.2	0.0	4.4	
要介護度別	要支援1	60	1.7	3.3	38.3	55.0	31.7	8.3	0.0	11.7	
	要支援2	74	5.4	5.4	48.6	66.2	44.6	2.7	0.0	10.8	
	要介護1	122	28.7	9.0	70.5	71.3	69.7	4.1	0.0	2.5	
	要介護2	85	22.1	10.5	69.8	76.7	66.3	5.8	0.0	0.0	
	要介護3～5	54	40.7	18.5	79.6	79.6	81.5	3.7	1.9	0.0	
圏域別	北東部圏域	196	24.0	10.2	61.7	70.9	62.2	5.6	0.5	4.6	
	南西部圏域	200	17.0	8.0	63.5	69.5	58.0	4.0	0.0	4.5	

【その他の回答(抜粋)】

- ・通院 ・老人ホーム ・ヘルパー週4回 ・鍼灸師なので知療や食事に?
- ・お菓子、食べ物の差し入れ ・通院

(5) 介護を理由とした離職（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

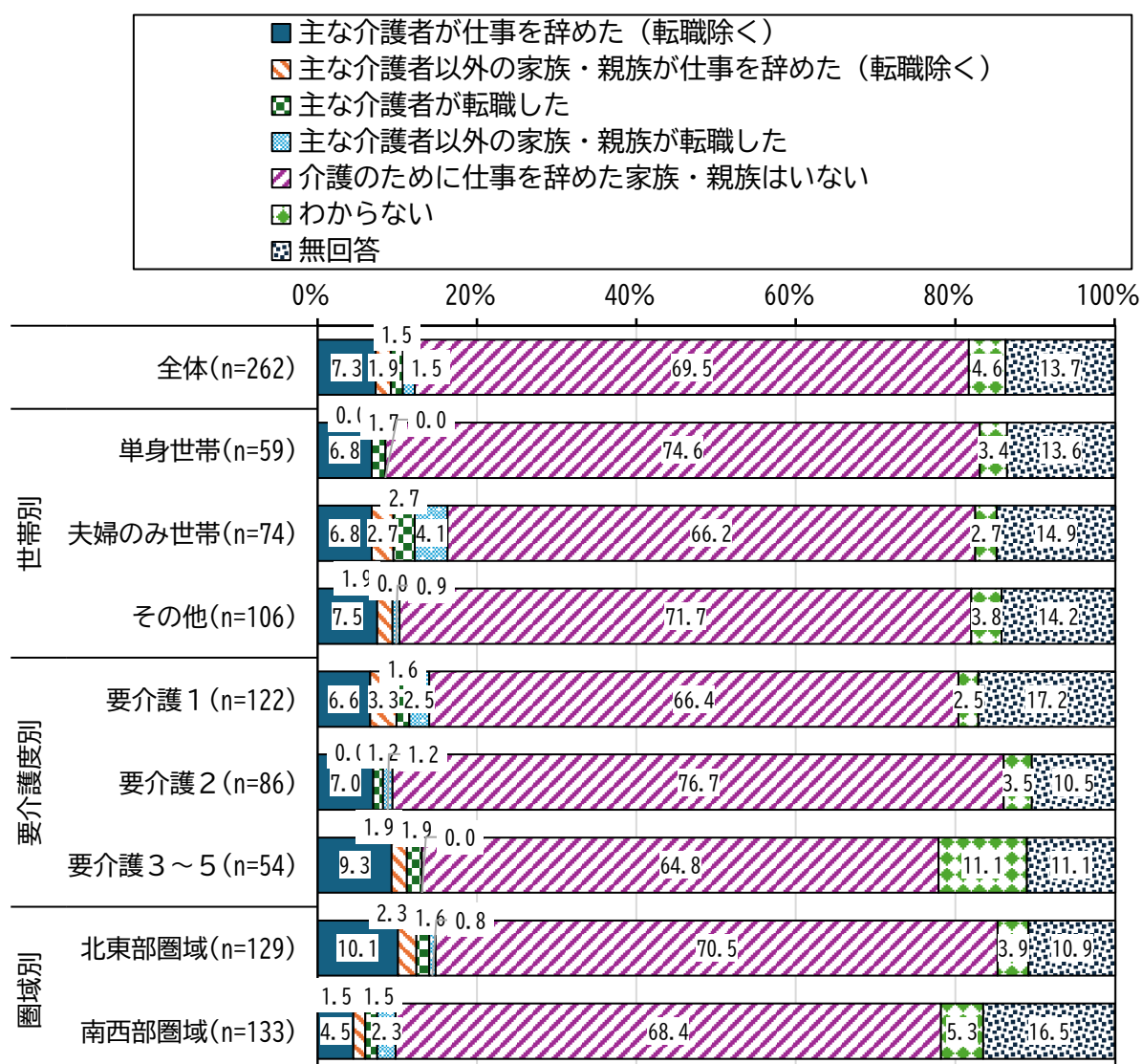
問 33 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○は 1 つだけ）

家族や親族の中で、介護を主な理由として、過去 1 年間に仕事を辞めた人はいるかたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 69.5%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 7.3%などの順となっています。

「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」を世帯別にみると、その他の世帯は 7.5%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい上昇傾向にあり、要介護 3～5 は 9.3%となっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて 5.6 ポイント高くなっています。



(6) 主な介護者の勤務形態

【要介護認定者】

問 34 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つだけ）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 71 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つだけ）

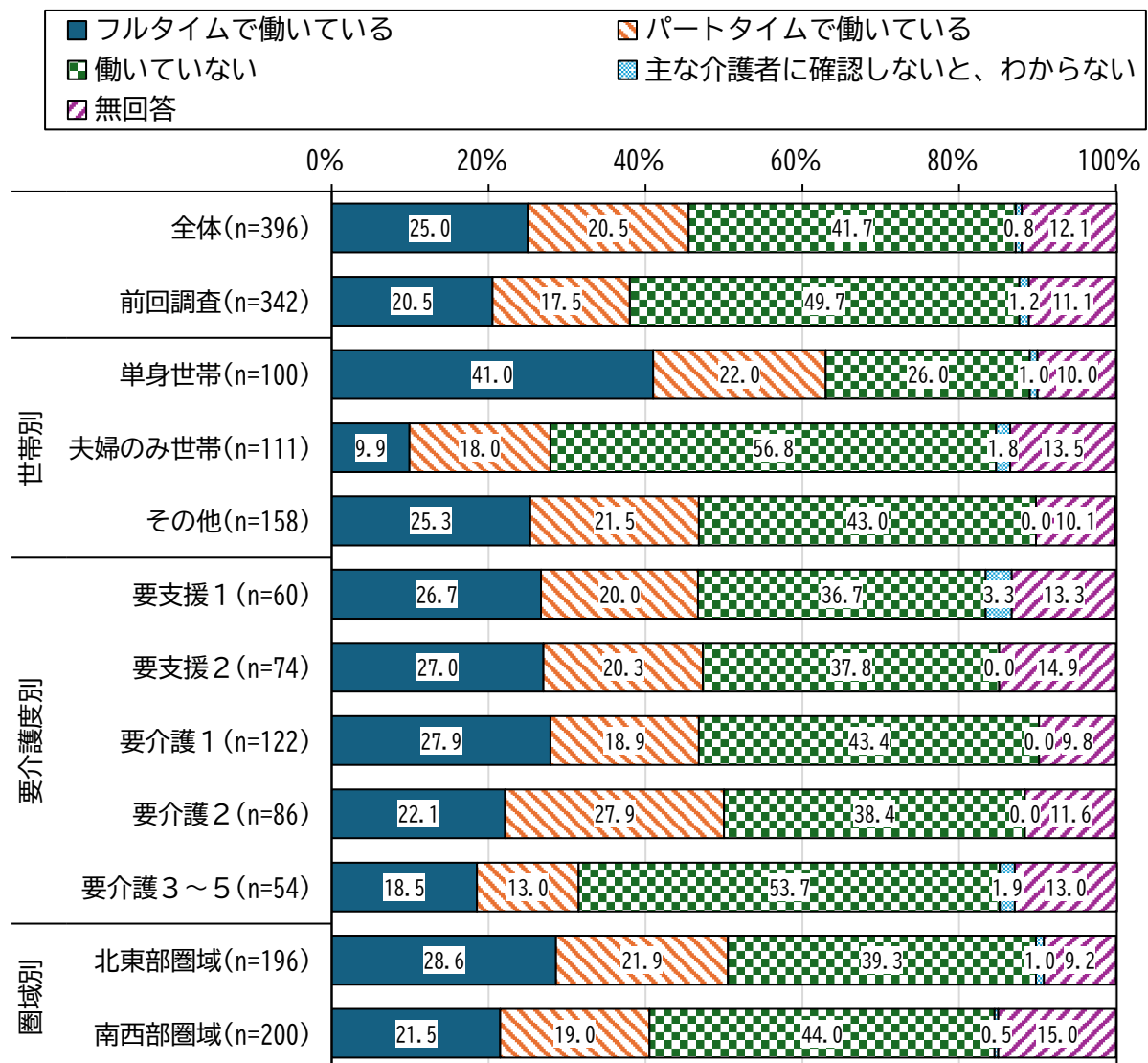
主な介護者の勤務状況をたずねたところ、「フルタイムで働いている」が 25.0%、「パートタイムで働いている」が 20.5%となっており、これらを合計した 45.5%が仕事と介護を両立しています。

前回調査と比較すると、仕事と介護を両立している人が 7.5 ポイント増加しています

世帯別にみると、単身世帯は「フルタイムで働いている」が他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護 3～5 は仕事と介護を両立している人が 31.5%と他に比べて低くなっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「フルタイムで働いている」が 7.1 ポイント高くなっています。



(7) 働き方の調整（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 35 <問 34 で「1.」、「2.」と答えた方におたずねします>

問 35-1 ～問 35-3 までお答えください。

問 35-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。（〇はいくつでも）

現在働いている主な介護者に、介護をするにあたって、働き方の調整をしているかたずねたところ、「特に行っていない」が 37.6%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 32.5%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 34.2%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は「特に行っていない」が 44.2%と他に比べて高くなっています。

介護者の就労状況別にみると、フルタイムはパートタイムに比べて「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が高くなっています。

		回答件数（n）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		117	37.6	32.5	25.6	6.8	11.1	1.7	4.3
世帯別	単身世帯	38	23.7	31.6	34.2	5.3	15.8	0.0	5.3
	夫婦のみ世帯	24	41.7	45.8	25.0	12.5	8.3	0.0	0.0
	その他	45	44.4	24.4	20.0	6.7	11.1	2.2	6.7
要介護度別	要介護1	57	35.1	36.8	28.1	5.3	12.3	3.5	1.8
	要介護2	43	44.2	25.6	20.9	9.3	9.3	0.0	7.0
	要介護3～5	17	29.4	35.3	29.4	5.9	11.8	0.0	5.9
就労状況別	フルタイム	63	36.5	36.5	38.1	9.5	6.3	0.0	0.0
	パートタイム	54	38.9	27.8	11.1	3.7	16.7	3.7	9.3

(8) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援（要介護認定者のみ）

【要介護認定者】

問 35 <問 34 で「1.」、「2.」と答えた方におたずねします>

問 35-1 ～問 35-3 までお答えください。

問 35-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

現在働いている主な介護者に、仕事と介護の両立に効果のある勤め先からの支援をたずねたところ、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 35.9%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 31.6%、「制度を利用しやすい職場づくり」が 25.6%などの順となっています。

世帯別にみると、単身世帯は「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が 18.4%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 39.5%と他に比べて高くなっています。

主な介護者の就労状況別にみると、フルタイムはパートタイムに比べて「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が高くなっています。

		回答件数 (n)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全体		117	11.1	31.6	25.6	35.9	16.2	6.8	8.5	18.8	0.9	12.8	3.4	5.1
世帯別	単身世帯	38	5.3	34.2	28.9	36.8	18.4	10.5	5.3	18.4	2.6	15.8	2.6	5.3
	夫婦のみ世帯	24	4.2	25.0	29.2	37.5	16.7	4.2	8.3	20.8	0.0	8.3	0.0	8.3
	その他	45	17.8	31.1	17.8	35.6	13.3	4.4	11.1	17.8	0.0	13.3	6.7	4.4
要介護度別	要介護1	57	12.3	36.8	26.3	33.3	17.5	8.8	8.8	22.8	1.8	7.0	5.3	5.3
	要介護2	43	7.0	32.6	27.9	39.5	14.0	7.0	9.3	11.6	0.0	14.0	2.3	7.0
	要介護3～5	17	17.6	11.8	17.6	35.3	17.6	0.0	5.9	23.5	0.0	29.4	0.0	0.0
就労状況別	フルタイム	63	11.1	36.5	27.0	38.1	22.2	1.6	6.3	19.0	1.6	9.5	4.8	1.6
	パートタイム	54	11.1	25.9	24.1	33.3	9.3	13.0	11.1	18.5	0.0	16.7	1.9	9.3

【その他の回答（抜粋）】

（回答無し）

(9) 仕事と介護の両立継続

【要介護認定者】

問 35 <問 34 で「1.」、「2.」と答えた方におたずねします>

問 35-1 ～問 35-3 までお答えください。

問 35-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つだけ)

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 72 <問 71 で「1.」、「2.」と答えた方におたずねします>

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つだけ)

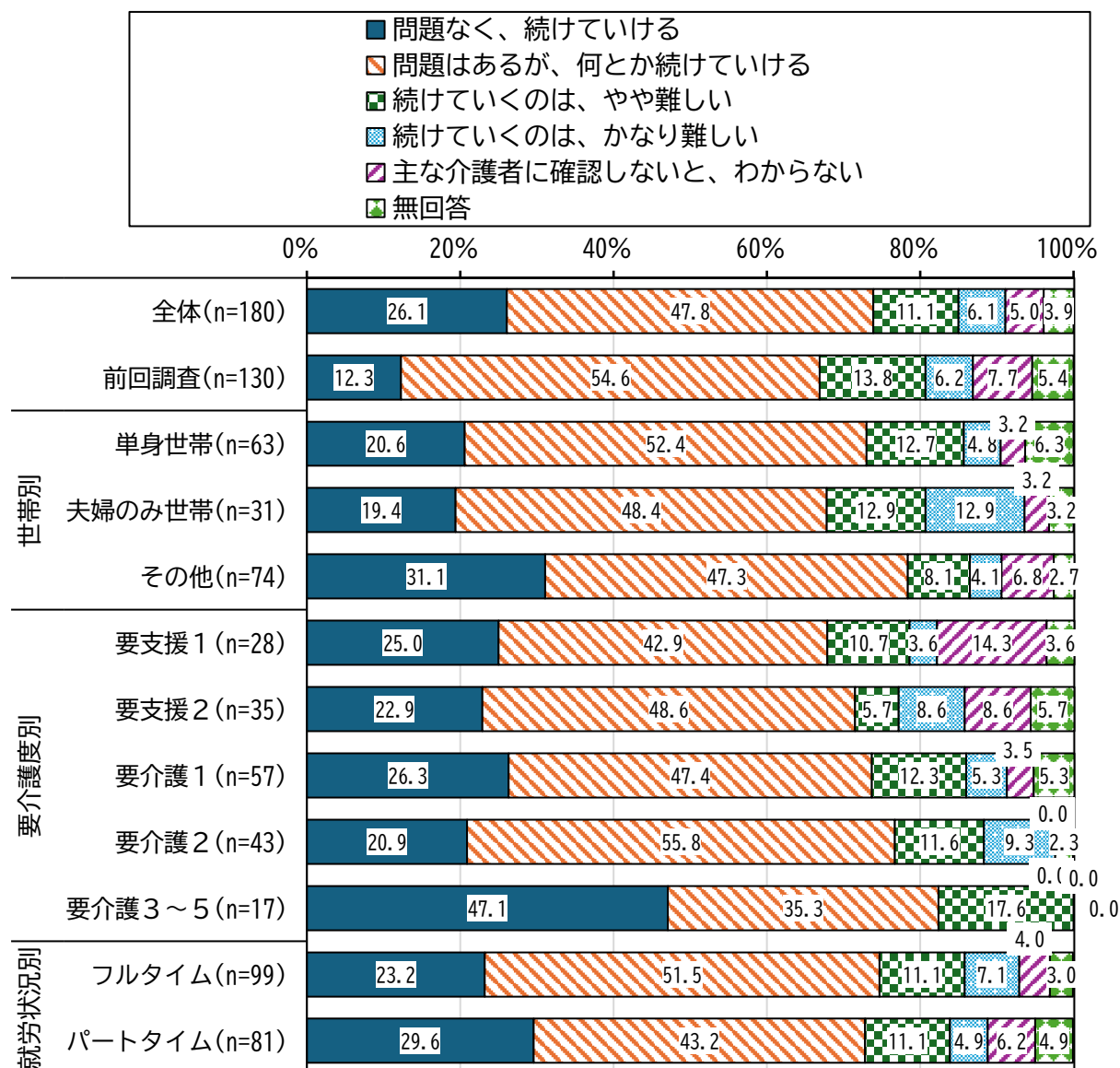
現在働いている主な介護者に、今後も働きながら介護を続けていけそうかたずねたところ、「続けていくのは、やや難しい」(11.1%)と「続けていくのは、かなり難しい」(6.1%)を合計した<両立は困難>は17.2%となっています。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」が13.8ポイント増加しています。

<両立は困難>を世帯別にみると、夫婦のみ世帯は他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2は20.9%と他に比べて高くなっています。

就労状況別にみると、フルタイムはパートタイムに高くなっています。



(10) 主な介護者が不安に感じる介護等

【要介護認定者】

問 36 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 73 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

主な介護者が不安に感じる介護は「外出の付き添い、送迎等」が 27.3%と最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 24.2%、「認知症状への対応」が 23.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 12.2 ポイントと大きく増加しています。

世帯別にみると、単身世帯は「認知症状への対応」が 28.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1は「認知症状への対応」が 33.6%と他に比べて高くなっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「日中の排泄」及び「夜間の排泄」が高くなっています。

		回答件数 (n)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	(洗顔・歯磨き等) 身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全体		396	16.4	16.4	6.3	21.7	3.8	4.8	9.6	27.3	11.6
前回調査		342	11.7	17.3	3.5	17.3	1.8	2.0	5.8	21.9	3.5
世帯別	単身世帯	100	17.0	19.0	7.0	18.0	2.0	2.0	8.0	28.0	5.0
	夫婦のみ世帯	111	10.8	13.5	6.3	24.3	7.2	9.9	6.3	30.6	17.1
	その他	158	20.3	16.5	5.7	20.9	2.5	3.2	12.7	26.6	12.0
要介護度別	要支援1	60	8.3	8.3	1.7	10.0	3.3	5.0	8.3	33.3	6.7
	要支援2	74	8.1	12.2	1.4	23.0	2.7	2.7	4.1	28.4	9.5
	要介護1	122	23.0	21.3	8.2	23.0	3.3	4.1	8.2	27.9	14.8
	要介護2	85	17.4	18.6	7.0	24.4	3.5	5.8	14.0	23.3	11.6
	要介護3～5	54	20.4	16.7	13.0	25.9	7.4	7.4	14.8	24.1	13.0
圏域別	北東部圏域	196	13.8	11.7	5.6	20.9	3.6	3.6	10.7	26.0	13.3
	南西部圏域	200	19.0	21.0	7.0	22.5	4.0	6.0	8.5	28.5	10.0
		回答件数 (n)	認知症状への対応	(経管栄養、医療面での対応 ストーマ等)	食事の準備(調理等)	(掃除、洗濯、買い物等) その他の家事	金銭管理や生活面に必要な 諸手続き	その他	不安に感じていることは、 特にな	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
全体		396	23.0	5.3	19.4	24.2	14.4	5.1	10.6	2.0	11.1
前回調査		342	19.9	3.8	13.2	12.0	9.1	3.2	5.6	1.8	30.7
世帯別	単身世帯	100	28.0	3.0	11.0	23.0	14.0	6.0	9.0	1.0	9.0
	夫婦のみ世帯	111	21.6	4.5	24.3	31.5	14.4	4.5	8.1	0.0	13.5
	その他	158	20.9	5.1	21.5	21.5	14.6	3.8	14.6	3.2	10.1
要介護度別	要支援1	60	11.7	3.3	20.0	28.3	13.3	5.0	10.0	5.0	18.3
	要支援2	74	8.1	5.4	18.9	28.4	14.9	2.7	13.5	1.4	17.6
	要介護1	122	33.6	4.9	18.9	25.4	19.7	3.3	6.6	2.5	8.2
	要介護2	85	27.9	5.8	17.4	16.3	10.5	8.1	9.3	1.2	9.3
	要介護3～5	54	24.1	7.4	24.1	24.1	9.3	7.4	18.5	0.0	3.7
圏域別	北東部圏域	196	25.0	6.6	19.4	21.4	16.3	6.1	12.2	1.5	11.2
	南西部圏域	200	21.0	4.0	19.5	27.0	12.5	4.0	9.0	2.5	11.0

【その他の回答(抜粋)】

- ・介護者の急変 ・親という圧と、わがままをいつまで耐えられるかが心配 ・転倒
- ・介護して今年12月で20年、自分の身体の事が心配です。疲れてきました。いつまで介護出来るか心配です。
- ・現在在宅時はほぼ寝たきりなので今以上に動かなくなった時介護を続けられるか？

(11) 主な介護者が困った時の相談先

【要介護認定者】

問 37 主な介護者の方が、介護のことで困ったとき、どこ（誰）に相談しますか。

（○はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 74 主な介護者の方が、介護のことで困ったとき、どこ（誰）に相談しますか。

（○はいくつでも）

介護のことで困った時の相談先をたずねたところ、「ケアマネジャー」が 67.7%と最も高く、次いで「家族、親族」が 51.5%、「病院や診療所の医師」が 28.3%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「ケアマネジャー」が 4.8 ポイント増加しています。

世帯別にみると、単身世帯は「地域包括支援センター」が 29.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「ケアマネジャー」が上昇しており、要介護 3～5 は 85.2%となっています。

日常生活圏域別にみると、北東部圏域は南西部圏域に比べて「家族、親族」が高くなっています。

		回答件数 (n)	家族、 親族	友人	ボランティア、 近隣の人	民生委員	ケアマネジャー	介護サービス事業所の職員 (ケアマネジャーを除く)	国民健康保険団体連合会	市役所（介護保険担当課）
全体		396	51.5	11.4	5.3	3.8	67.7	16.7	0.3	12.1
前回調査		342	56.4	12.0	2.0	5.3	62.9	16.4	0.9	12.9
世帯別	単身世帯	100	48.0	13.0	10.0	3.0	65.0	17.0	0.0	15.0
	夫婦のみ世帯	111	58.6	13.5	6.3	5.4	67.6	17.1	0.0	14.4
	その他	158	47.5	8.2	1.9	3.2	72.2	18.4	0.6	10.8
要介護 度別	要支援1	60	46.7	10.0	6.7	5.0	48.3	11.7	0.0	20.0
	要支援2	74	54.1	9.5	5.4	9.5	55.4	14.9	0.0	13.5
	要介護1	122	54.1	13.1	4.1	1.6	70.5	16.4	0.0	7.4
	要介護2	85	57.0	14.0	8.1	3.5	76.7	16.3	1.2	12.8
	要介護3～5	54	38.9	7.4	1.9	0.0	85.2	25.9	0.0	11.1
圏域別	北東部圏域	196	55.1	11.2	7.1	3.6	67.3	17.3	0.5	10.2
	南西部圏域	200	48.0	11.5	3.5	4.0	68.0	16.0	0.0	14.0
		回答件数 (n)	保健師	地域包括支援センター	病院や診療所の医師	その他	相談相手はいない	相談先がわからない	無回答	
全体		396	0.5	20.2	28.3	1.8	0.0	1.0	7.1	
前回調査		342	0.3	19.0	23.7	0.3	1.2	2.0	8.2	
世帯別	単身世帯	100	0.0	29.0	21.0	4.0	0.0	1.0	6.0	
	夫婦のみ世帯	111	0.9	18.9	29.7	0.0	0.0	0.9	8.1	
	その他	158	0.6	16.5	34.2	1.9	0.0	1.3	5.7	
要介護 度別	要支援1	60	0.0	23.3	26.7	0.0	0.0	1.7	11.7	
	要支援2	74	0.0	35.1	25.7	0.0	0.0	1.4	8.1	
	要介護1	122	0.0	17.2	28.7	0.8	0.0	0.8	6.6	
	要介護2	85	1.2	19.8	29.1	5.8	0.0	1.2	5.8	
	要介護3～5	54	1.9	3.7	31.5	1.9	0.0	0.0	3.7	
圏域別	北東部圏域	196	0.5	19.4	28.6	2.6	0.0	0.5	4.6	
	南西部圏域	200	0.5	21.0	28.0	1.0	0.0	1.5	9.5	

【その他の回答（抜粋）】

・訪問看護師、看護師 ・在宅介護の担当者

(12) 介護をするうえであれば良い支援

【要介護認定者】

問 38 介護するうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。（○はいくつでも）

【要支援認定者・総合事業対象者】

問 75 介護するうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。（○はいくつでも）

介護をするうえで最もよい支援をたずねたところ、「身近な相談窓口」が 51.0%と最も高く、次いで「介護にかかる費用の軽減」が 43.2%、「リフレッシュできる機会や場所」が 18.7%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「身近な相談窓口」が 10.9 ポイントと大きく増加しています。

世帯別にみると、単身世帯は「身近な相談窓口」が 59.0%と他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、重度化にしたがい「介護にかかる費用の軽減」が上昇し、要介護 3～5 は 64.8%となっています。

日常生活圏域別にみると、南西部圏域は北東部圏域に比べて「身近な相談窓口」及び「リフレッシュできる機会や場所」が高くなっています。

		回答件数 (n)	身近な 相談窓 口	介 護 者 同 士 の 交 流 会	介 護 教 室 ・ 講 習 会 ・ 勉 強 会 の 開 催	介 護 に か か る 費 用 の 軽 減	地 域 住 民 に よ る 見 守 り	リ フ レ ッ シ ュ で き る 機 会 や 場 所	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全体		396	51.0	11.9	11.1	43.2	12.9	18.7	12.9	1.5	10.4
前回調査		342	40.1	8.2	12.0	39.8	7.0	19.9	16.1	4.7	11.4
世帯別	単身世帯	100	59.0	15.0	16.0	47.0	19.0	15.0	10.0	1.0	7.0
	夫婦のみ世帯	111	51.4	9.0	6.3	43.2	7.2	23.4	14.4	1.8	9.0
	その他	158	46.8	12.0	10.8	39.9	12.7	17.1	15.2	1.3	12.0
要介護 度別	要支援 1	60	45.0	13.3	8.3	26.7	18.3	16.7	11.7	1.7	16.7
	要支援 2	74	54.1	12.2	8.1	32.4	13.5	10.8	10.8	0.0	13.5
	要介護 1	122	55.7	8.2	16.4	45.9	13.9	23.8	9.8	2.5	11.5
	要介護 2	85	51.2	16.3	11.6	46.5	10.5	19.8	17.4	1.2	3.5
	要介護 3～5	54	42.6	11.1	5.6	64.8	7.4	18.5	16.7	1.9	7.4
圏域別	北東部圏域	196	49.0	8.7	10.7	44.4	11.7	17.9	13.3	2.0	11.2
	南西部圏域	200	53.0	15.0	11.5	42.0	14.0	19.5	12.5	1.0	9.5

【その他の回答（抜粋）】

- ・病気等で急に必要になる介護内容に即応してくれるところ、年金で入れる施設、認知症の要介護認定の見直し
- ・誰でもそうです。いつか楽になりますとの言葉かけではなく具体的な解決策を提示してくれる所
- ・現在オムツ券 4500 円分頂いており有難いのですが、尿取りパット等すごく使用します。もう少し増やして頂ければ助かりますが・・・よろしくお願いします。
- ・本人の友達（前からの）と会える様にして欲しい
- ・介護される人同士の交流会

IV 認知症に関する意識調査

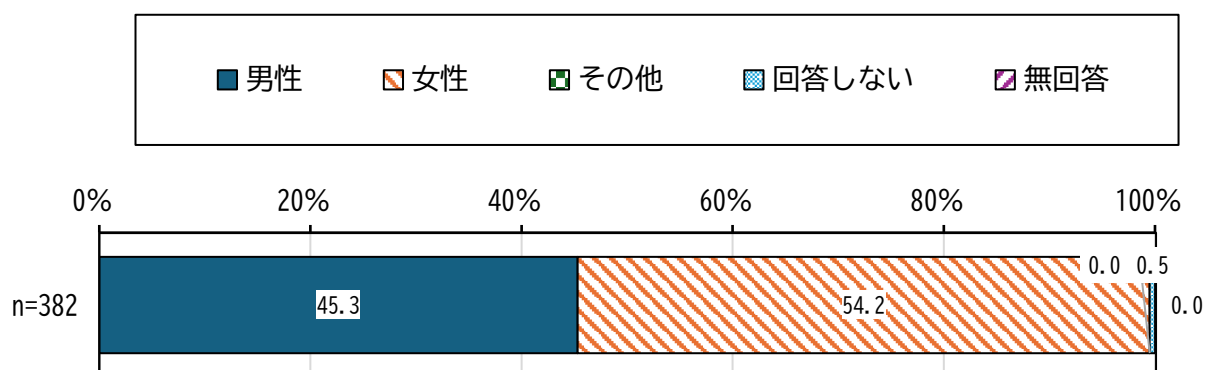
IV 認知症に関する意識調査

あなた自身についておたずねします。

(1) 性別

問1 性別を教えてください。(○は1つだけ)

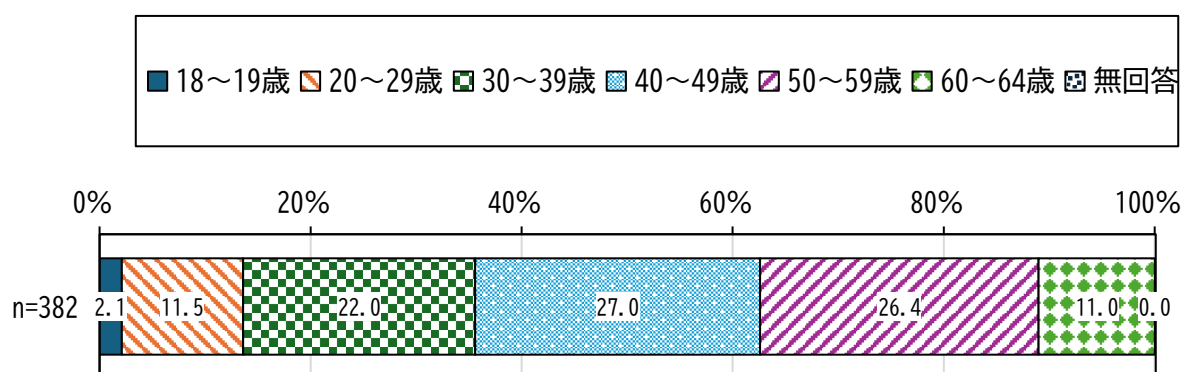
回答者の性別は、「男性」が45.3%、「女性」が54.2%となっています。



(2) 年齢

問2 年齢を教えてください。(数字を記入)

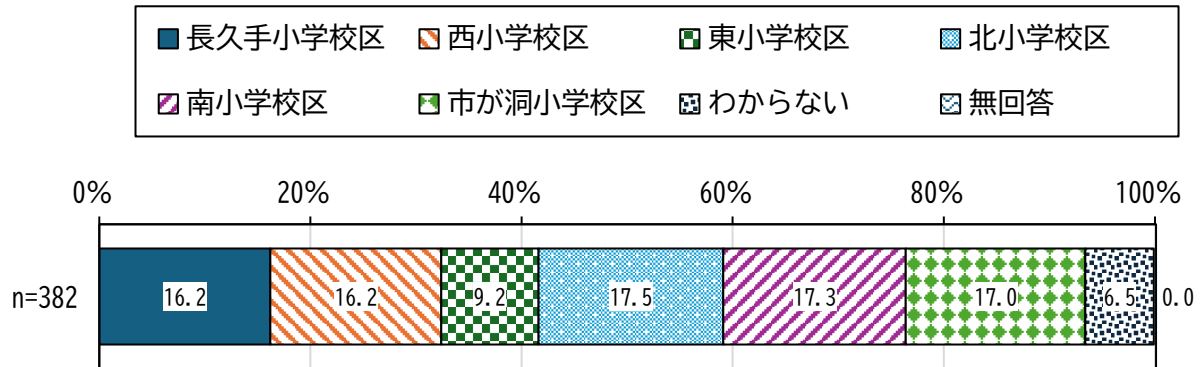
回答者の年齢は、「40～49歳」が27.0%と最も高く、次いで「50～59歳」が26.4%、「30～39歳」が22.0%、「20～29歳」が11.5%、「60～64歳」が11.0%、「18～19歳」が2.1%の順となっています。



(3) 小学校区

問3 お住まいの小学校区を教えてください。(〇は1つだけ)

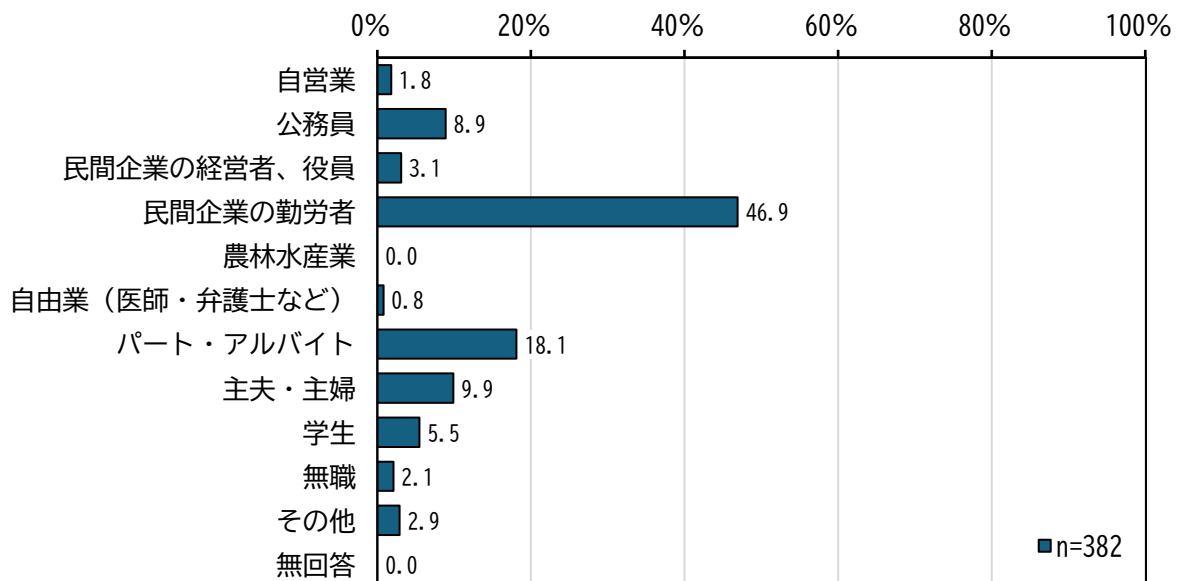
小学校区は、「北小学校区」が17.5%と最も高く、次いで「南小学校区」が17.3%、「市が洞小学校区」が17.0%、「長久手小学校区」が16.2%、「西小学校区」が16.2%、「東小学校区」が9.2%の順となっています。



(4) 職業

問4 職業を教えてください。(〇は1つだけ)

回答者の職業は、「民間企業の勤労者」が46.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が18.1%、「主夫・主婦」が9.9%、「公務員」が8.9%、「学生」が5.5%などの順となっています。



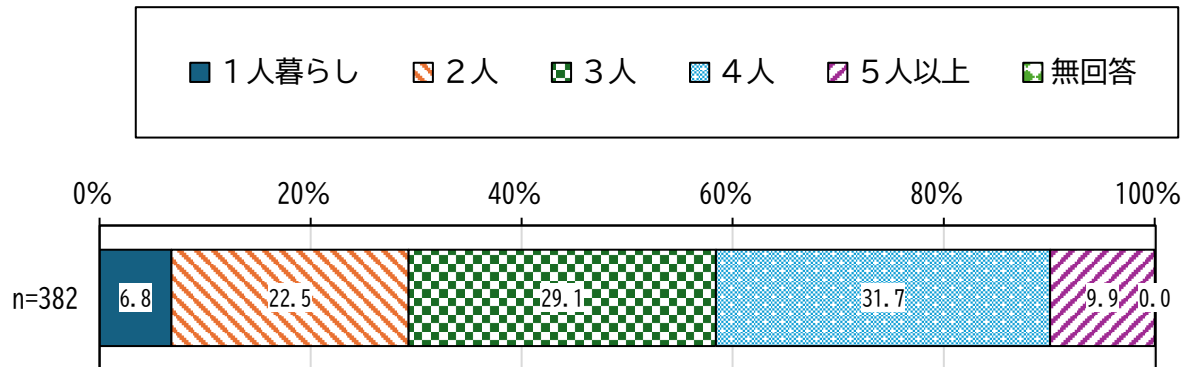
【その他の回答（抜粋）】

- ・派遣 ・公立保育園での臨時職員 ・再任用職員 ・大学の教員(常勤) ・私立高校教諭
- ・看護師 ・教育関係

(5) 同居している家族の人数

問5 あなたを含めた同居している家族の人数を教えてください。(○は1つだけ)

回答者と同居している家族の人数は、「4人」が31.7%と最も高く、次いで「3人」が29.1%、「2人」が22.5%、「5人以上」が9.9%、「1人暮らし」が6.8%の順となっています。

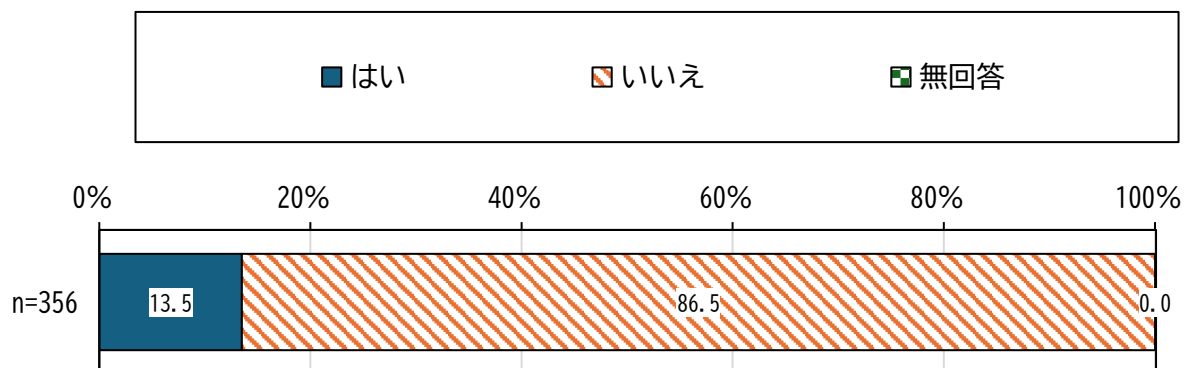


(6) 高齢者との同居

問6 <問5で「2.」～「5.」と答えた方におたずねします>

65歳以上の人と一緒に住んでいますか。(○は1つだけ)

前項で2人以上と答えた方に65歳以上の人と一緒に住んでいるかをたずねたところ、「はい」が13.5%、「いいえ」が86.5%となっています。



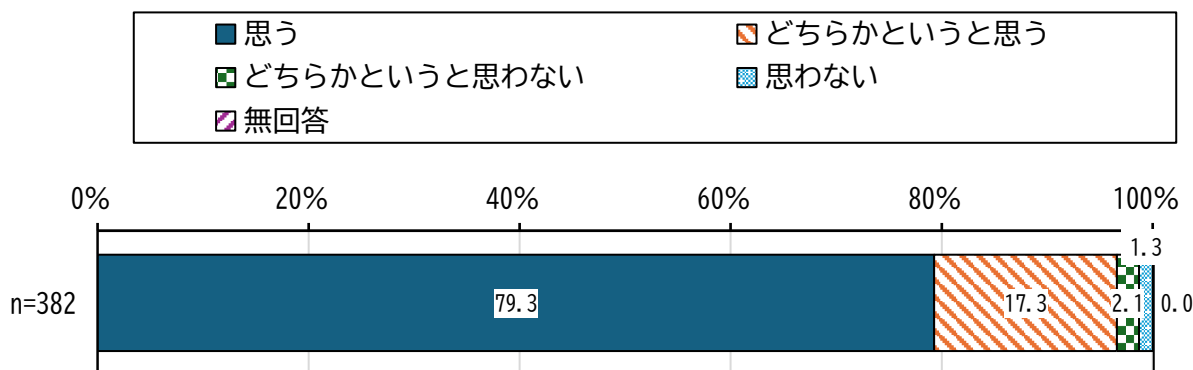
認知症に対するイメージについておたずねします。

(1) 認知症は誰もがなり得ると思うか

問7 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

① 認知症は誰もがなり得ると思いますか

認知症は誰もがなり得ると思うかについて、「思う」(79.3%)と「どちらかというと思う」(17.3%)を合計した<思う>は96.6%、「どちらかというと思わない」(2.1%)と「思わない」(1.3%)を合計した<思わない>は3.4%となっています。

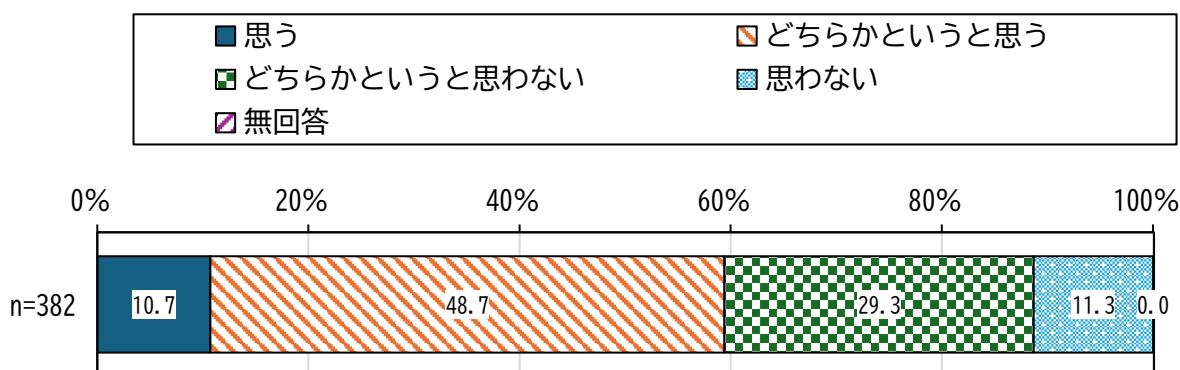


(2) 認知症への理解

問7 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

② あなたは認知症に関して理解していると思いますか

認知症に関して理解していると思うかについて、「思う」(10.7%)と「どちらかというと思う」(48.7%)を合計した<思う>は59.4%、「どちらかというと思わない」(29.3%)と「思わない」(11.3%)を合計した<思わない>は40.6%となっています。

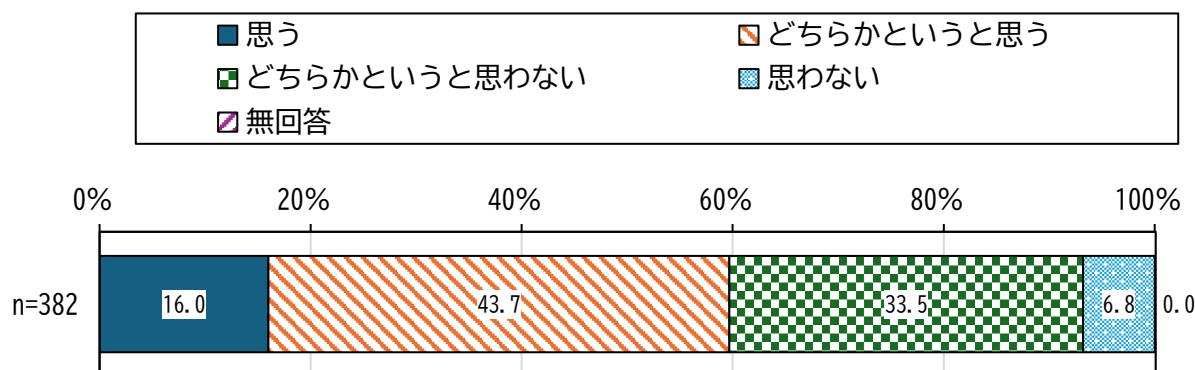


(3) 認知症になってもできることが多くあると思うか

問7 以下の質問にお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

③ 認知症になってもできることが多くあると思いますか

認知症になってもできることが多くあると思うかについて、「思う」（16.0%）と「どちらかというと思う」（43.7%）を合計した＜思う＞は59.7%、「どちらかというと思わない」（33.5%）と「思わない」（6.8%）を合計した＜思わない＞は40.3%となっています。

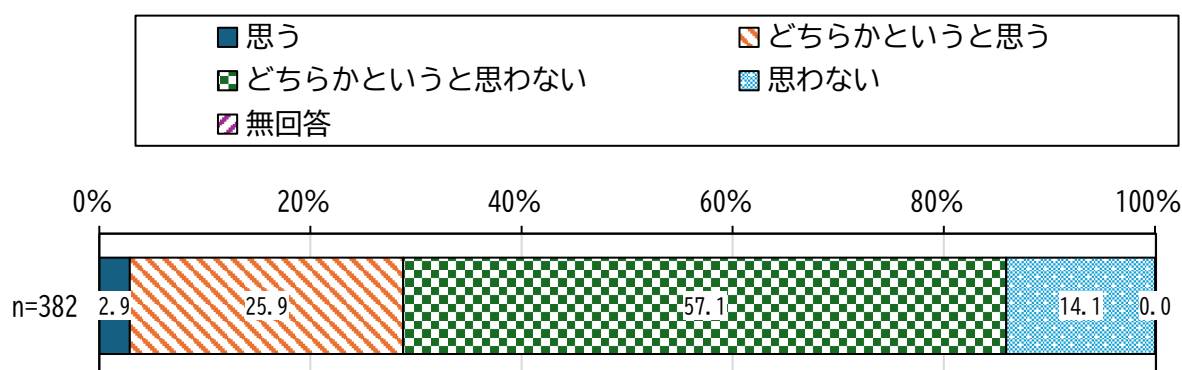


(4) 認知症の人の意思が尊重されていると思うか

問7 以下の質問にお答えください。（それぞれ○は1つだけ）

④ あなたが暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思いますか

回答者が暮らす地域では、地域での生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重されていると思うかについて、「思う」（2.9%）と「どちらかというと思う」（25.9%）を合計した＜思う＞は28.8%、「どちらかというと思わない」（57.1%）と「思わない」（14.1%）を合計した＜思わない＞は71.2%となっています。

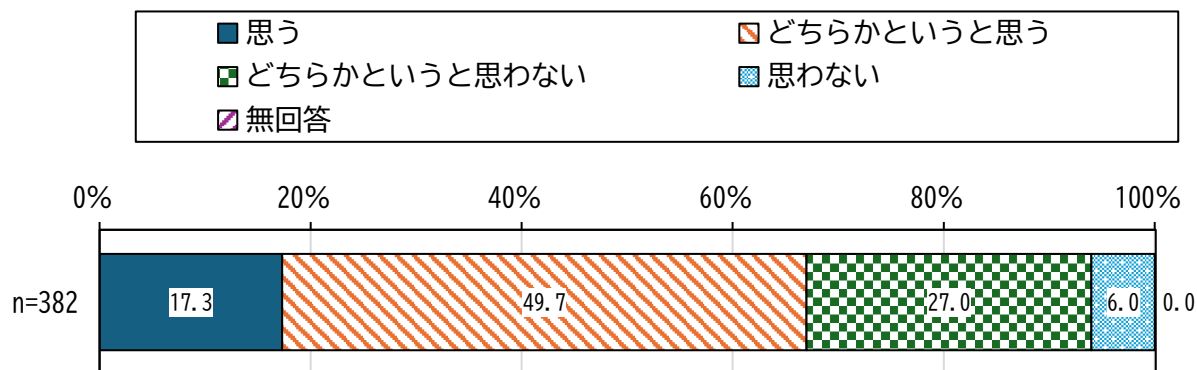


(5) 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うか

問7 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑤ 認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思いますか

認知症の人も地域活動に役割をもって参加した方が良いと思うかについて、「思う」(17.3%)と「どちらかというと思う」(49.7%)を合計した<思う>は 67.0%、「どちらかというと思わない」(27.0%)と「思わない」(6.0%)を合計した<思わない>は 33.0%となっています。

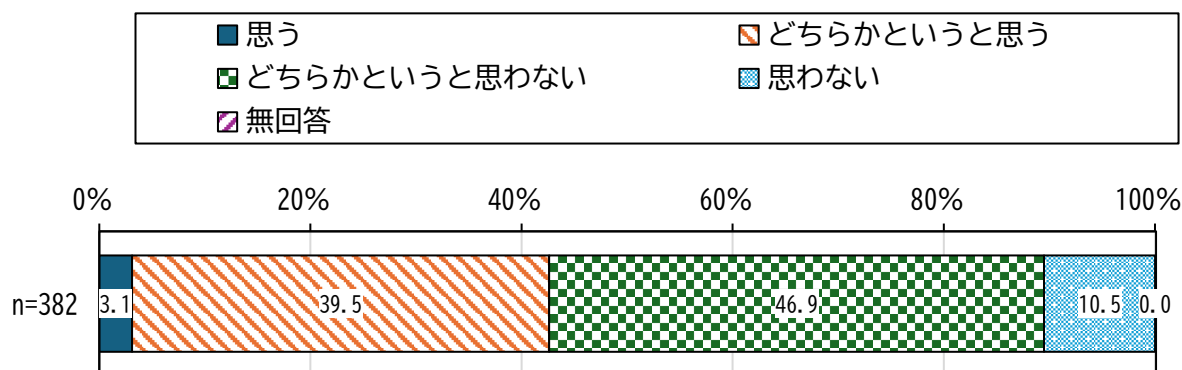


(6) 認知症の人が自分らしく暮らせると思うか

問7 以下の質問にお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

⑥ あなたが暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか

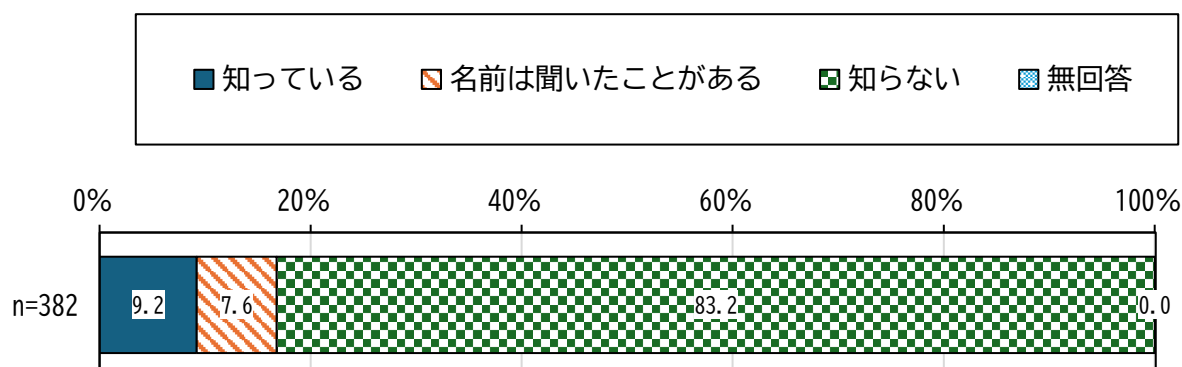
回答者が暮らす地域では、認知症の人が自分らしく暮らせると思うかについて、「思う」(3.1%)と「どちらかというと思う」(39.5%)を合計した<思う>は 42.6%、「どちらかというと思わない」(46.9%)と「思わない」(10.5%)を合計した<思わない>は 57.4%となっています。



(7) 「新しい認知症観」の認知度

問8 「新しい認知症観」という考え方を知っていますか。(○は1つだけ)

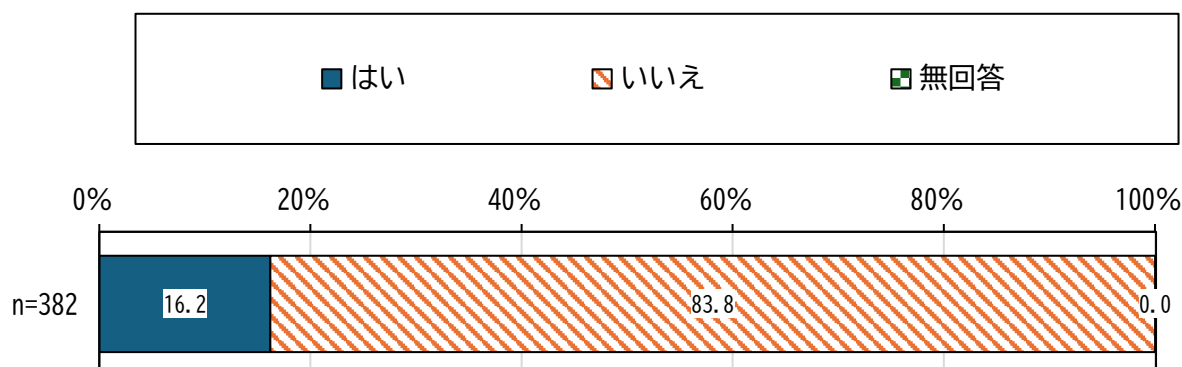
「新しい認知症観」の認知度について、「知っている」が9.2%、「名前は聞いたことがある」が7.6%、「知らない」が83.2%となっています。



(8) 認知症の症状

問9 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)

認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいる(「はい」)のは16.2%となっています。

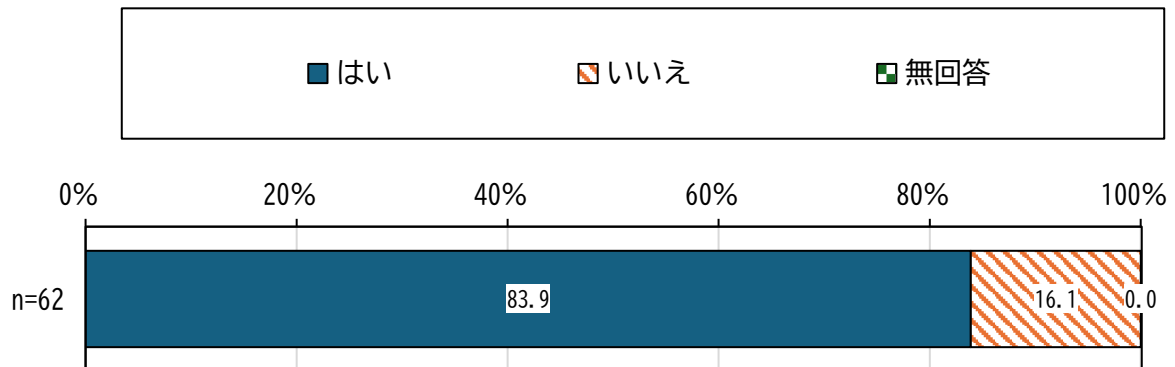


(9) 受診の状況

問 10 <問9で「1. はい」と答えた方におたずねします>

ご自身あるいはご家族は受診できていますか。(○は1つだけ)

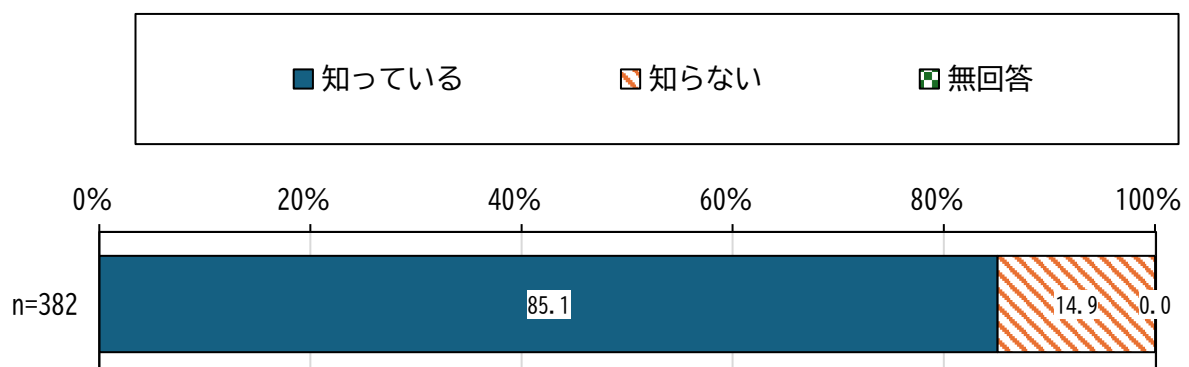
前項で認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいると回答した人に、受診できているか尋ねたところ、受診できている(「はい」)のは83.9%となっています。



(10) 若年性認知症の認知度

問 11 65歳未満で発症する「若年性認知症」のことを知っていますか。(○は1つだけ)

「若年性認知症」を知っているかをたずねたところ、「知っている」が85.1%、「知らない」が14.9%となっています。

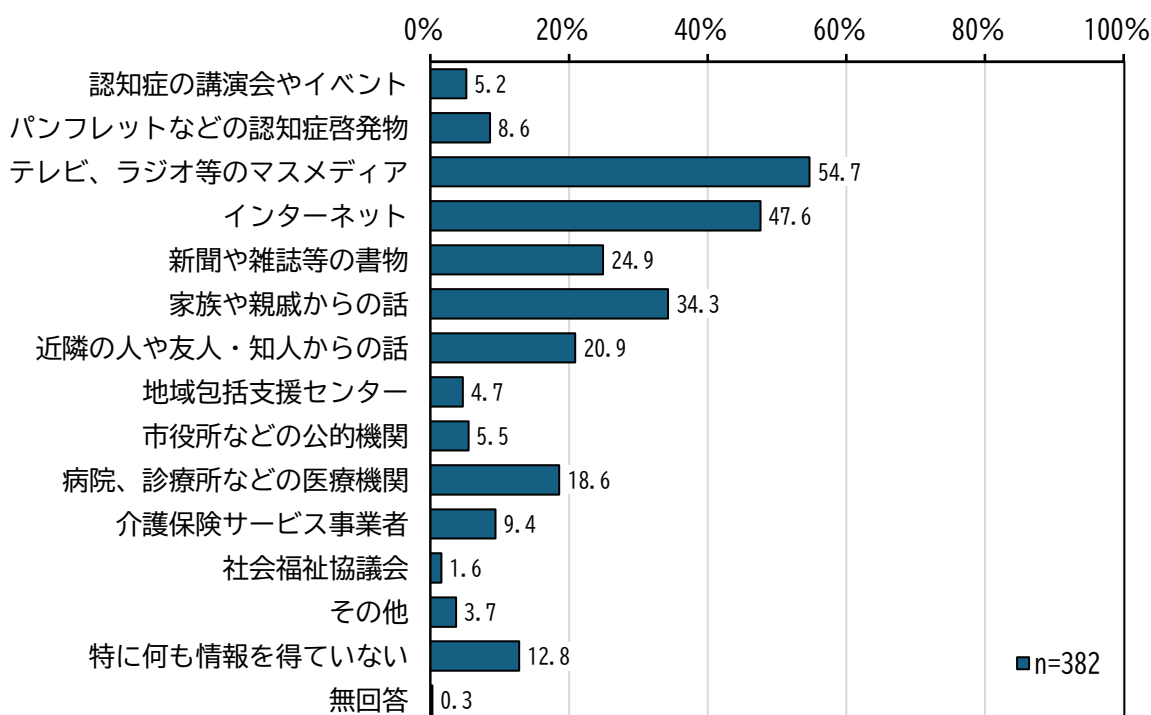


(11) 認知症に関する情報の入手手段

問 12 認知症に関する情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

認知症に関する情報を何から得ているかをたずねたところ、「テレビ、ラジオ等のマスメディア」が 54.7%と最も高く、次いで「インターネット」が 47.6%、「家族や親戚からの話」が 34.3%、「新聞や雑誌等の書物」が 24.9%、「近隣の人や友人・知人からの話」が 20.9%などの順となっています。

また、「特に何も情報を得ていない」は 12.8%となっています。



【その他の回答（抜粋）】

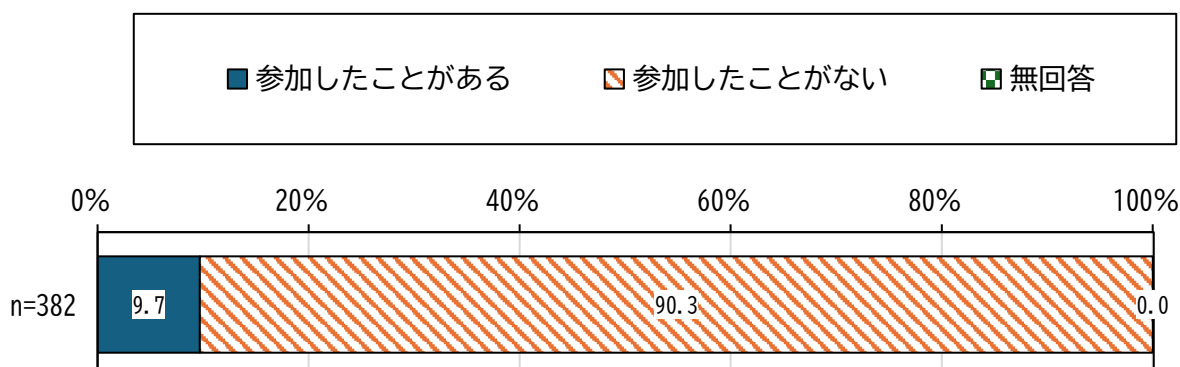
- ・ デイサービスを運営してるので、ご利用者様やそのご家族、介護職員、看護師から
- ・ 医学の学習 ・ 職場 ・ 仕事 ・ 亡くなった家族が認知症でした。

(12) 認知症に関する講演会やイベントへの参加経験

問 13 これまでに認知症に関する講演会やイベントに参加したことがありますか。

(〇は1つだけ)

これまでに認知症に関する講演会やイベントに参加したことがあるかをたずねたところ、「参加したことがある」が 9.7%、「参加したことがない」が 90.3%となっています。

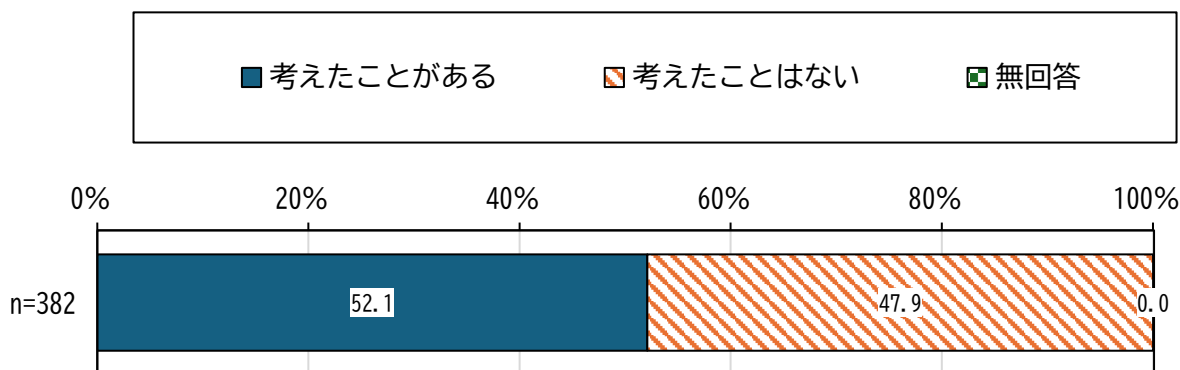


ご自身や家族が認知症になったときについておたずねします。

(1) 認知症になった時のことについて

問 14 今までにあなた自身やご家族が認知症になった時にどうしたらよいかについて、考えたことがありますか。(○は1つだけ)

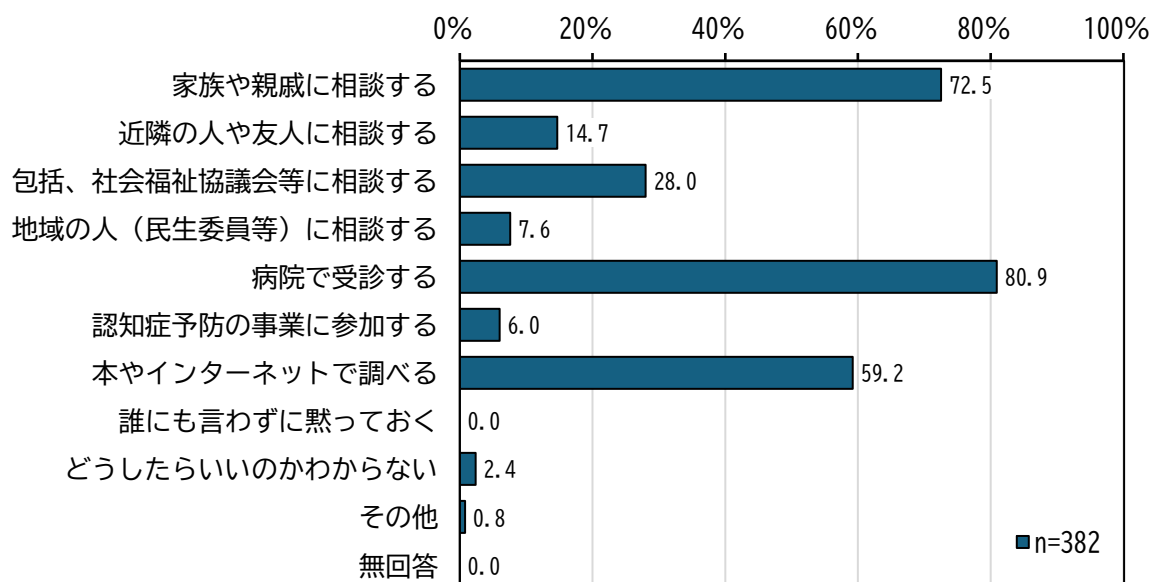
今までにあなた自身やご家族が認知症になった時にどうしたらよいかについて、考えたことがあるかをたずねたところ、「考えたことがある」が52.1%、「考えたことはない」が47.9%となっています。



(2) 認知症だと思った時の対応

問 15 自分や家族が「認知症ではないか？」と思ったら、どうしますか。(○はいくつでも)

自分や家族が「認知症ではないか？」と思ったらどうするかを尋ねたところ、「病院で受診する」が80.9%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談する」が72.5%、「本やインターネットで調べる」が59.2%、「包括、社会福祉協議会等に相談する」が28.0%、「近隣の人や友人に相談する」が14.7%などの順となっています。



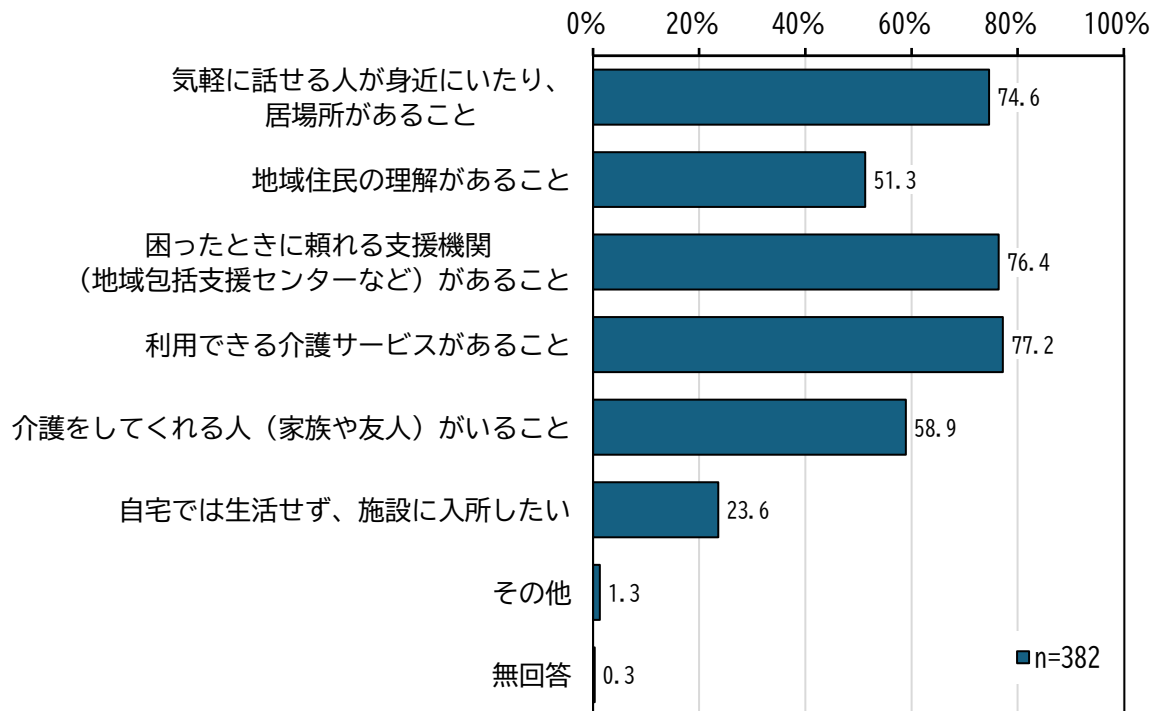
【その他の回答（抜粋）】

- ・運営するデイサービス従業員等に、さらに深く相談する
- ・必要な対応をするのみ
- ・生活に支障が出ない範囲ならば、様子を見ながら暮らす

(3) 認知症になっても自宅で生活をするために必要なこと

問 16 認知症になっても自宅で生活をするために何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症になっても自宅で生活をするために必要なことを尋ねたところ、「利用できる介護サービスがあること」が 77.2%と最も高く、次いで「困ったときに頼れる支援機関（地域包括支援センターなど）があること」が 76.4%、「気軽に話せる人が身近にいたり、居場所があること」が 74.6%、「介護をしてくれる人（家族や友人）がいること」が 58.9%、「地域住民の理解があること」が 51.3%などの順となっています。



【その他の回答（抜粋）】

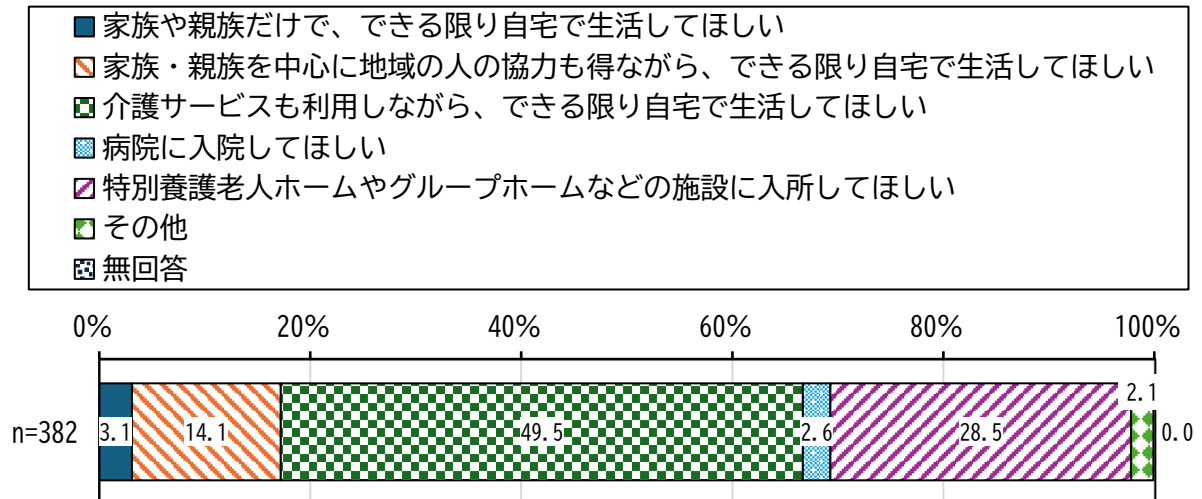
- ・家に施錠など隔離できる環境。責任能力が無いので罪を犯しても裁けないため、不用意に自由にできないと考える。自分になったとしても親になったとしても。
- ・重度になれば自宅では暮らせないと思う
- ・自分自身の場合、子供への負担が忍びないので入所
- ・施設に入所が良いが、資金が必要な為、ギリギリまで自宅で過ごせたら良いと思います。

(4) 家族が認知症になった際の生活

問 17 あなたのご家族がもし認知症になったら、どのように生活してほしいと考えますか。

(○は1つだけ)

あなたのご家族がもし認知症になったら、どのように生活してほしいと考えるかをたずねたところ、「介護サービスも利用しながら、できる限り自宅で生活してほしい」が 49.5%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームやグループホームなどの施設に入所してほしい」が 28.5%、「家族・親族を中心に地域の人の協力も得ながら、できる限り自宅で生活してほしい」が 14.1%などの順となっています。



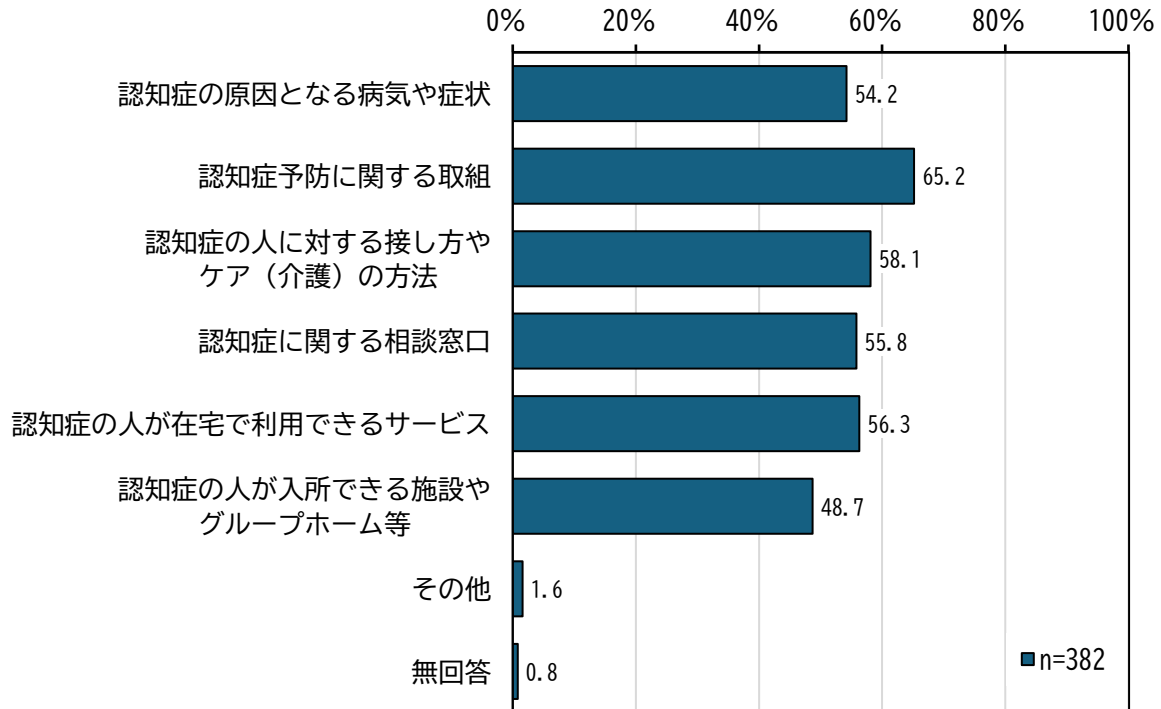
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 家族が望むようにしてあげたい
- ・ 両親とも認知症がでて、二人とも既に身罷りました
- ・ 症状、進行度によって対応は変わるのではないのでしょうか。例えば初期で軽度なら家族で自宅を選ぶ人が多いと思われる。かなりの重度なら入院や入所を選ぶ人が多いのではないのでしょうか。複数回答可なら全てです
- ・ 状態と状況による
- ・ 家族の負担になりたくないの、施設に入りたいが、資金の事があるのでギリギリまで介護サービスを受けながら自宅で生活したい
- ・ 認知症が軽いうちは自宅で、重くなったら施設へ。
- ・ 本人の希望に沿うようにしていきたい

(5) 認知症について知りたいこと

問 18 あなたが、認知症について知りたいことはどんなことですか。（〇はいくつでも）

認知症について知りたいことをたずねたところ、「認知症予防に関する取組」が 65.2%と最も高く、次いで「認知症の人に対する接し方やケア（介護）の方法」が 58.1%、「認知症の人が在宅で利用できるサービス」が 56.3%、「認知症に関する相談窓口」が 55.8%、「認知症の原因となる病気や症状」が 54.2%などの順となっています。



【その他の回答（抜粋）】

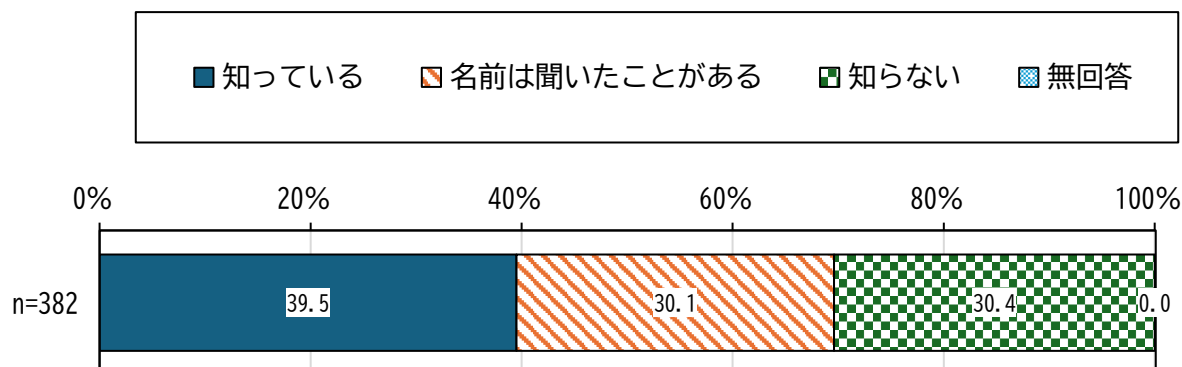
- ・施設利用費、補助金、入所して長生きし過ぎてお金なくなったらどうなるか
- ・認知症になったら人として終わった様に気の毒がられる社会の価値観が根強い理由を知りたいです
- ・認知症にならないための研究、認知症を完全に治す研究
- ・悪化させない方法治し方
- ・認知症の治療

認知症の人やその家族を支える仕組みについておたずねします。

(1) 成年後見制度の認知度

問 19 「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つだけ)

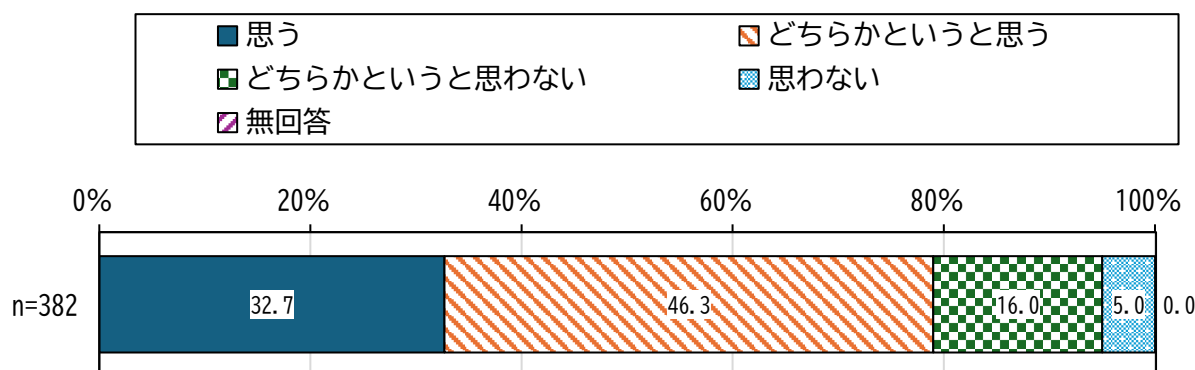
「成年後見制度」の認知度について、「知っている」が 39.5%、「名前は聞いたことがある」が 30.1%、「知らない」が 30.4%となっています。



(2) 近所の人や知人からの認知

問 20 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。(○は1つだけ)

家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思うかをたずねたところ、「思う」(32.7%)と「どちらかというと思う」(46.3%)を合計した<思う>は 79.0%、「どちらかというと思わない」(16.0%)と「思わない」(5.0%)を合計した<思わない>は 21.0%となっています。

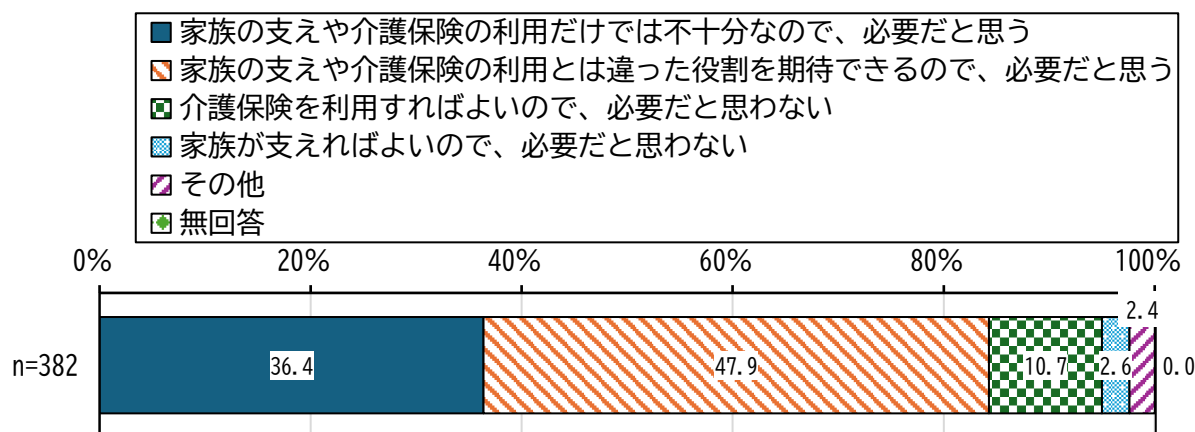


(3) 地域住民の関わりの必要性

問 21 あなたは、認知症の人が生活するためには、地域住民の関わりは必要だと思いますか。

(○は1つだけ)

認知症の人が生活するためには、地域住民の関わりは必要だと思うかをたずねたところ、「家族の支えや介護保険の利用とは違った役割を期待できるので、必要だと思う」が 47.9%と最も高く、次いで「家族の支えや介護保険の利用だけでは不十分なので、必要だと思う」が 36.4%などの順となっています。



【その他の回答（抜粋）】

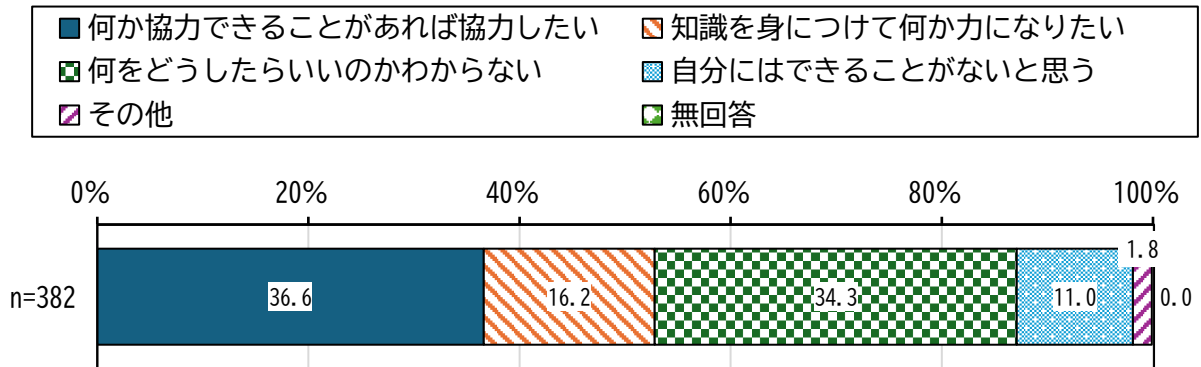
- ・よくわからない ・症状によって必要だったり必要無かったりする
- ・関わる必要はないが、迷惑をある程度受け入れてほしい
- ・他人に迷惑をかけたくない
- ・思わないが、言動で迷惑をかける可能性があるためその点に関しご理解いただきたい
- ・認知症であることを他言されて、資産を凍結されてしまったり、不利益を被るのではと不安がある。親しい方に知って頂く事は、介護保険サービスとは違う役割を期待できるので必要だと思う。
- ・なかなか地域住民は頼りにくい。
- ・近所の人々が力になってくれるとは思えない。交流がない。

(4) 認知症の人が近所にいた場合の行動

問 22 認知症の人が近所にいた場合、あなたはどう感じ、どう行動したいですか。

(○は1つだけ)

認知症の人が近所にいた場合についてたずねたところ、「何か協力できることがあれば協力したい」が 36.6%と最も高く、次いで「何をどうしたらいいのかわからない」が 34.3%、「知識を身につけて何か力になりたい」が 16.2%、「自分にはできないと思う」が 11.0%の順となっています。



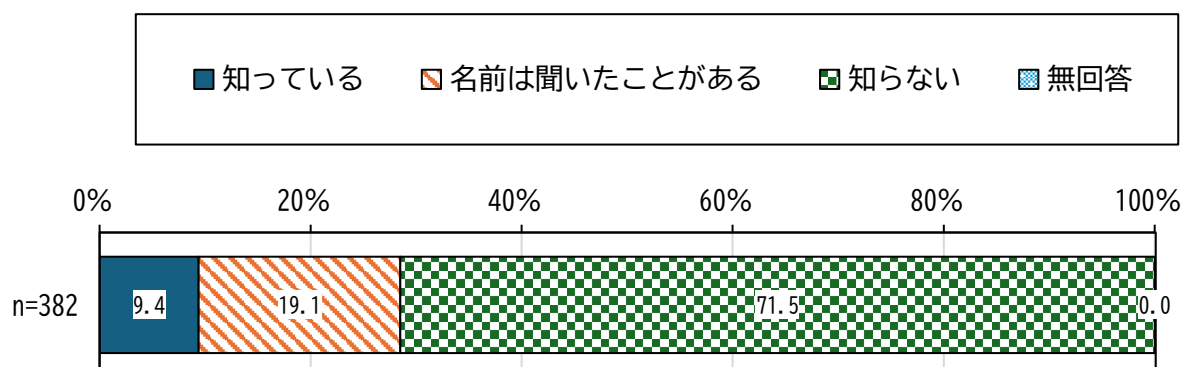
【その他の回答（抜粋）】

- ・協力出来ることはしたいが時間や地域との関わりがない、できない
- ・自身にそれなりに色々な持病があるので見守るだけしかできないと思う。
- ・責任能力の無い人なので自分も家族も近付けたくない
- ・ごめんなさい関わりたくないです
- ・理解して接するが、できることがわからない
- ・本人や家族が望む接し方に心掛ける
- ・必要があれば協力したい

(5) 認知症サポーターの認知度

問 23 「認知症サポーター」を知っていますか。(○は1つだけ)

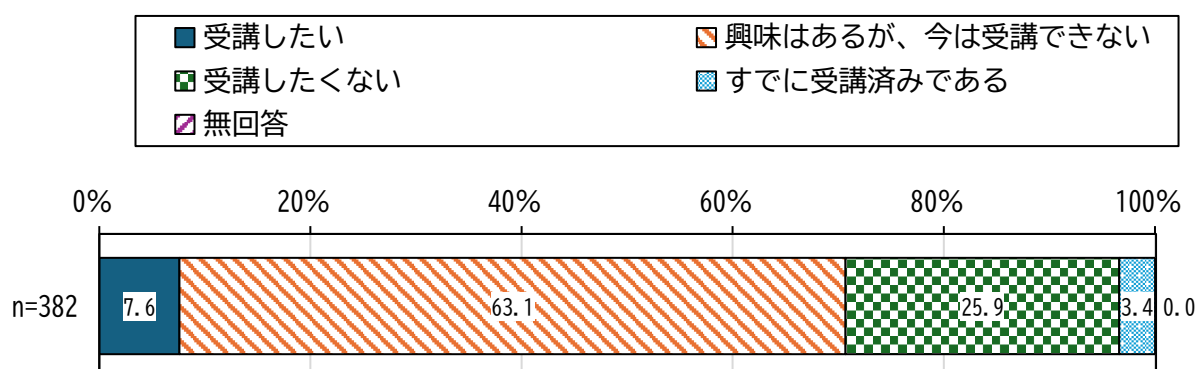
「認知症サポーター」の認知度について、「知っている」が9.4%、「名前は聞いたことがある」が19.1%、「知らない」が71.5%となっています。



(6) 認知症サポーター養成講座の受講意向

問 24 「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思いますか。(○は1つだけ)

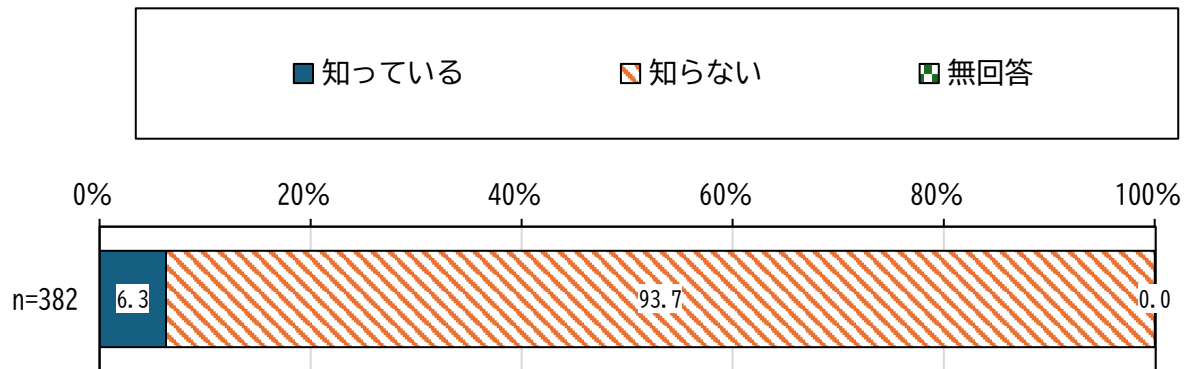
「認知症サポーター養成講座」を受講したいと思うかをたずねたところ、「興味はあるが、今は受講できない」が63.1%と最も高く、次いで「受講したくない」が25.9%、「受講したい」が7.6%、「すでに受講済みである」が3.4%の順となっています。



(7) 認知症にやさしいお店の認知度

問 25 長久手市では、「認知症サポーター養成講座」を受講した企業を「認知症にやさしいお店」として登録する仕組みを作っています。そのことを知っていますか。(〇は1つだけ)

「認知症にやさしいお店」の認知度について、「知っている」が6.3%、「知らない」が93.7%となっています。

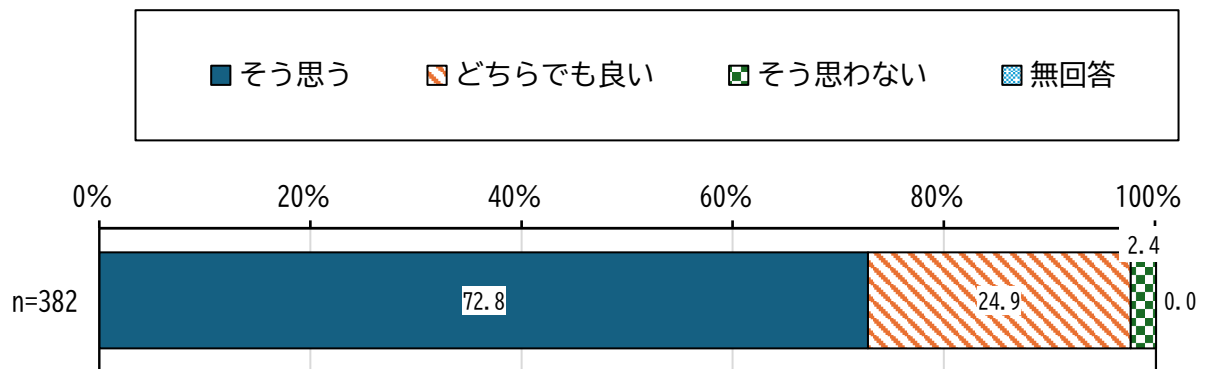


(8) 認知症にやさしいお店の推進

問 26 今後も「認知症にやさしいお店」の取組を推進した方が良いと思いますか。

(〇は1つだけ)

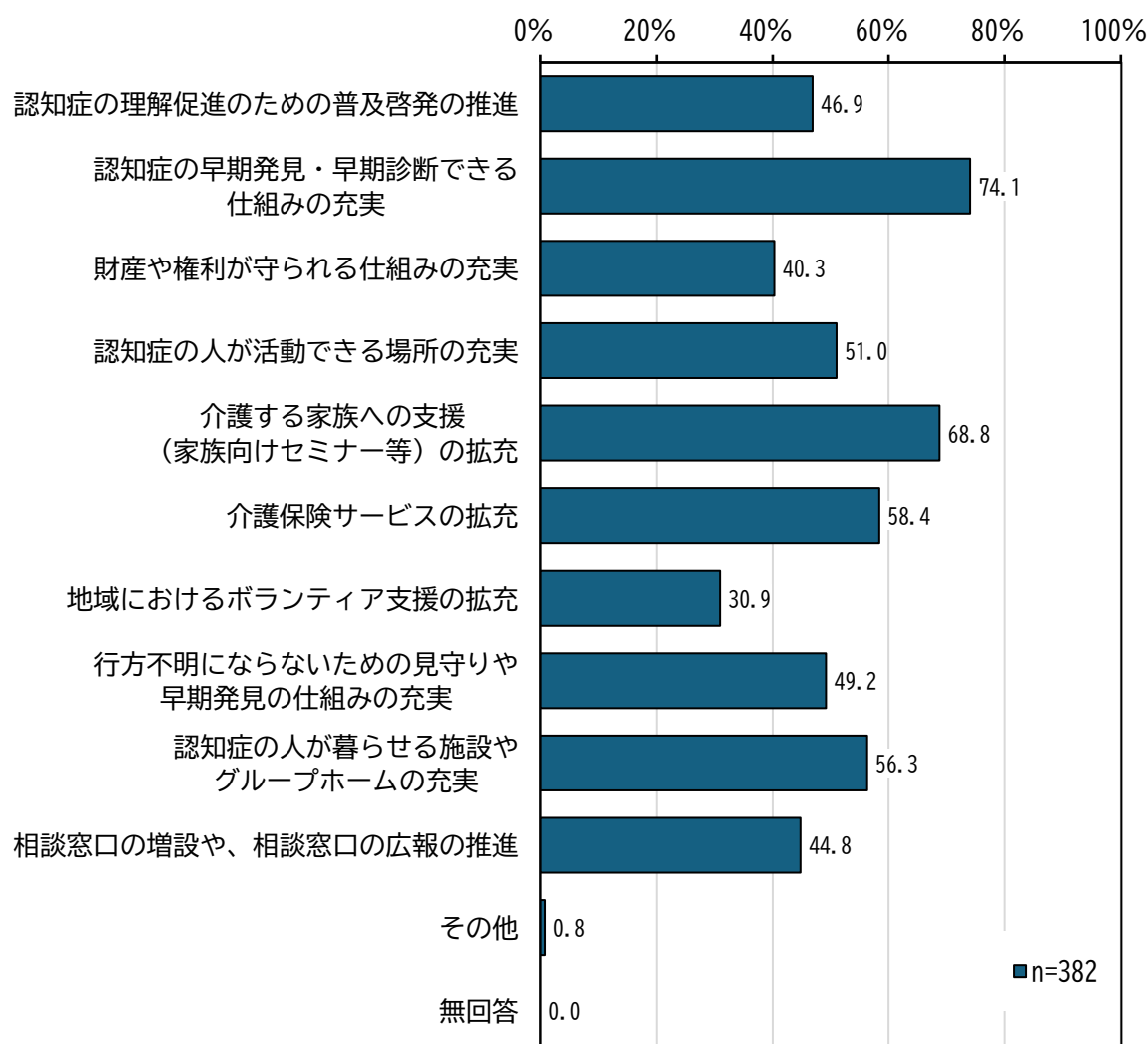
今後も「認知症にやさしいお店」の取組を推進した方が良いと思うかをたずねたところ、「そう思う」が72.8%と最も高く、次いで「どちらでも良い」が24.9%、「そう思わない」が2.4%の順となっています。



(9) 重点を置くべき認知症施策

問 27 今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきかをたずねたところ、「認知症の早期発見・早期診断できる仕組みの充実」が 74.1%と最も高く、次いで「介護する家族への支援（家族向けセミナー等）の拡充」が 68.8%、「介護保険サービスの拡充」が 58.4%、「認知症の人が暮らせる施設やグループホームの充実」が 56.3%、「認知症の人が活動できる場所の充実」が 51.0%などの順となっています。



【その他の回答（抜粋）】

- ・ 認知症だけでは特養に入るのが難しく資金的にも入所枠も拡充していくべき
- ・ 認知症が起きてしまった後の対策も必要だが、認知症を未然に防ぐ根本的な施策が効果的
- ・ 名古屋市の「もの忘れ検診」の実施

令和7年度 長久手市
高齢者くらしのチェックリスト
認知症に関する意識調査
調査結果報告書

令和8年3月

発 行 : 長久手市

企画・編集 : 長寿課
